昭和15年

高校蹴球 組合せ決る

全國高校蹴球大會は一日より本郷帝大グラウンドで擧行されるが一二回戰の組合せは次の如し

◇第一日（一日）四高對新潟、松本對富山、水戸對府高、五高對早高、七高對佐賀、松山對武藏松江對浦和◇第二日（二日）京城對成城、六高對北大豫、東高對二高、靜岡對弘前（以上一回戰）八高對一高、山形對廣島◇第三日（三日）松江、浦和の勝者對成蹊（以上二回戰）

S15・1・1

全國高校蹴球 第一日

全國高校蹴球大會第一日は一日午前八時より東大グラウンドで第一回戰七試合を擧行

四高	10（4—0）0	0	新潟
松本	3（2001—0010）1	1	富山
水戸	2（1—1）1	1	府高
早高	7（5—0）0	0	五高
七高	4（1—0）0	0	佐賀
松山	5（3—0）0	0	武藏
浦和	2（1—0）0	0	松江

S15・1・2

全國高校蹴球 第三日

第十七回全國高校蹴球大會第三日は二日午前八時半から東大球場で二回戰六試合を擧行

◇二回戰

浦和 4—2 成蹊
松山 7—0 七高
六高 1—0 京城大豫
四高 2—1 松本
早高 2—0 水戸高
靜岡 2—0 東高

…第二日の成績…

◇一回戰

京城大豫 6—0 成城
六高 7—0 北大豫
靜岡 1—0 弘前
東高 1—0 二高

◇二回戰

一高 6—0 八高
廣島 7—2 山形

S15・1・4

全國高校蹴球 第四日

第十七回全國高等學校蹴球大會第四日は四日午前十時から東大球場で準々決勝四試合を擧行

六高	2（2—0）0	0	靜岡
早高	2（1—0）0	0	四高
松山	1（0010—0010）1	1	浦和

（抽籤勝）

廣島	1（0001—0010）1	1	一高

（抽籤勝）

S15・1・5

六高、松山の爭覇

全國高校蹴球大會

第十七回全國高校蹴球大會第五日は五日午前十一時から六高對早高午後二時から松山對廣島の準決勝戰を擧行、二試合とも大接戰の末六高と松山が勝ち殘り今六日關を爭ふこととなつた

六高 2（1—1）1 早高

◇…さすが優勝候補同士だけあつて稀に見る好試合を展開、攻守共に堅かに優れた早高が優勢裡に試合を運びながらペナルテイとGK島田の失策に二ゴールを許して最後まで勝運に惠まれず惜しむべき敗退をした、前半2

【早高】
田内田堀毛田 川野谷納 5 8 10
島織片四二林 杉 吉下米加
GK FB HB FW CK KK FG GP
智田田 勝川島田松辻末 7 7 9 1
志增吉 齋石矢藏枝和皆
【六高】

分加納のセンターリングがもつ上手に切れ込んで早高一點先取し幸先のよいスタートを切つたが31分六高ペナルテイに幸運の一點を拾つて同點、後半に入り5分六高は早高GK島田のまえにゴールを得て2—1とリードその後再三の危機をよく切り抜けて勝利を收めた

◇…早高の敗因は前半1—0とリードした後の再三の好機を全りにも相手にし過ぎ決定力を缺いたところに在る、後半リードされた後楽分から加納に廻してその中央突球に挨つたが足を痛めてゐる加納はこれに應へず失敗してゐたがむしろ右サイドの杉に廻してそのシュート力を生かすべきであつたらう、六高頑張、昏木の活躍も早高織内と共に賞されてよい（矢鍋記）

松山 1（0—0）0 廣島

【松山】
山田堂根崎本中田馬橋幕島
GK FB HB FW CK KK FG 5 5 18
【廣島】
【松鶴】會島岡山山但長野北
【廣島】
【京勝】幸（關）石山村川崎部
【橋】加本長橋大梶北西長阿 5 4 11

掲示板

◇…ベルリンオリンピック蹴球代表として活躍した早大OB堀江忠男君（本社勤務）は應召近く征途につくことになつた

S15・1・6

七日の運動

◇籠球（關東倶樂部リーグ）

東京倶 11（7—4）0 外國人團

S15・1・8

大崎大尉戰死

慶大サッカー部昭和八年度主將であつた輜重兵大尉大崎良親君は一昨年出征以來〇〇方面に轉戰數多の殊勳を樹てたが去る十一月二十日包圍にかける激戰で名譽の戰死を遂げた旨この程公表された

同君は慶大時代豪部、籠球、岩崎、右近、岩波の諸君と共に無敵陣を布いてこれを率ゐてゐたが德望の高い名主將でありOHとして線の太い名選手であつた

S15・1・10

S15-1-7

"闘志の松山"制覇す

全國高校蹴球戰終る

第十七回全國高校蹴球大會第六日決勝試合松山對六高戰は六日午後二時から東大蹴場で擧行、久保、大谷二審、六高先攻で擧行、終始六高のリードを松山猛然に追擊、遂にタイム・アップ二分前に決勝の一點を入れ第二回以來十四年振りに二回目の優勝を成した

松山 4(2―2)3 六高
(2―1)

◇…六高得點すれば松山直ちに反撃すること三度、全く息もつかせぬ追擊戰を演じ近來稀に見る好試合となり最後に松山の闘志にものをいはせた、鋭い突込みが實を結んで快勝した

◇…前半15分六高左ゴール前混戰のこぼれ球を藤田シュート一點先取すれば18分松山北島のセンターリングを長橋ブッシュして同點に迫ひつき、その後六高は兩インナーの見事なパスワークに依る速攻からチャンスを生めば松山はゴール前にロビングをあげてはFW一勢に突込み好機

【松山】	田宮根崎本中由良橋澤島		
	【攻撃陣】岡山山但長野北		11
GK		GK	3
FB		K	13
		K	0
HB		F	10
		G	16
FW			
【六高】	賀田田 柳川 島田松寸木		
	林		
	【攻撃陣】志增吉		

を摑んだが何れも惜しくも逸する内39分六高藤田25碼中央からロングシュート右上隅を破って2―1と再びリードすれば40分松山シュートした球を六高GK志賀足にはさんでキープするを押し込んで一點を返し又も同點となつて前半を終る

◇…後半9分六高枝松右中間30碼附近からロングシュートすれば左上隅を破り3―2と三度六高リードこのまゝ六高押切るかと見られたが松山イレブンよく動き前半下り氣味であつた野澤も前に出て野澤から長橋、山田と右に廻して山田のセンターリンクを突込んで好機を作る内30分長橋のゴール直前のシュートがバーに當つて跳ね返るを北島ブッシュして又も同點となり42分遂にゴール前に山中ドリブルの後右に廻した球を山田フリーシュートとして決め松山の制覇となつた

◇…松山の勝因は疲れを知らぬ闘力とリードされても直ちに擊返す然々たる闘志にあつた、FWの鋭い突込み、バックスの速いバックアップによる厚味のある守備陣等何れも衝力の場であり15分に擊はれ18分に返し39分にゴールを許せば40分に得點する等闘志の滿々たるを物語つてゐる六高はたしかに松山よりは技に於ては一日の長があつたが粘りが足らなかつた、皆木の負傷も同情されるが、FW陣の鋭い寄せと強實なシュートを待ちながら松山の闘志の前に惜しい一戰を失つたといへよう〔天藤明〕

S15-1-13

一強豪の熱戦展開

新春野球を飾つて

東西學生蹴球界の四強を招いて十四日甲子園運動場に開かれる本社主催第四回朝日招待蹴球大會はいよ〳〵明日に迫つた、出場の各チームは元日早々から最後の仕上げにとりかゝつておれも物凄い意氣込みである、此四強をすくつての台風は素晴しい試合を約束するにふさはしい觀衆を甲子園の球場に吸收することであらう

まで續行的の感があつた、この線も非常な元氣振を見るに至つつた、果してこの障害は成果を結び得るかどうかは未知數であるとしてもこの線網れから想像して強度な攻撃力を發揮することと思はれる、このチームの攻撃力田島、田邊の兩インナーでキープし或ひはバックからの長驅によつてCFまたは兩翼と走らせる急襲の策に出ることとは疑ひなからうから

關大　は中央線を挽んで一進一退の奇襲戰が展開することであらう

この試合は兩軍ともに驚異な攻撃力をもつてゐるから互に得點を奪ひ合ふ内容豐かな試しい攻防戰が繰展げられるにちがひなく、勝敗の分岐點は守備陣の厚薄如何にかかつてゐるものと見てよからう

（三宅生記）

けふ甲子園に開幕

朝日招待蹴球大會

【大阪發電話】本社主催第四回朝日招待蹴球大會は新春を飾つて、愈今十四日擧行されるが十二日午後三時から甲子園庭球會館で

早大、關學大、明大、神戸高商の四校選手をはじめ本社側から和田副主筆、東口編輯局次長、山田、渡邊東西運動部長、關東蹴球協會より小長谷名譽主事、關西蹴球協會より高田主事等諸氏出席の下に交歡茶話會が開かれた、先づ和田本社副主筆から本社側を代表して何れも各校イレブンの闘志を讃る激勵の辭あり夫に對手を代表して早大不破主將の「力と技を遺憾なく發揮して鋭後の學生らしく闘ふ」と挨拶があり又後田關西蹴球協會理事、川本早大監督の回答挨拶、東口編輯局次長の挨拶があり歡談を盡れ午後四時半散會した

十三日の運動

◇蹴球（關東倶樂部リーグ）
東蹴 4（2―1）1 綱町倶

S15・1・14

S15-1-14

S15-1-15

明大、神高を一、〇で破る
早大まず順当に勝進
本記 関口招待蹴球大會

（明大・大）

明	関	前半	後半	計
大	口	一	〇	一
神	高	〇	〇	〇

（得点者）
明大＝大

（選手交代）
明大＝田島（関口）
神高＝なし

（審判）
主審＝関口
線審＝

7.59
KKM
OFG
33 33

関口招待蹴球大會は二日目の第一試合は記載の通り、雨天中最初のキック明大勝利の裡に開始

明大 一（一―〇）〇 神高

◇…明大は雨上がりの悪コンディションを考慮して、ボールを地面に叩きつけるようなパスを避けて、ドリブンパスを主体とした攻撃法をとり、ボールを持ったまま相手の防禦線を突破しようとしたが、ピッチがよく吸つ込んでいるので、ドリブンパスもスムースに運ばず、ボールを持つ者は直ぐ囲まれてしまつた

◇…神高は雨上がりの悪コンディションを考慮して、ボールを地面に叩きつけるようなパスを避けて、ドリブンパスを主体とした攻撃法をとり、ボールを持ったまま相手の防禦線を突破しようとしたが、ピッチがよく吸つ込んでいるので、ドリブンパスもスムースに運ばず、ボールを持つ者は直ぐ囲まれてしまつた

S15-1-15

※前のページの下段からつづく

拾身の關學

早大つひに無得點

早大對關學戰は雪田、右近、山城三君負傷の下に早大先蹴で開始

關學 2(0—0)0 早大

◇…傳統的の對抗意識に燃え盛る試合だけに兩軍は物凄く張切り、早大は直に左から一氣に關學大陣深く驀進し、頗る好調であつた

◇…この間に示した早大の動きは風下といふ不利な條件に置かれてゐたためにもよるが好調を持す關學大FWの出足に一歩づつ先んじられ、殊にLH井田は田島に度々振られ勝ちでこゝから得點の機會を摑む場合が多かつた。從つて早大のフオアワーズは前衛の機動を殆どもち得なかつた

◇…後半に入つてからの早大は前半戰とは見違へる程に積極的な戰振りを發揮し川島、渡邊兩インナーのキープ力も豐かとなり又OF米谷の中央突破に或はOR高橋の鋭い切込みで關學大に肉薄するなど度々得點の機會を迎へたのであつたが關學大の捨身なタックルに遭つて遂に得點から見放された

◇…試合は前半戰において決したが關學大のこの日の出來榮は今シーズンにおける最高のもので殊にハーフから田邊をORに轉位せしめたのが成功し攻撃力著しく增强したのが直接的な勝因と見られるが、併しバックスもフオアワーズに劣らず、よく早大の攻撃を潰し殊に後半戰において早大の配置なる缺點を危機の寸前に遮斷してゐたのはフオアワーズの健闘と共にけふの殊勳として大きく讃へてよい

◇…これに反し早大はフオアワーズの數が他の負傷のため缺場してゐたので早大獨特のコンビを見せ得ず、又OL加納のタッヂプレーは拙劣で特に好機を逸してゐた【三宅一郎】

【早大】
不破(主)—栗原(高)—川米渡加
GK 7
FB 8
HB 20
FW 10
GK 6
FW 15
井上田(稲)—泉島野(慶)—澤園
中岡(早)—那中小由岡中田備
【關學】

兩軍の代表

東西選抜對抗蹴球戰

東西選抜對抗蹴球戰は來る二十八日甲子園運動場で擧行されるが關東蹴球協會ではこれに出場の關東代表二十五名を十五日左の通り決定發表した

△豊島志郎(帝大出) △主將川本泰三(早大出) △マネヂヤー西松文男(早大)

◇選手(GK)清田(慶)不破(主)(FB)中島(明)加藤(慶)
(HB)田(主)原田(帝)(HB)高島(慶)末岡(早)(慶)
(明)西村(早)三宅(早)田中(慶)(FW)渡邊(早)川本(早出)二宮(慶)添野(慶)小畑(慶)後藤(慶)直木(帝)片岡(明)栗(早)高橋(早)片山(帝)渡邊(慶)

【大阪電話】第九回東西選抜蹴球戰關西側メンバーは左の如く決定

▽監督後藤制雄(關學OB)▽主將右近德太郎(慶應OB)(FW田島(關學大)中村(同)岡野(同)田邊(同)右近(慶大出)小川(神高師)笹山(同)(HB及びFB)岩田(關學大)中村(同)重元(同)鮮井(關學出)水澤(神高師)大多田(同)小川(關大)島津(神高師)(GK)中井(關學大)小畑(神高師)

十五日の運動

◇蹴球(名古屋)
早大 9(2—0 7—0)0 學生名古屋

S15-1-16

◇…ベルリン・オリンピックの蹴球代表選手として活躍した早大蹴球部西邑昌一君は勇敢な"蹴球兵"として稱讃の的となつてゐたがこの程元氣で歸還した

◇…關東倶樂部對東京蹴球聯盟の試合は廿一日午後一時から東大球場で

S15.1.18

關東代表軍勝つ

對大學選抜蹴球

來る廿八日甲子園で擧行される第九回東西選抜對抗蹴球戰に出場の關東代表對大學選抜軍戰は十八日午後二時半から神宮競技場で擧行四對二で代表軍勝つ

關東代表軍 4(2—2 2—0)2 大學選抜軍

【代表軍】
GK 慶(慶)明(早)明(慶)慶(早)慶出(慶)慶(早)
FB 田藤(慶)内島原岡島崎(早)宮畑(慶)
HB 南(本)
FW 津加(慶)織中笠米高篠川二小渡(慶)

【選抜】
GK 田田川(慶)宅中山馬橋(慶)杉谷地湯(慶)
FB 島原石(慶)三田横有高米菊渡(慶)
HB (早)(帝)(慶)(早)(帝)(帝)(早)(早)(帝)(慶)
FW

S15.1.19

選抜軍勝つ

對立大蹴球

關東選抜軍對立大の蹴球戰は廿一日午後二時五分から松丸君審判の下に擧行、選抜軍が大勝した

選抜軍 7(3—0 4—1)1 立大

關東倶樂部

蹴球リーグ

關東倶樂部蹴球リーグ決勝第一日東倶對東蹴の試合は廿日午後一時十五分から東大球場で擧行接戰の末東倶が勝つ

東倶 3(1—0 2—1)1 東蹴

S15.1.22

S15-1-23

關東勝ちに有利

東西對抗野球試合

東西對抗野球試合は新春初興行はれた本社主催第四回朝日招待野球大會と共にシーズン最後を飾るビッグゲームとして二十八日午後一時より明治神宮運動場で擧行される

今年はシーズン初めに於ては關西軍の陣容が整へられ關東軍の衆評に歸するのではないかと豫想されたのであるが愈々二十五日の對抗試合の發表により關東側も安心したり得ずといふ狀態となつて來た、即ち東西學生野球の覇權大戰に善戰して見事カムバック振りを示した關學は職業の朝日招待大會には著るしく攻撃力を增强し殊に投手陣は大を破り關西球界のため氣炎の程を吐き、こゝに東西對抗試合への期待と興味を加重したのである

既に發表された兩軍のメンバーを見るに關西は豫想の如くこの對抗を主眼にしてこれに慶大OB七名、關大小川、關學OB、金井と神戸高商のデーフプレヤーを持つて編成してゐる、殊らくTW線は田島、岡野、中村、田邊の關學の四强と石濱及び神高商宇山のうち一名を抜いて編成されるであらうがOBとはいへ石濱は相變らずオールラウンドプレーヤーとして元氣であり田島、岡野のコンビも既に定評のあるところ、宇山のキープ力且つ又TW線に上つて來た田邊の動きも相當買つてよく、末岡、高島、笠原及び加藤、角、又は中島、關內の市岡關東軍バックスが相當實績があるとはいへ十分拮抗し得ると見られ迫仲の攻防戰が豫想される

さて關東軍TW線はと見ると恐らく右から綾崎、川本、一色、小畑、藤澤（早）の布陣となると豫想されるが綾崎、川本、高橋等の職業な型へが言り多少滑々なる點においてははるかに關西軍を凌ぐものがあり防禦のシューター一色、川本の無類のキープ力と藤澤、小畑のダッシュと何れも中日を誇るインナー・スリーに綾崎、藤澤の兩サイドを配したラインは攻撃的には一分のすきもない黄金線といふべく

たゞ關西TWの比較的チームワークのとれてゐるのに對しさゝか技術的に劣すの感れなしとはしないが、これが見事な連繫の下に各自の特徴を發揮なく發揮し得るならば正に、殊に、あの手、この手と來潮の多角的戰法に攻撃の精華を示し關西軍バックスをして防戰に疲れしめるであらう

關東軍は關西軍バックスが如何にこの關東TWを食ひ止めるかによつて勝敗の運命が決せられると見られるがバックスの中心たるプレヤーが見當らず從つて從らに關東軍TWの戰法に引きずられる感れなしとはいへず此點一抹の不安があるので全體チーム・ワークと連繫な戰法實現を必要とする、結局關西側軍と關東後衛は五分と五分、關東側軍と關西後衛は六分四分と見られ總體的には關東軍に有利と見られる一戰である【東勝】



◇…東京大學蹴球聯盟臨時總會は二十四日夜本社會議室で開催、來年度幹事校を左の通り決定
△第一部早大△第二部慶大△第三部日醫大

S15.1.26

東蹴成城倶を破る

關東倶樂部蹴球第二日

關東倶樂部蹴球リーグ決勝戰第二日の東京蹴球團對成城倶の試合は二十八日午後二時十分から東大球場で關口君主審の下に擧行

東京蹴球團 3（2―1）0 成城倶

S15.1.29

S15-1-29

関東一試合に快勝

東西対抗蹴球、ラグビー戦

『大阪毎日』シーズンの幕を飾る蹴球とラグビーの東西最強対抗戦は日を同じうして二十八日甲子園南運動場に、ラグビーは花園競技場において行われた、蹴球は関東が4対1で勝利し大会記念以来六勝四敗の成績を挙げ、ラグビーは41点15で関東の勝利するところとなり関東は十二勝十二敗という無敵記録を残した

関東・緒先を制す

一球

午後二時から荒川（主）西川、大橋（線）三吉各審の下に関西先蹴で開始

関東 4/2——0/1 関西

◇…関東は直に関西陣に攻め入りGCKを得て先づ関西の心臓を衝からしめインナー迫撃のキープをきっかけに関東とハーフ之に続き一気に関西陣を突破すればバック陣も前線と呼応し W型に布陣してGの関西FWの中堅をカッチリと取り巻いたGCK来両の蹴合の後田に関西側の反撃を許さず関東の組織的攻撃に試合は始められた



前半東軍は西軍ゴール前に襲ふ

◇…18分関東はGCKからの絶好の球を二度も関西バックスと競合ひつゝ審判で見事に勝ちて一球を先取した、39分関西は七度のFKと当山の直接蹴り相当激烈と思はれたがGK豊田が偶然とも思へる好守備に止め、その直後反撃に移つた関東は後崎の中央突破をGK小畑が未然に防ぎ過ぎた際に絶妙に後へ蹴出し来ない絶球を助けた

◇…後半関東は7分に三吉審判に中央を突破しGK小畑を巧みにかはして自ら射門して堂々得点、更に11分後崎の蹴した球を川本敏次のはよくチットに入り関東は遂に大量四点を挙げて早くも勝敗を決した、関西は其後31分関東バックスの巣の様みに乗じて田邊の前衛球を出鼻にかけてフリーに射撃して一球を返し零敗から免れた

◇…試合の経過では関西が勝つまでに関東の攻撃を許すものとは思はれなかつたのであるが試合に現れたところから見れば此の得点差は当然の結果であつたといへる先づFWラインをタイにしても個々の動きの鋭さにおいても関西は関東に一歩を譲してゐた、一方戦力においては関西は関東に比した程の劣るものとは思はれなかつたが関東のため出鼻をかびくやられた感じが結局最後まで附き纏まつたものと見てよからう【三宅二郎】

【関東】

大	大	大	大	大
大	大	大	大	大
出	出	出	出	出
大	大	大	大	大
豊明（慶大）	早川（慶大）	農学（慶大）	農学（慶大）	農学（慶大）
吉原（早大）	末高（慶大）	後藤（慶大）	二川（慶大）	渡辺（慶大）
GK	KK	KK	KK	8
GF	BB	CF	FG	1
GH	HH	FG		2
FW				

（出場選手）
（関東）吉原（早大）末高（慶大）後藤（慶大）二川（慶大）渡辺（慶大）豊明（慶大）早川（慶大）農学（慶大）農学（慶大）農学（慶大）大出（大）大出（大）大出（大）大出（大）大出（大）
（関西）井田（京大）元信（京大）近川（京大）野島（京大）山本（京大）小畑（京大）村田（京大）石小畑（京大）田三（京大）

【関西】

S15-1-30

十四年度蹴球總決算（上）

慶大敗戰の跡

三田〝個人能力の擴大〟必要

新春早々の十四日日曜日に戰はれた朝日招待蹴球、同じく二十八日の東西學生抗戰の二大競技會を最後に事實上第二年度あらゆる意味において多忙だつた蹴球界もシーズンの夢を閉ぢた

書の如き日本蹴球界に記錄を殘すよいスタートを切つた慶大が關東大學リーグ戰にも順風滿帆の快調を續けて、我が球界向上の先驅としてその活躍には各方面から注目され期待がかけられてゐたが、これが十一月初旬の明治神宮大會において朝鮮代表の一倶樂部チーム咸興蹴球團のため惜くも敗れ去り球界に數多の話題と信望を投げかけた前シーズンの總括を行はれた關東大學リーグ戰では明大の敢戰から立直つた早大が最大にいとみかゝつたが早くも最大勝ち、東西學生抗戰ではいさゝか低調の關西代表團擊の挑戰を卻けて最大の驚嘆を與つた

かくていよ〳〵シーズンの大詰となつたが朝蹴球界に不幸事が勃發こゝに三地域對抗は遂に今年は行はれず、折角劃期的飛躍途上にある半島球界のため誠に遺憾であつたが最後の東西學抗戰においては關東軍が個人技にものをいはせて快勝、關西球界の面目に一石を投じて今年度蹴球界の幕ひとなした……といふのが今シーズンの概觀である

右の內容も注目すべきは數大に對する咸興勝利の一點である從來華麗な個人技にのみ生きて來た朝鮮チームが多數の選手を全日本代表重合宿に送り內地チームの持つ良さを採り入れ一體した組織的戰法を身につけて來たのである此の意味で咸興チームは從來朝鮮代表として渡來し來つた何れのチームより優れて言ひよく個人技を組織的戰法に生かした寸分の隙もない攻守にさすがの慶大FWも翻弄の柄なく、バックスも亦その網を衝かれて一敗地に塗れたのである。咸興の驚進こそ朝鮮球界の飛躍を物語り又その多年宿題とされてゐた問題を實行して朝鮮球界の進むべき方向を明示したものとして實に感謝してよく更に今後の活躍に刮目すべき期待がかけられるといへよう

これに對して個人技——殊にプレーの巧——に於て遜色依然たる關東が遂に從前の進歩を示し得ずむしろ現狀維持の態度に在り朝鮮のために先んじられ、こゝ數年辛くも支へてゐた首位を奪ひ去られたことは當然の歸結で、結局限局的プレーも強力な個人的プレーの上にうち築かれなければ異常な躍進は期待出來ないといふことをしみじみと感ぜさせられたのである。

3FB制が消化されて鉄桶の防禦陣が行かれてゐる今日、これを打ち破つて行くには強靭な體力——疲れを知らぬ走力と見事な蹴球力の總動に結まり一段とスケールの大きい優秀な個人技の養成に依つて組の固いプレーヤーを練りあげて攻撃力の增强を計つて行かねばならぬと思はれる

3FB制を制壓すべき攻撃方法は〝個人能力の擴大〟に置かねばならぬといふことが慶大の惨敗から痛切に感ぜられたことであり、これが本年度球界にもたらされた最も大きな收穫と信ずる

もあれ組織的戰法を會得した咸興チームがわが球界の推進力となつたことは十四年度球界において最も注目すべき現象で斯界指導者の留意すべき點であらう

（大藏朝）

S15-1-31

十四年度職業野球総決算 (下)

国の強みと弱味

目立つ攻撃力の低下

ペナント大争覇戦をはじめ国民的な人気を呼んだ職業野球も十四年度を以て一応幕を閉じ、新しい昭和十五年度に於ては更に新たな飛躍を期待されて来たが、スケールの拡大については著しいものがあるが、その内容に於ては果して如何であつたか、十四年度の総決算を行つて見よう

十一 四月五日開幕以来の観衆は実に百万人を突破したが、これは昨年度の約二倍に当り、一試合平均一万人を突破したことになる、これを見ても如何に職業野球が国民の間に浸透したかが判る、又この観衆の増加は各チームの実力が接近して来たことと、ファンの応援団体が各チームに結成されたことに依るものである

十二 四月五日開幕以来の観衆は実に百万人を突破したが、これは昨年度の約二倍に当り、一試合平均一万人を突破したことになる、これを見ても如何に職業野球が国民の間に浸透したかが判る、又この観衆の増加は各チームの実力が接近して来たことと、ファンの応援団体が各チームに結成されたことに依るものである

十三 立教に与えられた"スクイズ"も初期の頃の驚異は全然なくなつた、これはスクイズに対して各チームが研究を積んだことと、スクイズを封じるシニートの守備陣が完成されたからである、今年特に各チームに共通の弱点（但し慶応を除く）として現われたシニーティングレンヂの細かいプレーも昨年度に比べて著しく向上したと見られる

十四 大体リーグ戦後半十五回の頃迄は各チームに強弱の差が判然せず、何れに優勝旗が渡るか判らなかつたが、東大対イーグルスの試合を境として、東大の優勝が決定的となり、後半戦は東大を追う各チームの争覇戦となつた

十五 東大は昨年度の優勝チームとして、今年度は各チームからマークされ、又選手の疲労等から昨年度の様な強さは見られなかつたが、それでも尚且つ優勝したことは、東大の実力が如何に抜群であつたかを物語るものである

十六 東大の強さの秘密は、投手陣の充実と、打撃陣の重厚さにあつたが、投手陣では殊に藤本英雄の安定性と、打撃陣では中堅手の水原茂の打撃力が光つた

十七 藤本英雄は昨年度に於ても最優秀選手に選ばれたが、今年度は更に安定性を増し、殊に後半戦に於ては殆んど敵なしの感があつた、又水原茂は昨年度に於ては打撃成績は良かつたが、守備に於ては拙劣であつたが、今年度は守備に於ても安定性を増し、打撃に於ては昨年度の成績を遥かに凌ぐ好成績を挙げ、東大の優勝に大きな貢献をした

十八 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

十九 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十一 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十二 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十三 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十四 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十五 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十六 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十七 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十八 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

二十九 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

三十 東大の打撃陣は、水原茂、中堅手の今西錬太郎、左翼手の呉波、右翼手の白石勝巳、一塁手の千葉茂、二塁手の苅田久徳、三塁手の青柴進、捕手の土井垣武、藤本英雄の九人が全部三割以上の打率を挙げ、チーム打率は二割八分三厘と驚異的な好成績を挙げ、殊に後半戦に於ては、打線の中心が水原茂から千葉茂に移り、千葉茂は後半戦に於ては打率四割二分を挙げ、打撃陣の中心となつて活躍した

(朝日新聞)

S15-2-5

關東倶樂部蹴球に東倶優勝

第四回關東倶樂部蹴球決勝リーグ最終日の東倶對成城倶戰は四日東大球場で擧行四對零で東倶快勝し三度目の優勝を遂げた

東倶 4（1―0 3―0）0 成城倶

【東倶】内島（思）原丸谷（ル）腰本（正）
中禮（乙）立松小キ（高）竹川加藤
GK 長ネ（思）茂
FB 山
HB
FW
CK 10
CF 10
GK 5

【成城】野田（一）崎 本母（三）見島
岡 張 岡
深山長（法）岡柳長立田渡
2 6 10

S15・2・7

十一日の運動

◇蹴球（關西都市對抗決勝）
神戸 3（0―1 3―0）1 京都

S15・2・12

揭示板

◇…東大蹴球部本年度主將は横山陽三君、マネーヂャーは岡崎恭一君に決定した、尚卒業生の就職先は左の如く決定
岩動洋二（華北交通）大槻忠夫（清水組）栗田正明（三菱商事）吉田正伍（昭和鑛業）大屋房吉（住友鑛業）

S15・2・7

◇…關東高專蹴球聯盟では十四日午後七時から本社七階ホールで總會を行ひ次の諸件を決定した
一、東京醫專の再加盟承認
一、各部幹事校決定❶一高❷東外語❸高農❹昭和醫專

S15・2・15

十七日の運動

◇蹴　球【神戸電話】
關西學院 4―2 神戸外人

S15・2・18

十八日の運動

◇蹴球
横濱外人 15―1 程ケ谷科學研究所

◇…農專向陽の激戰で敢闘した元慶大サッカー部主將大崎辰彌輜重兵大尉の告別式は十八日午後一時から小石川區西丸町の自宅に於て神式により盛大に執行された

S15・2・19

古豪對新鋭

東西OB蹴球兩軍陣容決る

第十回東西OB選拔蹴球戰は來る三月十日午後二時から甲子園南運動場で擧行されるが出場選手はそれぞれ關係役員に於て銓衡中のところ左の如く決定し十九日各々發表された

前回は6―2で關東軍の大勝に歸し結局關東四勝、關西二勝、三引分けといふ戰績を殘した關東軍は竹腰、松丸、竹內、高山、長岡、小川等の連續出場があるに對し關西軍も後藤、西川、赤川、右近、大谷、大橋とこれまた引續き出場で主軸は殆と前回と大差がない、これも事變下の特色といふ事が出來よう、特に目を惹くのは關東軍がHB線に高山、松丸の古豪を据ゑて老巧に物を言はせるのに對し關西軍のそれは新しいOBを拔いて編成してゐる事である、老練と新人OBの激烈たるプレイの對戰でありこの優劣が勝敗を決定づける鍵となるのではなからうか

【關東】▲GK中埜內（文大）▲FB竹內（東大）宮本（實師）乙骨（慶大）▲HB高山（英）（東大）立原（早大）松丸（慶大）長岡（東大）▲FW竹腰（東大）川本（早大）長岡（京大）小川（文大）大塚部（慶大）

【關西】▲GK西川（關學）▲FB後藤（關學）安部（關學）▲HB平井（關學）三田（關學）清水（關學）安居（京大）▲FW赤川（京大）大谷（神商大）吉江（神商大）大橋（關大）平松（早大）右近（慶大）木村（東大）白川（府立工）

S15・2・20

揭示板

◇…明大蹴球部先輩井染道夫君はこの程大倉商事を退き石炭と鰯の採油採肥事業に携はる事になつた

S15・2・21

揭示板

◇…慶大サッカー部先輩山上耕也君は東寶東京撮影所庶務課に勤務する事になつた

S15・2・23

廿五日の運動

◇蹴球
WMW 3（1―2 2―0）2 豐島サッカー
横濱外人 7―1 關東學院

S15・2・26

S15-3-7

關西に稍々有利

東西OB選抜蹴球豫想

關東四勝、關西二勝三引分の後を受けて第十回東西OB選抜蹴球戰が十日午後二時から甲子園運動場で擧行される陽光やはらかに枯芝をうるほす目醒むる後春シーズンに駈けて古豪新鋭入り混つて和やかな裡にも圓熟味たつぷりな技と技の熱が展開されよう

先づFWでは關東の右から小川、長崎、竹腰、川本、加茂（弟）に對し關西は赤川、右近、大谷、大橋、平松とならう

この對陣では關東に正攻法の興味はあるが關西の若さと粘揘りには一日を許し關東が川本、加茂の左サイドを巧みに利して得點機を摑まんとするに對し關西は兩ウイングを思ふ存分に走らせシュート力のあるインナーリーが一勢に飛込んで決めるべくラインのバランスにおいては關西がはるかに良い、關東の上手に較べて關西FWラインの奔放が從にバラ〳〵に壞さなければ關係では關東に歩がある

HB線では笠井、三田、安宮の關西側に動きの鋭さはあるが高山、松丸、立原の關東側若さには一籌を輸するのではあるまいか、FBは關東宮本、竹内に對し、關西後藤、安部で關東のショートパスに關西はロングパスで應戰互に持味を發揮することであらうが關西に力強さを感ずる、然しGK中道（關東）に對し西川（關西）は中庭内が數段優位にあると見られるかく比較して來ると兩軍に一長一短あり而もOB戰のことゆえ如何なるところに破綻の因が潛んでゐないとも限らないが若さと地の利にものを言はせれば關西側に幾分有利と見られる、尙關東代表竹腰主將以下十四名は九日午後一時東京發參加もめ號で西下するが一行の宿舍は甲子園球場である

◇指導員　竹腰重丸、田邊治太郎、工藤孝一、松丸貞一、高山英華、大谷二二、川本泰三

OB蹴球關東軍西下す

十日甲子園南運動場で行はれる東西OB選抜對抗蹴球戰に臨む關東選抜軍選手一行は竹腰主將に引率され九日午後一時東京發急列車で西下した

S15・3・10

蹴球常備軍

日本代表選手決る

大日本蹴球協會では例年の如く昭和十四―十五年度日本代表並に候補選手を選拔これを指導錬成して常備軍たらしむべく過般來十四年度成績に鑑み竹腰蹴球委員長を中心にその銓衡を行つてゐたがこの程理事會の承認を得て代表十三名候補廿七名を決定九日發表した

尙今年六月には東亞競技大會が行はれこの大會に備へるため從來は六月末日發表決定の上八月招集して指導錬成して來た「代表選手候補者」をを今回は代表選手と同時に決定したわけでこれを合同し來る二十二日から四月二日まで東大運動場に「代表並に候補者合同合宿練習」を行ひ指導の上との內から東亞競技大會代表選手を選ぶに決定

日本代表選手並に候補選手及び指導員左の如し

◇日本代表選手【GK】津田幸男（慶大）【FB】菊池宏（東大出）大山政行（東大）【HB】右近德太郎（慶大出）李祐雨（蹴興）米岡榮孝（早大）金容植（普成專出）【FW】篠崎三郎（慶大）金成玕（延禧專出）福澤幸本郎（慶大）二宮洋一（慶大）川本泰二（早大出）金容守（蹴興）

◇代表選手候補【GK】不破整（早大）中垣內勝文（東高師出）【FB】並に【HB】加藤剛夫（慶大）織內雄二（早大）笠原忠（慶大）高島良輔（慶大）田中晉說（慶大）中島秀夫（明大）三宅恒好（早大）岩田綾男（關學大）田島信彥（關學大）玄基榮（普成專出）林明緒（蹴興）盧澤雨（蹴興）【FW】要宗鎬（早大）渡邊義清（早大）高橋英辰（早大）直木和（東大）小畑實（慶大）中村直夫（關學大）宰山知（神高商）金仁錫（蹴興）長崎千代吉（鳥高）野澤信部（松山高）長崎男一（松山高）和江春夫（六高）西川正義（四高）

◇…關東蹴球協會理事東京府警地課勤務の手島志郎氏は今般東京府を辭職し、北支臨時政府建設總署水治課へ勤務する事となり近日中渡支する又同氏務を員長農大專生主事補西川愼二郎氏は日產南洋林業に就職四月早々ダバオに赴任する

S15・3・10

引分の接戰

東西對抗OB蹴球戰

【甲子園電話】第十回東西OB對抗蹴球試合は十日午後二時から甲子園運動場で津田（主）西田、田邊（線）二吾審判の下に關東の先鋒に開始、結局1―1の引分となり關東四勝二敗四引分の成績となつた

關東 1（0―0 1―1）1 關西

| | | |

S15-3-12

新陣容をのぞく

宿題の解決へ

躍進する各校の抱負

蹴球の巻

"職人芸の徹底強化"という大きな宿題を残し乍ら尚もこう東年來蹴球の歩みを続けて來た蹴球界に躍進の氣運を醸成してシーズンを終つた學生蹴球は名實ともに新進を迎へると共に早くも迫る全日本選手權を目へ擡きなき闘志の整備に努めねばならない、わが蹴球界のこの大きな期待と新陣容を通して

先 づ昨年全日本の覇者慶大は無敵の黄金線を誇つたFWから殊勲、小畑の両インナーを失ふこの二人の卒業こそ蹴球力を向上とする慶大にとつては實に痛手に違ひないと感じた、從つてこの補充を如何にするかが慶大の蹴球かかる、OB二宮、OB長崎はこのポジションでより良い素質への向上を期待すべくもあらうが、OB長崎は兼インナーであるからLIに入り、その後には井上が控へてゐるが問題はBIの後釜で慶大關みの一つとならう、さて新年度の布陣如何?と聞へば「各職人のプレーの特長を傷くしてこれに練習の重點的なまとまりをつけて全體を纒めるは勿論、新年度等部、二宮、萬田、加藤、綾部等の開拓を一度に失ふ十六年度の木村(永日)濱野(六部)等で最近高校蹴球の向上により東大もやうやく再興の氣運が巡つて來たやうに思はれる

昨年の成績を顧みて職人校の當なども無論してゐます、各人が高い技術を身につけて後、蹴球力の高揚やチームワークがチームの實力向上に大きな役割を持つと言ひきる"と横山新主將は決意を語り試驗休の二月二十日から練習開始とハリ切つてゐる

明 大はその黄金線を誇つたHBを慶から中島(法)南の選手とFWから山田の二君を失つては立つ瀬はなく勿論二人を失つては立つ瀬はなくその實力は慶大以上のものがある

FWには後藤、米谷、BBには服部、栗原、FBには川野等の新人が起用されようが從來のパック中心から各ラインの連繫強化へと自然戰術も變つて來よう、大蹴半ば主將からなりながら纏つた練習のチームへと心技共に充實力强力愛國が今年の狙ひどころだ

商大はFB二宮の抜けた一人丈夫である、從つて從來の纏まりを一層强化しこれに積極的要素を一段と加ることが出來れば相當期待出來る、牟野主將は

この惡まれた條件の下に蹴球であるシュート力の强化を圖り九十分を闘ひ通す氣力と身體とを養ひたいといつて居る

先 づ昨年全日本の覇者慶大は無敵の黄金線を誇つたFWから殊勲、小畑の両インナーを失ふこの二人の卒業こそ蹴球力を向上とする慶大にとつては實に痛手に違ひないと感じた、從つてこの補充を如何にするかが慶大の蹴球かかる、OB二宮、OB長崎はこのポジションでより良い素質への向上を期待すべくもあらうが、OB長崎は兼インナーであるからLIに入り、その後には井上が控へてゐるが問題はBIの後釜で慶大關みの一つとならう、さて新年度の布陣如何?と聞へば「各職人のプレーの特長を傷くしてこれに練習の重點的なまとまりをつけて全體を纒めるは勿論、新年度等部、二宮、萬田、加藤、綾部等の開拓を一度に失ふ十六年度の

ことを早くも考慮して一層と二層の實力發揮を企畫してゐる」とさすが練習もしく主將ところは遠大である

注 年早慶戰を控へること三週、益しくも常に3-2で勝を慶大に歸つた年大はGK不破、FB前田、HB西村、FW後藤と各ラインから一名づつ四名の戰線を去り、その補充には多大の苦心を要して居ねばならぬ、殊に昨年リーグ戰出場の經驗者が五名揃つてゐるのであるから一層の强化を期待出來るのは勿論である

慶 大の黄金線を誇つたHBに對しLI大橋、OB前田、ひと上級のFW三人で昨年に比べると遜色に感じる點は否めないが、この補充としては比較的は成功が揃り且つ昨年リーグ戰出場の經驗者が五名揃つてゐるのであるから一層の强化を期待出來るのは勿論である

HBの大將又は米谷位なもので特に後衛の充實は相當な期待だFWには後藤、栗、米谷、中林、綾部、杉、BBには本間、二宅、前島、高田、FBには綾西、天野、石川、GKは栗田といふところで、余程大物の新人が入らぬ限りこれ等によつて編成されるだらうが、從つてFWに於てはバランス主義か、インナー或はアウトサイドに强化主義に依つて選ぶかポジションの移動が行はれ興味ある布陣がなされよう

明 大はその黄金線を誇つたHBから中島(法)南の選手とFWから山田の二君を失つては立つ瀬はなく勿論二人を失つては立つ瀬はなくその實力は慶大以上のものがある

FWには後藤、米谷、BBには服部、栗原、FBには川野等の新人が起用されようが從來のパック中心から各ラインの連繫強化へと自然戰術も變つて來よう、大蹴半ば主將からなりながら纏つた練習のチームへと心技共に充實力强力愛國が今年の狙ひどころだ

商大はFB二宮の抜けた一人丈夫である、從つて從來の纏まりを一層强化しこれに積極的要素を一段と加ることが出來れば相當期待出來る、牟野主將は

この惡まれた條件の下に蹴球であるシュート力の强化を圖り九十分を闘ひ通す氣力と身體とを養ひたいといつて居る

さ て次は關西であるが選手權者關學はFWから後藤、岡野、出島、BBから田邊、中村(慶)と殆ど名實ともに五名を失ふ

入學有望者は神戸高商の主將室山が學部志望たが未確定で中等學校からは横田北野(甲陽)橋田正隆(甲陽)高橋(慶中)上松(關西)近藤(北中)神(北中)野々村(明星商)等であるが"投球の向上を目指すは勿論たがそれ以上に若きチームとしての元氣に最も重點を用ひて行かう"というのが現狀だ

神戸高商もFW室山、加藤ほか一名とバックから二名計六名を送り關學に劣らぬ陣容である

この補充は補綴で卒業生に劣らぬもの四名と二名の新人で行ふわけで、新入部員次第で攻撃氣力を期待してゐるとある

京大は伊藤、大澤、吉原、朱、原の五名卒業で攻撃的には攻撃兩面の支柱を失ひ、守備的には最も重要な地位を占めて居た吉原を缺く事になつて

關西商大はHB長崎、青柳の兩君を送り出すのみで關西では最も打擊の少いチームである、而も神戸高商の室山、山口高商の高田、木村、高松高商の小林、關學高商の平井の外今年から豫科が出來てこれに神戸二中賀川、山田等が入學希望して居りとれ等を加へれば確かに關西一より强力な新陣容が整ひ得る

最 後に關西大學はFWから山口、HBから高田(前)の二人を出すが前出の後には有望な豫科の選手が入り得るとは言へ(後)神(北中)野々村(明星商)等であるが、(慶中)上松(關西)近藤(北中)神(北中)野々村(明星商)等であるが"投球の向上を目指すは勿論たがそれ以上に若きチームとしての元氣に最も重點を用ひて行かう"というのが現狀だ

神戸高商もFW室山、加藤ほか一名とバックから二名計六名を送り關學に劣らぬ陣容である

この補充は補綴で卒業生に劣らぬもの四名と二名の新人で行ふわけで、新入部員次第で攻撃氣力を期待してゐるとある

京大は伊藤、大澤、吉原、朱、原の五名卒業で攻撃的には攻撃兩面の支柱を失ひ、守備的には最も重要な地位を占めて居た吉原を缺く事になつて

S15-3-16

特殊銀行蹴球

第二回特殊銀行蹴球リーグ戦は來る十六日から勤銀グラウンドで擧行されるがスケヂユールは左の通り

△3月16日入場式（3時）勤銀對興銀（3時30分）△23日日銀對興銀（3時30分）△30日日銀對勤銀（3時30分）

S15・3・14

關東蹴球協會試合日程

關東蹴球協會定例理事會は十四日午後六時から大日本蹴球協會事務所に於て開催、試合日程を左の通り發表した

◇試合日程△關東實業團蹴球選手權大會、二月二十一日より四月七日△關東六人制蹴球大會、四月七日より四月二十一日△全日本蹴球選手權關東豫選、四月二十七日より五月五日

S15・3・15

關東實業團蹴球組合せ

關東實業團蹴球大會は二十一日午前十一時半から青山師範で第一回戰を開始するが組合せは左の通り

◇一回戰組合せ　3月21日、立川飛行機對日本鑛業（11時30）東京火災對航技（1時）第一生命對日清生命（2時30）マツダ對東京ガス（3時40）3月24日日本徵兵對日本油脂（11時30）日本鋼管對淺野セメント（1時）日立製作對興業銀行（2時30）千代田生命不戰勝

S15・3・17

十六日の運動

◇蹴球（特殊銀行リーグ）
興銀 2（1—1）1 勤銀

S15・3・18

十七日の運動

◇蹴球
慶應外人 5（3—1 2—0）1 保土ケ谷化學

S15・3・21



◇…專大蹴球部昭和十五年度新役員左の通り決定
△代表幹事横山邦一△主將佐々木盛△監督今村正満△マネジヤー1諸方光一

S15・3・22

關東實業團蹴球一回戰

關東實業團蹴球大會第一日は二十一日午前十一時半から青山師範運動場で第一回戰四試合を擧行續左の如し

◇一回戰

立川飛行機	3（1—1 1—1）2	日本鑛業	
航技	2（1—0 1—0）0	東京火災	
第一生命	14（7—0 7—0）0	日清生命	
マツダ	3（3—0 0—0）0	東京瓦斯	

S15・3・22

錬成の徹底へ

けふから愈蹴球合宿

常備軍の確立と第一線選手の技術向上を目標とする蹴球協會の日本代表選手並に選手候補者合同合宿練習は廿三日から四月二日迄東大球場で開催されるが去る十日發表された代表候補者四十名の内、大山（東大）菊池（東大出）右近（慶應出）三代表選手外候補者中就職先の都合その他で參加不可能となつた選手を除く二十名が參加飽くまで錬成の徹底を期する筈

S15・3・23

廿三日の運動

◇蹴球　特殊銀行リーグ
興銀 4（2—0 2—1）1 日銀

S15・3・24



◇…蹴球日本代表選手並に候補者の合同指導合宿は廿七選手參加の下に廿三日から本郷日町榮樂館で開催、二十四日より帝大球場で練習に入る事となつた

S15・3・24

蹴球の春を飾る
關東六人制大會
本社後援で四月七日開幕

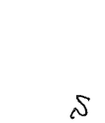
本社後援、關東蹴球協會主催の第四回關東六人制蹴球選手權大會は既報の如く四月七日から青山師範球場で擧行されるが、これが參加申込みはいよ〳〵今二十日をもつて締切ることになつた、各部とも申込みは相當數にのぼるが、この中には新參加チームもあり本年度蹴球界の課題『個人技の擴大強化』を目指して力強いスタートが切られるものと大なる期待がかけられる

S15・3・26

廿四日の運動

◇蹴球
慶應外人 3（2—1 1—0）1 全黒倶
△第二回東地實業團對抗（大阪）
第一生命 1（1—0 0—1）1 オール三菱
△關東實業團第二日
日本油脂 4（2—1 2—0）1 日鑛
日本鋼管 3（1002 0002）2 淺野セメント
日立製作所 棒 日本興銀

S15・3・25



◇…東大蹴球部、關東蹴球部新役員左の通り決定した
【蹴球部】△主將近田俊雄△マネジヤー中村【蹴球部】△主將關五道行△マネジヤー森川△豫科主將中村邦△同マネジヤー大田

S16・3・29

關東六人制蹴球

本社後援、關東蹴球協會主催第四回關東六人制蹴球選手權大會は既報の如く四月七日から青山師範球場で擧行されるが、これが參加申込みはいよ〳〵今二十日をもつて締切ることになつた、各部とも申込みは相當數にのぼるが、この中には新參加チームもあり本年度蹴球界の課題『個人技の擴大強化』を目指して力強いスタートが切られるものと大なる期待がかけられる

S15・3・30

三十日の運動

◇蹴球（特殊銀行リーグ）
日銀 4（4—1 0—2）3 勤銀
△順位 ①興銀一勝一引分②日銀一勝一敗③勤銀一引分一敗

S15・3・31

S15-4-3

六人制蹴球・組合せ決る

本社後援、關東蹴球協會主催第四回關東六人制蹴球選手權大會は七日から五日間に亙り參加四十八チームにより靑山球場に於て擧行されるが、二日本社會議室に主將會議を開き左の如く組合せを決定した

◇第一部（大學高專）

七日 3・40
東京倶成 ┐
日體A ┘ 七日 4・10
早大○ ┐
駿台 ┐
M.T.R ┘ 七日
湘中OB ┐
明大C ┘ 七日 4・40
豐島倶A ┐
東大A ┘ 七日
明大B ┐
法大 ┘ 七日 5・10
早大B ┐
東大B ┘ 七日
埼玉 ┐
早大A ┘ 七日
B・R・B ┐
豐島倶B ┘ 七日 4・40
明大A ┐
日體B ┘ 七日 5・10

◇第二部（實業團）

日立A ┐
第一生B ┘ 七日 10.00
日曹 ┐
マツダ支 ┘ 七日 10.30
日立本社 ┐
千代田A ┘ 七日 11.00
日銀 ┐
千代田B ┘ 七日
中島飛 ┐
日立B ┘ 七日 11.30
醫專病院 ┐
第一生A ┘ 七日 12.00
マツダ ┐
東京瓦斯 ┘ 七日 12.30

◇第三部（中等學校）

青師A ┐
浦和中A ┘ 十三日 2.00
青學中 ┐
府八中A ┘ 十三日 2.30
府九中A ┐
東高等 ┘ 十三日 3.00
豐島師 ┐
附屬中 ┘ 十三日
曙町中 ┐
市二中 ┘ 十三日 3.30
浦和中B ┐
府九中B ┘ 十三日 4.00
府八中B ┐
青師B ┘ 十三日 4.30

S15-4-8

六人制蹴球大會 第一日

本社後援、關東蹴球協會主催第四回六人制蹴球關東選手權大會第一日は七日午前十時から靑山師範球場、第一部四試合第二部六試合計十試合を擧行した、第一部で慶應BRBが今春の卒業生で編成した豐島倶Bに破れ第二部では前年の覇者慶應病院準優勝した外實業團選手權で決勝に殘つたマツダが東京瓦斯に敗れる番狂はせがあつた

成績左の如し

◇第二部（實業團）

第一生命B 2 ┐
マツダ 0 ┘ 0 日立町川
（抽籤勝）

【日本曹達】 【マツダ】
村口平 ┐
木坂 ┘ G
何 ┐
大日津 ┘ F
千代田生命A 6 ┐
1 ┘ 0 日立本社

【千代田生命A】 【日立本社】
藤澤 ┐
森田丸宮 ┘ G
山黒 ┐
倉淵本川 ┘ F
佐小濱 ┐
稻松二 ┘ G
中石小 ┐
早吉荒 ┘ F
日立HP 1 ┐
1000 ┘ 0000 0 中島飛行機

【中島飛行機】 【日立HP】
藤倉島 ┐
水上田 ┘ G
本口野 ┐
鹿川倉 ┘ F
江門大 ┐
湾水蛭 ┘ G
小 ┐
杉山丸宮石西 ┘ F
第一生命A 棄權 慶應病院

マツダ日立決勝へ

關東實業團蹴球

第九回關東實業團蹴球選手權大會第四日は決勝戰は七日午後一時から靑山師範球場で擧行、マツダ、日立の兩チームが勝ち殘り十四日午後二時から爭覇することゝなつた成績左の如し

日立 2 ┐
1 ┘ 0 統技
マツダ 2 ┐
1 ┘ 0 立川飛行機

◇第一部（大學、高專、倶樂部）

東京瓦斯 2 ┐
1 ┘ 1 マツダ

【東京瓦斯】 【マツダ】
勝田野 ┐
谷閒 ┘ G
岡中 ┐
伊岡小 ┘ F
長田 ┐
三村田西竹岸 ┘ G
毛井村 ┐
峯內上 ┘ F

東京倶樂部 1 ┐
1 ┘ 0 0 成城

【東京倶】 【成城】
內原內藤本茂 ┐
中立竹伊川加 ┘ G
藤田田貫湊島 ┐
伊莊本大渡田 ┘ F

日體A 3 ┐
1 ┘ 0 0 WMW

【日體A】 【WMW】
徐（朝）尹（永）永 ┐
崔 ┘ G
谷田野山川保 ┐
水新天村早小 ┘ F
久 ┐
崔 ┘ G

豐島倶 5 ┐
211 ┘ 001 2 BRB

【豐島倶B】 【BRB】
田青山峠湊 ┐
增乙內志渡 ┘ G
木黒島澤木藤 ┐
並小大柳青伊 ┘ F

明大A 3 ┐
1 ┘ 0 0 日體B

【明大】 【日體B】
淺岡島木內福 ┐
渡片中鈴竹米 ┘ G
李碧蹊 ┐
川阿平 ┘ F
村部江 ┘ B

卅一日の運動

◇蹴球（關東實業團大會一回戰）

マツダ 3 ┐
2 ┘ 1 0 日本鋼管
立川飛行機 2 ┐
2 ┘ 0 0 0 第一生命
統技倶 8 ┐
4 ┘ 4 0 0 日本油脂
日立製作 4 ┐
1021 ┘ 0012 3 千代田生命

S15・4・1

S15-4-10

蹴球協會の本年度事業計畫

大日本蹴球協會本年度全國評議員會は七日午前十時から日比谷互助會館で開催理事の互選、十五年度事業計畫を協議九日決定事項を左の通り發表した

◇理事　野村正二郎、野津謙、山田午郎、前田細一、竹腰重丸、濱田諒吉、田邊治太郎、朝生要人（新）（以上八名）監事　新田細興、小長谷兌策、書記長小野卓爾

同引續き開かれた全國主事會議に於て各地方交付金並にボール配給切符割當を次の如く決定した

交付金　ボール切符

關東	八〇〇圓	七四三枚
關西	九〇〇圓	五六一枚
東海	三〇〇圓	一六五枚
北海道	一六〇圓	八二枚
東北	一六〇圓	八四枚
北陸	一六〇圓	六八枚
中國	四八〇圓	一六八枚
九州	九〇圓	四八枚
朝鮮	三〇〇圓	三八枚
台灣	一一〇圓	一二枚

◇協會主催、主管試合日程

△全日本選手權大會＝地方對抗（5月12日）第一回戰（5月19日）準々決勝以後（5月24、25、26日神宮）△3月29日―6月10日日本代表並に候補者第二次合宿（東京）△3月下旬全國中等學校選手權大會（甲子園）△10月28日―11月3日明治神宮國民體育大會及び大會選手練成合宿（東京）△12月8日東西學生對抗（甲子園）△22日關東對朝鮮（神宮）△25日關西對朝鮮（甲子園）△16年1月1日―6日全國高校大會（京都）△1月1日―5日全國專門學校大會（東京）△7日朝日招待試合（甲子園）△2月2日關東對關西（神宮）△3月9日東西OB對抗（甲子園）

蹴球選手權大會組合せ

全日本蹴球選手權大會は五月十九日各地方一斉に第一回戰を行ひ準決勝以後を五月二十四、五、六の三日間神宮球場で擧行するが試合方法並に組合せは左の通り

◇昨年と變更せる點、△關西より二チームを選出す（昨年度は三チームを選出、從つて本大會出場チームは十二となる）△地方對抗戰北海道對東北の勝者を不戰一勝者中に加ふ

◇組合せ▲一回戰（五月十九日）（A）關東A（慶應BBB）對東海、北陸の勝者（金澤又は名古屋）（B）朝鮮A（全普成）對中國、九州の勝者（廣島又は福岡）（C）關西A（關學大）對台灣、關東B州の勝者（大阪にて擧行）△關東A、朝鮮A、關西Aは前年度本大會に於ける優位チームたる爲總選を經ずして推薦されたもの）▲準々決勝（五月廿四日神宮）（D）A勝者對北海道東北の勝者（E）B勝者對C勝者（F）朝鮮B對關東B（G）關西B對關東C。▲準決勝（五月二十五日神宮）D勝者對E勝者、F勝者對G勝者▲決勝（六月二十六日神宮）同二十五、二十六兩日の敗者戰は本郷帝大球場で擧行

S15・4・14

九中B堂々勝つ

關東六人制サッカー第二日

關東蹴球協會主催本社後援第四回六人制關東選手權大會第二日は十三日午後二時より青山師範球場で第三部（中等學校）六試合を擧行青師A對浦中Aは浦中先行して接戰となつたが青師よく頑張つて勝ち八中Aは延長戰で青學中を破り東高等は大接戰の末九中Aを破、市二中はスピードある展開振りを示して曉星中を壓した、九中Bは浦中Bを壓倒一蹴優勝候補の實力を示せば八中Bもよく奮戰して青師Bと延長同點となり抽籤勝を得た、成績左の如し

青山師A 2（1―1）1 浦和A
（審判田村、安田、酒井三君浦中）

S15・4・14

【A先蹴】
井藤田山田【A】埼原田川
吾西小太　森崎
【青G B F】【浦中後藤幸右河G B F】
青師A 1（1―0）0 浦中A

【府G B F】【中A八佐内山原松水】
府八中 2（1100―0000）0 青學中
（審判岩波、安田、桝潟三君、八中先蹴）

【中A八佐内山原松水】【青G B F】【中田學吉鋼大吉村齋】
【府G B F】【東高等】
東高等 1（0―0）0 中府A九
（審判桝潟、安田、岩波三君九中A先蹴）

【青G B F】【高等東】【杉井村二大内】
【G B F】【中A折息山稻銘植】
【九G B F】
山學濃松橋山　本田岸田木野

【市G B F】【一加二岡武坂道】
市二中 2（1―1）0 曉星中
（審判田村、江川、山下三君曉星先蹴）

【中一加二岡武坂道】【市G B F】
藤瓶田田本野
【曉G B F】【中星阿間井石大大】
部井口田浪瀧
曉星中 3（12―11）1 浦中B
（審判關根、高橋、三浦三君九中B先蹴）

【B中杉二黒飯桑淺】【九G B F】
山學濃村原綸
【B浦中宮川松赤田平】【G B F】
野村本羽中野
八中B 1（100―000）0 青師B
（審判關根、高橋、三浦三君八中B先蹴）

【B師青G B F】【師B祝佐大紅村國】
藤竹林上定
【B中八G B F】【中增山村龍酒多】
田田井井井田

S15・4・14

滿洲足球大會【新京特電十三日發】

蹲く紀元二千六百年奉祝東亞競技大會に參加する全滿派遣足球（蹴球）代表選手の銓衡は全滿都市對抗足球大會がこの銓衡をかねて十二日を第一日に十四、五日の三日間新京兒玉公園球場で開催、參加チームは新京、奉天、大連、吉林及び牡丹江省である

S15・4・12

蹴球關東豫選要項

全日本蹴球選手權關東豫選は來る二十七、八、九日並に五月四、五日の五日間に亙り本郷東大、青師の兩球場で擧行されるが、申込は四月十九日迄で主將會議は四月二十二日午後一時から關東協會事務所で行ふ事に決定した

S15-4-15

千代田生命A敗る

関東六人制蹴球第三日

本社後援関東蹴球協會主催第四回六人制蹴球関東選手權大會第三日は十四日午前十時から青山師範球場で第一部二回戰八試合、第二部準々決勝戰を擧行、第一部では東京倶樂部、早大、東大A、東大B等がいづれも優勝候補の實力を發揮して順調に勝ち殘り、第二部では千代田生命Aが六人制蹴球大關の貫祿を作つて日銀を卻け强豪ぶりを發揮したが第一生命Aは東京瓦斯に敗れて善戰はせを潰し結局千代田生命A、第一生命B、日立HP、東京瓦斯が準決勝に進むこととなつた、成績左の如し

◇第一部（大學高等倶樂部）

東京倶樂部 2（1―0 1―0）0 日銀A（審判塚部、茂野、川野三君）

【東倶】GB 内原内茂本暁 F 徐（野）永文（雄）【日銀】GB 徐（雄）永文（雄）F

【東中立】GB 竹加川竹 F【日銀】GB 徐（雄）永文（雄）F

【東倶】1（0―1 0―0）0【日銀A】

MTR

（審判塚部、竹内、立原二君）

【鳥島】島田内田 F【MTR】破原中田隊井 R

【鳥】GB 島田内田 F【MTR】GB 不有田吉瀬長 F

【鳥】1（0―0 0―0）0【MTR】

相中OB（抽籤勝）1（0―0 1―0）1 明大O

（審判立原、不破、田中三君）

【相中OB】GB 遠中三山木上 F【明大O】GB 野田村瀧藍 F

【相中OB】1（0―0 1―0）1【明大O】

【島】B 田田村瀧藍 O【文】野野田 O 文川李野金 中 蘆島田十岩大 A【俱】大茂小野 A

【島】2（2―0 0―0）0【俱】

（審判木内、早野、小熊三君）

【湘】GB 野石部間木谷 A【大】口根九貝川澤 F【明大B】GB 大猪力長笹直大 F

【東】GB 関関越須澤金 F【明大B】1（1000 0000）0 法大

（審判原木、長谷部、大谷三君）

【明】B 野林野部中原 F【大】田野野井永藏 F【法】GB 大今大生服田栗 F【法】GB 永矢河溝安豬 F

【東大B】3（2―1 1―0）1【AWMW】

（審判関口、関根、越元三君）

【東】B 本山田池田馬 A【AWMW】磯堀田 野納 W【WM】W 工内富 杉 下加 F【WM】GB 大岡橋原須福有 F【WM】GB 大岡橋原須福有 F

早大 3（2―1 0―0）0 南玉臨 鄰

（審判原田、福田、岡本三君）

【早】GB 田岡島横台林 大【玉】田久田子磯瀬 田 吉池務崖近池 F【南】GB 島末川高野中 F

◇第二部（準決勝）

【東瓦斯】B 田城島田子藥 B【日銀】口橋渉森田本 命 生北山松山金手 F【第一生命B】GB 一 F【第一生命B】2（2―0 0―0）0 東瓦斯

【千代田生命A】10（5―0 5―0）0 日本銀行

（審判塚部、松島、千葉二君）

【千代田】A 藤藤田丸曽 F【日立】GB 佐小齋田松二 F【日立】GB 関島中三山澤 F

【日立HP】2（0―0 2―0）0 千代田生命B

（審判塚部、松島、千葉二君）

【日立HP】内口倉本山木 B【代千田】GB 大山西根石鈴 F【代千田】GB 千池瀬佐松鈴 F

【東瓦斯】1（1―0 0―0）0 第一生命A

（審判松丸、大森、栗田三君）

【東瓦斯】GB 宇井村上内 A【第一生命A】岡 一 GB 島田塚部森 F【第一生命A】GB 福山大森大 F

S15-4-15

日立助川勝利

關東實業蹴球

關東蹴球協會主催第九回關東實業團選手權大會決勝日立助川對マツダ戰は十四日午後二時十分より青山師範球場で審判宮本（主）白井小宮山（線）三君で擧行、延長の大接戰を演じ結局2―1で日立助川の優勝となつた

日立助川 2（0―0 1―0）1 マツダ

【マツダ】

後半日立風下から猛攻を加へFW陣の突込み鋭く長岡の好パスを日立バックスに潰されては得點の機を逸してゐた、日立もOL大内へ球を集めてチャンスを狙つたが、これ又好機を摑み得なかつた、かくてタイムアップ直前マツダバックよりのフイードを蛭田、長岡、小野谷から再び蛭田長岡と廻し長岡持ち込んで左隅に決め一點先取した

◇…後半日立風下から猛攻を加へマツダは長岡を下げて防戰に努めたが結局29分大内のセンターリングを伊藤ヘツテングして左下隅に決め1―1となる、延長に入つてからは日立益々猛攻の手をゆるめず後半8分左コーナーキックの球をマツダ岡田自陣ゴールに蹴込み自殺の一點で訓歌は日立に擧つた



關東實業團蹴球決勝戰 今を攻撃の立日分三十半後で防ぐよーバーキの夕ツ

関東蹴球協會主催第九回関東實業團選手權大會決勝日立助川對マツダ戰は十四日午後二時十分より青山師範球場で審判宮本（主）白井小宮山（線）三君で擧行、延長の大接戰を演じ結局2―1で日立助川の優勝となつた

日立助川 2（0―0 1―0）1 マツダ

【マツダ】

後半日立風下から猛攻を加へFW陣の突込み鋭く長岡の好パスを日立バックスに潰されては得點の機を逸してゐた、日立もOL大内へ球を集めてチャンスを狙つたが、これ又好機を摑み得なかつた、かくてタイムアップ直前マツダバックよりのフイードを蛭田、長岡、小野谷から再び蛭田長岡と廻し長岡持ち込んで左隅に決め一點先取した

◇…後半日立風下から猛攻を加へマツダは長岡を下げて防戰に努めたが結局29分大内のセンターリングを伊藤ヘツテングして左下隅に決め1―1となる、延長に入つてからは日立益々猛攻の手をゆるめず後半8分左コーナーキックの球をマツダ岡田自陣ゴールに蹴込み自殺の一點で訓歌は日立に擧つた

【日立助川】

◇…前半兩軍ともスピードのある好試合を展開、マツダは長岡持ち込んでは好機を作つたが他の

S15-4-16

野球はどこへ？

六人制蹴球関東選手権予想

去る七日から開幕された本社後援関東蹴球協會主催の第四回六人制蹴球関東選手權も十四日の第三日を以て第一部は二回戦を終り第二部は準々決勝、第三部は一回戦を終了して殘すところ二十、廿一日の兩日となりいよ〳〵勝ち殘つた二十チームに絞つて三つの選手權爭奪が行はれることとなつた

第一部（大學、高等、倶樂部）では東京倶樂部が成城を11―0で破り更に實力と個人技にものを言はせてWMWを3―0で葬る一方、現役チームに相當の苦戰を與へてゐる

續いて東大AはWMW（A）を夫々破り關東蹴球界を風靡した早大と共に現役陣のビッグ3とも見るべく結局東倶を加へてこの四者の爭覇と見られる、東大AはGK濱野を除いては昨年の正選手で編成し、東大Bは昨年のレギュラーにGK岡本と今春浦高から入學した藤田をCFに二新人を加へてゐるが、寧ろB組の方がプレーに奔放さがあり得點力に於てはA組を凌ぐものがあると認められる

從つて準々決勝に於て恐らく法大に苦勝した明大Bを破り一方明大Aを葬つて進出するであらう早大と當ることにならうが、この對戰こそ最も興味がある、更に地方のゾーンでは東倶と關倶の對戰では東倶に分があり、東大Aと明大Cに拮抗の湘南中OBとでは東大Aに勝味があり、準決勝は東京倶と東大Aとならうがこれ又老練と、若さの對立で東大Aが東京倶の調子に引き込まれれば勿論のみはない

第二部（實業團）では第一生命Aが前半圧下の不利からラクオフ直後東京瓦斯に不覺の一點を許し終始東京瓦斯は防戰これ勞めた。とそのペナルティーエリア内で試合を進めながら決め得ず第一生命Aの敗退となり準決勝は東京瓦斯、日立HP千代田A、第一生命Bの四チームで爭はれることになつた

このうち最も強味のあるのは千代田Aで優勝候補の筆頭に擧げられる、相田、松丸、二三のFW線はたしかに實業團としては優秀なもので松丸の中堅における攻撃の指導は二三の難關を強力なシュートと相俟つて得點力を甲分なく發揮してゐる、第一生命Bは新人二名が加はつて元氣なところを見せてゐるが、準決勝に於て到底千代田の得點力には抗し得まい、日立HP倶樂部東京ガス戰は打内一人の東京ガスより平均した實力を持ち體力の續いた日立に幾分分があるが千代田Aの制覇は余程の事故はせが無い限り確定的と見てよからう

第三部（中等學校）では豐師、明治中の實力が未知數なので豫想は困難だが既に試合を行つた內では豐師Aと九中Bが出色の如く見受けられる、恐らく右二チームと豐師の間に爭覇戰が展開されると見はれるが八中A、市二中、八中B、東高等等も相當の活躍ぶりを示すであらうから前記二者といへども安心たるを得まい

先づ豐師Aと八中Aは豐師Aに一日の長が認められるが豐師Aが一寸でも氣を許したら體力もあり相當足の速い八中の猛襲に遭ひかれこは豐師Aの墓穴とはならない豐師對東高等は豐師に歩があり、ここに豐師Aと豐師が準決勝に宿命の戰ひを演ずることとならう

一方市二中對明治中は市二中がスピードもあり足場も相當に呑み込んで味のあるところを見せてゐるので面白いゲームが見られようが九中B對八中Bは體力とキックに優る九中Bに勝味がある、九中Bは豐師A、又は豐師に較べて比較的楽に決勝進出の機運に惠まれてゐるから豐師A、豐師何れも決勝に顏が合はつて元氣なところを見せてゐるが、準決勝に於て到底千代田の得點力には抗し得まい、日立HP倶樂部東京ガス戰は打内一人の東京ガスより平均した實力を持ち體力の續いた日立に幾分分があるが、



S15-4-18

◇…明大蹴球部先輩南洋拓殖社員伊藤進君は久保田よし子孃と婚約整ひ小長谷新太郎氏の媒妁で來る廿二日午後六時から芝紅葉館で華燭の典を擧げることになつた

勝ち殘る

六人制蹴球準々決勝

本社後援、關東蹴球協會主催第四回六人制關東選手權大會第四日は二十日午後二時四十分から青師球場で第一、二部準々決勝八試合を擧行、第一部では豫想通り東京倶東大A、東大B、早大の四チームが順當に勝殘り準決勝に進出することになつた

◇第一部

東京倶 3（2―0）0 關西倶
（内藤、原、藤本、山口、高行、竹川）
（田島、内林、田田、星中、木小、山上）
GBF GBF

東大A 3（2―0）0 湘南中
（1―0）
（田石、部間、木谷、大濱、刀長、笹原、大）
（澁島、田十、佐岩）
GBF GBF

東大B 5（5―0）0 明大B
（0―0）
（本田、山池、田馬）
（野野林、原中部、横菊、福清）
GBF GBF

早大 1（1―0）0 明大A
（0―0）
（今生、大栗、田服）
（岡原、横菊、福清）
GBF GBF

◇第二部

青師A 4（1―0）0 八中A
（3―0）
（井藤、田田、山田、白齋、黒西、小太）
（木藤、下川、平城、佐内、山顯、松結）
GBF GBF

豐師 1（1―0）0 東高等
（0―0）
（島、崎西、谷橋、浦）
（山澤、瀬木、橋、山、杉井、村荒、大内）
GBF GBF

市二中 1（0―0）1 附豐中
（0―0）
（0―0）
（須、大藤、大高、三）
（波上、田川、本田、加岡、二道、坂武）
GBF GBF

府九中 2（2―0）0 府八中
（0―0）
（中藤、田振、野本田）
（市）（中、志川、栗石、佐荘）
GBF GBF

（附豐）
（山澤、瀬村原、輪）
（中杉、二黒、飯桑、浅）
（八増、山村、鶴馬、多）
GBF GBF

S15-4-21

滿洲蹴球代表

【新京發電十八日發】東亜競技大會代表選手の銓衡を兼ねて去る十三、四、五の三日間新京で開催された全滿洲對抗蹴球大會の結果選拔された滿洲國代表候補選手二十二名が決定され滿洲體育聯盟より十八日左の如く發表された

△GK 馬（大連）王國（新京）

金成（新京）△FB李致（新京）洪（新京）李也（新京）郭義（新京）金基（新京）孫寬（新京）史（大連）王壽（奉天）陳（大連）△FW李萬（新京）根來（新京）朴（牡丹江）郭福（新京）金矢（新京）孫世（大連）譚（大連）曠（新京）朱（新京）

S15・4・19

S15-4-22

東京倶に凱歌

二部は千代田A、三部は青師A

六人制蹴球選手権



泥濘中の熱戦＝早大對東京倶決勝
後半七分東京倶楽部ゴール右角に攻む

關東蹴球聯盟主催、本社後援第四回六人制蹴球關東選手權大會最終日は廿一日午前十時から霏雨を衝いて青山師範蹴球場で各部とも準決勝より擧行結局第一部では東京倶と早大勝ち殘り惡コンデイションにも拘らずグラウンド一杯にスピードある熱戦を展開の末凱歌はベテラン東京倶に擧り、第二部では千代田生命Aよく一點先取日立Hの猛撃を凌いで勝ち第三部では青山師Aが斷然たる強味を示して市二中を擊破、榮冠を獲得した成績左の如し

◇第一部（大學、倶楽部）準決勝

東京倶 2（1―1）1 東大A
（審判乙骨、宮本、關根、與口三君、東大A先蹴）

【内原内英本茂
【東京倶 山
【G B F

◇決勝

東京倶 1（0―0）0 早大
（審判宮本、關根、與口三君、早大先蹴）

【田川岡谷 綱
【早大 島石末高米 喜
【G B F

◇前半4分ゴール前混戦から早大高橋のシュートはキーパーの逆を衝き入つたかと思はれたがグラウンド惡くボールが轉ばずストツプして惜しくも機を逸す8分東京倶川本持ち込んで好センターリングしたが加茂惜しくも流す

◇後半1分東京倶右40ヤード附近にFKを得、立原から加茂と渡り加茂フリーシュートしたがこれも球が轉ばず好機を逸すその後一進一退を續ける内7分左40ヤード附近から加茂ドリブルで進みシュートすれば右下隅を破り東京倶一點先取此まゝ押し切つて東京倶優勝す、東京倶の勝利は全く老練にものをいはせたもので特に川本、加茂のコンビは現役を凌ぐ動きを見せてゐた

◇第二部（倶楽部）準決勝

千代田A 7（4―0）0 第一生命B
（審判笠間、村上、吉松三君、千代田A先蹴）

【内原内英本茂
【東京中立竹高川加
【G B F

【A 藤巻藤田丸宮
【千代田佐小斎稻松二
【G B F

【B 本山田池田馬
【早大 島石末高米 妻
【G B F

【A 野石部間木谷
【東京力長管恒大
【G B F

【子島城田中崎
【第一生命 金松山山長
【G B F

【本林田田内木
【日立 杉小柴藤大鈴
【G B F

【B 本山田池田馬
【東京瓦斯 先
【G B F

【紀井村上内岸
【東京 三村田岸竹西
【G B F

◇決勝

千代田A 1（0―0）0 日立H
（審判乙骨、關根、與口三君、千代田A先蹴）

【A 藤巻藤田丸宮
【千代田佐小斎稻松二
【G B F

【P 本林川田内田
【日立H 杉小石藤大柴
【G B F

◇前半キックオフ直後千代田二宮持ち込んだ球を稻田、松丸と廻し松丸のシュート決つて一點先取、その後一進一退を續けてゐる内、松丸、二宮二人持ち込んでフリーシュートしたが球が重くて決まらず

◇後半に入るや日立押し續け、千代田は松丸下つて防戰に努め遂に得點なく千代田に凱歌擧がる日立は體力優れ後半優位を保ちながら惜敗したが前半開始直後その責を負かれた不覺が勝敗を決したものといへよう

◇第三部（中等）準決勝

青師A 2（0―0）0 雲雀師
（審判藤部、山田、長崎三君、雲雀師先蹴）

【A 井藤田田山田
【青師 白齋畠西小太
【G B F

【雲雀丘高校 崎津西谷福橋
【G B F

市二中 2（0―0）1 九中B
（審判宮本、關根、與口三君、九中B先蹴）

【藤瀬原田田本
【市二中 加二條岡武坂
【G B F

【B 山澤澤村原鈴
【九中 杉三栗飯桑淺
【G B F

◇決勝

青師A 5（3―0）0 市二中
（審判與口、宮本、關根三君、青師A先蹴）

【A 井藤田田山松
【青師 白齋畠西小吉
【G B F

【藤瀬原田田本
【市二中 加二條岡武坂
【G B F

◇前半4分小宮山中央からドリブル、ゲリマークとなりシュート決まり一點先取6分西田持ち込んでセンターリングすれば小宮山飛び込んで決め更に7分小宮山から吉松と渡れば吉松タツクルをはづしてドリブルシュートし3―0と引き離す

◇後半6分ゴール前混戦から青師西田拾つてシュートた下隅を破る、尚青師繰返を續けタイムアップ直前、小宮山から西田に廻し西田シュートして決め青師優勝す、結局勝敗は實力の差であるがこれに體力の差が加はつて得點差を大きくしたもの、市二中は疲勞困憊して準決勝に示した如き力量は見られなかつた

S15・4・22

全關西學生蹴球

【大阪電話】第五回全關西學生蹴球トーナメント第一日は二十一日花園競技場において第一回戰を擧行成績次の通り

京大 3（2―0）1 阪大
（1―1）
神商大 5（0―2）2 同志社
（5―0）
關學 3（3―0）0 神高商
關大 棄權 京都醫大

S15・4・22

S15-4-23

六人制蹴球の新傾向

個人技の擡頭へ

漸く軌道に乗つたゲーム

去る七日から参加四十七チームにより青蹴球場に展開された本社後援、関東蹴球連盟主催の第四回六人制蹴球関東選手権は第一部東京倶楽部、第二部千代田生命A、第三部青山師範Aの優勝するところとなり進歩の著しき試合がスピーディーとなりグラウンド一杯を使用して試合を運行してゐることが認められ、從來の不自然さ、窮屈さやつてゐるといふ感が少くなつたことである、これは正確なパスワーク、ポヂション、判斷の敏捷、耐久力の養成に心掛け、急速なテンポに順應する個人技の調和點の上昇に努めてゐる證左に外ならないと思ふ

絶好のロングパス、動の良い展開、不屈の耐久力等が屢々示されたことは個人技の擴大に六人制蹴球が進歩してゐるところの大なるを察知し得た

試合がスピードを加へグラウンドを縱橫に利用しての動きのある態勢、やりは見る目に非常に面白味を加へて來た證言すれば六人制蹴球獨得の味が出て來た

第一部の決勝試合東倶對早大の試合等あの迫力を缺いての對戰にも拘らず十分見應へのあるものであり"時間が短い"の聲を聞き得た證である、又中等學校に於ては下位校の技術向上に非常に役立ち時に十一人では選手の不揃ひのため十分試練を示し得なかつたチームが六人では相當強力チームを組織し得て好成績を擧げこれに刺戟されて十一人のチーム力向上に寄つて力があつたことも見逃せない

六人制蹴球はあくまで正規蹴球の補助的なものとして發達しなければならぬが、そこにはそれ自體に面白味があり興味が湧かなければその發展は十分に期し得られないと思ふ、この意味において今大會に現れたこれ等の傾向は最も良い新傾向と見るべきであらう、兎に角これを基礎に個人技擴大を目指す六人制蹴球がその軌道に乘つて來たといふことに歸着してよからう、と思ふ

第一部に於て前回と同樣に今年も決勝戰に東京倶が早大を破つてこゝに又もOB望に凱歌が擧つたのである、老練さ、個人技の優秀さが如何に六人制に於て優位を保ち得るかゞこれに依つて明らかにされた、若さをもつてしても勝ち得なかつたことは個人技に於て遙かに劣ることを立證したものでこゝに個人技の重要性を痛感させられた學生球人のもつて銘記しなければならぬ點である、次にタイムアップ直前に試合を失つたものに早大對明大戰の明大、豐島師對東高等、又キックオフ直後點を擧かれそれが勝敗を決したものは對千代田A戰の日立HP、對東京瓦斯戰の第一生命A、對市二中戰の九中B等で不覺の油斷から敗戰の憂目を見てゐる、これを見ても不斷の注意力と粘り、旺盛なる闘志が如何に必要のと見るがこれは個人技擴大の今大會では決らぬところ、今少し攻撃精神の發揮が必要ではあるまいか、日立HPは優秀な體力と平均した技術を持ちながら十分發揮し得ず千代田に點を擧かれて敗れ去つたのは第一生命Aの東京瓦斯に對する不覺の一敗と共に惜しむべきものがあつた

第二部では青師Aが斷然強く技術體力共に拔群で、懸念された精神的破綻も見せず順當に優勝した、豐田、小宮山の投は中等級としては出色のものであつた

市二中は武田のスピードある攻防が特に日立九中Bは憑かれた觀あり良いキックを持つてゐたがバックスの脆弱さが市二中に降る因をなした、對蹴中も洗練されて來たが迫力に缺けてゐた

全般的に見て向上の一途を辿つてゐるが未だバックスが攻撃に加つた場合パスがスピードを缺いたり各自の動きに緩急の變化に乏しかつたり種々缺點も見受けられまだまだ研究の餘地は多くあるやうに見受けられた〔天勝朗〕

S15.4.24

蹴球關東豫選組合せ

全日本蹴球選手權大會關東豫選は來る二十七日から擧行されるが、組合せは左の如く決定した

◇4月27日【一回戰】
(A)千葉醫大對WMW（2時）
(B)文理大對日體（3時30分）

◇28日【一回戰】
(C)立大對明大（0時）
(D)MTR對慶大（1時30分）
(E)豐島對東大（3時）

◇29日【二回戰】
(F)商大對A勝者（11時）
(G)東京蹴對B勝者（12時30分）
(H)C勝者對D勝者（1時30分）
(I)E勝者對東大（3時）

◇5月5日　準決勝と決勝

東亞大會 中華蹴球

【南京廿四日發同盟】東亞大會漢口チーム對南京チーム戰は廿四日午後四時半から陸官學校球場で擧行、2對1で漢口の勝利に歸した、この結果漢口選手十一名に南京選手五名を加へた混合チームを以て近く上海チームと戰ひ優秀選手を選拔して代表チームを編成する

S15.4.26

S15-4-28

全日本蹴球關東豫選

第六回全日本蹴球選手權大會關東豫選第一日は二十七日午後二時から豫定通り一試合を擧行成績左の如し

W・M・W 2 (1―0) 0 關大
(審判渡水、西田、細田三賢、WMW先發)

【WMW】田川野原岡島西 本橋淡 澤 川高加 6 2 2
【GK】【FB】島石矢立米川河 【WM】
【HB】【FW】
【曾】澤島原本田石村原山 2 0 20
【能】谷中瀬岡石大杉藤氷加保

文理大 4 (4―0) 0 日體
(0―0)
(審判立原、米谷、小久保三君 文理大先發)

【大】局幡澤崎浦村部林永藤原
【理】大佐阪原松中高小松片柳 3 0 5
【文】【GK】【FB】【HB】【FW】 【OK】【FK】【GK】
【日】【體】 2 1 19
【日本體育會】幡村倉部陽甲斐
【關西學生】野河永橋村倉部陽甲斐

S15-4-29

全日本蹴球關東豫選 第二日

第六回全日本蹴球選手權大會關東豫選第二日は二十八日午後零時から豫定通り蹴球場で明大對立大、慶大對M・T・R、東大對豐島倶の一回戰三試合を擧行、立大は終始壓迫を續けながら惜しくも明大に降り慶大はM・T・Rに辛勝すれば東大は豐島倶を十對零と大差で部けた戰績左の如し

明 大 3 (2―0) 1 立 大
(1―1)
【明 大】
【立 大】
本野林原中部島內野木
【GK】【FB】【HB】【FW】 1 6 21
松生小奥田服米中竹成鈴 【CK】【FK】【GK】
【GK】【FB】【HB】【FW】
石 崎谷田藤上藤田仁田 5 0 2
白 岡繩武海井齋狼今內 【CK】【FK】【GK】
【立 大】

慶 大 1 (1―0) 0 M・T・R
(0―0)
【慶 大】
【M・T・R】
家田野谷池水上島部井田 4 9 7
【GK】【FB】【HB】【FW】 【CK】【FK】【GK】
大前藤三尾滿井大服宇澤
【GK】【FB】【HB】【FW】
綾山平木澁中林田井齋原 2 5 16
不小紀青渡田小吉長藤上
【M・T・R】
東 大 16 (6―0) 0 豐島倶
(4―0)

全日本蹴球關東豫選 第三日

野田部石田馬池木野間谷 【東 大】 5 3 4
【GK】【FB】【HB】【FW】 【CK】【FK】【GK】
澁原長方島有翁恒大世大
【GK】【FB】【HB】【FW】
木口島澤根滿澤川幸澁 1 4 23
並関大津関二小松滿金伊
【慶 應】

全關西學生蹴球第三日

【大阪電話】全關西學生蹴球トーナメント第三日は二十八日午前十一時から花園競技場で準々決勝戰を擧行、降雨のため惡コンディションで試合は何れも混戰となり關大は昭和二年來初めて京大を破つた

關 大 4 (1―0) 0 京 大
(3―0)
【關 大】
【京 大】
田田谷川福田藤村 李林 野
【GK】【FB】【HB】【FW】 【CK】【FK】【GK】
吾山福小安四上里三 杉 10 0 13
田橋井崎崎野橋村本井內 4 4 18
鳴高今百瀨岡高川西金河

關 學 4 (1―0) 1 關 大
(3―1)
【關 學】
【京 大】

昭和高商 5 (1―1) 3 神商大
(4―2) 神戸工

商大惜敗す

蹴球關東豫選

第六回全日本蹴球選手權大會關東豫選三日は廿九日午前十一時から豐島倶蹴球場で準々決勝四試合を擧行

WW・M 3 (1―0) 2 商 大
(0―0)
【WW・M】
【商 大】
文 大 6 (4―0) 1 東京蹴球團
(2―0)
【文 大】
【東京蹴球團】
明 大 1 (1―0) 0 慶 大
(1―0)
【明 大】
【慶 大】
東 大 3 (2―0) 0 早 大
(1―0)
【東 大】
【早 大】

關學優勝す

【大阪電話】全關西學生蹴球トーナメントの最終日は二十九日花園競技場で擧行

◇決勝戰

關 學 4 (1―0) 1 關 大
(3―1)
【關 學】
【關 大】

東亞大會華北蹴球代表

【北京廿九日發同盟】東亞競技大會蹴球、蹴球華北豫選は二十八日午後二時より先農壇競技場で擧行試合終了後競技委員會を開き左の如く華北選手を決定した

◇蹴 球

北 京 3 (2―1) 3 天 津
(1―1)
【北 京】
【天 津】
◇蹴球【FW】姜潤、孫滿年、于復曦、孫幸來、朱成明、孫永泉【HB】曾肇仲、劉順祺、李永康、李鉄林【FB】周彼得、李潤玉、李成宣【GK】徐光復、李惠鳳

S15・4・30

東亞大會蹴球競技に中國棄權か

【南京廿三日發同盟】東亞大會中國參加準備委員會第六次會議は卅日午後開催、新中國體育協會々長楊民誼氏議長となつて協議の結果中華蹴球チームは實力に乏しいので棄權することに決定、なほ中華選手團は五月二十七日出發、六月二十二日歸國することに決定した

S15・5・2

蹴球關西代表

【大阪電話】關西蹴球協會では二十四、二十五、二十六の三日間明治神宮競技場で行はれる第五回全日本蹴球選手權大會に出場の關西代表Bを銓衡委員會で審議の結果關西大學と決定した

S15・5・3

◇…慶大ソッカー部本年度新役員は左の如く決定した
△主將加藤駒夫△副將二宮洋一津田幸男△マネジャー尾池節△幹部後崎二郎、笹原俊、服部元

S15・5・3

◇…慶大サッカー部では包頭戰で散華した先輩大崎辰彌大尉の追悼試合を五日午前十時から日吉台で催すが恒例の蹴球祭當日現役OBの紅白試合を午後二時から行つてその靈を慰める事に決定した

S15・5・4

S15-5-6

WMWと東大優勝

全日本蹴球 關東代表決る

全日本蹴球選手權關東豫選最終日は五日午後一時から神宮球場で代表決定戰WMW對東大、東大は明大の一試合を殘行、WMWに對する東大は一點の差で勝いたため試合は全く一方的となつてWMWが壓勝し、東大は明大は引分に東大の勝利となり東大々代表と決定した

◇A級戰

WMW 3(2—0 1—0)0 東大

(得點者)高山(WMW)宮地(東大)

(WMW先發)

田川野原岡島谷 本橋

島石矢立澤川米 川島加

GK FB HB FW CK GK PK

島藤崎浦村和林永(藤原)

大伊佐濱松中多小松(近藤)

(東大)

◇A級戰

東大 4(2—1 2—0)1 明大

(得點者)濱崎、關、山口三(關)

(東大先發)

岡田部石山馬澁木野間谷

濱原長力福有榮(眞矢原)

GK FB HB FW CK GK PK

本林野原中島野部內木(關)

松小生栗田中武眞介崎米

(明大)

全日本蹴球東海代表は濱松高工

吉原電話】全日本蹴球選手權東海豫選決勝は五日午前十時から名古屋高工運動場で擧行濱松高工が優勝した

◇準決勝

濱松 4(1—0 3—0)0 名古屋

濱松 2(0—0 2—0)0 高師

◇決勝

濱松 3(2—0 1—0)0 高師

十一日の運動

◇蹴球

東外語 3——1 大倉高商

S15・5・12

十二日の運動

◇蹴球

早二軍 7(3—0 4—0)0 法ナ

(關東學徒樂リーグ)

東 0—7 明 榮

(大阪學生トーナメント決勝)

關 大 11——2 昭和高商

(全日本選手權一回戰)

濱松高工 4——0 富山高校

(東海) (北陸)

S15・5・13

慶大ソッカー部渡支

學生蹴球界のNO1である慶應ソッカー部ではかねて今夏中華民國青島市青島新民社報の招聘に依る支那遠征を計畫中の所此程交渉成り大日本蹴球協會へ遠征許可方申請して來た、協會では近く理事會を開いて正式許可する筈で

內定スケジュールに依ると七月廿、廿一或は廿七、八の兩日靑島に於いて全靑島、全北京兩チームと試合を行ふ豫定

S15・5・17

蹴球北海東北代表は東北大

【仙台電話】東北帝大對北大蹴球定期戰は十九日東北全日本蹴球選手權地方對抗を兼ねて擧行の豫定であつたが十七日北大側から全日本豫選出場を辭退し東北大が北海道東北代表權を獲得した

S15・5・18

十八日の運動

◇蹴球

東外語 4——0 明治學院

S15・5・19

全日本蹴球第一回戰

全靑成2—0全滿島

【靑島電話】第六回全日本蹴球選手權大會第一回戰全滿島(中國九州代表)對全靑成(朝鮮代表)の試合は十九日午後二時から滿島高校グラウンドで開かれた

全靑成 2(0—0 2—0)0 全滿島

慶大16—1濱高工

【名古屋電話】全日本蹴球選手權第一回戰は關東代表慶應BRB對東海代表濱松高工戰は十九日午後一時半から濱松高工球場で行はれたが16——1で慶應勝つ

慶應 16(5—1 11—0)1 濱高工

朝鮮代表決定戰

【京城電話】第六回全日本蹴球選手權朝鮮代表決定戰は十九日京城で擧行、全滿勝つ

全滿 1(0—0 1—0)0 成興

S15・5・20

十九日の運動

◇蹴球(關東學大リーグ)

慶大醫 3——1 慈大

(關東大學醫科リーグ)

慶大 3(1—0 2—0)0 明大

醫科

S15・5・20

全日本蹴球準々決勝以後組合せ

蹴球選手權は來る廿四、五、六の三日間に亙り準々決勝以後を神宮外苑競技場に於いて擧行するが組合せ及び時間は左の通り

◇第一日(二十四日)△準々決勝(午後1時)【A】東北大對慶大【B】關學大對全靑成【C】WMW對全滿【D】關大對帝大

◇第二日(廿五日)△準決勝(午後2時)A勝者對B勝者、C勝者對D勝者△敗者戰

◇第三日(二十六日)(午前9時)△敗者戰△決勝

S15・5・21

對獨蹴球に伊太利勝つ

【ローマ五日發同盟】ドイツ對イタリー蹴球定期戰はミラノに於て擧行、イタリアの勝利に歸したイタリア3(2—1 1—1)2ドイツ

S15・5・7

S15-5-22

全日本蹴球代表

陣容を並べる八代表

慶大對全早大戰か

全日本蹴球選手權大會は去る十九日で地方における第一回戰を終り、昨年の覇者慶大BRBをはじめWMW、東大（以上關東代表）關學大、關西大（以上關西代表）東北大（東北、北海道代表）全早稻（以上朝鮮代表）の八強が參集。廿四、五、六の三日間神宮競技場で擧行される

○…今年の本大會に缺けられた最も大きな期待は昨秋明治神宮大會に朝鮮代表として出場、破竹の勢ひを以つて內地軍を席卷し決勝に慶大BRBを一蹴して蹴球ファンを待ち去つた咸興蹴球團が再び完璧に近い攻防ぶりを發揮してくれることであつたが、不幸咸興軍は都合でHB朴、CF車等數人のチーム主力を缺き豫選において全早稻のため110で敗れ去つた

從つて關西代表の關學、關大は勿論、昨年の覇者慶大BRBも兩インナー番號、小畑が現役から退き練習不足を囘つて居りWMW、東大又進步著しきものを見られぬにおいてはいさゝか全日本選手權の名に對して疑問の感を深からしむるものがある

○…さて既に組合せも決定してゐるので之に依つて豫想を試みよう先づ準々決勝慶大BRB對東北大は問題なく前者の大勝であるべく又全早稻對關學大は關學大が昨年のチームから梅園、田島、岡野、田邊、中村（信）等の主力を失つてゐるに對し全早稻は金容植コーチの下に獨得の強引さを持つ早稻專門の現役チームであるだけに幾分全早稻に分がある、たゞ關學は神宮商からFWに宇山が加はつて居り、FB線を突くかつと思のミスを待ち宇山を中心にして案外脆い早稻守備陣の隙を衝く戰法に出でこれに關學獨得のオープン戰を織込んで戰ふなら善戰が期待出來る

○…續くWMW對全早稻は大會白眉の對戰が展開されるものと期待される、全早稻は早稻專門の現役に金成汗、韓德鐵等のOBを加へてゐるだけに全早稻よりは遙に組織的戰法を心得て居る、これに對しWMWは早大の現役に川本、立原の兩巨擘、今春卒業の西村を加へてゐるが襲が練習不足であり、加茂が都合で出場出來ないから米谷の進境は認めても川本、高橋だけではFW線にいさゝか練不足の感がある、これにGK、FB線に缺があり、從つてWMWとしては立上りに川本の個人技にものを云はせて優先を誇して先取得點を狙ひ試合を有利に運んで逃げ込の戰法を採るであらう、WMWが逆にリードを奪はれゝば金成汗、韓德鐵等の決定力を益々發揮せしめる慮れがありかうなると勝利は延長のものだ

○…東大對關大は新人を加へて伸びつつあるを感ぜしむる東大に勝味が多い、雌決勝に於る慶大BRBと全早稻も面白い一戰だ等慶、田中、高島とBRB攻守の樞軸をなすHB陣と強引を武器とする關內大中心の全早稻守備陣に對し兩軍FW陣の突撃戰に勝敗がかけられるが、二百、後崎に播磨、右近等を加へたBRBのFW陣の方が足業に長じてはゐるもスムーズさを缺く全早稻FW陣よりは有利であり更にGKに名手吉田を控へてゐるだけに先づBRBの決勝進出と、ならう、全延禧又はWMW對東大では東大に勝味は少い

結局慶大BRB對全延禧又はWMWの決勝とならうがWMW對慶大BRBでは慶大BRBに分があり全延禧對慶大BRBとなれば全く豫斷は許されなくなつて來る

○…全延禧のスピードのあるオープン戰法或は個人技に依る中央突破力とBRBのFW陣の巧さ、組織力との戰ひだが問題は全延禧が如何に組織力を身につけてゐるか又BRBが穴のない全延禧の守備陣に對して積極的攻撃方法をどこまで發揮出來得るかに在る、たゞ半島チームはリードされると反撃する氣力を缺く點に不安があり全般的に見た場合BRB有利が考へられる、何れにしても接戰とならうが全日本選手權決勝に相應しい內容のある戰ひを期待したいものだ（天鐵明）

比島蹴球遠征 『マニラ二十一日發同盟』東亞大會比島蹴球代表は十九日カルボコーチ以下選手十一名、補缺二名を決定したがラクソン、キャニラスを遠征として追加した

S15.5.22

S15-5-25

全延轟敗退す

全日本蹴球選手權 第一日

第六回全日本蹴球選手權大會第一日は二十四日午後一時から神宮外苑競技場で準々決勝四試合を擧行この日WMWは優勝候補全延慶に先行されながら直ちに作戰通り川本の個人技に依り一點を奪ひかへしてリードしそのまゝよく押し切つて快勝を博し結局四強は關東三代表と朝鮮代表となつた



WMW對全延轟（前令七分全延轟のシユートなるも）

慶大 3 2 1 0 0 東北大
（○島山忠、荒水、鈴木三吾各判）
【慶大】部岡川田甲場田川部貫村
【東北大】色鳴石池邊大本山岡志中
GK B HB FW FW
CKK CFG
2 2 20
4 2 3

◇…慶大は一吉負傷のため松丸をCFに島島をILに新編成で出場したが前半は殆ど見るべきものなく後半稍その片鱗を示したが一級に生彩を缺いてゐた、東北大はよく纏つて居り善戰したが敵ゴール前に於いてFWの出足鈍く終りもなく遂に零敗を喫した

全普成 1 0 1 1 關西學院
（抽選勝、荒水、鈴木三吾各判）
【全普成】學勝鎭大崔【關西學院】明鶴古浦藤
GK B B H FW
CKK CFG
1 14 23
1 5 16

◇…前半全普成、速い足にものをいはせて持ち込み巧二関拳ゴールを脅かせば関拳又執意の長駆を放つてはラッシユして應戰、30分関拳室山ゴール前混戰中からシユートを放てばGK李よく摑んだが轉んでハンブルし、これを内本突込んで一點先取

◇…16分全普成IR黃ゴール前混戰から拾つて強駆を放ち右下隅を破つて1―1全普成なほも押し絡け関拳をして立ち直る余裕なからしめたが辛うじて守り通し延長戰となる

◇…関拳はよく自らの力量と特徴を知りこれに即應した守りと長駆戰法を生かして善戰したといふことが出來る、これに對し全普成は足業と體力に於てはるかに勝り終始攻勢を持しながらかく善戰したのはゴール前に於ける決定力を缺いたためでゴール前で持ち過ぎては潰されて居りゴール前球捌きには今一息の感が深かつた

WMW 2 0 1 1 全延轟
（○竹内、小長谷、島山英三吾各判）
【WMW】田内野原岡島谷 本橋納
GK B HB FW
CKK CFG
1 10 9
3 4 14

◇…WMWは立上りに一點を先取されたが直ちに川本の個人技が物を言つて二點を返しリードを奪ひ作戰通りそのまゝ逃げ込んで勝つた、前半7分全延轟ゴール前でGK島田飛び出し球を摑んだがハンブル、これを吳クリーンシユートして一點先取、13分WMWペナルテイーエリヤ附近で川本球を得ロングシユートすれば中央を破り1―1となる、20分川島から川本に渡り川本トウキックで決める

◇…後半全延轟殆ど攻勢を持しそのバックスは堅陣を布いてWMWのFWを寄せつけず強駆による好ライードを見せて好機を摑み乍ら全延轟FWは球を持ち過ぎてWMWのバックスに潰され、遂にものにならず全延轟は中樞において出足も早く見事な足技を示しながらゴール前に到つて鋭さを缺きそのプレーの幅が極めて狹くなり半島チーム特有の身體がフリーになるまで球を廻してシユートのチヤンスを逸した處に敗因があつた、結局WMWの勝因は川本の老練さと織内、末岡、立原等のバックスの強調によるものである

東大 2 1 1 0 1 關大
（宮本、黃根、関口三吾各判）
【東大】出田谷川福田堂村 李林 野
GK B HB FW
CKK CFG
3 4 17
5 4 5

◇…攻守共に一日の長ある東大が順當に勝ち殘つた

◇…関大はこれといふ決め手を持たぬのに對し東大は右サイドから敵左ゴールポストを狙つて大谷、笹間を突込ませ或は直木のキープ力など、関大よりは聊か見る可きものを持つてゐるところに勝因があつたといへよう

有馬

實業蹴球リーグ戰

関東實業團蹴球聯盟ではこの程本社會議室で役員協議會を開き今年度リーグ戰につき協議の結果今年は六月十六日をトップに參加三千一チーム六部制に依り六十五試合を行ふことに決定した、一部日程左の如し

▽9月8日日光對朝日（日光）▽15日マツダ對日鋼（日鋼）▽10月6日日鋼對日光（神宮）▽20日マツダ對第一、朝日對日鋼（以上第一）▽27日第一對日光（第一朝日對マツダ、日鋼對第一（第一）▽11月17日日光對マツダ（マツダ）▽12月1日第一對朝日（第一）

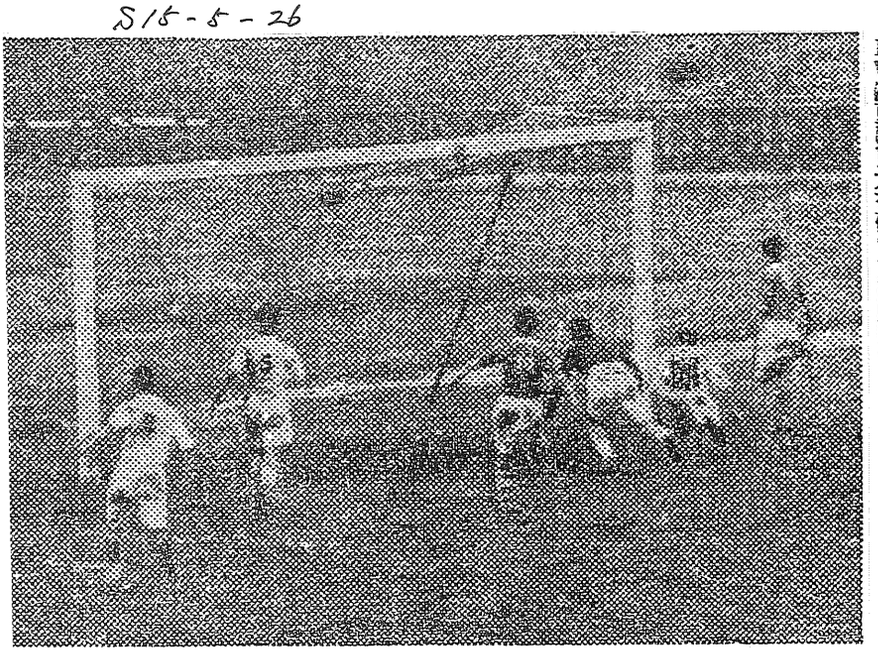
S15・5・30

S15-5-26

慶大、全普成を破りWMWと決勝へ

全日本蹴球第二日

第六回全日本蹴球選手権第二日は二十五日午後一時半から神宮競技場で準決勝二試合と敗者順位決定戦を挙行、前日全記録を塗したWMWは更に東大を破つて決勝戦に進む事となり慶大BRBは全普成と雌雄を決して勝ちこゝに関東代表二強の顔ぶれに依り争覇されることになつた



大東對WMW　今日午後一時半谷米大學グラウンドにて

◇準決勝

WMW 2(1—0 1—1)1 東大

（行内、篠部、中垣内三君審判、東大先蹴）

WMW
島（慶矢）立米川米（慶）川島加
GK
FB　FB
HB
FW
大野田部石山島池本田関谷
（京濱原長方横有納直樋谷大）

4 17 3
CK CK CK
GF GF GF
2 6 7

◇…老練川本、立原の両者が加はつたWMWに強味があり結局この差異が勝敗を決した一戦であつた、前半両軍とも泥濘に苦しめられながら中盤で競り合ひWMWは川本のドリブルとカンのよいパスから機を掴まんとすれば東大はショートパスで攻め一進一退を續けてゐたが何れもこつてシュートが狂ひ得點とならず、やうやく終末の27分WMW川本ペナルティーエリヤ附近で拾ひ加納に出せば加納直に突込んで好センタリングを米谷ヘッディングで右上隅に決め一點先取する28分東大ペナルティエリヤ中央でFKを得その返り球を絶間ヘッディングしたが惜しくもゴールオーバー機を逸す

◇…後半5分WMW委中谷からドリブル川本に廻せば川本ゴール直前に持ち込み右下隅に決める27分東大決襲ゴール前混戦となりGK島田飛び出してクリヤーした球を絶間拾つてフリーシュートすれば中央を割り一點返す29分頃に東大ペナルティエリヤ中央でFKを得混戦となるところを直ぐゴール寸前でシュートしたがGKの正面を衝き機を逸した

◇…東大は右サイドからクロスパスでゴール前に送つて突込ませたがWMWバックスの右側が出足速く潰されてゐるのにならず更にFWショートパスで攻んに攻勢を續けながらもゴール前でキープ力なく機を失してゐたに對しWMWは川本のドリブルと機に應じたパスワークに依りチャンスを醸し出しよくこれをものにして勝利を摑んだ

◇…結局ガッチリ守つて東大FWを押へ攻めては川本の個人技をよく生かしたところにWMWの勝因があり東大バックスはいささか川本一人を持て余した感があつた

慶大 BRB 2(2—1 0—1)1 全普成

（審判高山英、植木、山口二君、普成先蹴）

慶大
BRB
GK
FB　FB
HB
FW
津石加笠田園篠渡二高松
（慶原中山崎澤宮橋丸）

5 11 10
CK CK CK
GF GF GF
2 4 14

普成
李
（宅）金朴関（京）鄭方（琼）高林（中）李
（普成）

◇…慶大BRBは體力と足技の全普成を巧みと組織力によつて制した、前半一分BRB篠崎ロビングを挙げパアにあたつて落ちるを松丸へヘッディングで押込み一點先取、その後BRBは兩翼から好パスを送つて二宮にシュートのチャンスを與へ前日とは見違へるやうな上出來のプレイを示した

◇これに對し全普成は早い足でよく動いたがパスのタイミング惡くゴール前にかて鋭く出る事が出來すこれに加へてシュートの體勢に移る事が遲れ横に球を廻し込んでからシュートするのでBRBバックスに潰されてはチャンスを逸してゐた、斯くて三十分普成はOR方待ち込んでセンタリングしこの時CF高よくBRBのCH田中をブロックしたため李フリーシュート出來て左下隅に極め同點となる

◇…二十二分普成のGK李チャージされ後向に投げた球をBRBは松丸ダイレクトでヘッディングして決め再びリード、後半はBRB二宮、松丸と廻して二宮のドリブルシュート、或は右に廻して渡邊、篠崎に突つ込ませたがいづれもオーヴアして好機を逸す

◇…普成は益々體力に頼つて攻勢を續けたがBRBよく守り得點に至らず結局普成は二點ともGK李の頓智的失策から落して不運の敗戦となつたがその誇る體力と足技を十分生かし得なかつたところに敗因があつた、寧ろロビングを挙げて、BRBゴール前におけるヘッディングのこぼれ球を誘つて突つこんだ方が得策ではなかつたか

◇敗者順位決定

關學 2(1—0 1—1)1 關大

（宮本、乙骨、阿部（三）三君審判関大先蹴）

關學
GK
FB　FB
HB
FW
井宗田井元泉本田村山幾
（関中大谷酒陣小内綾中宇伊）

7 13 7
CK CK CK
GF GF GF
4 15 11

關大
林李
（関宮通山小安酒恒）三杉
（大）田谷田川福田藤）村野

◇…關學は關大の攻勢を防ぎ乍ら機を見て攻撃に出で前半一分井元の右サイドからのセンタリングを本田ヘッディングで押込み先取點を挙げ後半に入つても關大の攻勢を防ぎ乍ら機を見て攻撃に出で前半一分井元の右サイドからのセンタリングを本田ヘッディングで押込み先取點を挙げ後半に入つても關大の攻勢を防ぎ乍ら機を見て攻撃に出で

全延禧 6(2—0 4—0)0 東北大

（清水、福島、藤岡三君審判、東北大先蹴）

全延禧
GR
FB　FB
HB
FW
色福田石憂大本山志池中
（明）（益）利
李朴文朴朴東宮奥安趙崔
（全延禧）

0 15 10
CK CK CK
GF GF GF
2 5 3

東北大
部岡中川甲場田川賀田村

二十五日の運動

◇蹴球（大學豫科リーグ）

【A】立　大3(2—1 1—1)2 明　大

S15・5・26

S15-5-27

慶大連勝成る

光る津田の好防

全日本蹴球



第六回全日本蹴球選手権最終日は二十六日午前九時から神宮競技場で優勝戦と順位決定戦二試合を挙行、慶大BRBは強敵の東WMWを二點の差で破り連勝を続け堂々二位WMW、三位東大、全慶應を抑え四位決定戦に臨んだ

WMW對BRB

前半三十四分BRB自陣コーナーキックをGKがはじき出したボールに入れ込まれる

慶大 BRB 1(1-0)0 WMW

五位全慶應、六位関大、七位関學八位東北大となつた

◇決勝戦

(WMW)
田内野(慶)
島谷(慶)
本保(慶)
横溝(慶)
栗川(慶)
米川(慶)
小久保(慶)
高加(慶)

(BRB)
GK 5
RB 1
LH 9
CF 2
IR 3
OL 4
IL 8
FW 6
FW 7

(WMW)
GK 1
RK 2
CH 5
CF 9
LF 10
FW 11

田川(慶)
綿山(中京)
中原(慶)
島(慶)

(BRB)
石加(慶)
内田(慶)
笹嶋(慶)
一高渡

◇…WMWは選手優のため小久保をCFに川本をIRに廻せばBRBは笹原をLHに廻してどれをマークし互に作戦に意を注いで闘戦したが、兩軍の技術は殆んど互角の上に組織的攻撃力とGKの強が勝敗を決したものといへよう、試合はWMW中盤に於て川本拾ひ持ち込んでは左右に好パスを送るがCF小久保は相手のマークを外せず潰されOR米谷は田辺が卸くOL加納もセンターリング狙くFW横の連絡は殆んど絶たれ川本のドリブルシュートに唯一の希望をかける狀態であつたのに對しBRBは機敏、一言、精確と形通りではあつたがよく纒して好機を作つてゐた

◇…バックスは兩軍ともよく守つてゐたが守るに易易する一方で前線への好アイードが殆んど見られず聊か淋しく試合は全般的に見て活氣に乏しいものとなつた、BRBとしてははつきり球を右サイドに纒めて比較的弱いWMWの矢野を衝きつつ二言が左に拔ける戰法を採つてゐたなら得點力も増大し得たと思はれ余りに形通りの戰法に陷したきらひがあつた

◇…WMWは裏の缺場が大きく響き川本、高橋のみでは防ぎ切れず結局勝敗は順當といふべくたゞこの間、二言、宋岡の烈しい攻防と津田の美技がこの順勝戰に精彩を添へ得たといへよう(K生)

經過

◇前半 中盤の競り合ひから15分WMWゴール前混戰で米谷拾ひ強戰を放つたがGK正面を衝いて得點とならず更に20分高橋、小久保、川本と渡り川本フリーシュートしたが僅かに外れる24分BRBもゴール前混戰のもれ球を渡邊拾つてフリーシュートしたが僅かに右にそれ又27分PKを得たが一言競り損してものにならず28分WMW加納のセンターリングを高橋ヘッディングすれば津田の美技に阻まれ、かく一進一退する內32分BRB左コーナーを得渡邊好機すれば島田川き損して自陣ゴールに入れ遂にBRB一點先取する

◇後半 兩軍とも假分乱だしく9分BRB後崎からのパスを二言フリーシュートしたがゴールオーバー更に14分後崎から二言に渡り好シュートしたがGK正面を衝く、WMWは31分PKを得ゴールを狙へば加藤僅かにヘッディングで挑れる

◇三、四位決定戦

東大 1(0-1)1 全慶應

◇五、六位決定戦

全慶應 3(1-0)0 關大

◇七、八位決定戦

關學 3(2-0)1 東北大

S15-5-28

個人技を強化せよ

全日本蹴球選手権大會を觀て

第六回全日本蹴球選手權大會は二十四日から三日間神宮競技場で擧行、今年も先づ關西代表が勝つて逃き四回は昨年同樣、關東二代表と朝鮮代表全警成となり昨年とは反對に慶大BRBと全警成、WMW（但し昨年は早大）と東大が對戰したが結局これ又昨年同樣早、慶の手堅く全警成對關東、WMW對全延續戰となり慶大BRBの連覇成つて奇しくも先と同じ經過を辿つてその幕を閉ぢたのである、この結果をして直にそのまま我が蹴球の主流をなす關東、朝鮮、關西の三地域のレベルを決定するには早計に失するかも知れぬが大體その程度を察知することは出來ると思ふ

朝鮮代表があれだけの體力と足技を持つて居りながらさしたる組織力を身につけてゐるわけでもない關東代表に壓倒され、關西代表が依然として最下位に甘んじなければならないといふ蹴球依然たる有樣はそこに進歩發展の跡が見られないことを物語るものだ

實際昨年の本大會が最後の早大對全警成、慶大BRB對早大の二試合に依つて精彩を放つたに對し今年はこれといふ試合は見られず準決を去つて既に四年余當々その

關東に熱味　を加へて來た川本の力量には敬意を表すべきものがあるが然し徒らに川本をして異彩を放たしめこれに追從するもの二宮を除いては殆ど他に見られず今年がオリンピック東京大會開催の年であつたことを併せ考へる時、寂寥の感がある

對朝鮮戰　は慶大BRB對WMWの決勝戰、WMW對全延續戰と共に本大會の呼物であつたが、これが殆ど決まらず好シューターの如何に少きかを裏はしめた、WMW川本、BRB二宮を除いてはシュート出來得るものが數人あるか、ゴール前烈しい競り合ひの下を潜つて如何なる體勢下に於ても好シュートを放ち得るFWプレイヤーが絶對に必要してゐるのではあるまいか或は得點力減少は3B制の徹底化に依ることも幾分影響はしてゐると思はれるが

3B制　をベルリンから持ち歸つて既に四ケ年を經た今日我が球界を代表し得るテームにあるものとして絶對の點を管しまない、更にWMWでは末岡、Y原の活躍が光つてゐた、これ等二者を除いたWMWは實に慘めなものであらう

比較的よく纏つて來た東大は期待に背かず全警成と引分けて三位に止まつた、東大は意と技と力が平均して居りこの總合力實がよく二位をかち得る原動力となつたといへるがこの

總合力　を一段とスケールを大きくしなければなるまい、それにはパスワークとプットワークの緻化と相俟に一段のI夫が必要だしFWキープ力と決定力の增大に意を注がねばなるまい

**朝鮮代表二テームは何れも同じ缺點を繼續して數れ去つた、その缺點と體力と足技を生かし得なかつたキックは強く正確ではあるが之を何れもスタンデイングで受けてゐる、鋭いダッシュをつけて置いてパスすることをしない、いはば全くタイミングの點惡が無いといつてよからう、これでは敵に潰される恐れがあり、鋭い寄せは出來ない、又足技に於ても球を我がものとして運ぶことは巧いが十分な委勢になるまでは蹴り得ないところに缺點がある、從つてゴール前の烈しい競り合ひに敵を制しつゝシュートすることが出來ずフリーシュートを狙つては運ぶうちに潰され澤多の好機を逃してゐた、要するに慶大BRBの勝利は順當であり、關東が上位を占め朝鮮、關西と續いたが一般的に低調であり朝鮮、關西の奮起を要望すると共に守備の蹴球から攻勢の蹴球へと轉じなければ球界レベルの向上は幾年の歩みたるを免れ得ないであらう（大橋明）

我が蹴球代表決る

東亞大會に出場する我が蹴球代表團は全日本選手權の成績を參考として銓衡され二十七日左の如く發表された

◇監督　竹腰重丸△總選員　松丸貞一△總選參事　I藤季一、大谷二二◇選手　△GK津田（慶）中垣內（文大）△FB右近（慶出）加藤（慶）綴內（早）關（普成）△HB笹原（慶）李（咸興延續出）末岡（早大）金容（普成出）高島（慶）田邊（關學出）△FW篠崎（慶）高橋（早）金成（延續出）直本（東）二宮（慶）主將川本（早出）金仁（咸興）金容（咸興）

S15.5.28

實業蹴球リーグ戰

關東實業團蹴球聯盟ではこの程本社會議室で役員協議會を開き今年度リーグ戰につき協議の結果今年は六月十六日をトップに參加二十一チーム六部制に依り六十五試合を行ふことに決定した、一部日程左の如し

▽9月8日日光對朝日（日光）▽15日マッダ對日鋼（日鋼）▽10月6日日鋼對日光（神宮）▽20日マッダ對第一、朝日對日鋼（以上第一）▽27日第一對日光（第一）朝日對マッダ、日鋼對第一（第一）▽11月1日日光對マッダ（マッダ）▽12月1日第一對朝日（第一）

S15.5.30

三十日の運動

◇蹴球　大學蹴球豫科リーグ早高5—0商大豫

S15.5.31

S15-6-5

東亞競技大會けふ開幕

紀元二千六百年を記念する東亞競技東京大會は五日午後四時から綠に燃える神宮外苑に良くも秩父總裁宮殿下の台臨を仰いで第一日が開催される、日、滿、中、比、ハワイに蒙古、在留外人と東亞の若人總數七百余名が東亞の隆昌と民族の誇りを聖代に競ふ大會である、四日には比島第二軍の着京を最後として各國の精鋭は悉く東京に集まり各競技場も既に萬藏の準備を完了競技開始を待つばかりとなつた、四日は各國役員主將最後の打合せ會が開かれ大會日程、式典その他大會に關する說明注意があり、更に競技種目十五競技別に各々分科會を開き細部の打合せを行つたが各國代表役員からそれぞれ大會に對するメツセーヂの發表があり特に式典を重んじ莊重な開會式は此聖典を更に意義あるものとさせるであらう

S15-6-5

蹴球

問題は比島

我3B制の成果如何

日滿中比四ケ國參加の蹴球は日滿、中比、日中の二試合を東京大會で行ひ殘りは關西大會で擧行されることになつてゐる、日、滿、中の三ケ國は昨年新京における大會で顏が合つてゐるので實力の程度も稍豫想出來るが比島は全然未知數であるので果してどこまで活躍し得るか豫想は困難である、然しそれだけに種々の點に於て興味がある

先づ昨年の新京大會の成績から見れば、滿洲、中華共に日本に零敗を喫してゐるので余り多くは望めない、而も滿洲より強味のあつた中華が、昨年のチームから數名が拔けて居り又滿洲軍も田村、木下、吉田等日系主力が加はつて居らないので實力低下は免れぬところで日本軍勝利は間違ひないものと見てよからう、然し滿中兩チームとも依然として傳統の強味は未だ保持して居り足技にものをいはせて個人技の巧さを示すことであらうから油斷はならない

問題は北島だが恐らく滿中兩チームよりは強敵で日本軍も余程御を諂めてかゝらねばならないだらう組織的な纏まりに於ては日本軍の比ではないが、球をあげて置いて突込む中央突破には相當威力を持つて居るものと見られ余程警戒してかゝらねばならぬ、その上日本軍はCF二宮、CH末岡FB加藤と中軸が負傷して二宮、末岡は恐らく出場出來ないと見られその備手は大きいのでこれ等の點を考慮に入れると樂勝は期し難いのではなからうか

何れにしてもベルリン大會以來對外試合に惠まれなかつた我がチームが比島チームを迎へることは我が球界の試金石にもなるべく第一に我が3B制が比島チームにどれだけ威力を示すか、果して子供から大人に成長してゐるだらうか、井戸の中の蛙的なものではないであらうか、第二には我が軍の組織的な攻撃方法がどこまで成功するかこれに依つて最近行詰りを感じてゐる攻撃法に新しい分野を見出し得るかどうか、第三には二三年やかましく言はれてゐる個人技の擴大強化がどこまで成し得たであらうか、これ等を知るには最も良い機會であり、これが又最も興味の中心であるといへよう

二日の運動

◇蹴球 關東醫專對滿洲醫大豫科リーグ
東 齒 3—2 昭和醫專
日 齒 2—1 明 專
△大學豫科リーグ
醫大豫 1—0 立大豫

S15.6.3

蹴球・代表軍辛勝

東亞大會蹴球代表軍は四日午後四時から本郷帝大球場で帝大と練習試合を擧行、代表軍は怪我人、故障者續出のためメンバー編成に惱む狀態で苦戰の末辛うじて三對二で辛勝した

代表軍 3(2—1 1—1)2 帝大

四日の運動

◇蹴球(大學豫科リーグ)
早 高 11(4—0 7—0)0 法大豫
醫大豫 4(2—0 2—1)1 商大豫

S15.6.5

日本大勝

蹴球

東亞大會蹴球第一日は七日午後四時から神宮競技場で宮本、乙賀、勝岡三君審判滿洲軍先蹴で擧行、滿洲軍の奮闘も空しく實力の差如何ともし難く日本軍大勝した

日本 7(5—0 2—0)0 滿洲

(審判宮本、乙賀、勝岡三君)

【滿洲】
GK 陳田鍾先 遠藤高水來矢寬
FB 王國榮 李登喜 國學
HB 李王鄭 李譚 滿根金孫
FW 世 4 13 18 0
CK K K K K
CF G P
IL 6 10 10 I
津 加金 笠 篠 直 二 川 金

【日本】

◇…日本軍の勝利はその實力からして當然である、滿洲軍出足よくちよつと興味を持たせ8分根來が日本軍加藤のミスキックに乘じノーマークとなりシュートしたが津田に阻まれたのは惜しかつた、9分日本二宮ゴールキックの球を受けそのまゝドリブルシュートすれば左下隅に決り一點先取す

◇…此頃から日本軍斷く全線の連絡よく12分川本から篠崎に廻し

S15.6.8

九日の運動

◇蹴球(低學年大會決勝)
青山師 4(1—0 3—0)0 府二中

S15.6.10

そのセンターリングを金(喜)ヘッヂングで決め20分には直木、二宮、川本と綺麗に廻し川本右に廻り込んでクリーンシュート、27分篠崎のセンターリークを金(喜)ダイレクトできめ39分二宮から川本に渡り川本持込んで金(喜)に廻せば金これを決め勝敗を決定づけた

◇…後半24分日本FKを得川本右下隅に決める、28分日本金(容)から出た球を川本、二宮、川本と廻し川本のシュート成つて7—0と差を大きくしそのまゝタイムアップとなる、試合は全く日本蹴團裡に終始し日本は前半の中頃から組織的攻撃の巧さを見せ、球をオープンに廻してよく兩翼を動かし川本、二宮、直木のセンター3もよく個人技を生かして機を摑み大量得點を齎せた、ただ後半はインナー3で持ち過ぎて得點力を減殺した感があつた、滿洲軍は個々において日本軍に數段の差があり特にそのバックスは潰しに鋭さを缺き日本FWに壓倒されてしまつた又FWも組織的な動きは見られずただ徒らに球に縋るのみでシュートも九十分を通じて僅かに二本にすぎない貧弱さで日本軍の3Bを拔くことが出來ず遂に零敗を喫してしまつた、ただGK王の活躍のみ光つてゐたといへよう(矢藤明)

S15-6-9

蹴球

比華の單調な長蹴戰

比島2―2中華

◇…兩ザイドハーフを機軸とした攻守共に興味のある比島が區かに優れてゐたが中華の中央突破の長蹴戰法に乘ぜられて遂に2―2の引分となつた前半中華は11分、比島は20分のチヤンスを捲し、32分比島はエスラバのヘデイングをガリス拾つて決めたがその前にクアウルありPKとなつてパデエコ決め一點先取この頃から比島FW線はHBのフオローを得て攻勢を續け41分織いてチヤンスあつたが惜しくも逸す

◇…後半3分中華左バックからのゴール前ロビングを孫（永）飛び込んでプッシュし同點となる、8分比島ガリス、ラサバル、ガリスと廻しガリスシュート、GK李幸くもはじいたがウ

ルテ突込んで再びリード、このまゝ押し切るかと思はれたが37分中華バックからの長途球を差拾つて中央へ切れ込み決めて同點に追ひついた

◇…兩軍とも敵陣ゴール前へ長途球を放つて中央突破を狙ふ單調な攻撃に終始し見るべき攻め手を持つてゐない、兩軍とも日本軍に比して數段の格差があると認められた【天藤明】

（6月8日、神宮競技場で對戰）

S15-6-10

蹴球

日本、中華にも大勝

東亞競技東京大會

東亞大會蹴球競技第二日は九日午後四時から神宮競技場で審判竹内鶴島、塚部二君中華先蹴に翌行日本が快勝した

日本	6（1―0）0	中華
【日本】		【中華】
川金	FW	陳得玉
藤直	HB	周北海
平	HB	李成永
近（呂）	GK	朱琳章
田	FB	孫
右金	FB	李
津	GK	黃
1		1
7		7
2		3
0		1
6		

◇…前半日本風下で苦戰したが後半よくその特味を發揮して一方的試合となり大勝した、前半中華風上を利し而も前日とは見違へる程よく球を追ひ堂々日本に指抗した、中華は日本FWのマークに專念し、このため日本FWはキープ出來ず、パスを廻せば風に流されて全くその攻め手を封じられた感があり中華も中央へ長途球を出すが日本3Bを拔き得ず41分斷く日本、篠崎のセンターリングを川本ダイレクトのサイドキックで決め一點先取す

◇…後半日本落つきを取もどし、1分川本持ち球を見事クリーンシュートして決め、此頃から日本全線の連絡よく、10分二宮のプッシュ決まつてから21分、金（武）、32分二宮、44分直木と續けざまに決定して快勝した、日本前半の苦戰はその得點の原泉をなすインナー3が完全にマークされたに依るが、風を考慮して今少し深いパスを送つて兩翼からゆさぶつて中華守備陣を攪亂せしむる策を採つてゐたら前半既に勝負が決してゐたと思はれる後半次第に試合がラフとなり中華選手に退場者二名を出したことは大會の爲めから誠に遺憾であつた【天藤明】

S15.6.12

東亞競技

東京大會熱戰の跡 (下)

實力に大差

滿、華、比に學ぶ點なし

球蹴

東亞大會蹴球競技は東京大會において日滿、華比、日華の三試合を擧行したのみで殘りの三試合は關西大會で行ふことになつてゐるが一應四チームの實力は知ることが出來た

一言にしていへば滿華兩チームは勿論最初から問題外であつたがわがチームの好敵手ならんと唯一の望みを懸けた比島も案外弱くわが代表軍に比し數段の格差が認められた、從つて彼等から得るべきものゝ無いことは云ふまでもなくこれでは我が蹴界レベル如何のよき試金石たり得ないことも當然である

彼等のFWは何れもスピーデイな動きは見られず、全く大味なものでその戰法もバックスからの長途球による中央突破一點張りの單調そのもので、敵バックスのミスキックを捉つて巧く好機を摑んでゐたに過ぎなかつた、これでは我が3B前の堅陣を破り得る筈はなく到底得點は望めない

滿華兩チームのバックスは依然2B制で守備位置も狹少であり比島はバックメン五人が一線に並ぶといふ極めて淺い布陣でこのため中華にゴール前への長途球戰に乘ぜられて二點を奪はれ

力なくさりとて巧妙なパスワークによる組織的な攻撃法を用へてゐるわけでもなくバックスも小銳い出足も潤しもなく全く一昔前の蹴球をやつてゐるといつてよからう

日本軍は以上の如き相手では實體を問ふべくもないが戰法においても技術的にも優れ特にFWのキープ力と川本のゴール前の決めの鋭さが一段と目立つてゐた【天藤明】

S15-6-15

東亞競技關西大會

第二日

蹴球（花園）

滿洲 1（1―1、0―0）1 比島

【比島】
スコットダスポバルススデエンラステバイラ
マナンチエラニザヤレスラリバ
ヘルナミキグエラガカ
GK FB HB FW
CK CK PK
CF GP
5 7 1 3 0

【滿洲】
宮鍋田瑞達先宮武來宮東
乘松國義淵端矢世
金今柴李郭王鄭金根孫朱
7 7 1 7 1

S15-6-16

東亞競技關西大會

第三日

蹴球（花園競技場公園競技）

三中戶 4（3―1、1―0）1 明星商

滿洲（棄權）中華

（中華所定の時間までに來場せず）

S15-6-17

日本、比島を破り優勝

東亞競技關西大會

第四日

蹴球（甲子園阪神運動場）

日本 1（1―0、0―0）0 比島

【比島】
スコットダステスルバボ
デエンラルイバテス
マナンチエラニザヤレスラリ
ヘルナミキウガラエグ
GK FB HB FW
CK CK FG GK PK
5 7 1 3 0

【日本】
李 近藤岡原崎木宮本成
右金末立後直一川金
17 8 2 1 0

かくて東京大會とも成績を通算して日本三勝、比島二引分、一敗、滿洲一勝一敗、一引分、中華二敗一引分となつた

S15-6-18

東亞競技大會

東京、關西兩大會

紀元二千六百年を奉祝する日本体育協會主催の東亞競技大會は畏くも秩父宮殿下を網裁に仰ぎ奉り、日本、滿洲國を初め中華、比島、布哇および蒙古のいはゆる東亞民族の青年を一堂に集め、昭和十五年六月五日から五日間明治神宮外苑競技場において東京大會を、また關西大會は同十二日より四日間わが肇國の聖地大和の橿原神宮野外公堂、阪神甲子園その他の競技場で嚴肅に擧行せられ、各選手は互に友好和親の徑に日頃鍊成の技を闘はし東亞民族の体育祭に相應はしい實を擧げた。

◇東京大會

蹴球　日本7―0滿洲、比島2―2中華

日本6―0中華（殘り二試合は關西大會で行ふ）

◇關西大會

蹴球　滿洲1（1―1、0―0）1比島、滿洲1（延）0中華、日本1（0―0、1―0）0比島、（かくて東京大會の成績を通算し日本5勝比島2分1敗、滿洲1勝1敗1分、中華2敗1分）△番外競技＝神戶二中4―1明星商業

[朝日年鑑 昭和16年版]
東亞競技大會　東京大會 昭和15年6月5日～9日
關西大會　〃 13日～16日

S15-6-14

十三日の運動

◇蹴球（東京大學豫科リーグ）

慶大豫 2（0―1、2―1）1 早高

S15-6-17

十六日の運動

◇蹴球 關東醫歯專リーグ

東醫 7―1 東歯

日歯 4―0 東藥

S15-6-20

關東蹴球協會の理事會

關東蹴球協會理事會は十九日午後六時から本社會議室で開催、決定事項左の如し

一、十五年度評議員會は七月六日

一、本年度關東學生リーグ各員に播磨辛太郎君外十二名を推薦

一、秋季大學リーグ戰日割審議の末開催式は十月六日と決定

一、地方中等校指導のため水戸班前橋班を派遣する事

S15-6-23

二十二日の運動

◇蹴球

豐島師 5（2―1、3―0）1 千葉師

S15-6-24

廿三日の運動

◇蹴球 府立五中 1―1 青山師（關東醫歯專リーグ）

東醫 7―2 昭和醫專

東歯 10―4 明藥

S15-6-22

蹴球リーグ日誌

關東大學蹴球聯盟總會は二十一日午後六時から本社會議室で開催、本年度關東學生リーグ戰日割を左の如く決定した

◇第一部　10月6日 蹴球祭（0時）商大對東大（3時神宮）△12日東大對文大（2時半大）△17日早大對明大（1時神宮）△19日慶大對商大（3時神宮）△26日慶大對文大（1時神宮）△27日早大對商大、東大對明大（1時東大）△11月3日明大對文大（2時東大）△9日早大對東大（3時神宮）△10日慶大對明大、文大對商大（1時東大）△16日慶大對東大（3時神宮）△17日早大對文大、明大對商大（1時東大）△24日早大對慶大（2時神宮）

◇第二部　10月6日 拓大對慶大（元住吉）△13日千葉醫對法大、立大對拓大（慈大）△17日慈大對慶大（東伏見）△19日立大對法大（豐師豫定）△20日早千葉對拓大（千葉）△26日法大對慶大（日吉）△27日立大對慈大（元住吉）△11月3日法大對拓大、千葉醫對慈大（慈大）△10日慈大對拓大、立大對千葉醫（日吉）△16日早千葉醫對慶大（東大豫定）△17日法大對慈大（元住吉）△23日立大對慶大（日吉豫定）

廿九日の運動

◇蹴球

豐島師 1（0―0、1―1）1 八府中立

S15-6-30

S15-7-10

三十日の運動

◇蹴球（全関東医専リーグ）
日　歯　4―0　東　歯
この結果①東薬②日歯、慶歯④昭和歯、東薬⑥明薬

S15.7.1

奉祝蹴球祭を開催

関東蹴球協會では六日午後二時から新橋蹴部會館で評議員會を開催二千六百年奉祝事業としてシーズン初頭に神宮競技場で行ふ恒例の蹴球祭を本年度は特に大々的に挙行する事に決定、期日を十月六日とし近く準備委員會を新設する事となつた、尚理事會員に伴ふ補缺選擧を行つた結果本年度役員を左の如く決定した

△主事小長谷昌宗△庶務會計兼部報三△指導松丸貞一△審判竹内悌三△記錄本多秀治△大學聯盟岡部勲二△高專聯盟山田信一△中等及び小學校鈴木朝英△實業團聯盟栗原富久夫△企畫伊藤進、篠島秀夫

S15.7.7

競技團體の旅行

本年に限り許可申請不要

大學高專の部

◇蹴球　第十八回全國高校大會、第十一回北日本高專大會、全國高工大會、全國專門校大會、東西學生聯對抗、九大主催全國高專大會、關東主催全國高校大會等に出場する目的で旅行する者に對しては本年度に限り許可申請を要せざる旨通牒された、なほ文部省認可の各大會は左の通りである

十五日の運動

◇蹴球【大阪電話】
東京外語　8（3―0　5―0）0　大阪商

S15.7.16

全國高專大會

◇蹴球【仙台電話】東北大主催北日本高專大會第二日
△第二回戰
勝　大醫科　5―0　岩手醫專
仙台高工　2―1　新潟高
北大農科　抽籤勝　山形高
東京醫專　3―2　二高

S15.7.16

全國高專大會

◇蹴球【仙台電話】東北帝大主催北本社仙台支局後援第十一回北日本高專蹴球大會は十六日準決勝に入つた、成績左の如し
△準決勝
勝　大醫科　3（3―0　0―0）0　仙台高工
勝　東京醫專　0―0　抽籤勝　北大農科

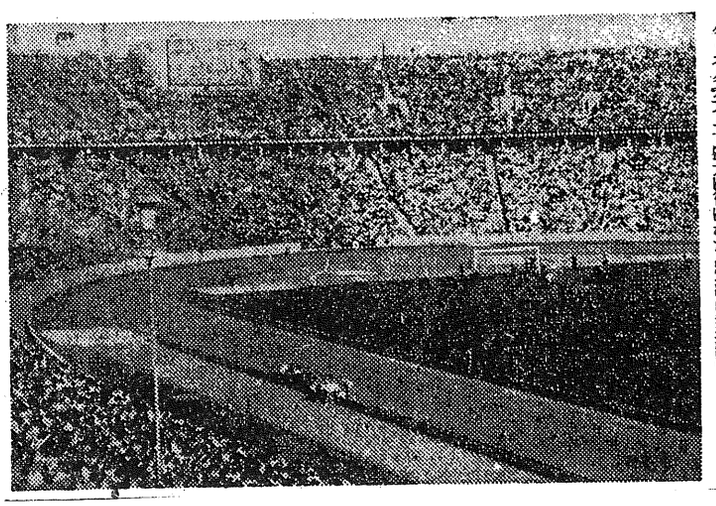
S15.7.17

◇蹴球【仙台電話】東北帝大主催本社後援第十一回北日本高專校蹴球大會は十七日午後二時から決勝戰を行ひ左の戰績で初出場の勝利を獲得した
勝　一高　1（0―0　1―0）0　東醫

S15.7.18

戰時下獨の蹴球戰

ラビッド（ウイン）對ユニオンOB



（ベルリンジヤルケOB對フオルテイユーナ（獨）デユツセルドルフ）の蹴球戰は七月一日七萬五千人の觀衆の下にベルリン・オリンピック・スタヂアムで盛大に行はれた【寫眞は蹴球戰】

S15.8.2

一日の運動

◇蹴球（関東醫專リーグ）
④三　共　5―0　東京計器

S15.8.2

四日の運動

◇蹴球　全國中等関東豫選決勝
浦和中　4（2―2　2―1）3　埼玉師

S15.8.5

六日の運動

◇蹴球（中等兵庫豫選準決勝）
神戸三中　4―0　兵庫縣工
甲陽中學　2―0　灘中學

S15.8.7

七日の運動

◇蹴球　中等神戸豫選決勝
神戸三中　4―0　甲陽中學
△東京豫選一回戰
府九中　7―0　國士館中
府五中　9―0　府高等
明學中學　6―0　獨協中
青山師　4―1　青學中
府八中　10―0　府一商
本郷中　1―0　附屬中
東高等　3―0　慶應
豐島師　7―1　曉星中

S15.8.8

八日の運動

◇蹴球（醫專リーグ）
④航　技　3―1　淺野セメント
⑥日本油脂　7―0　中飛行機

S15.8.9

中等蹴球　東京豫選

全國中等蹴球東京豫選第二日は八日十時本郷帝大球場で二回戰四試合を擧行、成績左の如し
△二回戰
府五中　2（0―0　2―0）0　府九中
青山師　6（4―0　2―0）0　明學

S15.8.9

東京府中等蹴球第一部日割

東京府中等學校蹴球リーグ戰は來る十四日から開始されるが第一部日割は左の如く決定した（球場は全部青山師範）
△14日―八中對九中（3時10分）
豐師對五中（4時30分）△15日―五中對九中（1時50分）青師對八中（3時10分）△21日―五中對八中（3時10分）△22日―豐師對九中（1時50分）青師對五中（3時10分）△23日―豐師對八中（1時50分）青師對九中（3時10分）△10月6日―豐師對青師（明治神宮球場時間未定）

S15.8.9

S15-8-10

實業團蹴球リーグの組合せ

本年度關東實業團蹴球リーグ戰は九月一日から十二月十五日までに第一部から第六部までの總數六十五試合を神宮、日吉、日本光學、日產、動銀、興銀、第一生命の各球場で擧行するが日程及び組合せは次の通り（數字は部位）

▽9月1日③三共對東京計器④航技對日立萬有（以上日吉）▽8日②千代田對東京瓦斯①日本光學對東朝④航技對淺野セメント（以上光學）⑥中島對日油（日產）▽15日②東京火災對日徹①マツダ對日鋼⑤日曹對北辰④鶴見對石川島③新潟鐵對東京計器（以上光學）⑥日鐵對古河（日產）▽29日⑤日清對日曹③明菓對三共③新潟鐵對日銀④航技對鶴見④石川島對淺野セメント（以上光學）⑥日水對中島（日產）▽10月6日⑤動銀對北辰（動銀）①日本光學對日鋼（神宮）▽13日②東京瓦斯對東京火災③明菓對新潟鐵④航技對石川島④日立萬有對淺野セメント（以上興銀）⑥日鐵對中島⑥立川對日水（以上日產）▽20日①日鋼對朝日②興銀對日徹①マツダ對第一生命（以上第一）③三共對日銀④日立萬有對鶴見（以上光學）⑤日立本社對日曹⑤日清對動銀（以上動銀）▽27日②千代田對東京火災①第一生命對日本光學（以上第一）⑤日清對日立本社⑤日曹對動銀（以上動銀）⑥日油對古河⑥中島對立川（以上日產）▽11月3日③明菓對日銀④日徹對東京瓦斯③三共對新潟鐵（以上第一）⑥立川對日油（日產）▽10日②東京火災對興銀①東朝對マツダ①日鋼對第一生命④石川島對日立萬有（以上第一）▽5日立本社對動銀（動銀）▽17日①日本光學對マツダ③東京計器對日銀②千代田對日徹⑤日清對北辰④鶴見對淺野セメント（以上第一生命）⑥日鐵對日水⑥古河對立川（以上日產）▽24日⑥日水對日油⑥中島對古河（以上日產）②興銀對東京瓦斯（第一生命）△12月1日①東朝對第一生命③東京計器對明菓⑤日立本社對北辰②千代田對興銀（以上第一）⑥日鐵對日油⑥日水對古河（以上日產）▽15日⑥日鐵對立川（日產）

十五日の運動

◇蹴球　東京實業リーグ
①東京火災　0―0　日本徴兵
①マツダ　1―1　日本鋼管
④鶴見　3―3　石川島
⑤北辰　1―0　日曹
⑥古河　6―0　日鐵
△神宮競技場東京中等リーグ
①府五中　1―1　九中
①青師　3―0　八中
②府島　0―0　青學中
②蹴盟　4―3　東商
④開成　2―0　獨協
④國士中　4―1　府七中

S15・8・16

青山師優勝

蹴球東京予選

全國中等學校蹴球選手權東京地方豫選決勝青山師範對豐島師範の試合は十日午後三時から東大球場で擧行、3―1で青師が勝ち東京地方代表となつた

青師	3	1―0	1	豐師	
	2	1―0			

【青師】井崎　勝田　田田　林山　定松　巨
　　白篠　澄西　栗紳　太紅　小國　吉
　GK　10
　FB　7
　HB　6
　FW　6
【豐師】崎田　崎華　業間　酒方　浦谷　田
　　橋　徹
　GK　6
　FK　2
　FK　18

S15・8・11

S15-8-26

青師・仙二中勝つ

中等蹴球選手権大會

【大阪電話】大毎主催第二十二回全國中等學校蹴球選手權大會第二日は二十五日午前十時半から甲子園運動場で一回戰四試合を擧行青山師範、神戸三中、滋賀師範、仙台二中が勝つ

青山師範 12(7—0)0 鹿兒島商業

【青山師範】井崎(鹿田)田田田田上山(宮)定松
GK FB HB FW
【鹿兒島商業】保崎下田谷(里)木田(屋)西島(々)大山(鎌)園島(佐)藤(德)大福

青山師範 9 3 2 17 27 鹿兒島商業

滋賀師範 2(1—0)1 中學

【滋賀師範】伊(藤)(原)(田)本(野)(原)業(田)井(藤)木(塚)
GK FB HB FW
【中學】(林)新(井)強(況)(藤)(井)彬(光)雄(榮)(岡)(田)(佐)(榮)郎

滋賀師範 5 5 15 中學

仙台二中 6(3—1)1 長崎師範

【仙台二中】高島(吉)(西)伊(島)(澤)(吉)佐(鈴)(手)
GK FB HB FW
【長崎師範】下川(崎)(野)比岩(口)(宇)(田)(中)(永)茂

仙台二中 7 7 9 長崎師範 0 10 17

神戸三中 4(3—1)2 富山師範

【神戸三中】(田)(間)(原)(村)(山)(牧)(田)(崎)(西)(浦)(本)(田)
GK FB HB FW
【富山師範】(北)(栄)(濱)(橫)(小)(野)(山)(中)(三)(山)

神戸三中 3 2 19 富山師範 7 18

青山師範 4(2—0)0 神戸三中

【青山師範】井崎(鹿田)田田田上山(宮)定松
GK FB HB FW
【神戸三中】品(川)(野)(口)(村)(田)(口)(田)(越)(戸)
毛(天)(野)(岡)(野)(多)(植)(工)(名)(瀬)

青山師範 2 5 11 神戸三中 3 3 6

青山師範敗る

中等蹴球第三日

【大阪電話】大毎主催第二十二回全國中等學校蹴球選手權大會第三日は廿六日午前十時半から甲子園運動場で準々決勝戰を擧行

◇普成中學對明星商業は普成愚まれたる強力を以て明星の守備陣を完膚なきまでに打ち破り一方的の試合を見せ思ひ切つたシュートで續々得點を擧げ前半戰において既に大勢を決した、この結果は實力の差で明星としては全く策の施しやうのないものであつた

◇神戸三中對青山師範は本大會における白眉の一戰を演じた神戸三中が得點を先取すれば青山も亦直にこれに酬い再度同點の末遂に延長戰となつた、FWの攻守形が何れかと云へば青山の方がよくまとまつてをりそれだけ得點機も多かつたが神戸三中の鉄柵の守備とGKの完璧な動きとが相俟つて青山の得點を阻んだ、青山の敗退は勝運に見放されたものである

明星商業 3(3—0)1 中修學道

【明星商業】井村勝上内勝村本本野
GK FB HB FW
【修學林】(高)(佐)(村)(堀)(後)(藤)(松)(丸)(森)

明星商業 9 3 15

普成中學 12(7—5)5 明星商業

【普成中學】村(藤)加山(笹)藤木(高)畑木(海)淀
GK FB HB (斗)(五)(聖) FW
【明星商業】(勿)太本(宇)田田(藤)部川(堅)鍋
(起)(井)(芝) (高)(洪) (朴)(金)(鄭) (張)(崔)(崔)

普成中學 5 2 4 明星商業 2 5 8

神戸三中 6(5—0)3 滋賀師範

【神戸三中】品利野日村田田(藤)越戸
GK FB HB FW
【滋賀師範】(藤)本(野)(原)(業)(田)本(崎)(本)
(伊)(藤)(宇)(安)(藤)(橋)(山)(栄)(吉)(岡)(山)

神戸三中 10 3 6 滋賀師範 12 1 1

青山師範 4(1—1)2 二仙台中

【青山師範】井崎(鹿田)田田田上山(宮)定松
GK FB HB FW
【二仙台中】(山)(津)(田)(地)(機)(貫)(田)(井)(藤)(木)(塚)
(高)(島)(吉)(西)(伊)(島)(澤)(吉)(佐)(鈴)(手)

青山師範 2 5 11 二仙台中 7 7 9

普成中勝進む

中等蹴球第四日

【大阪電話】大毎主催全國中等蹴球大會第四日は二十七日午後一時から準決勝二試合を擧行した

◇準決勝

普成中 5(2—1)2 明星中

【普成中】(起)(井)(芝) (高)(洪) (斗)(五)(聖) (張)(崔)(崔) (朴)(金)(鄭)
GK FB HB FW
【明星中】(勿)太本(宇)田田(藤)部川(堅)鍋
(星)田田(和)松三池上伊(服)石(圓)(置)

普成中 26 2 8 明星中 1 12 5

神戸三中 6(1—3)3 滋賀師範

【神戸三中】品利野日村口田田(藤)越戸
GK FB HB FW
【滋賀師範】(藤)本(野)(原)(業)(田)本(崎)(本)
(伊)(藤)(宇)(安)(藤)(橋)(山)(栄)(吉)(岡)(山)

神戸三中 12 1 1 滋賀師範 10 3 6

◇明星は試合開始後間もなく一点を先取して試合を有利に導く最もよい條件を持つたのであるが普成のFWはその後折置なるそうなフオロー で同点となし更にOLの見事な逆キックでゴールを陷れ、前半の2—1と普成のリードで終つたが後半に入つてからも普成は依然鋭鋒を發揮しヒタ押しに明星に迫撃し遂に一方的な勝利を收めた

◇第二戰では緻密に憑まれてこゝ迄勝殘つた滋賀は後半に入つてから神戸の氣の弛みに乘じ優勢を示したものゝそれも前半神戸の收めた大量得点を覆し得ず豫想通りの結果に終つてしまつた

S15・8・27

S15・8・28

普成制覇

全國中等蹴球

【大阪電話】大毎主催第二十二回全國中等學校蹴球選手權大會最終日の決勝戰は二十八日午後三時から甲子園南運動場で擧行4—0で遠來の普成中學優勝す

普成中 4(2—0)0 神戸三中

【普成中】(起)井芝 (高)洪斗五聖 (張)崔朴金鄭
CK FK GK
【神戸三中】品利野日村口田田(藤)越戸
毛(天)(野)(岡)(野)(多)(植)(工)(名)(瀬)

普成中 2 10 20 神戸三中 0 0 0

【審判赤川(主)西邑、橋水(定)(線)】

◇評 普成は全體の點において中等級放れのした實力と纏まりを持つた優勝は當然の歸結であつたが然し敗れた神戸三中は惡條件をよく克服して最後まで力を緩めず奮戰した點は大いに認められてよい、殊にバックスは普成の相次ぐ強攻に對して判斷よく果敢な動きを以て屢々危機を脫し失点を四点に喰止めた働き振りは目覺しかつた

S15・8・29

二十八日の運動

◇蹴球(神宮中等東京府豫選)

③府一中 4—3 本郷中

同府一中は五戰五勝で一位確定

十六日の運動

◇蹴球（全國中等關西豫選）
姫路中 ［1−0 1−1］1 甲陽中
第一神港 ［2−1 0−0］0 兵庫
神戸二中 ［6−4 2−0］0 縣商
灘中 ［7−4 3−0 1−1］1 兵庫縣立工業

S 15・8・17

全國中等校蹴球組合せ

第廿二回全國中等學校蹴球選手權大會は來る廿四日から廿八日迄五日間甲子園運動場で開催されるが組合せは左の如く決定した

◇第一日（二十四日）△一回戰A明星商（大阪）對刈谷中（東海）B修道中（中國）對浦和中（關東）C愛媛師（四國）對府師（北海道）D豐成中（朝鮮）對湘南中（山陰）

◇第二日（二十五日）△一回戰E鹿兒島商（南九州）對青山師（東京）F神戸三中（兵庫）對富山師（北陸）G長榮中（台灣）對滋賀師（近畿）H長崎師（北九州）對仙台二中（東北）

◇第三日（廿六日）△準々決勝

◇第四日（廿七日）△準決勝

◇第五日（廿八日）△決勝

S 15・8・18

神宮東京府豫選

明治神宮國民體育大會東京府豫選各種競技廿一日の成績は次の通り

◇蹴球 男子中等

❶五 中 ［3−2 1−0］0 八・中
❷府高等 ［4−3 1−0］1 慶 實
❷青學中 ［0−0 0−0］0 暁星中
❸本郷中 ［7−0 7−0］0 府一商
❸府二中 ［3−0 3−0］2 也二中

S 15・8・22

滿鮮對抗競技

接戰を展開

【新京特電二十四日發】第二回滿鮮對抗綜合競技大會は廿四日午後二時から陸上競技を皮切りに大同、兒玉兩公園競技場で野球、排球、庭球等の爭覇戰が開始された、成績左の如し

◇蹴球 朝鮮 ［3−2 1−1］2 滿洲

S 15・8・25

蹴球祭・英靈も參加

關東蹴球協會では十月六日神宮競技場で擧行する恒例の蹴球祭に聖戰に從軍名譽の戰死を遂げた蹴球人にも關係團體部員に依つて參列を乞ひ更に遺族をも招待して全蹴球人を擧げて英靈の參列を乞ひ更に遺族をも招待して全蹴球人に依つて敬弔の意を表すると共に追悼祭を行ふことになつた

S 15・8・26

全國中等蹴球 第一日

【大阪電話】大毎主催第二十二回全國中等學校蹴球選手權大會第一日は廿四日午前十時から甲子園南運動場で擧行一回戰成績左の通り

明星商 ［5−1 4−0］0 刈谷中

【刈谷】原 浦島 鈴野 曾根 本谷野 橋
【明星】木 三木 伊 大小 鬼山 神 水加
GK 3
FB 4
HB 19
FW 9 8
CK 3
FK 4
GK 19

【明星】勁太本 田 田 藤部川 鍋
【和田】和松三和上伊服石內眞

修道中 ［2−2 0−1］1 浦和中

【浦和】原 濱 本田口中川野 多
【修道】林 井村 藤上內 橋村本本野
GK 2 10 13
FB 3 7
HB
FW
CK
FK
GK

【修道】林 高左村 城後 錢松丸 榮

閑院師 ［4−2 2−0］0 愛媛師

【愛媛】野 玉原永 里 田岡岡野 川
【閑院】村 藤田村谷田元原西 澤川
GK 1 9 19
FB
HB
FW
CK 1 4 13
FK
GK

【閑院】加山木笹藤木梅喜細淀

豐成中 ［5−3 0−1］1 湘南中學

【豐成】本田 原 能 西原勝川和 華
【湘南】奥 吉 菅 小 河 海 小 早 保 小
GK
FB
HB
FW
CK 2 13 17
FK
GK 3 4

【豐成】起 行 芝 齋 藤 雀 高 洪 雀 林 張 金 雀 鄭
【湘南】成 中 南 野 野
斗 五 聖

S 15・8・25

神宮大會蹴球　神宮大會蹴球競技　關東蹴球選手

關東蹴球選手は來る廿一日から擧行されるが順は左の通り決定した

【初日九月廿一、二、三日及び廿八、九日】【參加資格】協會加盟團體【申込】九月十五日まで關東蹴球協會へ、參加料一チーム十圓【球場】東大球場の豫定【主將會議及び抽籤】九月十七日午後六時から協會事務所で行ふ

S15・9・8

東京中等蹴球リーグ

東京府中等蹴球リーグ戰前記擴選

第一日は十四、皆師、府高で擧行

△第一部

府九中	2	0—0	0	府八中
豐　師	0	0—0	0	府五中

△第二部

府高等	4	0—2	2	暗星中
東高等	2	0—1	1	學　藝

S15・9・15

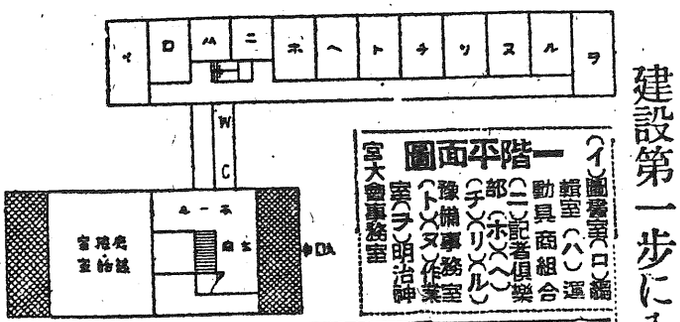
神宮蹴球關東擴選

明治神宮大會蹴球一般之部關東擴選は來る廿二、三兩日及び廿九日の三日間東大球場で擧行されるが第一回戰組合せは十七日抽籤の結果左の通り決定した

早大豫選校、立大豫文大、英學倶樂部豫選校、慶大BBB豫選倶

S15・9・18

建設第一歩に入る　岸記念會館地鎭祭



岸記念體育會館地鎭祭は十七日午前十一時からお茶の水岩崎邸跡の同會設地内で寄附者岸偉一氏を始め關係側から下村會長、三谷、齋藤兩副會長、今村顧問、松澤常務理事その他關係者多數參列、太田姫路荷神社石川社掌により嚴かに執行され愈〻會館建設第一歩に入つた

新設される會館は岸田日出刀博士の指導により前川建築事務所の設計になるもので工費十三萬圓、工事は清水組の請負で今年一杯に落成の豫定である、敷地二、八九二坪、木造二階建延坪二九〇坪で一階は圖の如く應接室兼談話室、圖書室、編輯室、運動具商組合、記者倶樂部、豫備事務室五、作業室二、明治神宮大會事務室に分れ二階は會議室、記念室兼會長室、理事室、事務局、常務理事室、作業室、一般事務室に分れてゐる

S15・9・18

神宮大會東京擴選

神宮國民體育大會東京府蹴擴二十三日の成績左の如し

◇排球　一般男子決勝

早　大　2—0　文　大

◇蹴球　▽關東倶樂部決勝

早　大　0—0　文　理　大

（抽籤勝）

英　學　1—0　豐　師

▽中等校擴選

❶豐　師　1(0—1)1　府八中

❶府　師　2(0—0)0　府九中

S15・9・24

神宮大會蹴球

英學、早大を破る

關東蹴球代表

明治神宮大會蹴球關東擴選決勝は二十九日午後三時十五分から豐師球場で吉原、粉川、川原三審判の下に新興チーム英學對早大の間に行はれ接戰の末英學が勝ち關東代表となつた

英學　4(3—1)2　早大

【英學】内田　本木　原黒川　立波村本茂

【早大】中園(立小路)(橋本米川加)　GK　川田(川田島)(村井戰橋納)　B　川田(川田島)(村井戰橋納)　B　HB　HW　【大】(早田)(川田島)(村井戰橋納)　FW　(花中下高沖)

◇蹴球　中等東京代表決定戰

府立五中　8—0　府高等

S15・9・30

S15-10-2

慶、早、東の争覇

関大早大戦から三つ巴戦へ

秋季リーグ戦は、いよいよ覇者の争奪戦に入った。十月六日の関大早大戦を皮切りに全国一斉に行なわれる秋季リーグ戦は、関東大学野球連盟の発足以来、十一回目を迎えるが、今回ほど優勝の行方が注目されたことはない。今季の各大学会員は、例年に比べて入学試験の関門が狭められたため、入学者数が増大し、各校とも戦力の充実を図っているが、特に慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

関大早大戦

そもそも今季の関東リーグ戦は、九月九日から九月二十八日までの間に、関東大学野球連盟に加盟している六大学の各校が、それぞれ二回ずつ対戦して、勝ち点の多い大学が優勝するという仕組みになっている。

関大早大戦は、九月九日から九月十一日までの三日間、甲子園球場で行なわれた。関大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大早大戦

慶大早大戦は、九月十八日から九月二十日までの三日間、神宮球場で行なわれた。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大東大戦

慶大東大戦は、九月二十五日から九月二十七日までの三日間、神宮球場で行なわれた。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

早大東大戦

早大東大戦は、九月二十五日から九月二十七日までの三日間、神宮球場で行なわれた。早大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶、早、東の争覇

慶、早、東の争覇は、十月六日から十月二十八日までの間に、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大早大戦

慶大早大戦は、十月六日から十月八日までの三日間、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大東大戦

慶大東大戦は、十月十三日から十月十五日までの三日間、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

早大東大戦

早大東大戦は、十月十三日から十月十五日までの三日間、神宮球場で行なわれる。早大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶、早、東の争覇

慶、早、東の争覇は、十月二十三日から十月二十八日までの間に、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大早大戦

慶大早大戦は、十月二十三日から十月二十五日までの三日間、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。早大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

慶大東大戦

慶大東大戦は、十月二十五日から十月二十七日までの三日間、神宮球場で行なわれる。慶大は、昨年の優勝メンバーに、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。東大は、昨年の優勝メンバーを失ったが、新人の好投手を加えて、戦力の充実を図っている。

早大東大戦

早大東大戦は、十月二十五日から十月二十七

S15-10-5

蹴球遊技

大阪師範講師　富永能雄

制限スポーツは、元來個人生活時間内の練習と團體のものであつてはならぬ筈である、理想的にも個人的に一週一回位團體練習に切替せられたものであるべきであらう團體練習日の團體遊技も多く此の見地に立つて行はれる、從つて團體しいシヨオブリュウを伴はぬかも知れぬがそれだけにスポーツ精の下部構造として重大なる地歩を占めて居るもの上述べられていい。

然し　又これは初歩の話であるため、從つてみであるため、從つて團體の不足から敏捷が必要しも正確を缺くといひ切れぬ點に置かれてゐる、百六十人の團體遊技は、大體團體競技の小をはじめ、大體團體競技、團體競技、團體競技、

S15-10-6

けふ蹴球祭

十六英霊参加

大日本蹴球協會主催の下に今六日行はれる蹴球祭は早朝明治神宮大前に於て後若人の赤心を誓ひ奉つて後明治神宮外苑競技場に於て厳粛なる式典を行ふがかつては蹴球選手として活躍し今事変に於て護國の華と散つた十六勇士の英霊が參加する事になつた

和田盛三、坂野清、島崎雄二（以上東大）大崎政雄（慶大）斎藤實（立大）荒井文夫（商大）斎藤龍三郎（東拳）原崎武（文大）池田勝二（横浜一中）林田弘（佐賀中）鈴木武文（鳥岡中）伊東君（日立）小泉正二、刑部司朗、田中敏泰（以上静岡中）渡邊昌一郎（慶師中）

五日の運動

◇蹴球（大學第三部）
日醫大 3―1 國大

六日の運動

◇蹴球（関東高專）
②濱專 5(3―0, 2―0) 0 成城

S15・10・7

今週の蹴球と鎧球豫想

東大に七分の利

對文大蹴球戰

東大對文大蹴球戰は十二日明治神宮外苑競技場で擧行される、今春全日本選手權で健闘したまゝのメンバーで順調一路を辿つて來た東大が開大に不覺の一敗を喫したとはいへ久しぶりに一部に返り咲いた文大が東大に一勝を得るのは容易なことではあるまい、對開大戰における東大は全く練習過度の試合不足といふ點を與へた、いはゞ試合のコツを忘れて居たと評してもよからう

東大FWは全くバラ〳〵で攻撃に粗雜さが見られたが、試合開始直後に示した鋭い出足はたしかにその進歩の片鱗を示したものと見られ恐らく敗戰を機に立直るであらうから文大としても余程緊密な防備陣を布かねばなるまい、CH松浦をOFに置きその後へLHから原崎が入り更にその後へORから多和を下げ伊藤、佐藤の兩FBと相俟つてバックスの新布陣が果してどこまで防ぎ得るか松浦の抜けたのは痛いが夏季合宿で主力を注いだそのキック力に相當ものをいはすことは豫想出來る

一方文大は攻めてはその得意とするキック・アンド・ラッシュ戰法によつて得点を狙ふであらう、元來技の乏しいテイームだが、それだけにオープンから一氣に突込む單純戰法が集合が纏つた時に恐ろしい威力を發揮する、これは案外脆い東大バックに對しては成功の可能性がありこゝに文大唯一の活路があるのではあるまいか

結局興味の中心は東大FWの更生如何と松浦を加へて攻撃力を增大した文大FWが如何にして東大バックの働を働くかに在るが東大FWが眞木の鋭い球捌きを中心とする機動な攻撃に立直るならば東大に七分の有利と見るのが至當であらう（天龍明）

S15・10・8



揭示板

◇…早大蹴球部先輩村形繁明君は此程應召解除となつた

S15・10・10

S15-10-13

文大、東大に敗る

關東大學蹴球リーグ

關東大學蹴球リーグ第二日東大對文大戰は十二日午後三時から明治神宮外苑競技場で擧行3對3で東大に敗した

東大 3(1—1)2 文大
(2—1)

(得點者) 關島、辻二(東大)

大澤田(B)、石山(F)、關田(H)、大岡谷(F)、小野(F)、大澤(F)、小野(F)

東大 GB FB HB FW 文大
10 10 12 KK CFG 3 4 2

◇…前半四分東大關島、關田、大谷と廻し大谷左下端に於てから關島に渡らに渡る間に35分經つてゐたといふ凡戰振りであつた、文大は兩サイドへフアがFBと絶ず同じコースを動いたためFWとの連絡は竹絶え折角攻を取つても大きくしかも不正確なキックをしては東大バックに球を奪はれ遂にHBのこの動きは兩インナーに過重の負擔を負はせて、いざ味方の攻撃にゴール前の突込みといふ際に攻めの手の不足を來してゐた、東大も攻撃のテンポを若干が二點は共にみなど攻撃力の不足を思はせるものがあつた

◇…後半にはいつてから文大の稍スピードを加へた動きに試合は

卿かに若干を與し得る程度の東大バックの球がゴール前混戰となるを近藤シュートして同點とし更に14分近藤のGLの位置からセンタリングを松永が決めて一點リードするに至つて東大も攻りから攻め20分頃木左ゴールポスト部に出すを大谷突込んで同點と進行き39分ゴール前混戰の球を松岡決めて東大の主勢に歸した

◇…結局低調ながら攻め方を知つてゐる東大が勝利を掴んだのは當然で文大はCF松村の球場が大きく攻撃に缺いた何物をも持たず全くバラバラであつた、好漢とも云ふべき一人もなくて關東リーグ戰

(得點) 5(3—0)0 文大
(2—0)0 BRB

立大、千葉農大快勝

關東大學蹴球リーグ第二部立大對拓大、千葉農大對法大の試合は、十三日午前十時から駒大球場で擧行、立大も、千葉農大もその攻撃力の整調を利かして一方的試合とし共に快勝した

立大 7(3—1)1 拓大
(4—0)
千葉農大 6(1—0)0 法大
(5—0)

S15.10.14

海外運動ニュース

獨、蹴球に大勝す

九月二日ライプチヒでドイツ對フインランド國際蹴球戰が擧行され觀衆二萬五千人を集める盛大さであつた、試合は終始ドイツ側攻勢を占め結局十二對零の大差で快勝した

S15.10.12

十二日の運動

◇蹴球(關東高專リーグ)
❶東 高 2—0 府立高
❶浦 高 6—1 青 學

S15.10.13

十三日の運動

◇蹴球(關東大學リーグ)
❹日 醫 大 3—1 中 大
❸工 大 8—0 上智大
△(關東高專リーグ)
❶一 高 7(3—0)1 商 船
(4—1)
❷成 蹊 4—0 日 體
❸明 藥 專 4—3 關東高專
❹明 學 5—3 昭和藥專
❹東 藥 專 4—4 東 醫
△(關東實業團リーグ)
❹航 技 4—1 石川島造船
❹日 立 2—0 淺野セメント

S15.10.14

あすの神宮競技場 二試合 豫想

神宮球場の十七日には明治神宮外苑競技場で早明蹴球戰を先とし、擧立ラグビーがその終了を待つて開催される、共にその勝敗は新聞をさわがせ近接してゐて稀有の白熱戰が展開されようとしてゐる

FWの激戰

兩翼強い早に稍有利

早明蹴球戰

昨秋早大が明大に苦汁を嘗めさせられその雪辱の野望に燃の入つた一戰は今年は兩軍ともに陣容の變動を余儀なくされ何れも初陣に興味は深い、先づ明大はバックから中島兄、南の二選手を失つて居り、これが攻守の中心をなしてゐただけにその痛手は大きい、明大はこれをティームの團結力と竹内、片岡、中島弟等の進境に依つて補はんとしてゐるこれに對し早大は全く陣容一新して殆んどよく明大以上の打擊を要してゐる

蹴球界の一般の部に出場する各地方代表は左の如く十二チームが決定した

関東蹴球聯盟(北海道) 東北大(東北) 美幹倶(関東) 福岡高工(東海) 富山藥專(北陸) 明大倶(関西) 關島島師(中國) 九州醫專(九州) 成蹊蹴球部(朝鮮、前年度優勝) 蹴友倶(台灣) 滿鐵蹴球部(関東州) 全滿洲(滿洲)

S15.10.15

明治神宮大會 日程代表決る

S15.10.16

両軍ともFWに重點を置いてゐるが兩翼の強い早に稍有利と見られ蹴球の妙を發揮するか否かは兩軍ともバックに自信が持てずFWの活躍に待つ外はないが兩軍が使へるだけに早大側に有利と見られ勝敗を決めまい(矢島明)

S15.10.16

掲示板

◇…昨年十二月應召出征し南支戰線に於て華々しい戰死を遂げた明大ソッカー部主將陸軍輜重大尉大倉武彌君(享年二十五歳)は今回の論功行賞に於て旭大の恩賞に浴した

S15.10.17

S15-10-19

早大辛勝

對明大蹴球戰

関東大學蹴球リーグ第三日は十七日午後一時から明治神宮外苑競技場で蹴鞠高山（英）篤本、関根三喜、明大の先蹴で開始、二對一で早大の辛勝するところとなつた

早　大　2（1―1）1　明　大

【早大】田川田中毛高村　野間納
石丸（三川花　下島加
KB　GK　10
HB　GK　3
FW　GK　16
FW　CFG
【明大】林野原中島福岡内木坂
小生栗田中米片竹納藤
7　G
15　15

◇…雨中ともに活潑なシュートのない低調な内戰に終始した前半明大8分右CKの球を片山左に廻しこれを黒板ダイレクトで決め一点を先取したが12分早大も勝石に持ち込んでセンターリングすれば加納好ヘッディングして右下隅に決めて同点となる、20分過早大は下野負傷して退場しFWが四人となつたが稍有利に試合を運び中盤では殊よく動き加納に個してはセンターリングするが肝腎のシュートが出來ず明大も早大バックの不正確なパスをカットしては逆に好パスをFWに出したに個して黒坂を追らせたがこれ亦今一息のところでつぶされてゐた

◇…後半明大はインナースリーに依つて持ち込まんとしたが早大バックの泡しを破る事が出來ず早大も四人のFWでは最後の突込みに人手不足を來し中盤に於ける競合の動きを無にしてゐた、かくてやうやく24分早大加納ドリブルで抜いて出でセンターリングした球を明大FB小林ミスキックしこれが右に出るを花村突つ込んで決め辛うじて早大の勝利となつた（笑顔明）



シュート成る

S15-10-21

二十日の蹴球

◇蹴球（関東大學リーグ）
①工　大 3―0 日　農 大
②千葉醫大 3―1 拓　大
△（関東高專リーグ）
①東　高 2―1 埼　專
①一　高 6―1 浦　高
②外　語 3―0 日　歯
③大　商 6―2 明　專
③東　歯 3―0 高千穂高商
③東　醫 5―0 昭和醫
④橫　商 專攻　橫　東　專
△（關東學生リーグ）
①日　大 1―1 明　大
①第一生命 2―0 マツダ
②眞　銀 2―0 日　蹴
③三　共 0―0 日　銀
③新潟鐵工 4―0 東京計器
④日立航空 5―2 鐘　紡
⑤日立茨城 3―0 日　農
⑥立　川不蹴勝日水西

S15-10-20

商大、長蹴を避す

閑蹴直前に慶大辛勝

蹴球

関東大學蹴球リーグ戰慶大對商大の試合は十九日午後三時から明治神宮外苑競技場で開催、久保田川原三君の一一1で慶大の勝となる

慶　大 3（2―1）1 商　大

【慶大】田川渡谷中山前澤井島野
【商大】加三田大塚横尾高二
KB　GK　12
HB　GK　3
GF　CFG　24
HB
FW
FW
【商大】澤木野上田井山岡本
吉市松藤吉浦吉金石松
4　G
9　13

◇…慶大は島島がFWに出で更に

関東大學蹴球リーグ戰慶大對商大の試合は十九日午後三時から明治神宮外苑競技場で開催、久保田川原三君の一一1で慶大の勝となる

慶　大 3（2―1）1 商　大

【慶大】田川渡谷中山前澤井島野
【商大】加三田大塚横尾高二
KB　GK　12
HB　GK　3
GF　CFG　24
HB
FW
FW
【商大】澤木野上田井山岡本
吉市松藤吉浦吉金石松
4　G
9　13

◇…慶大は島島がFWに出で更に

S15.10.20

蹴球の組合せ決る

神宮大會蹴球競技は中等學校府縣對抗廿九團體、師範學校府縣對抗廿團體、一般地域對抗十二團體が參加するが廿二日左の如く組合せが發表された

◇一般の部　△一回戰　濱松高工　對蹴興、九州專對朝鮮蹴團、補鉄對富山高校、関大倶對台灣蹴友倶△二回戰　富島高師對東京芙蓉倶、補州對東北大

◇師範の部　△一回戰　神奈川對大分、函館對千葉、熊本對京都、山梨對天王寺△二回戰　兵庫對埼玉、茨城對富島、岩島對三重、和歌山對岐阜、廣島對徳賀、愛知第一對富山

◇中等學校の部　△一回戰　中東校對水戸商、徳島商對和歌山中、宮崎商對明倫中、今市中對聖蘭中、大連二中對浦和中、刈谷中對福城中、上野中對修道中、岐阜中對鶴岡中、東京五中對丸龍中、高知商對福岡中、松本二中對神戸三中、鹿岡中對金澤市工、富山高校等科對仙台二中△二回戰　湘南中對富山等對仙台二中の勝者、明星商對早府商

S15.10.23

S15-10-26

酣の學生四競技

豫想

シーズン今や酣、二十七日豪壯の幕を開く明治神宮國民體育大會を經て二十六日には慶大對文大蹴球戰、早大對京大ラグビー、法大對立大對明大蹴球、レスリングリーグ戰の覇を決する早明戰が行はれ、二十七日には早大對商大、東大對明大蹴球、明大對慶大の蹴球戰が行はれるがその豫想は——

蹴球三試合

慶の樂勝か

對文理大戰

◇…昨年の覇者慶大對收り新參の文大戰は慶大に優勢が豫想される、問題は慶大FWに二宮が出場するか否かに在る、病後の二宮に休養を與へるなら慶大FWの得點力は全く殺がれるであらう、然し若し二宮がその好調で出場すれば文大バックは練習される憾れがある

一方文大としては過般の對東大戰の如きバラ〳〵のプレー振りでは慶大バックに對しては得點の可能性が少い、得意のキック・アンド・ラッシュに依る時のみに得點の希望が持たれる

豫斷を許さず

早大對商大戰

◇…早大對商大戰は最も豫想困難な一戰であらう、チーム全體として見る時商大はFWよりバックが強く早大はバックよりFWがよく商大のバックに對する早大FWの突破力と早大バックに對する商大FWの突破力が略同樣と見られるからである

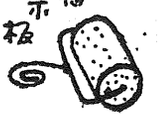
早大は中盤戰における裏、高橋のキープ力と進境を示した加納のタッチプレーを生かしてゆさぶりに、速攻に相當の活躍が期待出來、商大バックとの攻防戰が試合の中心とならう、商大が對慶大戰に示した如くインナー・スリーの中盤における活躍と更にゴール前の好ダッシュが見られるならば得點は倍加するであらう、更に片山へロビングを擧げて長身を利してのヘッディング戰法もありかく何れか一つの決め手をもつて攻めれば金的を射とめることも豫想出來る

東大稍有利

對明大の一戰

◇…東大對明大戰も亦明大に今一息の氣力が缺けまれゝば好試合が豫想出來る、明大が就中に粘りつゝ鈴木、竹內、片岡等が眞中を衝いて出ては反撃を加へるならば相當の得點機を摑むことも出來よう、東大は恐らく直木の鋭い球捌きを中心にこゝから左へ廻して大谷の突込みを狙ふであらうが、この得點經路は明大バックも余程警戒してかゝらねばならぬ、順當に行けば稍東大に有利である(天曙明)

S15・10・25



◇…神宮大會蹴球の朝鮮代表蔵興蹴球團は廿三日午前七時卅分東京驛着列車で入京本郷弓町第一樂館に入つた。

S15・10・24

廿四日の運動

◇蹴球(大阪電話)

滿鉄 7(3—0 4—0)0 商田湯店



◇…大日本蹴球協會では神宮大會期間中、中學師範選手八百名を淺草區松浦町本願寺に集めて練成合宿を行ふが、これに先だち廿四日午後六時在京役員四十名が同寺心光院に集合して打合せを行つた後練成は先づ役員からと言ふ譯で實際行ふ行事の豫行を行つて一夜を明かしたが廿五日朝も同樣朝の行事を行つて正午一先づ解散する筈

S15・10・27

慶大快勝す

蹴球

文大無得點に退く

關東大學蹴球リーグ慶大對文大の試合は二十六日午後一時から明治神宮外苑競技場で審判立原(主)村形、永田(線)三君の下に文大先蹴に開始、終始慶大攻勢を續け樂勝した

慶大 6(3—0 3—0)0 文大

◇慶大は二宮をCFに笠原をRHに出場せしめ今秋のベストメンバーで對戰したのでテイーム全體が引締つて來、特にFWはやうやく形態を整へ得て得意の縦パスを盛んに使つて文大バックを攪亂して大勝した、これに對し文大は岡部CF松浦が未だ負傷のため出場出來ずその代りに起用した久下は全く出足鈍く文大得意のキック・アンド・ラッシュに大きなブレーキとなつて遂に一點をも報い得ずに終つた

◇前半5分慶大渡邊ドリブルシュートを左下隅に決め更に12分ゴール前の混戰から高島に出た球をセンターリングすれば篠崎へツデイングで左上隅に決めた後14分文大はPKを得たが久下これを失敗し更に18分田中のミスキックを近藤拾ひドリブルシュートしたが惜しくもゴールポストに當つて機を逸した、このチヤンスが文大唯一の反撃の機會で試合のやまともいふべく爾後慶大が着々と得點を重ねて試合は正午に進められ試合が終つて見たらいつの間にか點數割りの大差になつてゐたといふにすぎなかつた(天曙明)

慶大
GK 63 50 笠原
FB 11 11 渡邊
FB 34 11 永井
CFGP 11 11 篠崎
CFGP 11 11 高島
CFGP 11 11 田中
FW 11 11 後藤
FW 11 11 二宮
FW 11 11 志村
FW 11 11 岡崎
FW 11 11 和田

文大
GK 11 11 永井
FB 11 11 下野
FB 11 11 松浦
HB 11 11 原
HB 11 11 中山
HB 11 11 崎
FW 11 11 濱口
FW 11 11 高島
FW 11 11 久下
FW 11 11 村形
FW 11 11 永田

廿七日の運動

◇蹴球(關東大學リーグ)
③中 大9—1上智大
(關東高專リーグ)
②成 城5—2日 歯
②成 醫3—0外 語
③明 藥2—2東 歯
④昭和醫專5—0東 藥
④横 商專4—4明 學
△關東實業團リーグ
⑤日立本社12—0日滿生命
⑤動 銀8—0日 曹
⑥中島飛行機1—0立川飛行機
⑥古河電工4—0日本石油

S15・10・28

S15-10-28

商大、早大を破る

關東大學蹴球リーグ

關東大學蹴球リーグ第一部商大對早大、東大對明大の二試合は二十七日午後一時から本郷東大運動場で擧行商大はよく早大を抑へて快勝し東大は明大に壓勝した

商　大　2
1―0
1　1
早　大

審判高山（生）岡崎、岡本（綾）

【商　大】

澤川浦本野上田井山岡水
吉荒松鈴早瀬吉金片松瀬

GK
FB　FB
HB　HB　HB
FW　FW

CK
CFG

4
8
19
10
2
8

【早　大】

◇早大は終始攻勢を續けながら商大の反撥にあへなく二点を奪はれて挽回し得ず敗れた、早大は不運といふには餘りにも多くのチャンスを逸し去つたのは勿論商大バックの粘りのある敢闘的な防戰にもよるがこれを決め得なかつたFWの決定力不足が敗因の最たるものと言へよう、ゴール前に折角持込み作らダッシュする術を知らずシュートすべき時にシュートせず惡球を強ひては商大バックの執拗な潰しに遭つてゐた商大は二点共數少いチャンスを良く生かした、先づ前半30分早大陣ゴール右翼の淵敏で早大バックが右に寄り過ぎた隙を左に廻してノーマークとなり淵水右下隅に決め、後半は17分清瞭に出て左から出た球を吉田センタリングしを松岡決めて2―0とリード、其後早大間も攻勢を續ける組30分右コーナーの球をGK吉澤ハタキ出すをシュートして2―1と迫つたが商大よくこれを押切つた、早大バックは二点を奪はれて憔悴さを露呈したが實は得点された以上に取る向きを取らなかつたFWに歸すべきであらう【天藤明】

東大快勝す

東　大　6
3―0
1　1
明　大

【惡判岩崎、渡邊、淵水三君陳大先發】

【東　大】

林野原中島林岡内木青
小生栗田中大片竹鈴米

GK
FB　FB
HB　HB　HB
FW　FW

CK
CFK
CFG

2
4
22
13
16
5

【明　大】

◇後半先づ1分明大竹内のシュートが東大バックに當りGKの逆を衝いて一点を返したが東大は13分、41分、43分と三点を加へて壓勝した、明大はFW兩サイドが殆んど使へずインナー・スルーで割つて出ようとするがゴール前で後援續かず東大バックに潰されてチャンスの芽生えをつまれてゐた、東大FWはコンビネーションよく而も一度抜かれると立直りの遲い脆弱な明大バックを飜弄して巢々と決めて大勝を博した、東大の善戰といふよりは明大の拙戰ともいふ可き一戰であつた（天藤明）

S15・10・29

東京芙蓉決勝へ

蹴球

蹴球競技第二日は本郷東大球場で引續き一般地域對抗準決勝戰を擧行朝鮮咸興對關大倶戰については既報の如く前半芙蓉FW左側の活躍で二点先取し後半に入つて滿洲一元氣一杯に攻勢に轉じたが一点を返したのみで芙蓉の勝利となり決勝は咸興對芙蓉の間で行はれることになつた

東　京　3
2―0
1　1
滿洲國

【東　京】

富田鍋氏後甲德廣
致始永鐘世
滿鐵柴李柳崔李孫宙
GK
FB　FB
HB　HB　HB
FW　FW

CK
CFK
CFG

1
2
13
5
6
8

【滿洲國】

内本木原黑川立川村本茂
芙蓉中宮錦立小前橋粉木山加

S15・10・31

明治神宮体育大會

第十一回

蹴球

蹴球競技第一日は廿八日は師範、中學、一般ともに順調に進み一般地域對抗で優勝候補の第一に擧げられる咸興は東海の雄濱松高工と對戰したが濱松の力闘があつたとはいへ上乘の出來といふ事を得ず北海道代表函館が豫想外の得点力を持つてゐるだけに咸興對函館の對戰は非常に興味あるものとなつた、この他中等は大體に於て順當な結果を殘したが上野中の修道中に對する善戰は有名、無名の對戰であるだけに注目された

◇中等學校府縣對抗第一回戰

山形岡中　3
3―0
0　0
岐阜中

京都聖護中　2
1―0
1―0
0
金澤市工

仙台二中　2
2―0
0―0
0
富山高等

蹴球

蹴球競技は引續き男子一般地域對抗、師範學校組に中等學校府縣對抗各二回戰を本郷東大外五球場で擧行、一般の部では朝鮮咸興が個人技に組織的強みを示せば中等の部に於ても朝鮮中東校が優勢の勢ひを示し師範學校の部では鹿島、福島、埼玉、岡崎等定評のあるところが順當に勝ち殘つた

◇中等學校對抗

福岡中　1
1―0
0　0
島根商

◇師範學校府縣對抗二回戰

高山師　3
2―1
0　0
一關師

静岡師　3
3―0
1　0
愛媛師

◇一般地域對抗二回戰

朝鮮咸興　8
5―3
0　0
函館友倶

【咸　興】

林根原小鎌一
海谷鳳金加谷方
趙李安村李李李吳姜鄭金

GK
FB　FB
HB　HB　HB
FW　FW

CK
CFK
CFG
CPK

12
5
0
1
0
7
27
0

【函　館】

鎌小松村角吉佐鎌根古浦
山　川林谷澤竹　澤田川下

S15・10・30

S15-11-1

第十一回 明治神宮國民體育大會

第五日

蹴球

蹴球競技第四日は三十一日午前八時半から師範學校府縣對抗第三回戰を本郷中球場で又中等學校府縣對抗第三回戰を東大運動場で午後三時から一般地域對抗決勝東京美容倶對朝鮮咸興戰を外苑競技場で擧行、先づ中等の部で東京府五中は優勝候補神戸三中を大接戰の末1―0で破つた

◇師範の部三回戰

岐阜師	2(0―0)0	東京師

【岐阜師】GK 村瀬 FB 谷口・谷田 HB 原・元澤 FW 川・小澤 CK 3 FK 2 GK 15

【東京師】GK 佐藤 FB 松村・木下 HB 坂井・鈴木 FW 加藤・小澤 CK 1 FK 3 GK 22

埼玉師	0(0―0)0	鳥取師

【埼玉師】GK 小林 FB 小川・本田 HB 木野・山上 FW 島崎・小村 CK 1 FK 3 GK 15

【鳥取師】GK 藤原 FB 岡尾・倉重 HB 秋室・大黒 FW 岡尾・倉重 CK 7 FK 5 GK 7

豊島師	4(0―0)0	岐阜師

【豊島師】GK 小林 FB 本田・本山 HB 弘・保 FW 本田・本山 CK 6 FK 4 GK 5

【岐阜師】GK 古加米 FB 山田・近藤 HB 山岡・近藤 FW 山田・瀧本 CK 2 FK 7 GK 15

◇中等學校三回戰

大阪明星商	3(0―1)1	神奈川湘南中

【大阪明星商】GK 大塚 FB 内藤・大塚 HB 村上・本野 FW 玉上・内藤 CK 3 FK 11 GK 11

【神奈川湘南中】GK 井村 FB 村瀬・後錢松丸 HB 篠崎・河松 FW 橋田・石島 CK 6 FK 0 GK 9

蹴球練成會合宿終る

明治神宮國民體育大會蹴球部練成合宿は去る二十六日以來淺草本願寺に於て行はれてゐたが廿九日以上の成果を收め三日朝閉所式を擧げ保尾會長の告辭、明星商業松本主將の謝辭あつて閉式解散した

S15・11・4

S15・11・1

蹴球

蹴球競技第四日は三十一日午前八時半から師範學校府縣對抗第三回戰を本郷中球場で又中等學校府縣對抗第三回戰を東大運動場で午後三時から一般地域對抗決勝東京美容倶對朝鮮咸興戰を外苑で擧行

蹴球競技は午後三時から外苑競技場で一般地域對抗決勝東京美容倶對朝鮮咸興戰を擧行、咸興は前半僅か10分間に3点を決めて勝利を確保し更に後半の終り頃に3点を加へ大勝を博し二年連覇を成就した、立上りに於て美容は寄せ集めチームの缺點を暴露してバックのコンビネーションを缺き咸興はこの點を衝いて2分、6分、9分と連續得点を擧げた美容は前半に動きが鈍く頼みとする加茂が元氣なく川本とのコンビによる美容唯一の得点經路が阻まれ、更に木村が全くプレーキとなつて折角のチヤンスの芽生えを自ら摘みとり遂に一点をも酬い得なかつた個々の技といひ組織力といひ共に勝れた咸興の勝利は順當であつた

◇師範の部三回戰

滋賀	3(1―0)0	富山

◇中等學校三回戰

朝鮮中東校	5(2―0)0	千葉中

◇一般地域對抗決勝

朝鮮咸興	6(3―0)0	東京美容

審判松丸、乙骨、福島三君、咸興先蹴

【咸興】GK 林根培 FB 林根・金 HB 李・金 FW 李・金・李・金・金 CK 5 FK 3 GK 12

【東京美容】GK 内本 FB 木原・黒川 HB 村島・波本 FW 茂垣・内本・宮鈴・立小舘・木中・岩川・加 CK 1 FK 8 GK 11

S15・11・1

蹴球

蹴球競技第五日は一日早前九時半から東大運動場で中等及び師範府縣對抗競決勝を擧行、中等部では中東校と明星商が共に快勝し決勝へ進む事となつた

◇中等學校府縣對抗準決勝

朝鮮中東校	6(5―0)1	埼玉浦和中

【中東校】GK 崔 FB 李・李 HB 盧・李・郭 FW 崔・朴・眼(一)・崔 CK 6 FK 0 GK 1

錬學時仲銃銜正乘建太一

大阪明星商	7(3―1)1	東京府五中

【浦和中】GK 佐藤 FB 篠崎・本田 HB 口中川地・和 FW 篠崎・川松・半橋田石島・赤 CK 0 FK 16 GK 11

【府五中】GK 藤原 FB 岡尾・倉重 HB 秋室・大黒 FW 岡尾・倉重・江小・二小川山島 CK 0 FK 4 GK 17

【明星商】GK 大塚 FB 内藤・大塚 HB 村上・本野 FW 玉上・内藤・本木・野 CK 3 FK 1 GK 1

◇師範校府縣對抗準決勝

滋賀	5(1―3)3	富山

【滋賀】GK 木村 FB 本田・本山 HB 保・弘 FW 本田・本山・保・小 CK 3 FK 5 GK 8

【富山】GK 古加米 FB 山田・近藤 HB 山岡・近藤 FW 山田・瀧本 CK 2 FK 7 GK 15

S15・11・2

蹴球

蹴球競技第五日は引續き東大運動場で行はれた師範府縣對抗準決勝第二試合は昨年の勝者廣島が勝ち富島と覇を爭ふことになつた

廣島	2(1―0)0	岡本

【廣島】GK 氷永 FB 上本・保 HB 弘・本田 FW 本山・保・小 CK 4 FK 6 GK 8

【岡本】GK 氷井 FB 本田・木野 HB 山上・島崎 FW 大黒・小瀧・岩・小村・島 CK 3 FK 8 GK 16

S15・11・2

蹴球

師範決勝は引分け

蹴球競技第七日は三日早前九時から外苑競技場に於て師範學校府縣對抗決勝富島師範對廣島師範戰を擧行、審判中東内、関口、粉川三君富島先蹴で開始、共に決定力を缺き凡戰前引分兩校第一位となる

◇師範校府縣對抗決勝

富島師範	0(0―0)0	廣島師範

【富島】GK 氷永 FB 上本・保 HB 弘・本田 FW 本山・保・小 CK 1 FK 10 GK 0

【廣島】GK 藤原 FB 岡尾・倉重 HB 秋室・大黒 FW 岡尾・倉重・江小・二小川山島 CK 1 FK 15 GK 0

◇中等校府縣對抗決勝二日の分

朝鮮中東	4(1―0)0	大阪明星商

【朝鮮中東】GK 崔 FB 李・李 HB 盧・李・郭 FW 崔・朴・眼(一)・崔 CK 5 FK 4 GK 6

【大阪明星商】GK 大塚 FB 内藤・大塚 HB 村上・本野 FW 玉上・内藤・本木・野 CK 1 FK 11 GK 16

S15・11・4

第十一回 明治神宮體育大會終る

文大快勝す

對明大蹴球

關東大學蹴球リーグ文大對明大の試合は三日午後二時から東大運動場において審判島山(慈)島田、柏木三君の下に明大先蹴で擧行、接戰の末文大快勝した

文大	3(2―1)1	明大

【文大】GK 藤原 FB 伊佐・中原 HB 多・松・小近藤・高榊 FW 大塚・林・野原・中島・木岡・内坂林・池・小生・菜田・中鈴・片・竹・草 CK 12 FK 9 GK 6

【明大】GK 浦和 FB 林藤・部原 HB 林・井・村・玉上・内 FW 篠崎・河松・半橋田石島・赤 CK 4 FK 16 GK 24

三日の運動

◇蹴球關東大學リーグ

②工	大 5―0	拓大
②千葉醫大	5―0	慈大

△關東商專リーグ

❶商	船 4―1	浦商
②成	城 4―0	外語

△實業リーグ

②東京ガス	4―0	日本徵兵
③日	銀 3―1	明菓

S15・11・4

S15-11-9

けふ・あすの蹴球三試合豫想

関東大學蹴球リーグ戰もいよ〳〵後半戰に入り九日には早大對東大、十日には慶大對明大、商大對文大の三試合が擧行される

FW戰開か

實力伯仲の早大、東大

早大、東大共に商大に敗れ商大の二位確保の可能性が濃厚であるから兩軍ともこの一戰は物にしたいところである、對商大戰を見ると兩軍とも押し續けながら何れも負け、對明大戰では何れも勝つてゐる、戰績の上から見た兩軍は伯仲の實力ということが出來る

東大バックも有馬の思ひ切つた動きを除いては案外拙いところがあり早大バックといへども商大FWに見事に封ぜられて二点を取つた程で意外に脆弱である、從つて兩軍とも取られた以上に取るべく總力的なFW戰が豫想される

早大は米谷が未だ試用出來ないのでCFの突込みとヘッディングシュート等による決定力に缺點を感ぜしめ又高橋の病氣が傳へられてゐるので整備された線とはいへぬが要を中心とする中堅の活躍と末岡のフィードに依つて兩翼からの速攻も期待され相當の好機を摑むことが出來よう

又東大FWも大谷が對明大戰には破場して居り今回も出られないとすれば幾分得点力が減殺される、東大FWは纏つては居るがスケールが小さいので明大の如き強いバックに對しては相當得点出來るが少し強力なバックに出合ふと取れない、末岡を加へた早大バックを破るには餘い一つの決め手を持つてかゝらねばなるまい

商大七分の利

對文大戰

商大對文大戰は明大を破り一部殘留を確保して氣をよくしてゐる文大が果敢な戰ひを挑むであらう

過般の文大の勝利は關根松浦の出場によりやゝ纏りが出來てオープン戰から一氣に高部、近藤等が突込んだところにあつた

再び松浦の出場を見て一途にこの戰法を試みるならば商大も油斷が出來ないが商大バックの潤しと片山、澁水を中心に纏まりを見せて來たFW線をもつてすれば先づ商大に七分の利がある

明大の苦戰か

對慶大戰

對慶大對明大戰は明大バックが一段と軈剛さを增し、じつくりと慶大FWに食ひ下つて行かねば慶大に大量得点を許す憂れがある、又明大FWは片山、竹内が夫ら自ら持ち込むことのみに專念するとゴール前で力盡きてシュートのない試合に終つてしまふ

一度鈴木に出して慶大バックをゆさぶると共にリターンパスかセンターリングを待つて突込めば得点の可能性がないものでもない、結局明大が奮起せねば慶大の大勝とならう【天理明】

S15－11－10

早大・東大に辛勝

關東大學蹴球リーグ

関東大學蹴球リーグ早大對東大戰は九日午後一時から明治神宮外苑競技場で審判松丸、塩田、渡邊三君東大の先蹴で開行、一對零で早大辛勝した

早大	1	0	0	0	東大

【早】GK 田川 田宅 岡島 村西谷 大島
FB 石川 三末 川花 河米 渡納
HB 野田 部石 山島 池田 木野間
FW 大濱 原長 力横 有菊 穂直 天笹

8 C K 4
11 F K 5
13 G K 14

◇…早大は高橋主將が病氣缺場の爲FWに米谷、河西を今秋はじめて起用、米谷の長身を利するロビング戰を狙ひFBに片田を出場せしめて三宅を再びHBにあげバックを固めて對戰これに對し東大はポイントゲッター大谷が出場出來ず聊か得点力に不安を藏してゐた、試合は緊さの急調と云ふグラウンドに全くぎこちないものとなり前半は30分を過ぎるも兩軍とも好機無く走らに中盤で凡蹴が續き早大は略んにロビングをあげて米谷、河西が突込むがものにならず東大も左側に廻すが時間がブレーキとなつて機を摑み得なかつた、然し早大のロビング戰法は戰を有利に展開、36分右コーナーを得これが混戰となりこぼれ球を花村突込んだが東大FBの好防に阻まれ機を逸したが早大優勢を續け44分遂に東大FKの球が早大HBに渡り更にゴール前混戰となつてペナルティーエリヤ附近にこぼれるを絶見事なロングシュートに右上隅を割り斷くリードするところとなつた

◇…後半早大が一点を守らんと消極的となつたに反し東大は一点を決めんと活潑に動き前半とは逆に押し特に27分早大三宅が負傷してからは攻勢を續け30分菊池が持ち込み早大GK島田の逸を衝いて左ゴールポスト下に絶好のパスを出したにも拘らず時間之をゴールオーバーした機は東大をして同点に追ひつかしむる絶好の機を逸したものとして惜しみて余りあるものであつた、東大は大谷の缺場がどこまでも大きく響き東大唯一の得点經路ともいふべき左側からの突込みに依る決め手を缺いだところに零敗の因があつたといへよう、早大の勝因は前半ロビング戰法に依り機先を制したこと、守つてはCF直木をがつちりとマークした末岡の獨壇と攻めては中盤に於ける進退よろしきを得、而も自ら決定点を擧げた點の縱橫の活躍に依るものといふことが出來る【天聽明】



蹴球前半二十分大東ゴール前の混戰

九日の運動

◇蹴球【關東學聯リーグ】
❶一高 5―1 青學
❷外語 4―1 商大專

S15.11.10

S15-11-15

S15-11-11

文大、商大を破る

蹴球

関東大學蹴球リーグ戰大會第六、商大對文大の二試合は十日午後一時から東伏見早大運動場で擧行、文大は明六に大勝し、文大は豫想を覆切り商大を破つた

文大 4（3—1 1—1）2 商大

（審判松丸、大崎、宝井三君文大先嚮）

【文大】岩川清木野上田井山豊水
【商大】吉武松鈴早瀬吉金片吉濱

文大	G	K	B	B	W		5	14	19
商大	G	K	B	B	W		5	14	19
文大	F	K	H		F		C	F	G
商大	F	K	H		F		C	F	G

【文大】高橋藤村崎和永林濱部
【大伊佐中原多松小神近藤】

7 3 9

◇…前半5分商大高水のセンターリングを吉田（サ）ディングで決め幸先よいスタートを切つたが、その後文大はゴール前に上げては猛烈にダッシュする激しい動きに商大バックは聊かつられ氣味でミスキック多く文大はこれを拾つては遂に無二無三に突込み或ひはシュートして遂に9分、26分、44分と決めて前半リード

◇…後半にはいつてからも23分再び高部のロビングからこぼれた球を松永決め4—1と離して勝利を確保した、商大はその後早野を前に出して總攻撃を行つたが一點を返したのみで終つた

◇…文大の勝利はよく闘志と體力を活かしたキック・アンド・ラッシュ戰法にあり商大はバックがこれに捲込まれて完全に潰し得なかつたところに敗因があつた

慶、明に大勝

慶大 8（4—0 4—1）1 明大

（審判島山英、川野、横三君慶大先嚮）

◇…豫想の如く慶大FWの優勢裡に試合今秋最高の開きをみせて慶大が快勝した、慶大は篠崎に球を集め右側から攻め込み篠崎好誘で明大守備陣を攪乱しては好センターリングを出して二宮志賀などが決め、或ひはこぼれ球を自ら拾つて三点を決めるなど全く一方的試合となつた

◇…明大は後半の最初活氣を呈し後半開始直後米積のセンターリングは慶大バックとGK岩田の間を衝き岩田即ち出した處を竹内決めて僅か一點を返したのみに終つた（天嚮明）

【慶大】田川塚原中山崎多宮島岐
【明大】岩白大平田内篠渡二島志

慶大	G	K	B	B			8	3	10
明大	G	K	H		F	W	C	K	K
慶大	F	K	H		F		C	F	G
明大	萩野原中島須坂内木林								

小牛栗田中米澤竹鈴大

1 5 18

S15.11.11

十日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ）

❶マツダ 4（3—1 1—1）2 3. 新朝日
❶第一生命 2（2—1 0—1）2 調管本
❸三共 1—0 新潟鉄工
❸日銀 6—0 東京計器
❺北辰電 5—1 日滿生命

（関東高專リーグ）

❶商船 4—1 府高專 15—1 日歯
❷横商專 2—1 横商專
❹昭和醫 6—0 明學

（関西學生リーグ）

❶関大 4（2—0 2—1）1 京大
❷立大 4（3—1 1—0）1 大藥
❷拓大 3（2—1 1—0）0 慈大
4 千醫

休力塔

蹴球と新體制

◇我等は多年蹴球による鍛錬を通じて體力日本の建設に邁進して居るのである「何ぞ新體制たると雖體制たるとを問はんや」である。

茲に體力と言ふは意力訓練精神力を含む廣義の體力であつて剛毅なる精神を有する強健なる身體を以て表徴せらるゝものである。

◇抑〻一國の國力は其國を組成する國民個々の力の集積である事は論を俟たざる所である、而して力はこれを體力と體力との二に分つことが出來る。

これは恰も車の兩輪の如きもので相並んで進歩向上を計らざれば全體としてその用をなさざることも亦自明の理である、我等は我國民の智力においては世界に誇るものたるを信ずるも體力に付いては一段向上の工夫を爲すべきを義務と感ずるのである。

◇體力を養ふには我國古來の武道あり又登山、水泳、體操等數多の方法ありて各人各個の趣味と境遇とにより孰れの方法によるも兎くその道に精進するにおいてはその目的を達し得べきである。併しながら蹴球（ラグビー、籠球も同様）に依つて體得せらるゝものは最多面的である、即ち蹴球においては

一、競技に於ける必勝の氣魄の昂進による不撓不屈の精神力及び體力の鍛錬。

一、一瞬を爭ふ競技の性質による果敢機敏の性能及び動作の修練。

一、團體競技の性質による協力一致並に全體の爲に自己を犧牲とするの精神の把握。

一、團體の綜合的威力を發揚するに最必要なる計畫及び組織の才能及び指導精神の涵養。

が並び行はれるのであるから體力向上には最理想的の修養道であると信ずるものである。

◇而して我等は右の如き競技自體より生ずる自然的効果のみに依賴することなく機會ある毎に精神訓練を行ひ日本精神を振起し正しき力を養ふ指導に力を竭して居るのである。

其一例を擧ぐれば、昨年の神宮競技大會においては參加選手四百餘名に對し一週間錬成合宿を行ひ、本年も亦八百を超ゆる選手の錬成合宿を物資不足勝の際幾多の難關を突破し實施して豫期の効果を擧げ得た。

斯の如くして蹴球精神の昂揚と其普及とに鋭意し國民體力の強化による國力の增進を計ることは勿論新體制に順應する所以であると信ずる。

我等は既定の方針に一路邁進あるのみと考へて居る。（大日本蹴球協會々長　深尾隆太郎）

練習リーグ戰成績

（10日迄）

明大	0	0	…	0	0	×	0	0	4	
文大	0	…	2	0	×	2	2	4	2	2
東大	…	0	0	×	2	2	4	2	2	2
商大	0	2	×	2	0	…	4	2	2	
早大	…	×	0	2	…	2	4	2	1	
慶大	×	…	2	…	2	2	6	3	0	

蹴球リーグ戰成績　点數　勝數　負數

S15－11－16

行ふ・あすの蹴球豫想

慶に王座挑む東大

早、文は五分と五分

東大慶大戦蹴球はリーグもいよ〳〵大詰となり十六日の慶東戦、十七日の早文戦、明治戦の三試合についで二十四日の早慶戦で今シーズンの幕を閉ずることとなつた

慶東戦　三戦三勝西尾選手擁する慶大と誰に早、商に敗れ辛うじて引分の憂目を見つた東大の試合はどの点から見ても慶大に有利であるのはいふまでもない、だが東大はこの一戦こそ最後の突撃を試みねばならぬビッグスリーとしての最後の重要を問はれる、否これに勝たねばBクラスに転落しその醜かしい歴史に一汚点を残す事になるわけだ

全く今秋の東大は最もよく纏つたといはれながら少しもその優れたる点を見せずに終つてしまふ可能性があるのである、此等のところを東大イレブンがよく反省して慶ふたゝび今秋第一の好試合も期待出来やう、好試合とするも可とするも要は東大の闘志如何にかかつてゐるといつてよからう

慶大は二言の指導教授で甲乙丙の組分け昨年の巧緻多彩とまでは行かなくとも得点力は相当増強してゐる、然し所詮は二言と緒崎の個人技に依つところ多く再度ならずインターセプトには必ずこの両者が出て来てゐる、慶大は恐らく緒崎に球を集めてその巧なタッチプレーとセンターリングに依つて攻撃を組立てる筈で或は機敏、言語を駆使に長ける二言が中央を突破し割つて出て来るであらう

従つて東大としては徹底的にこの二人をマークし死力を尽して防ぐことだ、而も慶大守備陣は昨年の如き強固の堅さがなく攻撃線約ワオローが揃えてゐるだけに東大としてはそれだけやりよい訳だ、一方攻めては強靭の脚を活せず大きい正確なパスで一気に敵大陣に突入、直木、大谷等の速い球捌きによれば慶点機を生れて来る、東大に"先制の一撃を与む"の心構へある時のみに相当が見出されやう

早文戦　文大は鋭志と溢れるダッシュに四回を一新した、これによつて従来固な商大バックを突き破つて猛撃を加へた、この勢ひで進撃する時は早大バックも死守の覚悟がなければ相当苦戦を強ひられやう、だがこの無軌道的な文大の攻撃が無駄軌道の如き早大米岡を突破出来るかこの攻防戦が最も興味深い、文大は更に守備においても堅実なスピードのある潰しを見せて来たので唯一人に頼らねばならぬ早大としては苦しい従つて早大もゴール前にロビングをあげ要、米谷あたりの決定力を生かすべく努めるであらう

結局両軍ともキック・アンド・ラッシュの華々しい戦ひが展開されようが、早大は中盤のキープ力に勝り文大の急テンポに捲き込まれることを警戒しつつ攻勢に転ずるであらうし、文大は重力とスピードに優れ一気にゴール前に雪崩れ込まんとするところに差異がありこの生かし方如何に依つて勝敗が決せられよう、先づ五分々々の好試合が期待出来る

明治戦　明大豊富な人材は既に二部選手の決定した明大が余裕綽々として戦はねばならぬに終る感がある、明大FWが従来の如き竹内、片岡のみのキープ力に頼らんとすれば商大のバックに完全に潰され有終の美を飾り得ない

商大も対文大戦の後半に示した如き積極的攻勢をとつて一つこの壁で相当戦の醜態を晒すべきであらう、かくてこそはじめて好試合も期待出来るといへる

（大藤生）

S16-11-17

慶、壓倒的に勝つ

東、凡失に敢なく敗退

蹴球

関東大学蹴球リーグ慶大対東大の試合は十六日午後三時から明治神宮外苑競技場で対抗（キック・オフ二時、主審庄田（綜）三吉審判の下に東大先攻に開始、慶大の一方的試合となり大量得点を挙げて快勝した

慶　大　6（1―0）0　東　大

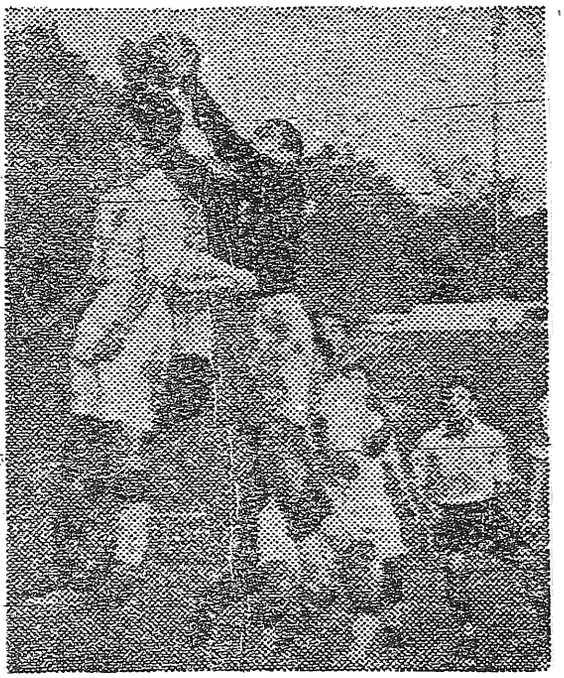
◇…期待された一戦も前半東大GKの頭脳的陣に技術的のミスから16分までに三点を奪はれ殊に一点等はれた後はげしく反撃に出でんと気負ひ立つた矢先にGKのハンブルで一点加へられてからは全く闘志を失ひそのまま救えなく前進つて仕舞つた、先づ慶大は主将加藤満み、志賀両選手で殊場したに對し東大は大谷を復員召集して FW線を整備し、万全を期したので東大或は慶大に一矛歌かすかとさへ思はれたが前半10分慶大大崎からゴール前に出た球を東大FBがカヴアーしたにも拘らずGK落野飛び出さずその間に中矢に奪つてゐた篠崎飛込んでトウ・キックで決め

◇…更に12分二宮のセタッチ寄りペナルティーエリヤ附近から放つたロング・シュートをGK落野ファンブルして股の下を落せ16分には左コーナー・キックを落野タイミング悪く飛出しそこになつたゴールへ篠崎ヘッディングで楽々と決め此點に早くも勝敗を決定して仕舞つた

◇…慶大は更に両サイドから球をオーブンに廻はし、氣の抜けた東大守備陣を動いて20分島島30分篠崎と決め5―0と開いて前半を終つた

◇…後半は慶大FW前半の大量得点に息を抜き東大また反撃すべく闘志を燃やし得ず凡戦を續け33分慶大一点を加へたのみで終つた、東大は前半41分直木から菊池に廻はし菊池ノーマークで絶好のチャンスを逸へながら持ち過ぎて失敗し、後半は22分菊池持ち込みセGK落田飛出してFWにたつたところへシュートしたが石川へッディングで防ぎ

◇…更に40分直木のフリー・シュートがゴール・オーバーし遂に



慶・東京蹴球　前半三十二分東大ゴール前の殊戦

【東　大】

野田部調山島湖野木田谷
落原長笹澤有菊天直穂大
GK B B H FW
GF H FW

【慶　大】

3 1 16
CK K K
C F G
9 3 17

石大内田宇後澤二島島

十六日の運動

◇蹴球（関西學生リーグ一部）
関　大　5―2　神　高　商

慶大6日迄のリーグ成績

	慶	早	商	文	東	明	得点	失点	勝敗
慶		○	○	○	○	○	4	0	4
大	×		○	○	○	○	4	2	3
商	…	×		○	○	○	2	2	2
文	…	…	×		○	○	2	2	2
東	…	…	…	×		○	2	2	1
明	×	×	×	×	×		0	4	0
勝敗	2	2	2	2	2	0			
定勝敗	4	4	4	4	4	4			

S15-11-18

早、文を打棄る

蹴球リーグ戦
明大は商大に惨敗

関東大學蹴球リーグ戦早大對立大、商大對明大の二試合は十七日午後一時から東大駒場で擧行、早大對文大戰は文大のリードを早大反撥して熱戰の末勝ち明大は商大に惨敗して位となつて次シーズン第二部に編入される事となつた

早　大　4（0―3）3　文　大
（4―0）
（審判員山英、藤野、岡本三者早大先擊）

◇前半文大はその体力と闘志によつて終に烈しく動き不調の早大をよく壓倒し特に早大FB陣の弱い潰しを繰返しGKの弱い點に附けられて遂に三點を擧げた

◇後半に入つて文大は三點を守らんとする消極的な態度とへばりから動きが鈍くなつたに對し早大は珍しく闘志をあふつて攻撃を續け十二分頃終の左ペナルティエリヤ附近から放つたロングシュートがゴール内に決つてからは地力を現はし攻んに文大バックを左右にゆさぶりとが身体が固く後に弱い文大に對し奏功して遂に同点、その後文大絶好の機を逃し早大はタイムアップ直前の左コーナーキックがこぼれるを岡崎センタリングすれば石川ヘッディング、更にそれを米谷バック・ヘッディングでゴールして遂に決勝の一点を加へた

◇前半文大の奮戰に次ぎ後半これを追撃する早大の奮戰は猛烈な攻防戰を演じ入し振りに好試合となつた、前半の擧動は鬼に角後半盛返した早大の闘志は賞すべく、文大は善闘したが後半の消極的態度が敗戰を齎したものと惜しまれてならない

【大】鳥巣　藤村　菊和　永林　原　藤岡
【文】大伊　佐中　原多　松小　樋近　渡
GKBBHFW
CKKCFG
3 12 20

【早】岡川　田子　岡島　村井　谷
【大】早稲石片　三末　川花　中米　興加
GKBBHFW
CKKCFG
12 5 14

商　大　4（3―0）0　明　大
（1―0）
（審判野竹、宮田、永田三君、商大先擊）

明大は一部最後の試合に有終の美を飾るべく九分二厘に戰つたが闘志片岡の負傷退場で如何とも爲しがたく商大は明大バックの鉄壁に依る當然のものであつた

【商】後藤原中島間坂内本林
【明】小牛栗田中米栗竹給大
KBBFW
KKKCFG
3 2 27

【大】澤川浦木野上本井山岡水
【商】吉荒松鈴早堀山金片新福
GFHHPW
6 1 7

十七日の運動

◇蹴球（関東高等リーグ）

❶浦　高　2―1　東　高
❷横　専　6―1　外　語
❷成　城　8―0　商大専
❸高　農　3―2　高千穂
△（慶應リーグ）
❻古河電氣　4（0―1）3　立飛行機
（4―2）

S15・11・18

S15-11-20

關東大學蹴球リーグ戰豫想

慶、進撃成るか

掉尾を飾る早慶戰

十月六日の蹴球祭當日〝新蹴商大吉報東大を破る〟に開けた關東大學蹴球リーグもいよ〳〵二十四日の早慶戰で慶大が勝てばその輝かしい四冠覇により終幕となり早大が勝てば共に四勝一敗となつて早慶によつて覇權決定戰が行はれるといふ段取りとなつた

顧るに今シーズンは全くどんぐりの背くらべに終始したといつてよい、即ち、東の實力低下がその主因をなし商大の躍進と文大の後半戰に於ける活躍がその誘因をなしたといふことが出來る

先づ一　夏季合宿でティームを練りあげた商大が第一戰に東大を破り慶大を苦戰に陷れ更に早大に苦杯を舐めさせて無敵を續けてゐたかと思ふと文大といふ伏勢に完敗し、東大は最もよい纏りと好調を傳へられながら遂にそのよいところを發揮出來ずに終つたことのそかをたゞ慶大に大敗してBクラスに轉落

主將の明大は別として早大も實力者揃出で、明大に2―1で辛勝、商大に敗戰の後東大には1―0と接戰の末危く勝ち對文大戰には前半3―0とリードされたのを漸く後半猛烈な闘志に燃を燃つて閉戰直前に打棄るといふ際どい綱渡りを續けて來たのよう、主將島崎が病氣不出場で中盤の進撃から攻の要まで實一人に賴らねばならぬ早大に對し慶大は二宮、鎌崎の日本代表級を二人揃へてゐるだけに蹴球がある、更にバックはこれ亦慶大の優勢といふことが出來る

商、明に1点づつ許2点を許したのみであるに對し早大は6点を失つてゐる、慶大は島崎の後に入つたLH内山が進境を示してRH笹原の攻防と相俟ちFBに主將加藤も復歸出場して万全を期してゐるが早大はOH木岡が負傷した左足を引摺りつゝも續り得べき蹴戰を續けて居るだけでFBは全くミス・キックにのろい潰しと脆弱そのものでこの点を反省し奮起しなければ慶大FWに壓倒されてしまふ處がある、GKも亘の島田では慶の進出には遙かに及ばない

結局慶大は二宮、鎌崎を主軸としてカンのよいパスワークに依る速攻戰に早大を一氣に壓らんとするであらうが、早大の活路はたゞ一つある、それは

一早慶　といふ傳統が醸し出す蹴氣に依つて点火された爆発的闘志を揮らすことだ、これに依つて先づ慶大二宮、鎌崎を死力を盡して潰しつゝ慶大バックの弱点である左足の弱い石川の左側部ち中央寄りにコピングを上げて徹底的に突込み飽くまで先取得点を狙ふことだ

過般の對文大戰の後半に示したあれだけのバックのゴール前へのフィードとFWの闘志が発揮されるならば、慶大も油斷はならない、この時こそ低調を極めた今季リーグ戰の最後を飾るに相應しい熱戰が展開されるであらう【天藏明】

小學蹴球大會

廿三日に迫る

少年蹴球界一の行事として斯界の注視とされてゐる東京蹴球團主催、本社後援の第十九回關東小學校蹴球大會は二十三日新宮祭當日世田谷區下馬三丁目青山師範學校球場に於て擧行される

大會は淀橋和第二が王座を確保してゐるが埼玉の一角にあつて精進怠りない兒玉の進撃、昨秋初登場した大泉附小、梅島第一など洗禮されたチーム力を以て猛追を試みんとしてゐるところに上板橋第三、富ケ谷などの新興チームが對抗をたゝへて登場するので大會の試合は白熱化するものと見られてゐる

組合せは二十一日本社に開催される抽籤會で決定される

組合せ決る　廿三日の関東蹴球

本社後援東京蹴球團主催第十九回關東小學校蹴球大會は二十三日擧行されるが參加は第一部（六年）五チーム、第二部（五年）七チームの多きを數へ二十一日午後五時から本社樓上で山口委員長司會の下に監督者會議を開き組合せを抽籤を行つた結果左の如く決定した

上板橋第三、富谷は新興チームながらその指導者に人を得て個人技はいふもなくチームとしての纏りを見せ、昨秋當場した梅島第一、千寧、大泉附小は夫い經驗ではあるが、積極の押妻あつて先進浦和第二、兒玉の双璧を向うにして堂々對戰の實力を藏へてゐるので第一回戰の勝負は最後まで見られてゐる

第一部組合せ

◇第一回戰Ⅱ(A)浦和第二對大泉附小（11時20分）

◇第二回戰Ⅱ兒玉對上板橋第三（2時20分）梅島第一對A勝者（1時30分）

第二部組合せ

◇第一回戰Ⅱ(A)大泉附小A對富谷（9時20分）(B)梅島第一對浦和第二（10時XC）大泉附小B對千寧（10時40分）

◇第二回戰Ⅱ上板橋第三對C勝者（9時50分）A勝者對B勝者（10時10分）

S 15・11・22

一部に浦和第二優勝

本社後援東京蹴球團主催第十九回關東小學校蹴球大會は廿三日は朝九時から青山競技場で擧行全部の豫選を終つたが兒の實力は抜にあがり苦戰を續けた

新興上板橋第三、富ケ谷、千寧などの個人技もチーム力の整調も先進チームに伍して遜色なく好試合もあつたがいづれも組に見る好試合であつた

就中第一部の浦和第二兒玉の決勝戰は最高級の技を盡す大會屈指の大試合となり勝敗決せず日没のため延長戰を行はず大會規定によつて優勝旗かざとなつた

第二部は浦和第二が六連勝を記錄し新くて蹴球史に輝進の跡を殘して本大會は終了した

◇第一部（六年）準決勝

浦和二 5（2―0 3―0）0 梅第一

兒玉 1（1―0 0―0）0 上板橋第三

◇決勝

兒玉 1（0―0 0―0）0 浦和第二

（參考）兒玉、井本田、新野、綿木、古川、鍵谷、鈴木、浦和、K、G、F、B、H、FW、CKKCFG、275、583

◇第二部（五年）準決勝

大泉附小B 2（1―0 1―0）0 上板橋第三

浦和第二 5（1―0 4―0）0 富ケ谷

◇決勝

浦和二 2（2―0 0―0）0 大泉附小B

（參考）山口、松岡、小里三吉、伊藤、井本、矢石、奥、三吉、FW、0011、CKKCFG、154

S 15・11・24

二十三日の運動

◇蹴球　關東大學リーグ

②立　大 5（1―1 4―1）2 慶　大（立大、千葉醫大共に四勝一引分となり廿九日一位決定戰を行ふ）

△關東高等リーグ

①府　高 0―0 浦　高

①東　高 1―1 商　船（順位①一高②東高、浦高、商船⑤青學⑥府高）

②横　專 5―1 成　蹊

③大　倉 10―0 高千穂

△【大阪電話】

関　大 2―0 京　大

S 15・11・24

S15－11－25

慶の王座揺がず

早大の追撃も津田の好防に空し

関東大學蹴球決勝戰

関東大學蹴球リーグ最終日慶大對早大の試合は今季の壓卷を現はして二十四日午後二時から明治神宮外苑競技場で擧行、觀衆（有料）三萬、慶大先攻で開始慶大は前半早くも二点を擧げ4―1で快勝四連勝を飾り遂に

なお大學リーグ二部は二十九日二時半（元住吉慶大球場）に早慶對慶大と立大の間に一位決定戰を殘したが三部は工大が優勝し高專リーグでは一部一高、二部横濱專門、三部大倉高商、四部東京農專がそれぞれ制覇し二部以下の優勝チームは何れも上位部の最下位校と入れ換つて昇部することになつた

慶大 4（3―0 1―1）1 早大

【慶大】	田山	白浜	島村	西谷	
【早大】	石川	吉三	末川	花村	米谷
【慶大】	K	B	B	W	
【早大】	G	F	H	F	F
【慶大】	田山	白浜	笹井	島村	篠原
【早大】	石川	吉三	末川	花村	米谷
【慶大】	5	8	15		
【早大】	OK	KK	OFG		
【慶大】	7	13	13		

◇…トスに勝つた慶大は先攻をとり早大の開始直後の急襲を撃退すると共に積極的に攻撃を担ひその氣負ひ立つ氣分を反映してそのまま攻勢をとり續けるなつた早大バック陣を衝き6分二吉から後崎に廻しノーマークとなり末岡の渡しで巧くも逃したが10分左ペナルティ・エリア附近で西山拾つてコング・シュート。これが右上隅に切れ込んで一點先取

リードされた早大は闘志を燃つて猛圍を期しロビング戰法を採りこれが慶大バックのミスキックに誘ひられ遂に攻勢を續け29分左からゴール前に出た球を米谷フリー・シュートしたがGKの正面を衝く、更に直ぐヤンスを逃へながらFW右サイドが弱く決定力を缺き遂に結實しなかつた

かくする内31分慶大は遂に出でニ吉から高島に廻して高島ノー・マークのまゝ自か持込んでシュートたゝき込む、更に39分後崎から眞中に廻した球を二吉とGK島田潰ひ二吉頭に早くトウキックで決め3―0とリード

その後早大は尚も猛圍せんと燃しい氣力を示して攻勢を續け42分川島からヘッディングで出た球を米谷後向きにシュートした處を島田辛くも防いで脫れる

◇…後半に入るや早大の猛烈な闘志は執拗な追撃となつて現はれ9分花村クリーン・シュートしたがバーに當つて跳返り、續いてこぼれた球を花村再びシュートしてGKの正面を衝いて返球したが19分遂に左コーナーの球を米谷ブッシュして決め3―1と差は詰まりこゝに試合は活氣を呈し勝敗決定戰らしい緊張氣分を示した

早大はなほも盛んに慶大ゴール前へロビングを上げて攻撃を續け27分左タッチ寄り末岡のFKから出た球を眞から米谷と廻し米谷フリー・シュートしたがバーに當り29分には石川から米谷に出で米谷のバック・パスをフリー・シュートし右下隅を衝いたが島田辛くもセービングで逃れる、更に30分には加納持込みセンターリングしこれを花村シュートしたがこれ亦惜しくもゴールオーバーして早大は遂に得点成らず

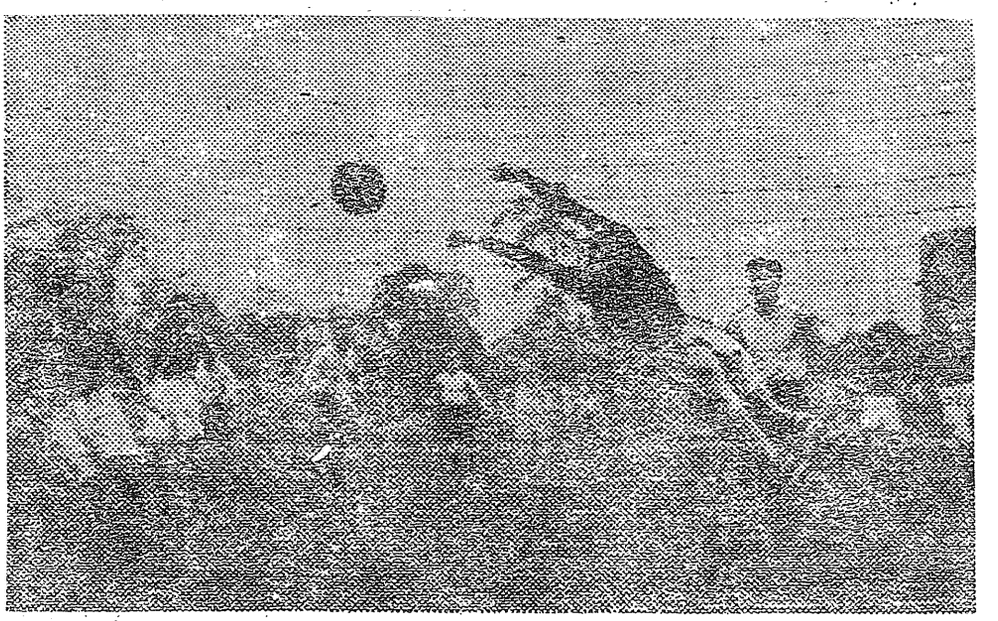
この慶大の危機がこの試合の絶頂ともいふべくこれを境目として引下つたところに早大は猛圍を續け天下慶大は勝利を確保してしまつた

◇…結局全般を總觀するに早大がリードしなければ勝味がないところを逆に慶大が立ち上りによく早大バックののろい處とGK島田の動の悪い連携によつて3点を擧つて慶先を制したところに勝因があり早大は末岡の縱橫の攻撃を中心に最後まで善戰したが可惜くはFWのキープ力が足らず後半慶大はGK島田の好防があつたとはいへあれだけの好機をものにし得なかつた決定力不足と共に惜しまれる

【東京發電話】

◇小學校蹴球試合

高等二年 1（1―0 0―0）0 大森



早慶蹴球戰

シュート右はれすトーユ 前半十分慶大ゴで近附ヤリエーイテルナペを分

つた

廿四日の運動

◇蹴球 △（關東高專リーグ）

②商大專 2（0―0 2―0）0 日 歯

（順位）①横濱專門五勝②成城四勝一敗③成蹊三勝二敗④外國二勝三敗⑤商大專一勝四敗

△（關東實業團リーグ）

⑥古 河 3―3 中 島

△關西學生リーグ

關 學 3（2―1 1―1）2 神高商

| 球績 | 明 | 文 | 東 | 商 | 慶 | 早 | 慶 | 早 | 慶 | 早

S15-11-26

関東大学野球リーグ戦総評 (上)

生氣なしく低調

王者慶大に光る二言

十月六日開幕形勢概ね たる中に續けられて來た關東大學野球リーグは廿四日の早慶戰に於て慶大勝ち四連續成つたとはいへ何か低調裡に淋しく暮れたといふ感が深い、恐らく今季ほどのんべんだらりと生氣の乏しい試合が續けられたことは少い

九十分を短かく感ぜしめ野球の興味を味はせてくれる試合は一つもなくこれがわが球界の前一線を行くと自負する學生球界の現狀とは全く思かはしい

先づ各校の戰績を檢討するならば明大は不良、東大は不可、早大、文大は初め悪く後やゝ良、商大は初め良く後悪く

慶大 のみ良といふことが出來る、總じて各チームともチームとしての纏りをつけるのに汲々として漸く纏りかけたと思つたらもう試合といふ有樣であつた、特に慶、早、文において然り商大は纏まつてはゐたがこれを延ばし得ず、東大は纏めんがために纏めたにすぎない格好に終つてしまつた

從つて龍圍たる個人技といふ土台の上に不動の組織力を養成する等といふ常道を堂々と歩みつつリーグを終始したチームは悲しい哉、見られなかつた

四連覇といへば全く輝かしい偉業だ、それだけ慶大の活躍は低調な中にも光つてゐた、それは二宮の病氣回復が早かつたのと綾部の快調、新人内山の著るしい進境等が主因をなしてゐる、第一戰の對商大戰には二宮をOLに起用したためインナー3に決定力の不足を感じ一對一の引分けを二宮の活躍と綾部の快調に起く救はれたが、他はまづ〳〵快勝を博して王者の面目を保ち得た、然しこの慶大も結果から見れば危げないものであつたがFB内野に勝志を缺いて居り對東大戰の如きはOLの進境に依み加藤主將又病み戰闘不安なしとはしなかつた

結局 これ等の不安を招來に終らしめ勝く結果を成し遂げた原因を探し索めるとこの弱点を働くだけのチームが皆なかつた事にも依るが二宮、綾部の活躍、特に二宮の總績の重戰に依るといつても過言ではあるまい、強靭な腰、粘りのあるキープ力、敵陣に於て敵の潰しをはげしく制しつゝ絶一貫の戰を續んで放つシュート力、是等總の優い個人技の上に打樹てられた不抜の氣力こそは二宮をして隨一のFWプレヤーたらしめる所以で、慶大をして安泰たらしめたところのものである

特に最終日の早慶戰に早大未岡のマークを破するためインサイドの位置に下つて活躍した事を示し二点獲得の基を作つた二宮の活躍と戰志とは他の以て替えるにたるものがある

早大 も強い試合はかりやつて來たものだ、明、東、文と勝つた試合は何れも一点の差で勝つてゐる、之は病人や負傷者の續出にも因るが早大から未岡と戰を除いたなら最早位に甘んじなければならなかつたかも知れない、それ程攻撃共にこの二人が主軸をなしてゐた

總の最手はこの勝のところを反省してよく早大の面目を保たしめた點に即實總評の念を新たにすると共に足を叩いて慶應と、立上るべきであらう、對慶大、商大戰に數多く決定的好機を逸へながらこれをものにし得なかつた不甲斐なさ、守つては文大に三点を與し商大の猛襲に遭つて二点を奪はれたは攻及び未岡を除くバック陣の脆弱さは共に一掃されなければならない

たリーグの後半用ひたロビング戰法は若干ながら成功を收め得た加點の進境に依り左翼からのオープン戰にも希見るべきものがあり對文大戰の後半戰から對慶大戰には攻にはなかつた總はあるが久しぶりに計畫した戰志が見られたことは早大の前途にとつて喜ぶべきことで未岡卒業後はバック陣に大きな不安は感ぜられるがこの土氣の昂揚に依つて補ひ得べくはるかに光明が見出されたといつてよからう【天野明】

S15-11-27

新鋭商大の活躍

3B制進歩の跡なし

関東大学蹴球リーグ戦総評 (下)

FW線に大動揺を來しフオーメーションを一變せざるを得ない程の苦境に陷つた慶大をして易々と四連覇せしめたのであるから他の諸チームは一体何をしてゐたかと言はれても返す言葉もあるまい、ただこの中にあつてよく慶大に堂々の陣を張りこれを苦戰に追ひ込んだのは新鋭商大であつた

商大 は昨年一部に返り咲き早うして一部に殘つたが、今年は最初に慶、早、東の強豪に對戰するといふ條件となり周到な用意の下に早くチームを整備したのがよく、これがシーズン初めて實現實現出と不調に喘いでゐる東、慶、早の壘を衝き東、早を降し慶に善戰するの偉勳を樹て悠々東大をBクラスに轉落せしめた、最早新鋭どころか押しも押されもせぬ實績を作つてしまつた、今季リーグに優勝を爭へ得たと稱すべきものはこの商大の躍進のみであつたといへる

商大はたしかに強くなつた、纏つたイレブンがしつくりと固く手を握り合つた強味である、團結力の必須なるを如實に呈示した、がそれは常に消極的なものに終始した、早、東何れに對つたのも常に守勢をとりつゝ攻撃又は敵自殺に依る得点を守りつゞけたもので堂々たる積極的攻勢から生れたものではなかつた、從つてかゝる行き方ではシーズン中にチームとして發展的飛躍を遂げることは出來ず遂に昨年最終戰に最大と引分けた如く今年も後半戰に入つてから二部から上つて來た文大に兜を脫ぐ失策を續出し辛うじて一部に殘つたが、今年は最初に慶、早、東の強豪に對戰するといふ條件となり周到な用意の下に早くチームを整備したのがよく、これがシーズン初めて實現實現出と不調に喘いでゐる東、慶、早の壘を衝き東、早を降し慶に善戰するの偉勳を樹て悠々東大をBクラスに轉落せしめた、最早新鋭どころか押しも押されもせぬ實績を作つてしまつた、今季リーグに優勝を爭へ得たと稱すべきものはこの商大の躍進のみであつたといへる

東大 は評判倒れに終つたの感を深からしめた、Aクラス商大に望むものは攻撃的團結力への醸成である

マンネリズム打破を目指して登場の東大は評判倒れに終つたが第一戰に商大に出鼻を挫かれてからは文大に苦戰し對明大戰にはそのバック陣を變更し去つたので對早大戰には一飛躍を見せるかと思つたが遂に三流試合に墮し對慶大戰には到頭大敗を喫してしまつた、高校で纏り上げた組織的攻撃の選手を集めながらこれが攻撃出來ないのはそこに何等かの缺陷が存在すると認められる

それは試合をかける指導者の缺乏である〝組々右〟の號令一下善惡に右に直進する心構へに缺けてゐる、寄せ集めの澤々たる練習を行つたのでは氣力漲々なチーム養成は望まれず再び覆轍の訪れるは免いことであらう

明大 は全く戰意を曝け出して二部へ轉落してしまつた、明大の急務は第二陣の養成にある、折角昇部しながらもうそろ〳〵貫祿がついてもよい頃迄に二部へ逆戻りしてしまつた

精神的團結力に富んだ後繼者を育てゝがつちりとした土台の上に再建されなければ一部に復活しても泡沫的存在となつてしまふであらう

結局今季リーグを通じて見るに球界の趨勢である3B3B守備法の再檢討、其攻撃法等わが球界一歩前進の礎となるべきものは展示されなかつた、何故かゝる不振と低調に終始したかについて他の機會に譲れるとして、二宮、後藤、岩田等の優れた個人技が慶大に四連覇を齎したといふ事實を見るにつけわが球界はまだ〳〵個人技の強化擴大の基礎工事に低迷してゐるといふ、こと新しくもない結論を得たことを痛に殘念に思ふ（大藤明）

S15-11-29

關東中等蹴球大會

來月廿五、六兩日神宮外苑で

本社後援

東日本に於ける中等蹴球界の最高峰の競技會であり、掉尾を飾る大會として球兒の血をわかす本社後援關東蹴球協會主催第八回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は恒例により年末の十二月二十五、六兩日明治神宮外苑競技場に於て行はれる事になつた

地元の東京府豫選は來る三十日より火蓋を切るが、これが本大會豫選區の最大激戰地でありこれに次ぐものとして山梨八埼玉、茨城がある、これ等の府縣は全く形勢混沌として晴れの大會出場戰がいづれの手に歸するか不明といふ狀態にありこの他千葉、神奈川、群馬栃木は最近の狀勢から代表校の推薦を見るに至らうが實力互角の八代表校の爭覇は一般の期待に背かぬ華々しいものとならう

S15・11・30

千葉醫大を破り 立大蹴球一部へ

關東大學蹴球リーグ第二部一位決定の立大對千葉醫大戰は二十九日午後二時半から元住吉農大球場で竹內君審判千葉先攻で開催、前半十葉掘山のシュートで一點リードしたがCF永原負傷退場したため後半に入つて立大優勢となり三點を擧つて制勝、明大と入れ替つて五年振りで返り咲くことになつた

立大	3	0—1	1 千葉醫大

【立大】GK 大塚 FB 田原 FB 岡崎 HB 海老谷 HB 大井 HB 上村 FW 中槇 FW 今田 FW 島

【千葉醫大】GK 石本 FB 村山 HB 原 HB 岡村 FW 大岡 FW 外掘 FW 杉永 FW 加藤 FW 島田

立大	12	9	4	CK	CK	CK	FW	HB	FB	GK
千葉醫大	1	10	17	CF	G	G				

S15・11・30

關東中等校蹴球

東京豫選組合せ

本社後援關東蹴球協會主催第八回關東中等學校府縣對抗蹴球大會は既報の如く十二月二十五、六日明治神宮外苑競技場で擧行されるが東京豫選は今三十日及び一日の二日間青山師範運動場で行はれることになり廿九日青師に於ける主將會議で左の如く組合せが決定

◇第一日（三十日）一回戰△A青師對本郷中（1時50分）△B國士舘中學對豐師（3時15分）◇第二日（一日）準決勝△Aの勝者對府高蹴當科（9時）△Bの勝者對青學中（10時15分）△決勝（2時）

S15・11・30

豐師、青師勝つ

蹴球東京豫選

關東蹴球協會主催本社後援第八回關東中等學校府縣對抗蹴球大會東京豫選第一日は三十日午後二時から青山師範球場で擧行

◇第一回戰

青山師 4【1—0 3—0】0 本郷中（審判關口、井橋、小松三君、青山先攻）

青山師	7	3	1	CK	CK	CK	FW	HB	FB	GK
本郷中	0	4	21	CF	G	G				

【青山師】井崎 田田 田上 橘定 松山 白篠 細西 黒細 太村 高國吉

【本郷中】鈴木 伊武 伊川 豐 村木 勝内 勝島 島 小原 遠小

豐島師 7【2—0 5—0】0 國士舘中（審判小里、井橋、小松三君豐島先攻）

豐島師	6	4	3	CK	CK	CK	FW	HB	FB	GK
國士舘中	0	5	10	CF	G	G				

【豐島師】崎 崎本 澤間 橋西 元 橋谷 豐 須千 岡水 瀧 澤 島 大 秋 島 大

【國士舘中】坂 山原 澤 海田 原 親井 田州 國 赤生 當 當 本 津 綴木 村 橋 潤

卅日の運動

◇蹴球

神商 大 2—2 神高商

この結果神商大は二部に轉落

S15・12・1

S15-12-2

東京代表は豐師

關學優勝す

關西學生蹴球

【大阪電話】關西學生蹴球リーグ第一部の優勝を決する關學對關大の試合は一日午後三時から甲子園南運動場で大谷（主）小橋（副）三君審判、關大の先攻に擧行、關學は豫想以上の善を以て勝ち關西の覇權を掌握、來る八日甲子園南運動場で行はれる東西學生優勝校對抗試合で關大と對戰する

關學 6【1—0 5—0】0 關大

【關學】GK 井家 FB 田須 FB 元原 HB 梶泉 HB 村山 FW 藤 FW 小安 FW 西恒 林李 三杉 大

【關大】GK 田 FB 藤川 FB 福田 HB 藤 HB 村野 FW 大宮 FW 山近 FW 小 島 大

關學	11	5	11	CK	CK	CK	FW	HB	FB	GK
關大	6	4	21	CF	G	G				

一日の運動

◇蹴球

芙蓉 4【1—0 3—0】0 比叡（原君審判）

△實業團リーグ

❶第一生命 5【2—0 3—2】2 朝日

❷千代田 1—0 日本鑛業

❷東京火災 3—2 東京瓦斯

❸日銀 5—0 新潟鐵工

❺北辰電機 2—0 日立本社

北辰は五部に優勝

❻日本油脂 1—0 日本鑛業

❸古河電機 15—0 日本水產

古河は六部に優勝

S15・12・2

S15-12-5

東・西對抗二球技戰の豫想

覇者と王者の榮冠を決する東西對抗戰は日を同じうして來る八日甲子園において行はれる、一は學生球界の首位を爭ひ、一は選拔軍によつて東西職業球界の王座をせんとするもの、勝利は東か西か一わたり關軍の實力をのぞく事とする

蹴球

關東軍の制覇か

學生蹴球界の覇者を決する東西學生蹴球優勝校對抗試合は、從來關東九勝一引分二敗と蹴球リードしてゐるが、今第十二回戰に出場する慶大（關東）關學大（關西）は第十回以來三度戰を合せ然も最初の十回には兩軍優勝を賭切つて關學が快勝、關西側に輝かしい初の白星を擧げて居り昨年は慶大の雪辱成つて今年はいよ〳〵決勝戰でもあるのである

慶　大は二三の猛烈な闘志を持る堅實な個人技を中心に綾崎の好投が相俟つてFW線を引締めバックもこれに應じてテイームとして次第に好調を高め遂に五戰五勝の戰績を擧し上昇一途を辿りつつあるので、一般的に低調を續けてゐる關西球界にあて然も關大と關學決定戰を行つた關學より慶大の方が客觀的には優勢であるといへよう

だが一概にさう言つてしまへない條件がある、それは關東軍に對抗的不利とまで言へる重い甲子園運動場でやることと、もうひとつは關學の慶大に對する戰法である

このニつの條件が關學に有利に展して來ると一昨年の如く關學に勝機が生れて來る、重いグラウンドでは慶大FWニ吉、綾崎のみでは好機が生れて來ない點がある、部ち兩インナーが中盤でキープして二吉なり綾崎へと拔いて行かねば好機の手を摑まれる點があるのである、言ひかへれば二吉への攻撃集中が必要でこゝに兩インナーの強力なポジション・プレーが必要となつて來る、ところが慶大高島渡邊兩インナーにこれが期待出來るか？、恐らく昨年の疲勞、なほ畑の如き動きは望まれまい、こゝに慶大攻撃力の弱點があるといへよう、次ぎに

關　學が關西第一の大きい正確なキックを縱へ縱へと放つてCF中村あたりが猛烈に突進して慶大バックを潰しフオローした兩インナーが遲いシュートを敢行するならばクリアーすることを急ぎでなく慶大バックに對して相當攻撃を擧げることが出來よう

特に重い球場はそれだけ穴も大きい譯だから單調ながらも豪快な慶大バックの眞を衝いて關學に攻略出來るのではあるまいか、だが若し關學が村山あたりの語用な球廻きに頼つてFWの間で球を廻して持つて行かう等とどい戰法に出るならば慶大バックの好餌となり慶大の樂勝にするは云ふまでもあるまい

結局慶大も好調であり關學も關に大勝して上昇してゐるので好合が期待出來るが慶大が重い運場を考慮に入れ關學の戰法に乘られさへしなければFW戰に綾崎といふ優秀選手を有するだに慶大に有利といふことが出來う（大阪朝日）

S15-12-8

三地域蹴球の關東代表決る

蹴球界の視聽を一身に集める關東、關西、朝鮮三地域對抗戰は來る二十二日明治神宮外苑競技場に於いて關東對朝鮮、二十五日甲子園において關西對朝鮮の二試合を行ひ更に明年二月二日明治神宮外苑競技場に於いて關東對關西戰が擧行される事となつた、なほこれが關東代表は七日關東蹴球協會より左の通り發表された

△選手　【GK】津田（慶）吉澤（商）【FB】加藤（慶）石川（早）原田（東）石川（早）【HB】島島（慶）田中（慶）笠原（慶）來間（早）内山（慶）有馬（東）早野（商）【FW】渡邊（慶）二宮（慶）篠崎（慶）川本（早出）渡（早）加納（早）大谷（東）眞木（東）須地（東）片山（商）淵永（商）△監督　松丸、阿部△主將　尾池

七日の運動

◇蹴球　商大豫3―3浦高

八日の運動

◇蹴球（關東實業團リーグ）
❶第一生命 5(2―0 3―1)1 日光銀 3―0 三井（三部優勝決定戰）
❸日清製粉 4―2 東京計器
❻日油脂 5―1 立川飛行機（關東電業部リーグ）
❶埼玉蹴球團 3―0 アストラ
❷全三菱 1―0 FSB

S15-12-9

慶大・關學と快勝す

東西學生對抗蹴球戰

【大阪電話】第十二回東西學生對抗蹴球試合慶大對關學大の試合は八日午後二時から甲子園南運動場で挙行大谷（主）加藤、小橋（線）三君關學大先攻に擧行結局3―0で慶大勝つ、この結果關東は十勝一引分一敗の成績となつた

慶大 3{1―0 2―0}0 關學大

【井深田原元須橋泉村山藤 關學中大岩當眞羽島小中宰伊】
【GK FB HB FW】
【大川綠原中山崎松宮原池 慶大】

GK 4 8 12
CK K K
CF G K
GK 8 6 10

◇…慶大が可なり強い東風を背にして溜側に陣し試合開始後5分までに左右にOKを四つとり綾崎のヘッデイングがゴールを越すなどの不運があつたが慶大は絶えの猛攻撃を加へた、しかし慶大FWには前年示したやうな巧緻な連絡は見られず各個の強い馬力で關學に突進し徒らに關學ゴール前で蹴戰を繰返すに過ぎなかつた

關學バックスは慶大の無策な攻撃に救はれた形であつたがバックスの守備的プレーもよく一點の危機を恍してゐた

◇…26分慶大は左OKから二宮後方よりよく飛び出してヘッデイングすれば關學のバックスにあたつて前に落ちるを高島拾つてシュート得点、こゝに均衡は破れた

前半殆んど攻撃の機會を持ち得なかつた關學は後半FWの組織戰法が漸々奏効して前半より見違へる程の攻撃力を發揮したがゴール前に迫つてからの線外揃はず決機してゐた、時にはボールを保持して慶大のバックスを惱るべきであつてその攻撃は余りに單調過ぎる嫌があつた

もこの間慶大GK津田の示した判斷よき出足と俊敏な指揮ぶりは鮮かなもので關學光つてゐた

◇…慶大は後半4分高島のヘッデイングでゴールをあげ更に28分尾池の中央送球を關學FB大島ミスキックしこれを渡邊プッシュして加点3―0の絶對優位に立ち勝敗の山がこゝに決した、後半の終り近く關學はよく攻め中村のシュートなど慘しき場面があつたが結局はシュート力不足のため遂に一点をも酬ひ得ず敗退し去つた

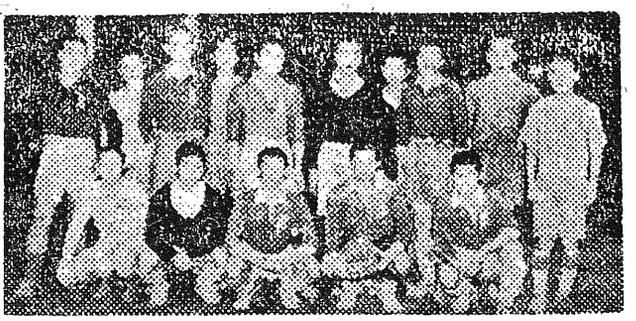
◇…慶するにこの試合は先づ順當の結果であつたものと云へるが勝敗を左右したものはFBの馬力の差異によつたものである（三宅二郎）

S15-12-15

八精鋭の横顔

關東中等蹴球 ①

歳末寒風中の熱戰譜——本社後援、關東蹴球協會主催第八回關東府縣對抗中等蹴球大會はいよ〳〵來る廿五、六の兩日明治神宮外苑競技場に於て擧行される、既に昨年の覇者豐島師範（東京）をはじめ昨年のランナースアップ湘南中學（神奈川）久しぶりに登場する名倫中學（千葉）烏山中學（栃木）運續出場の水戸商業（茨城）藤岡中學（群馬）浦和中學（埼玉）等續々と決定殘る山梨代表も近く決定する筈で、集ふ關東八精鋭の爭覇戰こそは期して待つべきものがあらう第一回大會山梨、靜岡中制覇して以來豐師、青師の東京代表に依つて保持せられてゐる榮ある覇權は今年は何れに輝くか以下各テイームの橫顔を覗かう



豐島師範テイーム

FWの豐師

先輩現役一體の強味

昨年の覇者豐島師範はGKを除く全バックメンとFWから二名計七名といふ大量の主力選手を失つたがこゝに又も強敵青師を破つて代表の榮を擔つて登場した、全く春の六人制大會の頃は解体そのもので淋しくテイームを編成して出場したが青師Aのため準決勝で2—0で敗れ又夏の全國大會東京豫選でも青師のため3—1で覇權に敗げその前途は多難を思はせるものがあつた、秋のリーグ戰に入つてからも五中、八中と引分け不安を殘はせてゐたが、リーグと明治神宮大會豫選を兼ねた對青師戰では

實然 たる鍛鍊の濱田により遂にこれを2—0で破り去つた

一度好調の波に乘るや神宮大會では準決勝で滋賀師範に前半1—3でリードされながら後半スピーディーなオープン戰を展開して4点を奪ひ、遂に5—3で勝ち決勝に進出、豐島師範と覇を爭つて引分けに終つたとはいへ、第一位を獲得したのである、その後リーグの覇者決定戰に1—0で青師に敗れ、本大會豫選では青學中に意外の苦戰を演じて抽籤に勝ち殘るといふ不調ぶりであつたが決勝では再び快調を取り戻して青師を3—2で破げて代表となりこゝに本大會に於て五度覇者たらんと虎視眈々たるものである

陣容一變を來しながら如何にしてよくこれまで立直り得たか、それは先づ豐師の先輩、後輩關然一体となつて生れ出づる傳統の力を擧げねばならぬ、豐師チーム危機に瀕するや先輩關根君は今春專攻科に入學、卒業同君を中心に〝豐師の光輝ある傳統を死守せよ〟と不斷の努力が續けられ遂に前年に劣らぬテイーム力を纒めあげることに成功したのである、もう一つ豐師をこゝまで持つて來たのはFW強化に主力を注いだ積極性に依るといへる、從つて今年の豐師テイームは全般的に見て

FW のテイームといつてもよからう〝取られた以上に取らう〟といふのがモットーで而もそのFWに於ける強味は間斷がなくよくバランスがとれてゐることである

右から高橋（芳）の鋭い持ち込み、三浦のスピードある動きでF島橋（清）は巧みに突込みに鋭さを缺くが大西のポヂションプレー大谷の巧みなドツヂングと夫々異つたプレー振りでよく纒つてゐる、從つてどこからでも好機を生み出し得るところに良さがあるたゞ可惜はゴール前の決定力に今一息の確實味と鋭さがない、これが唯一の缺点である

FWに較べてバックは聊か淋しい特にCHとして其中心となつてゐた關澤が病氣で缺場を餘儀なくされたことは全く痛手だ、二、三年の新人で守らねばならぬところに不安を殘してゐるが最近FB岡崎千葉、RH篠間等が好調であるから精一杯を開いてゐる、以上から見ると結局豐師はバック陣さへ好調であればどうやら連續可能の色が濃くなつて來るといつてよからうメンバー左の如し括弧内は學年

（4）（2）（3）（2）（3）（5）
（2）（3）（2）（2）（3）（X）（4）（X）（4）（4）
（2）（3）（2）（2）（3）（X）（4）（X）（2）（5）
埼綾華間本元芳浦濱西谷
岡千藤水越高三島大大
GK FB HB FW
【補缺】關澤（5）岩下（1）加藤（1）西田（1）橋本（1）山田（1）

中等蹴球神奈川代表は湘南中學

【橫濱電話】本社後援第八回關東府縣對抗中等學校蹴球大會に出場する神奈川縣代表は本年度縣下大會に出場した湘南中學テームを推薦することに決定した

掲示板

S15-12-14

◇…立大蹴球部新役員左の如し△主將今仁△副將田島△主務田中、島本

十四日の運動

◇蹴球
早高 5（3—2）（0—1）1 成城

掲示板

S15-12-15

◇…明大蹴球部明年度新役員△主將竹内△役員米満、池、川野
◇…明大蹴球部新營本堂守男君は明春〇〇蹴隊へ入營することになつた

關西で蹴球の鍛錬合宿

【大阪電話】關西蹴球協會並に關西學生蹴球聯盟では來る十九日から二十四日まで甲子園蹴球寮において技術指導鍛錬會を開催することとなり、技術指導員には大谷一二（神戸商大出）後藤靜雄（關學出）赤川滿（京大出）堪田弘（關大出）の四氏が決定したなほ來る二十五日甲子園において擧行される第二回關西朝鮮選拔對抗蹴球戰に出場の關西軍選手候補に田島昭策（關學出前衛）藤井大貳（神戸商大出後衛）の二名を追加発表した

十六日の運動

◇蹴球（橫濱市民大會）準決勝
マツダ 1—0 湘南倶
橫濱 3—2 關東倶
二中 學院
△決勝
マツダ 1（0—0）（1—0）0 橫濱
0 二中倶

S15.12.17

關東倶樂部蹴球に棄權續出

關東倶樂部蹴球リーグは十五日青師で四試合を擧行の筈であつたが一部埼玉對アストラは双方とも棄權し他は何れも相手テイームが左の如く棄權した、尚三部では關鳥が全勝で優勝となつた

❶成 城 棄權 東 蹴
❷美 容 棄權 比 叡
❸晉 島 棄權 アラン

十五日の運動

◇蹴球（三商大リーグ）
神 戸 9—1 大 阪

S15.12.16

S15-12-16

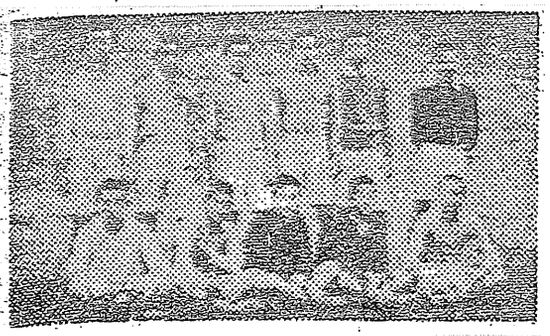
八幡銃の横顔 ②

不抜の堅陣

優勝候補の福岡中軍

【福岡電話】福岡県代表福岡中学チームは部下大会に抱負を語る一節、全勝の輝かしい記録を残して優勝戦出場の栄を勝つた、昨年は決勝戦に惜しくも敗れ、見事なフットワークで優勝旗を獲得したがら不運の一点に悲運を泣したのであつた

本年はこのメンバーより六名の卒業生を出し甲でも田村、安原、大塚等の優秀選手を失つたため一時はチーム力低下を嘆く



福岡中學チーム

られたが

全勝を誇り校長として戦績の記録は同校は主将小野を中心として鉄壁な団結の見事に収めた結果昨年の様に関々たる他チームの追随を許さないが全体的にみよく纏まつたチームの様に思はれ、同校監督の下のショート・パス・システムを用よく生かして敵なき攻撃陣を築へて中部軍から最強にみなされもしもところは中々みがあるたらロングパスをお組への「パスがみられないので所謂芸なき動きはみられず勝つて地力を築くところに期かの不安があるといくようか

FWではから新鋭松田とHBからコンビを組んでいる原利号が中心でBH小野(3)は体重に比してキープ力を有しCL小野(3)のタッテブレーも注目を浴びているからこの様からは強がられるものと嘱望される、バック陣では堅い足で進攻共によい小野主将をCHに置いて大田、三輪の両FBも確実な足場よりを示してゐるから中堅線では絶対と謂してよかろう

本年度の戦績を見ると十九試合の中、普段中と明星間に惜敗した以外は殆ど十点という大差で勝つてゐるから昨年の如く技定力の不足を嘆つやうなことはあるまいから今年も依然優勝候補の第一線に挙げるを憚らぬやうメンバーは左の如し(括弧内は昨年)

(5) (4) (3) (2) (1)
GK 三輪(三輪) 武本(武本)
FB 原利号(原利号) 大戸(大戸)
HB 小野(小野) 大田(大田) 安原(安原)
FW 松田(松田) 小野(小野) 原(原) 大塚(大塚) 藤井(藤井)

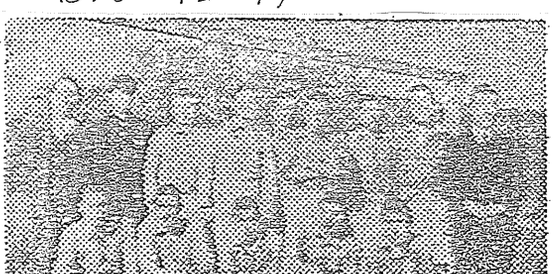
【補欠】十津(4)浅野(3)川口(3)田村(2)千綿(3)松本(3)藤井(3)

S15-12-17

八幡銃の横顔 ③

一段の進歩

FWのチーム・水戸商



水戸商業チーム

【水戸電話】昨年出場して地歩を固めた水戸商業は今年に入つてから茨城県下に常勝を誇り今秋の明治神宮大会に代表となり前祝いて今大会にも意気出場の栄を勝つた、明治大会には優勝校朝鮮代表中京戦に第一回戦で敗退し又今大会準決では決勝戦で水戸中と1対1のまゝ延長二回というB型戦の末に抽籤勝の幸運に恵まれたとはいへ昨年のチームから僅に二名を欠つたが今年は更に強力なるものがあるといつてもよい

だが今年は更に強力なるものがあるといつてもよい

しかもFW四のチームといつてもよからう最左翼CFからHOに下つた後にFBからHBに下つた後にFBから最右翼がよつてCFとなり他はポヂションの入れ換へを行つて攻撃形態を整へ関口のタッテブレー右巧、最右翼ウイングーの快足力等見るべきものが出来て来た、バックは照沼の強い蹴しが光つて居りFB安の体力を利した粘りのある守備ぶりも期待出来る、たゞ第四

【補欠】松田(3)朝日(3)関口(3)関谷(4)細野(3)

山梨県代表は甲府商

本社後援第八回関東府県対抗中等蹴球大会山梨県代表は甲府商業と決定した

これを守るが若いだけに一抹の不安がある、要するに昨年はどうやら勝ちあげたという程度であつたが今年はこれに相当の程度上作が行はれ巧妙というところは未だ見られないが最低戦法は一段身につけ得てゐるといつてよからうこれに水戸商業独の闘志が遺憾なく発揮され攻めては果敢を誇して闘争ながらも知能な作戦の下に忠実な動きを示し守つては体力を利した執拗な動きをよつて敵陣的潰しに出でインプンが一体となつて王将を期すれば昨年以上の実績が期待出来る

メンバーは左の如し(括弧内は昨年)

(5) (4) (3) (2) (1)
GK 坂(関谷) 安平(関谷)
FB 野澤(関谷) 関山(関谷)
HB 口生(口生) 関谷(関谷) 坂場(坂場)
FW 三輪(三輪) 大部(大部) 浜本(浜本) 斎藤(斎藤) 大塚(大塚)

【補欠】松田(3)朝日(3)関口(3)関谷(4)細野(3)

S15-12-18

八幡鏡の横顔

(4)

期待される浦中

FWの書記如何で優勝圏内へ

浦中チーム

【浦和電話】埼玉縣代表浦中チームは縣の推薦で代表となつた。參加とたれば當然には牛來の實力手腕王國縣があるが部合によつて參加を切はす今年中等蹴球戰に二勝二敗した浦中チームが推薦されたわけだ、夏の第十回大會では富島の參加中學に一回戰で敗れ去つたが明治神宮大會では大宮二中、刈谷田學を破り勝ちて參加中學に參加

S15-12-19

八精鋭の横顔 ⑤

物凄い闘志

躍進著しい甲府商

【甲府電話】山梨県代表甲府商業チームは打倒韮崎中学を目指して昨年度三年生を主体に編成して強敵韮崎、甲府両中学チームを降し大会に堂々出場することとなつた、昨秋チームの新編成以来基本技術と体力の養成に行つた冬季練習の効果は優秀選手三名を送り出した穴を埋めてなほ余りある進境を示し春の県リーグ戦には多年の宿願だつた韮崎中を始め出場全校を一蹴して優勝、かくて自信を得た

同チームはめきめきと上達躍進し殊内は勿論近県の中等学校を発と言葉に絶し十三勝四敗の好成績（四敗は山梨高工に二敗、甲府中大会で東京商業に4―0に敗北）を記録して言る

同チームはその体力を生かす事に重点を置いてゐるため圓扱りた技術を持つ選手や細いテクニックは無いがFWが特部の馳力に物を言はせ積極な動きにより一気に敵陣に突入して敵を進め好機を掴むやゴールに殺到、吉部、原の両インナーCH左端殺のトリオによる強烈力は見るべきものがある

強力なFWに比しバックには若干欠点が見られ敵のラッシュ戦法には案外脆く思びがけぬ点を敵に獲する事もこのチームの大きな欠点である、然し木内主将以下十一名がバックの強化とパスワークの向上に努力しGK玄関の守備もLB木内のポジションプレーも相當の進境を示し従来のバックの弱点が余程補強され均衡の取れたチームとなつた全般的に見ると〝自己の長点より以上の得点〟を重部に精進してゐるだけにFWのチームでもり頑張りの利く体を思意に動かし最後迄試合に喰ひ下つて行く作戦には毎りがたい強味を蔵してゐる、メンバー左の如し（右端内は学年）

（5）○ 斎藤 ○（5）
（4）○ 雄夫 ○（5）
（5）○ 吉正 ○（5）
（5）○ 村内 ○（5）
（5）○ 木 ○（5）
（5）○ 玄間 ○（5）
【補欠】
（3）○ 井口貴一 ○（3）
（4）○ 清水正 ○（3）
（3）○ 藤部慶 ○（3）

（4）○ 七高米 ○（4）
（4）○ 弘金 ○（4）
（3）○ 幸藤 ○（4）
（4）○ 小 ○（4）
（4）○ 英一 ○（4）
（3）○ 秘男 ○（3）
（3）○ 正 ○（3）
（3）○ 石 ○（3）
（3）○ 水 ○（3）

GK
FB
HB
FW

初陣ながら後鋭

豊力と個人技に優れる明倫中

【千葉電話】千葉県代表の明倫中学は県大会そのものは日本だ浅いが関和がとれたチームで素と言葉で次第に実力を盛り上げ全國制覇を目指して今夏朝鮮に遠征し好成績を挙げた

明治神宮大会の成績は第一回戦に宝塚商業を3―1で一蹴、第二回戦は京都府代表の強豪宝塚中と対戦3―1で快勝、準々決勝戦に進んだが前年朝鮮代表の中京校に惜敗した

その後同大会第一日をモットーに引き締めた練習を続けた甲斐あつて最近はぐつと迫力を加へて来た、FW線においてはOL大山のタッテブレーCF秀のドリブルシニート金、李両インサイドのキープ力等個人技には見るべきものが多々ある、バックもCH主将松原がトつて三組織力を発揮し得るならば初陣ながら大いに期待出来る

メンバー左の如し（右端内は学年）

（3）○ ○（3）
（5）○ 原 ○（5）
（5）○ 東 ○（5）
（4）○ 原 ○（4）
（4）○ 川 ○（4）
（4）○ 金 ○（4）
（3）○ 李 ○（3）
（4）○ 大 ○（4）
（3）○ 張 ○（3）
（3）○ 杉 ○（3）
（4）○ 洪 ○（4）
（4）○ 松石 ○（4）
（4）○ 金 ○（4）
（3）○ 李 ○（3）
（4）○ 李 ○（4）

GK
FB
HB
FW

【補欠】李暎九（4）金致善（2）李昌愛（1）

S15-12-19

大會役員決る

關東中等蹴球

關東蹴球協會本社後援第八回關東庭球對抗中等學校蹴球選手權大會は來る廿五、六の兩日明治神宮外苑蹴球場に於て關東蹴球界の精華をあつめて盛大に行はれるが大會役員は十八日左の如く決定した

△會長内野台嶺△役員長小倉谷亮策△總務主任長坂勝一、塚部德三、清水隆三、宮本能冬、伊藤雄、阿部三孝△庶務主任川上弘覺、佐藤光二、岡口彦司、谷口勝、岩波正隆、本堂哲男△會計主任吉坂勝一、塚部德三△運行主任山口勳郎、大島節男、清水隆三、阿部三孝、關根作三、藤野源次、野口利一、小里道△會場主任 安藤明、佐山利、大森一郎、前川清水、平井勝雄、志賀卯三郎、西田慶二郎、安宅誠二△記錄 主任三和一雄、山田一郎、臼井毅、桑田茂、高根孟、永田勇夫、加藤榮一郎△審判 主任竹内悌三、乙骨淳二、阿部三孝、大島節男、飯島治、松永信夫、粉川區二郎、八田功、小林勝喜、小里良平、山口勳郎、岩波正隆、塚部德三、宮本能冬、關根作三、岡口彦司、前川清水、木村繁也、藤野源次、藤立幸四郎、野口利一、藤原榮

◇第一日 第一回戰△第一試合（10時30分開始）宮本、小林、松永△第二試合（11時45分開始）乙骨、岡口、關根△第三試合（1時開始）阿部、大島、飯島△第四試合（2時15分開始）塚部、前川、小黒

◇第二日 △準決勝第一試合（10時開始）山口、八田、粉川△第二試合（11時15分開始）阿部（三）大島、小林△決勝戰（2時30分開始）宮本、岩波、阿部（三）

S15・12・19

S15-12-20

組合せ決る

関東蹴球代表関西中立で不出場

関東蹴球協會主催本戰後援の第八回關東庭球對抗中等學校蹴球選手權大會は當初の豫定四日の後に迫り夫れの出場チームは續を踏んで最後の仕上げ練習に精根を傾けて居るが協會では十九日參與會を開き組合により參加不可能の申出でを承認し抽籤の結果左圖通り組合せを決定した

浦和中（第一回）
- 浦和中（第二回）
  - 浦和中（第三回）
  - 水戸商（茨城）
- 明倫中（千葉）
- 鳥山中（栃木）
- 甲府商（山梨）
- 高崎商（群馬）

早大選手の就職先

早大体育會各部新卒業生の十七日までに決定した既報以外のもの左の如し

◇蹴球　中林（石原産業）小久保（川崎汽船）矢野（理化學興業）

S15・12・20

S15-12-21

あすの蹴球・籠球の試合

わが体育競技界における本年度の掉尾を飾る試合としては明二十一日明治神宮外苑競技場において行はれる蹴球三地域對抗の關東對朝鮮の一戰と同所で同時間に於て催される日本籠球協會と本社共催の第四回大學對抗試合に指を屈する事が出來よう

組織力優る關東

個人技を誇る朝鮮

三地域蹴球

朝鮮は明治神宮大會に連勝を遂げた咸興蹴球團が職業の部合で參加出來ず結局京城、普成兩學門の現役りを中心とした編成宣であるが實技宣であるだけに纏まり組織力という点ではむしろ咸興一つのチームに劣ると見てよからう、これに對して關東は學生リーグに優勝した早大を中心としそのウイークポイントを早大で補つて行く編成となるであろうから纏まりの点では朝鮮に勝つてゐると見られる、たゞリーグ終了後は調子が落ちるのが常であり早大は過般の對關學戰に於ても既にこの傾向が見られたからこの傾向が著るしいとすればむしろ慶應テイームを編成して臨む方が得策とも考へられる、この点關東宣の苦心するところであり最も關係のある点と申へよう

以上の如き關係から朝鮮は殆ら

く的確なキック力を利して關東軍ゴール前に球を上げこれを金（成）鳥（昌）等が巧妙に突込んで素速いシュートで得点を狙ふという簡單ながら個人技を十分生かし得る戰法を採るであらう

これに對して關東バックスがどこまで支へ得るか無論なFWに對抗する戰術が少くクリヤーに一抹の不安を殘すだけに相當神經に觸れるとを警告したければなるまい

たゞGK吉田の巧妙なバックとピッタリと合つた時に進退ともしきを得朝鮮宣よりはるかに上位にあることは確實である

一方關東FWは後崎、渡邊、二宮の慶大陣、川本、齋、加納の早大陣の內加納又は渡邊の何れかを除いて配列されるであらうが右側を慶大左側を早大が擔當優れたキープ力及びコンビネーションはバックの好フィードと好フォローと相俟つてあの手この手とヒタ押しに朝鮮宣ゴール前へ押し寄せるであらう、これを受け（西）和（田）を主軸となす朝鮮バック陣は關東の攻撃を頑守するであらうが、これ又數点は覺悟しなければなるまい

結局兩宣とも最上のコンディションとは言ひ難いが關東にやゝ分があり順調に行つて五對三といふところと見られる

（大藪明）

關東蹴球代表

豫定三時に出場

三地域蹴球抗戰に出場する關東蹴球代表宣は二十日午後三時から神宮競技場に於て學生選抜宣と對戰、五對三位で代表宣勝つた

關東代表宣 5（2—0 3—0）0 學生選抜宣

S15-12-23

朝鮮軍惜敗す

關東に斷然光る二宮の健闘

二地域對抗蹴球戰



朝鮮軍必死の攻防　後半四十二分關東の二宮キーナーク（左）をクツキーナーよくDFバー（右）

三地域對抗蹴球關東對朝鮮の試合は二十二日午後二時から明治神宮競技場で審判高山英（主）宮本、久保田（線）三君の下に關東先蹴で開始、關東前半リードし後半朝鮮よく同点に追ついたが關東これを振り切つて快勝した

關東	3【2—1】1	朝鮮
【田野畑原中島崎	GK	【三五澤大德換金順河
東早加守田有後野二川渡	FB	鮮信明內室內鎭弘淵成琮正
】	HB	】
】	FW	【金朴張朴崔李南卓金黃
3	GK	12
11	CF	2
23	FG	20

◇…前半開始直後關東は全くバラバラで朝鮮のファウルに救はれてFKを朝鮮ゴール前に上げては蓄せ、朝鮮はこれを速いアタックに潰しては両翼に大きい正確なパスを送つては持ち込み中央突球するが、何れもこぼるクラウンドにシュートの体勢が崩れて殆どシュートらしいシュートは見られなかつた前半の半ばを過ぎる頃關東FW新しく纏まりが出來、二宮の好パスを中心に攻勢に出で27分朝鮮ゴールキックの蹴り損ねの球を後綺拾つて左に廻せば渡邊に出てノーマークとなりクリーン・シュートしたがバーに當つて跳返るを二宮へヅデイングで決め一点先取すリードされた朝鮮の奮起から試合は俄然気を呈し37分朝鮮攻勢に轉じゴール前混戰からOL責拾つて強シュートを放つたが僅かにゴールオーバし朝鮮塗に實を結ばず止んだ

◇…後半に入るや朝鮮益々猛攻め立て2分早野のミスキックをOL責拾つてシュートしたが倉田の好防に止み、更に混戰となるをCF金シュートしたがこれ又倉田美技を見せ、引續き混戰となるを笠原圓にクリヤーして關東危機を脫したかと思はれたが9分遂にたかから出た球をLI責部と競りつゝ遂に待ち込みロング・シュートを放てば左上隅に決つて1—1となるその後一進一退を續ける內16分關東裏から出た球を川本シュートすれば朝鮮FBに當り中央にこぼれるを二宮ノーマークで拾ひゴール寸前でフリーシュートで再びリードす

然し關東はオールラウンドの体形となつたため朝鮮の攻勢的攻撃となり、33分OR間待ち込み中央突球をOL責ヘヅデイングしたがゴールポストに當つて逸機する等惜しみて余りあるものがあつた、この約二十分間が試合の最高潮であり朝鮮の挽回戰でもあつたが必死の關東バックスの潰しに遂にものにし得なかつた、かくて34分關東反撃に出で二宮ハーフライン附近で拾ひ右側にドリブル敵を制しつゝペナルテイー・エリヤ附近からロングシュートすれば左下隅に決つてこゝに關東の勝利を不動のものとした

◇…關東が等つた三点は何れも二宮が決めてゐるのを見ても二宮の大黑の活躍が勝利を齎したといふことが出來よう

朝鮮は個人技に於ては確かに關東に勝り、中盤に於ける角度のあるクロス・パス等見るべきものあつたが惜いかな頭脳のセンターリングが關東バックの背後を衝く事を知らず、又ゴール前に至つてからパスに角度がなく關東バックに易々と潰され澤多の好機を摑み得なかつた、兎に角朝鮮FWは持つ地力をよく生かすべくゴール前の動きに今一段の工夫が必要であらう

（大藤明）

二十二日の運動

◇蹴球

文　大 4【2—2】3 早大專

△關東倶樂部リーグ

❷青　蹴倶 5—2 綱町倶

S15・12・23

S15-12-24

関東府県対抗中等蹴球優勝戦

豊師へ迫る新進

準決勝の熱闘に期待

関東蹴球協会主催本社後援第八回関東府県対抗中等学校蹴球大会は二十日、六の両日明治神宮外苑競技場で挙行されるが、今年は豊島岡代表豊岡中学の不出場から豊島師（東京）鳥山中（栃木）水戸商（茨城）湘南中（神奈川）明倫中（千葉）浦和中（埼玉）前橋商（山梨）の七代表によつて争覇される

豊島岡を除いては何れも実力伯仲で優勝戦は準決勝で勝つたチームに同点の感があるが比較的前評が揃つて来た、豊師に軍配があがつた、はじめて準決勝戦を戦つた豊師、豊島岡出現をなした明倫中、昨年の準優勝である鳥山中、更に豊島岡に次ぐ経験者の湘南中、湘南中、水戸商より第二回大会出場中の最勝以来東京を去つたことのない豊師より今年はその実力を見きわめ難いものがある

先づ第一試合豊師湘南中対明倫中戦は第一シードである明倫中大会初出場の豊師部の第一位校である豊師に「勝てるか」もないことはいえないがこれに対して明倫中が如何なる戦ひをおもむか、豊師はF Wのチームでバックの中心選手を欠いてゐるだけに即かに不安がある。明倫中も赤F Wに殊勲をかたてゐるので両軍とも非々しいそのチームから湘南中は大名を選り出し水戸商はこれにすぎないから水戸商としても勝利のチャンスは多分にあるもう、水戸商はF Wに進境を示しチームに積極性を見せて来たと聞くられるから特部の闘志を発揮して正攻を期するなら湘南中といへども安閑たるを得まい、第二試合は豊島岡中と鳥山中戦、湘南中対浦和中の準決勝戦が見られることになろう先づ豊師に対する明倫中戦は平均した強味を持つ豊師F W線が如何にそのコンビネーションの威力を示して明倫中バック陣の堅い壁を切り抜けて得点を挙げ得るかゴール前で鋭い突込みと速いシュートを駆使するなら明倫中バック陣の好調とならう一方明倫中がバックのフイードをそのままゴール前にあげて

「種別なし」突込みを敢行するなら豊師バック陣を突破出来ようう、豊師としてはこの点特に明倫中が最も警戒すべき相手と見られる、湘南中と浦和中も互く技術伯仲同士でこれ又昨年準決勝で豊島岡を合せ大接戦の後湘南中がゴールで勝つてゐる浦和中はそのままのメンバーで今日を期して臨り只管湘南中打倒を誓ひ特に攻撃力の鋭鋒に高を括つて来てゐるから湘南中も昨年の如く優勢を持することは困難と見られる

「決勝は」これ等四チームに依つて種々の組合せが編成されるが明倫中を一覧しさへすれば湘南中にしても浦和中にしても豊師としてはむしろやりよい相手で豊師バックが厚味を持てはF Wにバランスがとれてゐるだけに、豊師準覇の可能性が濃いが豊師には調子にむらのある欠点を有するだけに、明倫中といひ湘南中、浦和中といひ油断のならない相手であるから意外の破綻を来し覇権は東京から去るかも知れない（K記者）

高等蹴球組合せ決る

第三回全国高等学校蹴球大会は来る一日から青山師範球場で行はれるが二十三日本社会議室に於て組合せ抽籤会を挙行、左の如く決定した

◇第一回戦（一日正一時）
（A）水戸商 対 山梨高工
（B）浦和中 対 鹿島高商

◇第二回戦（二日正十時）
（C）A 勝 者 対 横浜専門
（D）長崎高商 対 青山学院
（E）水戸山高商 対 早大高等
（F）高松高商 対 B 勝 者

◇準決勝戦（三日正一時）
C 勝 者 対 D 勝 者
E 勝 者 対 F 勝 者

◇決勝戦（四日正二時）

S15・12・24

S15-12-25

けふ關西の二試合

今廿五日甲子園運動場に於ては三地域對抗蹴球戰の關西對朝鮮の試合が行はれ一方花園に於ては東大京大の定期ラグビー戰が行はれるが双方ともに弟と互角の力を持ち興味ある熱戰が展開されよう

朝鮮軍FWの强味

布陣難になやむ關西軍

蹴球

今年の關西陣は學生リーグに大物選手が多數しいので後醉、赤川らの古い選手を後備に引つ張り出してゐるやうな有樣で陣營の整備にかなり苦心し關學、關大、神高商、京大などから選手を選拔したいは勿論寄せ集めのチームであるだけに脆しい點を持つ朝鮮の猛攻に耐へ得るかどうかは疑問で、こゝに選手配置の適否が戰局の上に大きく響くものと見なければならない朝鮮チームは二十二日の對關東戰から觀ると前回の出場チームより幾分低調と見られてゐるがそれでも朝鮮特有の各個の技能なキックと強い當りを藏してゐるから十分に考慮を拂つてかゝらねばなるまい

關西の前線はOBの右近、渡邊あるひは出島を急に起して切れ込ませまた最近好調にある中村、三山ら關學のコンビに小川、林、三村のうちから適宜選拔列することになるだらうが、關西を中心として飽く迄朝鮮の守備は恐らく對人防禦に出ることであらう

從つてこの防禦網を關西は如何にして突破するかは興味のあるところ、しかも中央陣で關西は對等以上の戰果が出來るならば最高の可能性もあるが、さもなければつねに防戰の苦境にさらされることを覺悟せねばならない一方關西の守備はFBの岩田の出場は間違ひないとしてもその他の選手は一長一短で當日誰を起用するとしても朝鮮の金成を中心としたFWの走力と相當強いシュートに對しては余ほどしつかりと立ちらねば振り切られてしまふ危險性が多分にある

要するに個人技に劣る關西の不利は否めまい【三宅生】

外苑に若人の熱戰譜

けふ關東中等蹴球戰開幕

本社後援、關東蹴球協會主催第八回關東府縣對抗中等學校蹴球大會は、今二十五日から二日間に亙り明治神宮外苑競技場で擧行される。關東七府縣の代表は選ばれて既に月余、嚴重の寒風身を切る中に一路勝利を目指して練成に努めてゐる

本大會を前にして二十四日午後四時から代表七校の監督者主將會議を開き交歡を行ひ五時過ぎ終了した【入場無料】

◇第一日開會式（集合9時）

◇試合（第一回戰）

豐島師對甲府商（10時30分）明倫中對鳥山中（11時45分）湘南中對水戸商（1時）（審判乙骨、關口、關根三名）△湘南中對水戸商（1時）（審判塚部、前川小黒三名）

S15-12-25

S15-12-26

第十回関東蹴球大會

【第一日】

甲府商悔なき善闘

豐島師拙戦に辛くも勝つ

師走の冷風に若人の血を沸らす本社後援関東蹴球協會主催第八回関東府縣對抗中等蹴球大會第一日は二十五日明治神宮外苑競技場で関東七府縣代表百余の球兒を集めて擧行された、定刻午前九時集合先づ協會旗を先頭に豐師、甲府商、明倫中、烏山中、湘南中、水戸商、浦和中の順で入場、國旗掲揚、君が代齊唱、明治神宮遙拜、宮城遙拜、獻詞の後全員「海行かば」を齊唱、前年度優勝校豐師より優勝旗の返還について関東協會小長谷主事の〝用具は不足したとへ敵の靴をはき敵のボールを蹴つても將來の日本を擔ふ若人の体力養成の大きな見地から蹴球は續けねばならぬ〟と球兒の心をそゝる告辭があつて龍星豐師主將の宣誓により開會式を閉ぢ、かくて豐師對甲府商の一戰に依つて火蓋は切られたが、甲府商前半の好戰も空しく長蛇を逸し、續いて烏山中、水戸商共に明倫中、湘南中に玉碎し今二十六日不戰勝の浦和中を加へた四校に依り一擧に勝を決することになつた

豐島師範 2(0—1)1 甲府商業

(審判富本、小林、松永三君豐島先攻)

◇甲府商の善闘、豐師の大拙戰ともいふべき一戰であつた、前半開始直後豐師FW球を持ちすぎて自滅しては幾多のチャンスを逃してゐる内風上を利した甲商は兩翼に大きく擴き或はゴール前に上げ之が風に乘つて顫雪ながらスピーディーな展開を示しむしろ攻勢を續ける内20分原から出た球を山田長距離氣味ながら遠いシュートすれば見事右上隅に決つて一点先取さすがの豐師も全く憂色濃いものがあつた

◇後半に入つてからも甲商風下ながらもFWの出足よく堂々の對陣を續けたが14分豐師三浦、高橋(清)大西と廻し大西右に切れ込んでシュートし同点となり16分高橋(芳)のセンターリングを大谷ヘッディングで決め辛勝した甲府商の善闘はFW細井、山田を中心としたスピードのある展開によるものでこれがよく中心を失つて脆弱な豐師バック陣の虚を衝いて成功を收めてゐた、豐師は善るFWが決定力の不足を暴露しバック陣は全くバラ〳〵な動きを示し前途に不安を殘はせるものがあつた

豐島師範		甲府商業
高橋(清)	LI	細井
三浦	RI	山田
大西	CF	原
高橋(芳)	LO	大谷
石川	RO	斎藤(昌)
水野	LH	間瀬
小細	CH	小林
古川	RH	斎藤(勝)
原	LB	内藤
山本	RB	宮川
清水	GK	石井
5		6
6	CK	7
3	CFG	2

明倫中、烏中に快勝

明倫中學 7(4—0)0 烏山中學

(審判乙黄、関口、関根三君烏山先攻)

◇明倫中の優れた個人技の前には烏山中の闘志も如何ともし難く遂に玉碎してしまつた、前半試上をとつた明倫はゴール前に寄せては烏山バックののろい凌しの間を縫つては2分CF李のシュートをはじめとし6分、13分24分と決め圧勝した、明倫は体力もあり個々の技にかけては足袋といひキック力、競り合ひといひ見るべきものがあり、たゞゴール前の待ち過ぎを改めるなら豐師との準決勝戰は相當期待出來る。

◇烏山は基礎技術に未だしの点が見られ二、三を除いてはキック力の養成、敵との競り合ふ力等の練習が緊要であらう、たゞ最後までよく健闘した氣力は賞讃してよからう

明倫中學		烏山中學
元昌映	LI	吉岡
李張	RI	野田
李石	CF	森
松杉	LO	塚本
金李	RO	木原
李金	LH	矢
大	CH	飯
昌晃	RH	三鈴
聖基	LB	東大
根洪	RB	山
原薗	GK	瀧塙
九川		上
6		0
6	CK	5
3	CFG	25

湘南中樂勝

水戸商玉碎す

湘南中學 10(4—0)0 水戸商業

6—0)

(審判塚部、小黒、酒川三君湘南先攻)

◇湘南の巧眛の前に水戸商は遂に昨年の如き地力を示し得ずするすると得点を重ねられて大敗を喫してしまつた、湘南は小型ながらも見事なショートパスに依つて水戸バック陣を釣つてはゴール前に寄せ崩いが適確なシュートと突込みに大量得点を擧げてしまつた

◇湘南の強味は迫力には缺けてゐるが短いパスを巧みに連續してこれをゴール前で無理をせずに速いシュートで決めたところにある、水戸商はこの湘南中の華麗ともいふべきショートパスに眩惑されず大きく敵ゴール前にあげてFWが一齊に突入する簡易ながら意氣のある戰法を採つてゐたなら或は一矢を酬い得たであらう、徒らに器用な球捌きを見せんとしたところに誤算があつたといつてよい(大藤明)

水戸商		湘南中學
遠藤	LI	野口
野澤	RI	田場
田口	CF	澤
堀	LO	池坂
安平	RO	島照
島照	LH	榮関
榮関	CH	池坂
池坂	RH	堀
堀	LB	安平
小野	RB	島照
早坂	GK	梅小
梅小		海早
0		3
3	CK	22
2	CFG	0

南大蹴球リーグ

第二日

【大阪電話】三商大蹴球リーグ戰第二日は二十五日午前十時から甲子園南運動場において東京商大對神戸商大戰を審判石光、中井、庫元三君、東商先蹴で擧行、兩軍力量互角引分に終つた

東京商大		神戸商大
河川地	LI	木野
東吉荒	RI	尾田
村鈴早	CF	井山
堀吉金	LO	岡水
片松清	RO	津井
井川	LH	淵澤
神代	CH	島
阪西	RH	戸尾
島藤	LB	神代
永賀	RB	塩平
塩戸	GK	飯本
尾		坂
13		21
3	CK	2
3	CFG	5

※左のページにつづく

掲示板

◇…【京都電話】全國高校蹴球大會は二日から六日間京大運動場で開催されるが參加校は左の如し、六高、成城、松本、四高、富山、北大豫、七高、一高、八高、松山浦和、早高、成蹊、水戸、五高、佐賀、東京、廣島、東京府立、靜岡、京城大豫、山口、二高、新潟松江、山形

S15.12.26

S15-12-26

朝鮮三半勝す

對關西蹴球戰

【甲子園電話】三地域對抗蹴球戰の關西對朝鮮の試合は二十五日午後二時から甲子園運動場で審判豊田（主）西田、清水（線）三吉朝鮮の先攻で挙行前半關西3——2とリードしたが後半に入つてから朝鮮猛返し結局5——4の接戰で朝鮮辛勝す

朝鮮 5（2——3 3——1）4 關西

◇試合は前半かなり強い風を背にして陣した關西が組織的なパスワークで5分田島19分中村得点を挙げ、滑り出し頗るよかつたが朝鮮得意の足技にものをいはせて29分PKを物にし34分LI貢のシュートで同点に迫つたが前半は三對二と關西のリードに了つた、後半に入つてから15分朝鮮は李のシュートでまたも同点となしその後四對四と同点になる等試合は珍らしくもシーソーゲームを演じた末22分朝鮮は高のシュートではじめて得点をリードしてこゝに大勢は決してしまつた

◇全試合を通じて朝鮮は關西より巧かに優勢を示し關西軍を屢々危機に陷れながらゴール前に至つてから無駄パス多くがつもりと布陣した關西バックスの組合とな つてゐた、ゴール前において球はなれがもう少し早かつたらもつと得点を挙げてゐたであらう、結局朝鮮のこの勝利は個人技量の優秀さが物を言つたものである、關西は統力に一歩を譲つたけれどもチームとしての纏まりよく中央陣でゆさぶつてから一氣に朝鮮陣を陷た辯り慥かに組織力の点においては朝鮮より遙かに勝れてゐた、關西は最後の踏ん張り利かず惜しくも勝機を逸したけれども戰前に豫想された不振を擧切る善闘をなしたもの、假令敗れたりとは言へ敢闘してよかつた（三宅二郎）

【朝鮮】
福五福煥德大世鎭村瀧崎
金張黃朴李高內藤原松島

K	K	6
B	B	2
G	K	8
F	F	1
H	P	1
W	W	1

【關西】
畑豊田橋福澤近島村山澤
小大岩小安田右田本三渡

K	K	7
C	F	11
F	G	2
G	P	4
		0



ゴール前必死の攻防（前半廿二分豊島師のキクツキの瞬間を上（く防くよーパーキ商甲をクツキの瞬間は上（く防くよーパーキ商甲朝對西關は上（く防くよーパーキ商甲をクツキの瞬間（前半廿二分豊島師のキクツキの瞬間を上（く防くよーパーキ商甲朝鮮合試の前ルーゴ鮮朝合試の前ルーゴ敵衝の前ルーゴ（大）敵衝の前ルーゴ鮮朝合試の前ルーゴ（送着社本阪大）

※右のページからつづく（甲案大（全）
上の字真（豊島師範対甲府高（大きい方）

けふの組合せ

◇準決勝戰
豐島師對明倫中（10時審判山口、八田、粉川三君）
湘南中對浦和中（11時45分審判阿部三、大島小林三君）
◇決勝戰（2時30分）

けふの豫想

◇豐島師對明倫中　豐師はむらのある缺点を有してゐるが對甲府戰にはFWが球を持ちすぎてシュートすべき好機を逸する間に甲府商に乘ぜられて自ら低調さを招いてしまつた從つてこの低調さを續けるなら問題なく明倫中の優れた個人技に粉砕されてしまふ虞がある、豐師としてはどうしても最初から引締めてFWの好調を招來して攻勢を持して行かなければバック陣が弱いだけに相當の得点を許すことを覺悟しなければなるまい、一方明倫中は体力を生かした鋭いダッシュに依つて一氣に脆弱な豐師バックを突き破る戰法に出なければ折角の優れた個人技も實の持ち腐れとなつてしまふであらう、徒らにゴール前で持ち過ぎたり、くるくる廻したりしてゐるとかへつて豐師バックの好餌となつてしまふ結局豐師FWが持前の好調を発揮しスピイーディなオープン戰に依り攻勢を持し速いシュートを放つならば豐師に有利に展開するがFWが低調に陷すると中堅の個々の競り合ひは明倫中に強味があるからCF李（空）を中心とした個人技にバック陣を突破され勝利は明倫のものとならう

◇湘南中對浦和中　これは全く同型のチームで何れも迫力には缺けてゐるが巧みなフットワークを基礎に華々しい中學生らしい蹴球戰が展開されよう、湘南は飽くまでショートパスの連續で速攻を續けるであらうが浦中のバックは牛田を中心に中々堅陣を敷いてゐるから相當潰されることを覺悟しなければなるまい然し一方浦中のFWは湘南中に比して巧妙にはやゝ劣りこゝにCH牛田が一枚加はらねばならぬので攻か威力には缺けてゐるだが牛田が兩サイドへハーフのフオローを得て前に持ち出して來るとスルーパスからFWラインの一瀉突込みに轉じ中々味のある決め手を持つてゐるから湘南も油斷はなるまい、結局湘南FWと浦中バックの戰ひだが、湘南のショートパスがどこまで功を奏するかゞ興味ある点で若し浦中の反擊が見事決つて一点先取すればバックが強いだけに戰は浦中に有利となつて來る

S15・12・26

法、右上字真（小さい方）

S15-12-27

関東庭球選抜中等学校大会

【第二日】

湘南中の制覇

六年振りに實を結ぶ

関東庭球選抜中等学校大会は本社後援第八回関東府縣選抜中等蹴球大會第二日は雪六なれど無風の好コンディションの下に午前十時から明治神宮外苑競技場で勝殘つた四組により準決勝、決勝の三試合を擧行した先づ第一試合湘南明倫中對戰を開催戰は兩軍とも秘術を傾けての熱鬪の後凱歌は明倫に擧つて豐師湘南の夢は破れ、續く湘南中對浦和中戰は浦和昨年の雪辱成らずして玉砕しこゝに決勝戰ははじめて千葉の優勝明倫中と神奈川の雄湘南中の地方代表のみに依つて爭はれた

湘南中軍なかパスワークに明倫中バックを働き一点先取すれば明倫よく追ひつき一對一となつたが湘南中更に一点を加へて遂に制勝、覇權は六年振りで湘南中學が掌握するところとなつた、湘南中は第三回大會より連續六回出場、六、七、八の連續三回決勝に殘りこゝに漸く實を結んだのである

明中の個人技封ず

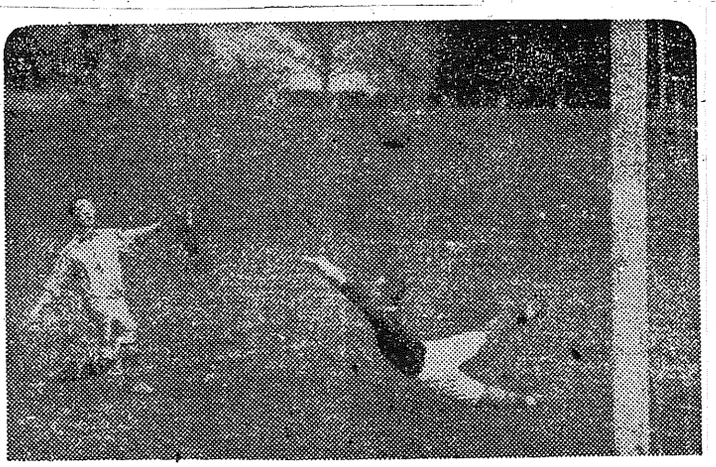
◇決勝

湘南中學 2 1 0 1 明倫中學
(前半2-0、後半1-1)

【湘南】
原 三宅 野 7 8 6
【明倫】
小島 小野 小里 K K K
K B B C F G
G F H F W
倫 九川 原 酒匂 井山 5 4 13
明 三宅 三宅 石松 杉並 李金大

◇湘南の先制されたアットワークとショートパスは必勝の氣力に滿ちと團結し各人の纏りのある忠實な動きは明倫の個人技を発揮をしむる余地を與へず特にFWは明倫バックを左右にゆさぶつて終始攻勢を續けて勝因を作つた、キックオフ直後明倫一寸押したが5分湘南逆襲に出で鋭い出足を示して球はバックからOR海老原に廻り海老原區かにドリブルしノーマークでシュートしたが外れ更に9分、13分ゴール正面のペナルティーエリヤ附近でFKを得たが何れも惜しくも入らず好機を逸したが14分遂にOL小野からOR海老原に出で更にRI小野に渡つて小野のシュートした球をCF早川區のシュートした球をCF早川區かに觸れればGK李の逆を衝き一点先取、その後なほも湘南は明倫の逆襲を巧に拔けては攻勢を續けつゝ前半を終つた

◇明倫は全く對湘戰の面影はなくCF李は小熊に完全にマークされ、バックは兩サイドハーフが湘南兩インナーのマークでドリブルシュートを放つたが惜しくもGKの正面を衝き更に25分OL大山からLI金OR金と廻し金シュートしたがGK李うしてクリヤーし28分左CKをOR金シュートしたが外しこゝに明倫最後の攻撃は實を結ばず湘南の制覇となつた結局明倫は氣力において湘南に押され特つ個人技を十分発揮し得すその間に湘南のスムーズな動きとパスワークに乗ぜられて勝を讓つたといふべき一戰であつた



湘南中倫明對中南湘
FC倫明分九半後戰中倫明對中南湘
す返を點一てつ成トーユシの李

S15-12-27

豊島師・攻力に敗る

◇準決勝

明倫中學 3（2―1 1―0）1 豊島師範
（於割山口、八田、小里三君豊師先蹴）

【豊　島】

埼玉綺譚園元方酒西須谷	橋		4
須十岡瀧藤越高三大高大			11
GK			0
B			CKKKK
B			CFGGP
F		W	
H			
F			
根鍋九川原原牧部根浜山			2
元昌廣	昌廣聖基		3
斐張斐右松杉金李李金大			7
			1

【明　倫】

◇豫想の如く明倫の体力とキック力を基礎とする個人技と豊師の巧みなフットワークとパスワークに依るコンビネーションとの戰ひとなり何れもその持つ總てを発揮し最近稀に見る好試合を展開した、戰ひは前日とは見違へる程の動きを示した豊師FWの出足よく攻勢を持し2分ゴール前混戰のもれ球を大谷シュートしバーに當つて跳返るを三浦ヘッヂングで決め一点先取したが12分明倫PKを得RI李決めて同点となる、更に18分明倫FKの球をOL大山拾ひCF李に廻せば李ドリブルで豊師バックを抜きフリーシュートで決め逆に明倫のリードとなつたその後尚も豊師FWは快調を續け特にOR高橋は見事なタッチプレーを見せて好センタリングをするが左側の突込み弱くしばしば好機を逸してゐた

◇かくて明倫リードのまゝ後半に入り豊師挽回を期してよく押してゐたがFW球を持ちすぎてシュートの機を失する内5分明倫逆襲に出でバックのロングキックはCF李に出で敵守備線一ぱいに寄つてゐたOL大山に廻せば大山區かドリブルしてノーマークとなり強シュートを放てば右下隅に決つて3―1とリードす、その後も豊師FWは見事なコンビネーションを見せて明倫ゴール前に迫り明倫又的確なロングキックで返surるがこれが必ずCF李、OL大山に渡り兩者のダッシュのあるスピーディな展開に幾度となく豊師ゴールを脅かし一進一退の熱戰となり勝敗の關趨混沌たるものがあつたが、明倫遂にそのまゝ押し切つて快勝した結局明倫のキックと体力殊にCF李とOL大山の優れた個人技がよく豊師の守備線を突破したところに勝因があり豊師は組織力に於ては明倫に勝つてゐるに依つてよく對等の試合を進め得たがその体力の劣さは攻めては敵ゴール前で敵バック陣をふり切ることが出來ず決定力の不足を來し守つては重量のある敵FWをがつちり受け止め得ずして逆にふり切られて危機を招いてゐた体力の差が勝敗を決した一戰といつてよからう

浦和の機失す

湘南中學 0（2―0 2―2）2 浦和中學
（於割阿部三、大谷、小林三君、浦和先蹴）

【湘　南】

本田菅原熊網島澤川利藤			8
奥大戸菅小海海小皇保小	原原	野	4
GK			13
B			0
B			CKKKK
H			CFGPK
F		W	
F			
埼原井本田山中川地多			3
篠澁石松牛喜田石島奈			2
			7
			1

【浦　和】

◇FWの所謂に一日の長ある湘南の順當の勝利となつた、前半3分湘南敵ゴール前で敵のバックパスをLI保利カットしてそのまゝ抜けてドリブルシュートして決め、更に18分BI小野左ゴールポスト前へあげればCH奥本手をこらしてミスキープするをLI保利、OL小野突込んで二点先取す、この二点は全く呆氣ないものであつたがこれは浦中戰法の失敗の結果と見られCH牛田を下げて守勢を採つたところにその因があつた

◇後半5分湘南右CKが返るをCH小熊シュートしCK即くをOL小野突込んで決め3―0と開くに及んで浦中は漸くCH牛田を前に出し積極的攻撃陣形となり後に6分バックからゴール前に大きく出した球をOR田中突込んで一点を返し、7分湘南キック・オフの球をそのまゝ持ち込んで決め4―1と開いたが浦中は17分牛田ゴール前のこぼれ球をロングシュートで決めて4―2と報い21分にはPKを得て4―3と迫るかと思はれたが牛田慌しくもこれを失して遂に浦中挽回の機を失つてしまつた浦中は後半の如く最初から積極的に攻撃作戰に出て縦へ〳〵と大きく出してH B線のアオローの下に一瀉突入を敢行しておたもつと善戰が期待出來たであらう、後半この点に氣がついたが時既に遲しの感があつた湘南は相變らず巧みなショートパスで攻め込んではゴール前で球ばなれのよい速いシュートと突込みで着々得点を擧げて前勝した、迫力には缺けてゐるが中々抜け目のない攻撃振りを示してゐた【天藤明】

三商大蹴球リーグ

【神戸電話】三商大蹴球リーグ第三日東京對大阪戰は廿六日神戸東遊園地で擧行京京斷然強く9對2で大勝す

京	京	9（4―0	
		5―2）2	大
			阪

S15-12-27

S15-12-28

湘南中・氣力の制覇

關東府縣對抗中等蹴球總評

關東蹴球協會主催本社後援の第八回關東府縣對抗中等蹴球大會は本年度体育競技會の最後を飾るに相應しく二日間に亘つて若人の溌剌たる体力戰を滿し數多の收穫と話題を殘して終了した、先づ特筆すべきは湘南中拳の制覇である神奈川縣酒匂町郊外の一角に蹴球を紹介とし全校生徒は勿論、教職員一人として球を蹴れない者はないといふ湘南中は

蹴球王者　にその名ありと知られてから既に久しい、毎年全國大會に出場し本大會にも連續六回出場の榮を有しながら未だ一度も榮冠を獲得したことがなかつたが、昨年以上の實力を養成し關東一の榮譽を擔つたのである、その得意や思ふべしである、然し靜かに顧るに今年の湘南中には必勝の氣力が感ぜられた、これが最後の勝利を齎したものといつてよからう、勿論、その巧緻なパットワーク、華麗ともいふべきショートパスの連續等勝利を確保する素養を充分に持つてゐることはいふまでもないが、たゞこれのみでは制覇出來なかつたことは昨年までの湘南中が自ら實證してゐる、だが今年は一戰毎に勝利へ突進せんとの氣魄の閃が強く現はれて來たのが窺はれた

特に決勝戰に於ては氣力に於てはるかに明倫中を壓倒してゐた、もうこの邊で制覇しなければ鼎の輕重を問はれるそと全校擧つての聲援は將に七轉八起の氣魄を生みこれがプレーには微塵な動きと同テイームには見られなかつたゴール前の突つ込みとなつて現はれてゐた〝氣力〟の重要さ——これは今更いふまでもないが湘中の制覇によつてつくづくと感ぜしめた

この機に湘南中に望むは從來の

巧味の　蹴球——技の蹴球から魂の蹴球への飛躍である、湘南中に今一段と迫力のある強引さが加き込まれる時全國制覇の偉業が實現される時だ

惜しくも覇を逸したが明倫中拳の出現は關東中等球界に大きな衝撃と研究題目を與へた、全員半島出身者に依つて構成されてゐるがその特徴とする体力と個人技においては優れたものを示し組織力と氣魄に於て稍不十分な点が見られた

準決勝に強豪普師を破つた際の技は壯觀ながら決勝戰には見られず固に後半の終末近くに窺はせた一對一と同点に迫ひついた時盛り上るべき闘志は發現されず遂に湘南の闘志に押されて再びリードを許してしまつた、だがOF李OL大山の持つ技は本大會隨一のものであつたといつてよく、バック陣の的確な大きいパスをそのまゝ受けてすばらしいダッシュによつて猛進、兩者コンビに依る簡單ながらスピイーディーな得点經路は威力を持つて居り、かゝる個人技に依る力強いプレーは勿かこの点に缺ける各テイームには學ぶべきものがあらう、鬼に角明倫中は未だ試合の巧昧に缺け蓄積の喝つた後の態度等にも今少し考ふべきものがあつた、明倫に組織力の養成が完成され試合の運行に態度に中拳生らしい洗練味が出來てはじめて優勝テイームとしての資格が生れて來るといつてよい

普師は甲府商に意外の苦戰をしたのに鑑み對明倫中戰には最初から

引締て　蹴散したが遂にバック陣の脆弱さとFW陣の決定力不足を暴露して敗れ去つた

普師としてはその苦杯を無にしてはならぬ只管、短を補め長を伸ばしスケールの擴大強化を計つて覺士重來を期さねばならぬ

浦和中は昨年と同じメンバーであつたにも拘らず見るべき進歩が示されなかつた、これは同テイームが消極的——守るテイームであるからだと思はれる、昨年1—0の接戰を演じながら大人を送つた湘南中に6—2は淋しい

この邊で積極的攻撃的体形を主とするテイームへの大轉換が必要であらう〝攻めなければ敗れる〟は兵法の鉄則であることを惠と再考してもらひたい

これに對し普師に惜敗したが前半リードした甲府商はFWのテイームであつたといつてよからう

普師FW陣の氣合を拔いた頭を衝いて一氣に猛襲先取得点を擧げるや堂々對等の陣を張り相譲らぬ戰況を示したのはその攻撃力の旺盛さに依る賜であつた

眼り合ひ、キック力等基礎技術には未だしの点が多々あつたが、自らを知つた戰法と實力とよい、鳥山中は他に比して實力に於て相當開きが見えた、利敵に乏しいかも知れないが、もう少し叩きあげた跡を見せてほしかつた、一段の練磨を要望する

水戸商は湘南中に玉砕したがこれは全く戰法の誤算にあつた、昨年より歩調きに

進歩の　跡が見られたが、これがかへつて禍ひした、實用に適かんとして湘南長意のショートパスに巻き込まれてそのFW總攻の活撃を許してしまつたのである

キック・アンド・ラッシュ戰法を採つてゐたら、今一段と普師が期待出來たであらう

たゞ同テイームに實證の缺を呈したいのはズックの靴で堂々對戰してゐた選手の君た事である

その意氣や將に壯とすべきである〝ズックの靴でも球は蹴れるぞ、体力養成、精神力涵養の重大事の前には用具の不備等意とするに足らぬ〟といふ強い意氣と通むべき事を無言の裡に示してゐた、用具不足と選手不揃ひを理由に連續八回出場の榮譽を誇てた静岡中拳の不參を敢て列記し靜岡市の體育を切望して置く（甲府商の主將會議不參

關東蹴球　の明會式戰況等遺漏の点もあつたが今後の自重を望み併せて現在の各代表選出方法が本大會の目的とするところに添ひつゝあるか一段の指導強化方策につき協會當事者の再考を望んで筆を擱く【庆應明】

昭和16年

S16-1-1

高校蹴球組合せ

【京都電話】一日より京大で挙行される全国高等学校蹴球大會の組合せは左の如く決定した

◇第一日（一日）山形―東京、四高―佐賀、新潟―松山、富山―東京府立、五高―浦和、七高―水戸、広島―山口◇第二日（二日）成城―成蹊、北大豫科―静岡、一高―松江（以上一回戦）六高―松本、八高―城大豫科、早高―二高（以上二回戦）

S16-1-2

全國高校蹴球

【京都電話】東京、京都両帝大主催第十八回全國高等學校蹴球大會第一日は二日八時から京大グラウンドで行つた

◇第一回戦

山形	1（0抽籤勝）1	1（0抽籤勝）1	東京
四高	5 3 0	2 0 0	佐賀
松山	8 4 4 0	0 0 0	新潟
東京府立	3 2 1 0	0 0 0	富山
浦和	4 0 4 2	0 2 0	五高
水戸	3 1 2 1	0 1 1	七高
広島	6 2 4 0	0 0 0	山口

全國專門校蹴球

第三回全國專門學校蹴球大會第一日は一日午後一時から青山師範で一回戦二試合を擧行

◇第一回戦

昭和高商	1 0 1 0	0 0 0	山梨工業
松工	11 7 4 0	2 2 0	高商

S16-1-4

全國高校蹴球

【京都電話】東京、京都両帝大主催第十八回全國高等學校蹴球大會第二、三両日は京大醫學部球場で二日午前八時半から一回戦殘り三試合及び二回戦三試合を、三日午前九時から二回戦殘りを擧行、成績左の通り

◇第一回戦

成城	3 1 2 1	1 0 1	成蹊
北大豫科	0 0 0 0	0 0 0	静岡
一高	4 3 1 0	0 0 0	松江

◇第二回戦

六高	2 1 1 0	0 0 0	松本
京城帝大豫科	5 3 2 0	1 1 0	八高
早大高學	6 4 2 0	0 2 0	二高
成城	1 1 0 0	0 0 0	北大豫
一高	1 1 0 0	0 0 0	広島
水戸	1 0 1 0	0 0 0	浦和
松山	4 3 1 0	0 0 0	府立
山形（抽籤勝）	0 0 0 0	0 0 0	四高

S16-1-5

昭和高商初制覇

全國專門校蹴球決勝

第三回全國專門學校蹴球大會最終日青山學院を6―0で破つた昭和高商對早大戰を2―0で卻けた高松高商の決勝戦は四日午後二時から青山師範球場で擧行、松山、加藤（綠）三君の下に高松先攻で開始、前半風上を利した昭和リード後半に入つてからもよく先行して4―1で快勝初制覇を遂げた

【松山】相原、山元、津野木原、良永、野口、本島、高地、井岡、片原、片秋水、大倉、堀世伊豆
【昭和】早瀬、田中、高地、井岡、坂木、良時、山石、平岩

昭和高商	4 3 1 1	1 0 1	高商松山

GK CK 2 7 18
FB CK 1 6 16
HB CK 0 3 7
FW GK 1 2 9
FW CK 0 1 11

◇高松は前半烈風吹きまくる風下の不利に位置し防戦これ努めるの戰況に終始しよく一点に食ひとめたが、このため奮命に疲らせられ後半風上を利して反撃すべき氣力を失ひ遂に待味を発揮する間なく昭和の軍門に屈してしまつた、先づ前半8分昭和右CKの球がゴール前混戰となるを高松原ミスキックして自陣に入れて後半に入つてから高松攻勢に出るかと期待されたがかへつて昭和よく押し3分ペナルテイ・エリヤ附近のFKを決め更に20分石井のシュートをGK叩きかへすを岩井決めて3―0としこゝに勝敗を決定づけた、其後高松は中盤ではショートパスで拔きもう一つ崩くべきところを拔かす組織なロングシュートを放つては機を失し結局33分時高のロングシュートが決つて一点を報いたに終つた、昭和の勝利は豊富な經驗を基にした試合上手が齎したもの

S16-1-6

松山、六高勝つ

高校蹴球（第五日）

【京都電話】東京、京都両帝大主催第十八回全國高校蹴球大會第五日は五日午前十一時京大グラウンドで準決勝を擧行松山六高勝つ

松山	1 0 1 0	0 0 0	一高
六高	2 2 0 0	0 0 0	早高

S16-1-7

六高優勝す

全國高校蹴球

【京都電話】東京、京都両帝大主催第十八回全國高校蹴球大會第六日は六日午後一時から京大運動場で六高對松山の優勝戦を擧行、六高覇權を獲得した

六高 3 2 1 1 松山

【六高】山田本、林、田邊、木島、智辻、松尾、高、荒畑、宮、林、吉、虎谷、矢志、和枝
【松山】井林、崎中、島屋、貞馬、橋、島貫、有、向若宮、山、奥浦、友谷、長北、岡

GK CK 1 4 7
FB CK 1 3 8
HB CK 0 2 4
FW GK 0 1 5
FW CF 2 4 0 5

S16-1-10

第五回朝日招待蹴球大會豫想

新春紀の初頭を飾る本社主催、第五回朝日招待蹴球大會はいよ〳〵明後十二日正午から甲子園南運動場で擧行される、この大試合に出場する東都の慶大、早大および關西の關學大、關大はそれ〴〵本大會に備へて万全の策を講じつゝあるから熾烈を極めた關係者の間に於ても極秘を球場一杯にぶちまけることであらう、さてこの二大試合は如何なる戰況を繰るか、東京、大阪間電話で打診する事とした

慶大やゝ優る

對關西大

三宅　關大は新春來練習を開始し新春に入つてから四日間練習を休んだだけで、こんどこそ關大をやつつけるんだと物凄く張切つてゐるから關大といへども安心出來ないと思ふ

天瞳　客觀的に見て全國學生界の覇者慶大に勝味があるのはいふまでもない、だがリーグ戰が終つてからかなり日が經つてゐるのでこの間に慶大の調子がガタ落ちに落ちてゐるならば精神力を賴り地の利を得てゐる關大に戰は有利となり金的を射止めるかも知れない

三宅　關大の選手は全日本學生界の覇者決定戰に慶大はさほど感力のあるところを示してゐなかつたからこれならやれないことはないといふ自信を得たらしい安繩を中心とした三FBががつちりとゴールを死守し小川、西田の兩HBがよく動き得たならば林、李、三村の中三人は何れも一瞬のあるプレヤーだから慶大も苦戰を覺悟せねばならぬであらう

天瞳　實際早慶戰を絶頂とした慶大は對關學戰には既に調子の低下を見せてゐたから信賴なしとはせまい、關大がこの點を巧に衝いて緻りと闘志と粘りによつて思ふ存分暴れ廻れば面白い一戰を期待出來る

三宅　關大のリーグ後半の不振の一因は關將安繩をはじめ林、小川などが負傷してゐたためでそれらの選手はもう恢復してゐるから對關學戰のやうな慘めな姿ではないと思ふ、持球力、得點力の點を考へるともちろん慶大の方がうへで、從つて中央陣でも關大は受身の形になることも豫想されるが、だから關大としては滿腹の策をとらへて一氣に押し込み慶大HBに歸陣の暇を與へぬうちに突込むといふ手を使ふことで、この戰法がどの程

力量全く伯仲

早大對關學大

天瞳　快調一路をたどる兩チームの對戰は傳統の熱戰を展開せずにおかないだらう

三宅　結論から先にいへばこの試合は確に五分と五分でどちらに軍配をあげてよいか一寸その判斷に苦しむ、對校試合をやつてゐた當時どちらかゞ優勢だと豫想された場合でもその通りには行かずきまつたやうに大接戰となつてゐたから今度の場合もおそらく眼に見えない精神的な力が試合の上に大きく反映することゝ思はれる、殊に今回は昨年の第四回大會に早大は關學のため無念の敗退を喫してゐるあとを受けてゐるから闘魂を燃やしての一戰は定めし凄々しいものとならう

天瞳　早大FWは高橋主將の病氣恢復で右から花村、興、米谷、高橋、加納の配列となり特に興の闘志滿々に渡る進退と米谷の長身を利した頭部とシュート、加納のタッチプレーなどには見るべきものがあるから攻撃力は確かながら早大が優勢と見られるが

三宅　加納の進境は著るしいものがあるとの噂だから早大にやゝ分があると見られないことはないけれども關學のCF中村、IL岩山の動きは相當なものでこの兩者の連絡が圓滑に運ぶとかなりな威力を發揮することゝ思はれるし殊に中村の中央突破力は凄いから結局HB兩翼の出來如何によつては決して見劣りはしないと思ふ、もつとも中村の面には定評のあるCH末岡がどつかと控へてゐるからさう易々と突破出來ないだらう

天瞳　早大の攻撃は恐らく兩サイドからチヤージボールをなげ中三人の鋭い突込みで關學ゴールを陷れんとするであらう、關學のバックスがこれにつられて飛び出しでもすると面著典などに名をなさしめねばならぬ、もつとも關學のFB岩田のがつちりした體格と闘志をもつて對戰するであらうから勝敗は全く判らない

三宅　GKは關學の方が巧いらしいが、しかしバックス全體は其に遜色はないやうに思ふ

天瞳　結局全般的に見て全く伯仲した實力といへよう、ただ關學に幾いグラウンドの地の利があれば早大も昨年の雪辱を期し猛烈な闘志をもつて對戰するであらうから勝敗は全く判らない

◇…來る十二日南甲子園で擧行される本社主催第五回朝日招待蹴球大會に出場する早大蹴球部選手一行は九日午前十時東京發列車で西下、同日午後八時半大阪着直ちに宿舍甲子園の庭球寮に入る豫定である

S16・1・9

慶大ソッカー選手西下

明後十二日甲子園で行はれる本社主催朝日招待蹴球大會に出場の慶大ソッカー部選手一行は十日午前九時東京驛發"つばめ"で出發した宿舍は甲子園庭球寮である

S16-1-11

S16-1-12

けふ熱戰開く

明日招待蹴球大會

『大阪發電』蹴球日本を代表する關大、關學大、慶大、早大の四チームの蹴球戰——本社主催第五回明日招待蹴球大會は、今十二日正午から甲東園運動場において華々しく擧行される 先陣を承る慶大對關大は全日本學生界の覇者たるの面目を擧げまいとする關大に對して東生の意氣高らかに關大は如何なる試合を挑むか興味のあるところで先いで行はれる早大對關學大の試合は傳統的の對抗意識に燃えさかつてゐるばかりでなく、兩軍の陣容は正に伯仲であるから必ずや大熱戰となつて現れることであらう、今や四大學チームの整備は全く成り、これら高度に訓練された東西最強四チームの演ずるプレーは實に痛快な場面を展開せずには置かないであらう

四主將に聽く

技と力を生かして

加藤慶大主將談

關大との試合は實に六年目ですから今回チームの編成も短所も見拔かつきません、しかしそれだけに未知に對する突擊といつた激しい心の動搖を感じ一同緊張してゐます、只、練習がこれで十分だと云ふまで出來なかつたのが殘念で半年間特有の強風に對し警戒してかゝらねばと思つてゐます、只現在の慶大が持つ最善の技と力を發揮して戰ふことのみに力を盡します

"打倒慶大"を期す

安藤關大主將談

全日本學生界の覇者關學の主將として面を汚すことは實に遺憾であります、關學に敗れた時の吾々は七人の學敗者を相手の戰ひであつたので、慶大を敗るに敗れない現在の吾々ではないはずだと思ひます

倒れてなほやまず

瀧澤關學大主將談

吾々はシーズン最後の試合たる今日のこの一戰を目標に休暇中猛練習を續ねました、早大は傳統的の好敵手でありますので是非共"打倒早大"を當々務部員からの贈物として安藤して貰ふ積りです、このためには只全員が打つて一丸となり「倒れて倒やまず」の信念の下に死力を盡して闘ふ覺悟であります

眞向からぶつかる

末岡早大主將談

今年初の對戰で自當がつきませんから敢を弄せず眞向からぶつかつて行く積りですが風の制壓利用が勝敗の鍵となるでせうからこの點には留心します、關學三山、中村兩君の突進が風に乘つた瞬間が一番嫌ひな場面ですから十分警戒して居ります

十二日の運動

◇蹴球

横濱外人 4(1—0 3—1)1 横濱商專

(關東クラブリーグ)

YKD 0—0 三菱倶

S16・1・13

S16-1-13

關東一强勝つ

第五回 朝日招待蹴球大會

【大阪電話】本社主催第五回朝日招待蹴球大會は快晴の十二日正午から甲子園南運動場で開幕、定刻選手入場、國旗掲揚、宮城遙拝、默禱の後午時三十分赤川主審の笛によつて慶大對關大の第一試合から開始されたが、關東の二强慶大、早大が共に快勝した、かくて閉會式に移り東日大阪本社編輯局次長から慶大加藤、早大末岡兩主將へ優勝楯を授與參加四大學へ記念品を贈つた後閉會の挨拶を述べ續いて四主將の手で國旗を降納最後に中軍附吉野少將の發聲で聖壽の萬歳を奉唱して同四時半意義深い大會の幕を閉ぢた

慶大個人技に優る

慶大對關大戰は赤川（主）清水（定）濱水（松）（線）三氏審判、慶大の先蹴で開始

慶大 8 (3—1) 1 關大
5 (0—1) 1

◇…期待された關大の意氣も開始的氣魄も慶大個々の技に全く壓倒されて一方的試合に終始して慶大の大勝となつた

前半關大は一分にして松野榮々と持込みこれを挽回して一點を先取して全く幸先よいスタートを切つた、關大は、こゝで猛然と鬪志を燃やすべきにも拘はらず退嬰的となり、却つて風下の慶大に押されるといふ戰況であつた

◇…十八分慶大は渡邊から篠崎に廻した球を篠崎中央に突球し志岐へヘッディングしてGK宮田ハンブルするを高島突込んで同點とし二十四分には二宮ドリブル・シュートで決め、四十分にも高島ドリブル・シュートしこゝに3—1と開いた

この二點はいづれも關大バック陣の橫へ拔となつた後い守備陣をロングパスで一氣に突破したもので慶大FWの個人技を考慮に入れるならばかゝる守備陣を布いた所にも關大作戰の誤りがあつた

◇…後半 風上となつた慶大は攻勢一途を續け、二宮の輕快なしかもスピードあるドリブルを中心とする慶大FWの個人技に關大バックは徒らに突立つてなす術を知らず、五分二宮中央へ持込み縱く

慶大 GK 大田 FB 谷川 FB 福川 HB 邊林 HB 李 FW 二村 FW 野村
關大 GK 【關學】井家 FB 田原 FB 元須 HB 橋泉 HB 村山 FW 中大岩 FW 菅 FW 那島 FW 小中 FW 室伊
8 2 1 1
0 7 5

決めてからは十五分濱邊、二十四分內山、二十九分二宮、四十二分篠崎と着々得點し遂に8—1と大きく開いてしまつた

結局個人の技においては關大は遙に慶大に及ばず、慶大の誇れたキープ力に反し、關大は殆ど蹴り合ひに負け、しかもキープ出來ず從つて纏つたチーム力と鬪志によつてこれを補ふべきであるにこれが全く望めず、ここに大敗を喫した因があり、不甲斐ない一戰であつたと言へよう

【天藤明】

早大堂々と雪辱

早大對關學大戰は午後二時二十分から竹腰（主）塚部、宮本（線）三吾審判關學 大の先蹴で開始

早大 5 (5—0) 2 關學
0 (0—2) 2

◇…強風下の惡條件に置かれてゐた關學は終始の如く早大陣に攻めこんだが早大は直ちに逆襲し、風上の正攻法を取つて瞬に關學ゴール前に球を上げた、この作戰は見事奏功して二分バックからのゴール前へのロッビングを加納の見事なシュートでゴールを擧げて一點を先取

その後も矯りに得意のショートパスを交へて關學を速攻したが關學バックはよく死守して時には逆襲に出た

しかし早大は十五分FKを得裝の適切なキックから花村蹴たばゴールの橫木に當り返つて來るを加納すかさず蹴つてゴール、こゝに二點をリード、その後も攻勢を緩めず二十四分右のスローインからの球を米谷シュートして又も點を加へ更に三十三分米谷、三十六分花村とゴールを擧げて5—0とリードし前半を終つた

◇…後半に至り關學は形勢を挽回せんと奮起し瞬に早大ゴール前にシュートしたが突込足らずその上兩翼の進退の判斷とキックの惡いため折角の優勢も得點するに至らなかつた

併し關學は三十二分岩田の大きく蹴つた球を中村よく飛出しヘッディングでGKの逆を突いて一點を回復更に卅八分至山の堂々たるシュートで二點を返したが時既に遲く結局5—2で關學は敗退した、早大は昨年の敗北を見事に復仇した

◇…早大FWは全員よく動き、突くべき時にはよく突いて得點を逃さず極めていつた點は確に關學より上手であつた、關學バックスは前半もう少し位置的判斷がよければ止め得た失點があつた許で何れにしても關學の調子は快的のものでなくこの日の動きとしては餘り勝味のないもので當然の結果であつたと言へる（三宅二郎）



早大對關學蹴球 後半卅分の大早稻田の猛攻を防ぐ關學の井中KG
送電社本阪大二關學



◇…ベルリンオリンピック蹴球代表選手として活躍した早大蹴球部先輩西岡昌一君は來る十六日大谷壇江頭と盛儀の典を擧げる事になつた

◇…慶大蹴球部監督松丸貞一君は千代田生命金澤支店勤務を命ぜられ不日赴任する

◇…慶大蹴球部先輩瀧田謙吉君は千代田生命神戸支店に勤務中のところこの程東京本社業務課次長心得として榮轉に決定した

S16-1-14

S16-1-14

朝日招待蹴球大會を顧みて

氣魄乏しき關西軍

早大久し振りの善闘

本社主催の第五回朝日招待蹴球は十二日關大、早大、關學、關大の東西四校を集めて甲子園南運動場に開催された、顧みて二十七世紀第一年休育競技會の凡ゆる意味から蹴球的新発足をなすべき秋にこれ等四代表軍の新春を飾る期待には大なるものがあつた、然るに關西軍は一關學はまだしも一關大の無氣力から潤滅に陥し、こゝに皆國の声り出るを海に歎慨とせざるを得ない、關大對關大戦は關大の大勝となり續く早大對關學戦はこれ又早大の雪辱成つたのである、今年の關東勢は例年より實力の低下を傳へられてゐたにも拘らず關大軍の此体たらくは全く嘆かはしい關大軍の劣弱は傳へられてから既に久しい、而もその都度奮起が切望されたにも拘らず一向にその成果が現れぬのみかますます低調の一路を辿つてゐる、今大會に最も期待をかけたのは關大がかくあつて見れば關大の樂勝は當然のことである、GF二當の無人の境を行くが如き球の保持力、ゴール前の敵バックズに對する激しい制御力、敵と競りつゝ球を奪ふ等RH管原の獨壇場に於ける關大の覇志こそ觀者殿大に感激を與へたのである、ところがその期待は見事に裏切られ業において見るべきものなく力において敗け頼むべき精神力迫力も亦何處かへ霧消し去つて能に應大個人技に翻弄されてしまつた

この意味において秋の關西リーグの活躍をそのまゝ復活關大の驚戦如何にあつた、本大會に初めて出場したはあるがその復活の意氣に燃える關大の覇志こそ觀者殿大に感激を與へたのである、ところがその期待は見事に裏切られ業において見るべきものなく力において敗け頼むべき精神力迫力も亦何處かへ霧消し去つて能に應大個人技に翻弄されてしまつた

關大がかくあつて見れば關大の樂勝は當然のことである、GF二當の無人の境を行くが如き球の保持力、ゴール前の敵バックズに對する激しい制御力、敵と競りつゝ球を奪ふ等RH管原の獨壇場に於ける關大の覇志こそ觀者殿大に感激を與へたのである、ところがその期待は見事に裏切られ業において見るべきものなく力において敗け頼むべき精神力迫力も亦何處かへ霧消し去つて能に應大個人技に翻弄されてしまつた

早大は對關大戦に示されたと優るとも劣らぬ氣力ある戦ひぶりを示し未尚、高橋、矢野等卒業生は望まれぬこゝ數年ではあつたがこの一戦により卿かたりとも認められるものがあつたと云へよう早大は久しぶりに高橋矢野の病氣回復し各線とも整備した上に早大特前の氣魄を取り戻したところに蹴闘の因があり前半バックス、殊に兩サイドハーフが鋭い出足を示し、更にFWが從來にない力強い動きを示して遂々五点を擧げて勝利を不動にした

關學は關西第一位校として見る時そこにはまだ〳〵不満がある、前半遂戦に際して球をもつと〳〵押へるべきであつたし、後半風上の利用方法にも一考を要すべきところが多かつた、堂山の中軸における大邊の活躍も嬉む中村が末尚にガッチリとマークされて動けず兩翼はこれ又プレーキとなつて好機の芽を自ら摘み取つてゐた、一体に關西兩チームは兩翼が弱く、これがFWにおける最大の缺点である關學、關大共に横一線の浅い守備陣形をとつて居たため一氣に拔かれた危機が再三あつた、スリーピー制の研究不足を感じ守備体形に深味が見られなかつた、從つて攻めても關東兩校の深い守備陣に對して最後の一人が振り切れず幾多顧慮を來して居たがこの点一段の研究の余地があらう、いづれにしても技、精神ともに關西軍に劣勢さが認められた事は否まれない【大阪朝日】

S16・1・19

十八日の運動

◇蹴球
ニッサン 2―1 横濱外人
横濱外人 10―2 横濱一軍
神戸高商 5―0 神戸外人

S16-1-22

兩軍代表決る

東西選抜蹴球の陣容

【大阪電話】來る二月二日明治神宮外苑競技場に於て擧行される第十回東西選抜蹴球戦に出場する西軍選手は左の如く決定した

◇監督 藤田弘◇主務 島津公一◇選手△GK小堀（神高商）FB軍元（關學）岩田（關學）△HB小島（神高商）安藤（關大）水澤（神高商）△FW右近（慶大出）田島（關學出）中村（關學）堂山（關學）小畑（關大出）△補欠三村（關大）大屋（關學）

關東代表は三地域對抗戦に選ばれた代表選手をもつてこれに當てることに決定そのメンバー左の如し

△選手 GK【慶】吉田（慶）石川（慶）原田（慶）石川（早）【HB】高島（慶）田中（慶）笠原（慶）末岡（早）内山（慶）有馬（東）早野（商）【FW】長澤（慶）二宮（慶）後藤（慶）川本（早出）秦（早）加納（早）大谷（東）草木（東）菊池（東）片山（商）湯次（商）△監督 岡部

◇…早大蹴球部先輩西松文男君は西部第七十三部隊小倉隊第四班に入隊した

S16・1・22

關東俱樂部蹴球

關東俱樂部蹴球リーグ十九日の成績左の如し

②西蹴部 3（2―1）1（1―0）1 YKT
①東 俱 6（4―0）0 アスラ
①東 蹴 備 橋 崎 玉

S16・1・20

關東實業團蹴球

關東蹴球協會主催關東實業團蹴球大會は二月二日、九日、十一日、十六日、廿三日の五日間に亙り本郷東大並に駒場球場で擧行される、參加希望チームは廿八日までに參加料十円を添へて芝區新橋三ノ一六の同協會に申込のこと

S16-1-30

意外の接戰展開か
東西對抗蹴球の豫想

關東、關西對抗蹴球試合は今シーズンの最後を飾るビッグゲームとして二月二日明治神宮外苑競技場で擧行される

朝鮮に勝つた關東、朝鮮に敗れた關西の對戰だから勢ひ關東に有利だといつてしまへないこともないが何れも紙一重の差に依つて勝敗を決してゐるだけに強ち關西に不利といつてしまへないものがあるそれに關東はCF二宮が風邪のため出場絶望なくFW線の得点力に非常な缺ぎを來すことは否まれずこゝに兩軍の實力が相當接近して來たと見てよからう

從つて關東はCFに川本を置きOLに加納を配しLI與と共にFW左飜を早大で固めOR鎌崎、RI渡邊と右側は驛大選手を以て夫々コンビネーションに重點を置いた特色ある布陣をなして万全を期することになつた

關西はOR田島（關學出）又は右近（慶大出）RI三村（關大）——右近が出れば出場がこゝに廻る——CF中村（關學）LI宇山（關學）OL小畑（慶大出）といふ配列で個人技に重點を置いてゐるのが注目されるこの兩者を較べると關東は二宮のはげしい動きと決定力は無くも川本を中心とし何れも相當の個人技を有つ上にコンビネーションにおいても期待出來るので關西FWもこれに對抗するには余程各自の持つ力を一杯に發揮しなければなるまい、だがいづれも一騎當千の選手で夫々優れた特徴を有しさらに過般の對朝鮮戰でも示現された纏まりもありその後も特にこの点に留意し練習を積んでゐるので先づFWは伯仲と見てよからう

問題はバック陣で關東はこれ又GK鼎田をはじめFB加藤、石川、RH笹原、CH田中と五人まで慶大で固め殘るに加へLH有馬のみ東大から拔いたといふコンビネーションを主裏の布陣で對戰するが關西はGK小畑（神高商）FB大家、岩田（以上關學）RH小橋（神高商出）CH安福（關大）LH水谷（神高商）と各方面からのピックアップである、從つてこれ又FW同樣のことが言へるがバックに關してはどうも個々にだても特に攻撃陣參加の鋭い動きに對か關東に分があるやうに見られコンビネーションに於ても關東に優位が認められるのはいふまでもなく結局バックの差如何が兩軍の勝敗を決するのではあるまいか

從つてバックは兩翼が相當もあり正面からの攻撃に對しては強いがゆさぶられると穴が出來るので拔け目のない關東FWはこの点を衝いて出るであらうから關西としては最も警戒を要する点であらう、結局關西が驛さされて居る組織力に於て好調を示し得れば田島宇山等のキープカ、中村の走力と決定力等相當戰力を有してゐるので必ずや關東バック陣を突破するであらうから相當白熱戰が豫想され先づ順當に行つて關東辛勝といふところか（天國明）

S16-1-30

實業蹴球組合せ

關東蹴球協會主催第十回關東實業團蹴球選手權大會は左の組合せで二月二日から本郷東大、第一生命兩球場で擧行

▲二日 △第一回戰 日立本社對淸水組、鐘紡對日本油脂 橫川電機對三菱倶（以上九時東大）立川飛行機對千代田生命、マツダ對第一生命（以上十時第一生命）△不戰勝 鐘紡セメント日立淸水、日本鋼管▲九日 △第二回戰（九時東大二時第一生命）▲十六日 △準決勝（二時東大）▲廿三日 △決勝（二時東大）

S16-1-30

關東倶樂部蹴球戰

關東倶樂部蹴球リーグ戰は二十六日青山御所球場で各部一試合を擧行、雨天で球場の狀態不良、第二部戰 蹴鞠は三勝一引分となり優勝し第一部に昇格する事になつた

◇蹴球

慶大 4——1 橫濱外人
橫濱外人 5——2 0 橫三中
關西選拔軍 5——0 神高商

二十六日の運動

⑴東京倶 1【1——1 0——0】1 成城
⑵青蹴會 1【1——1 0——0】1 FSB
⑶比叡蹴球團 關東倶

S16-1-27

指示板

◇…二月二日明治神宮競技場で行はれる東西對抗蹴球試合に出場の關西チームは一日午前九時大阪發の列車で東上、宿舍は日本橋區通り一丁目浦島館

S16-1-31

S16-2-3

関東辛くも勝つ

凡戦に終始・東西對抗蹴球

第十回東西對抗蹴球試合は二日午後二時から明治神宮外苑競技場で村形（主）乙骨、永田（線）三審判の下に挙行、快晴無風の良コンデションであつたが試合は精彩を缺き、關東のリードを關西追撃して同点となつた、しかるに關東はPKをきめて3―2で辛勝し、關東の四連勝となつた

關　東　3［2―1］2　關　西

◇關東は優勢の主力が部合で出場せず從つて結局關西最強チームとなつてしまつた、しかも總體不足ときてはまつたく實力の低下は爭はれず、關東は全くバラバラな動きを示したに過ぎず、關西は總體の跡を如實に示し、機敏たるその動きに關東は押され續け、試合は關西有利に展開するのではないかと見られたが、關西はつひに再三のチヤンスをゴール前の決定力不足に逸し、リードのチヤンスを失つてしまつた

◇かくする内28分關東大谷から加納に廻し高橋シュートしたがGKに阻まれ、これがゴールラインで防戰となり、左にこぼれるを加納突込んで關東一点先取これを機に關東FWは積好調を見せ川本キープしては左右兩翼への巧みな球捌きを見せて、攻勢を持したに過ぎず、關西は關志なく關東は34分田島のミスキックを大谷から川本に廻しシュートすればゴールカバーした岩田一瑳はクリヤーしたが、高橋突込んでこゝに2―0と離れた、然し關東やゝ調子を落した間隙を縫いて關西は43分加藤に出で三村から中村に通しシュートこれをGK叩いて逃れんとしたが小畑突込んで決め漸く一点を返して前半を終つた

◇後半に入つてからもこれといふプレー振りも見られず關東は川本を中心としたFWのコンビネーションに稍優れ、關西はバックから大きく前へ出して攻撃を狙ふも唯一の得点經路も單調に過ぎ、關東バツクにゴール前で潰され20分漸く右側スローインから三村センターリングしこれを小畑流せば田島體當込んで決め、同点と迫りつゝ、然しとゝに於て兩軍闘志を燃やすべきにも拘らず何れも疲れを見せて依然として缺を削ぴず、結局此分大敗のハンドで關東PKを得、興これを決めて關東の辛勝となつた、關西は關東のメンバー不揃ひと練習不足の儘に戰じて久しぶりに勝利を擧む絶好の機であつたが前半最初の攻勢で試合をリードすべきところを逸したと關後無氣力な戰ひぶりを示したのだからその敗戰は致し方なからう、關東も決して上出來とはいへずとが東と西の雌雄を決すべき一戰かと思はれる程凡戰で、全くシーズンオフにおけるOBの試合といふべく東西對抗の名にふさはしからぬものであつた【東關朝】

【關　西】

松	小	8
小	大	7
大	岩	9
岩	水	0
水	安	1
安	三	6
三	小	3
小	中	1
中	寧	6
寧	田	1
GK		
FB		
HB		
FW		

【關　東】

關東學院大	早	9
關東學院大	稻	7
神奈川師範	早	6
神奈川師範	稻	3
横濱專門	早	1
横濱專門	稻	6
家田（横濱專門）	早	1
村（横濱專門）	稻	6
村（横濱專門）	早	1
山島	稻	6
畑	早	1
GK		
CK		
FB		
HB		
CF		
GP		
FW		

（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）
（東關早稻）

8 7 9 0
9 6 8 1

吉右衛門　來有大
澤川田原崗馬谷　幾本
川島加

【關　東】

關東實業團蹴球第一回

關東實業團蹴球大會第一日は二日本郷東大および新丸子第一生命運動場で第一回戰五試合を擧行、成績左の如し

立川飛行機	4［2―1］1	千代田生命	
第一生命	2［0―0］0	マツダ	
三菱倶	1［0―0］0	電機横河	
慶星倶	3［2―1］1	油日本脂	
日立本社	2［1―0］0	製明治菓	

關東倶樂部蹴球リーグ

關東倶樂部蹴球リーグ一部東京倶樂部對東京蹴球團の試合は二日後三時四十分から明治神宮外苑競技場で擧行

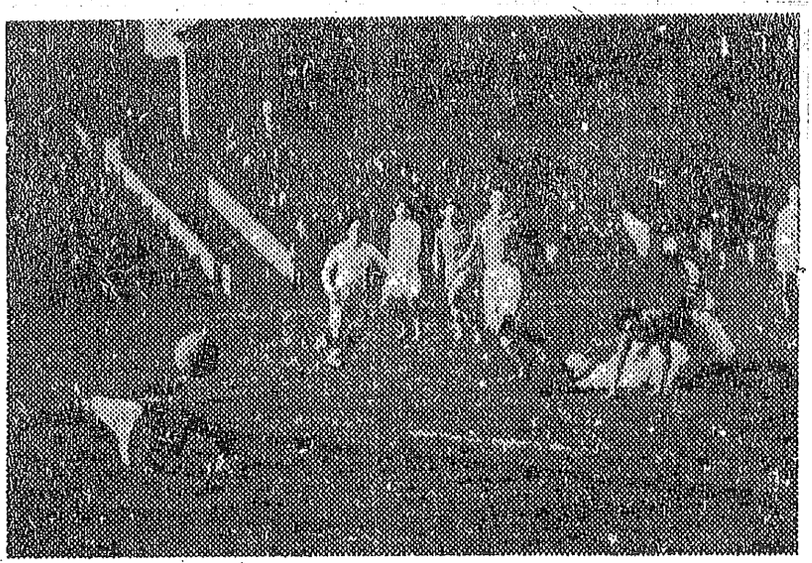
東京倶樂部	1［0―1］1	東京蹴球團	
岡里藤口藤田室田（根井）		松小齋野加西安吉西（茅平田）	
GK		GK	3
FB		FB	1
HB		HB	8
FW		FW	
部崎内田島池藤部（澤忠英山山）		阿岩行山（龍菊伊塚竹高倉）	
7		CK	2
2		CF	15
15		GK	

◇蹴球

全神戸	3［1―0］0	全外人	

二日の運動

S16.2.3



ゴール前の熱戰

關東倶樂部對東京蹴球團の試合は二日後三時四十分から明治神宮外苑競技場で擧行、東京倶樂部が東京蹴球團を一点リードしたまゝ後半戰に入つたが關東FWの好調に阻まれ、これがゴールラインで防戰となり、左にこぼれるを加納突込んで關東一点先取これを機に關東FWは積好調を見せ川本キープしては左右兩翼への巧みな球捌きを見せて、攻勢を持したに過ぎず、關西は關志なく關東は34分田島のミスキックを大谷から川本に廻しシュートすればゴールカバーした岩田一瑳はクリヤーしたが、高橋突込んでこゝに2―0と離れた、然し關東やゝ調子を落した間隙を縫いて關西は43分加藤に出で三村から中村に通しシュートこれをGK叩いて逃れんとしたが小畑突込んで決め漸く一点を返して前半を終つた

◇後半に入つてからもこれといふプレー振りも見られず關東は川本を中心としたFWのコンビネーションに稍優れ、關西はバックから大きく前へ出して攻撃を狙ふも唯一の得点經路も單調に過ぎ、關東バツクにゴール前で潰され20分漸く右側スローインから三村センターリングしこれを小畑流せば田島體當込んで決め、同点と迫りつゝ、然しとゝに於て兩軍闘志を燃やすべきにも拘らず何れも疲れを見せて依然として缺を削ぴず、結局此分大敗のハンドで關東PKを得、興これを決めて關東の辛勝となつた、關西は關東のメンバー不揃ひと練習不足の儘に戰じて久しぶりに勝利を擧む絶好の機であつたが前半最初の攻勢で試合をリードすべきところを逸したと關後無氣力な戰ひぶりを示したのだからその敗戰は致し方なからう、關東も決して上出來とはいへずとが東と西の雌雄を決すべき一戰かと思はれる程凡戰で、全くシーズンオフにおけるOBの試合といふべく東西對抗の名にふさはしからぬものであつた【東關朝】

東京倶樂部優勝

倶樂部蹴球一部

關東倶樂部蹴球リーグ一部、東京倶樂部對埼玉蹴球團戰は九日午後一時から東大球場で擧行、東京倶樂部が七一部優勝者となつた

◇一部

東京倶樂部	3［3―1］2	埼玉蹴球團	
【埼　玉】			
富田田子山（横木川木）			
大池島池伊（谷田野部（澤東英）			
鈴中鈴			
GK		GK	4
FB		FB	3
HB		HB	13
FW		FW	
部崎内谷（島田野部（澤東英）			
阿岩行小（澤山小（澤竹川島）			
6		CK	6
8		CF	8
6		GK	6

【東　京】

◇二部

綱町倶	9［4―0］1	FSB	
5	―1		

九日の運動

◇蹴球　△關東實業團

立川飛行	6―0	三菱倶	
第一生命	2―1	慶星倶	
日立製作所	6―0	錢野セメント	
日立本社	8―2	日本鋼管	

S16.2.10

◇蹴球

成城	1002…	3112
東蹴球團	120…0	3112
倶	00…22	4202
蹴球部（綱ア	00…202	4202
部成城）	玉0…202	4202
蹴球部（一	玉…2112	6220
倶	倶玉倶蹴城	6220
	東崎ア東成	点數分敗
		定勝引敗

S16-2-17

實業團蹴球準決勝

第十回實業團蹴球選手權大會準決勝二試合は十六日午後一時から本郷東大球場で擧行、成績左の如し

日立製作所 2(1—0)1 立川飛行機
【日立】
鐘淵林田川蹴球部 小林 内 大
【立川】
中上小鍛冶丸山伊藤 GK 11
GB 4
GB 3
GH 0
GFW 1
【日本電管】
和田山野井本上加藤能宮岩村 GK CK 0
GFW CK 8
GFW CK 19
大本丸立加藤能宮岩村 GP 1
【鐘淵】

生命 2(1—1)1 日本電管
【第一】
田木上島俊島孫部中城 岡
北二浦松山福大塚山山 田 GK 4
GB 3
GB 1
GH 1
GFW 1
【第一生命】
村井藤井島井知木切岡垣 CK 3
CFG 1
CFG 1
志谷折松神可鈴塚片板 22
【明管】

十六日の運動

◇蹴球
ABC倶 4—1 登三蹴
神中OB 3—2 横濱外人軍
横濱外人軍 9—0 オールブラックス

S16.2.22

關東大學蹴球日程決る

關東蹴球リーグ戰十六年度日程は廿一日關聯盟から次の如く発表された、本年度は時に學生の實情を考慮してシーズンを若干早めた結果恒例の蹴球祭も九月廿三日に繰り上げることになつた、この他は全蹴球チームが集つて盛大なる開幕式を擧行の後大學一部戰以下高專中等、實業團、選手等の各試合が行はれる

◇九月23日蹴球祭(2時30分神宮)27日早文(未定)28日東商(3時神宮)◇十月四日早立(2時30分神宮)11日(土)慶商(2時30分神宮)12日東立(未定)19日早商(未定)25日慶東(2時30分神宮)26日商文(未定)◇十一月八日早東(1時神宮)19日慶文、商立(未定)15日文商(未定)16日閉幕(皇慶2時神宮)

S16.2.24

覇權決せず

實業團蹴球決勝

第十回關東實業團蹴球選手權大會決勝戰、第一生命對日立製作所の試合は廿三日午後二時から本郷東大球場で審判乙骨、勝田、山田三君の下に、日立先制で擧行、一對一で延長戰となり、日立先行したが第一も一点を加へ、二對二で再び延長となつたが、後半の末引分となり結局優勝は一日預り、再試合に依る覇權決定如何は理事會に諮ることになつた

第一生命 2(001001)2 日立製作所
(000101)

S16.2.24

揭示板



◇…東大排球部本年度新役員並に卒業生就職先は左の通り決定
△主將橫山陽三△主務岡崎恭一
△就職先直木和(日本水產)力石五郎(三菱商事)

S16.2.26

S16-3-2

東西O・B蹴球メンバー決る

今シーズン最後を飾る東西對抗O・B蹴球試合は九日甲子園運動場で擧行されるが、兩軍のメンバー左の通り

◇關東 △監督小長谷△主將竹腰
△GK中垣内△FB竹内、宮本
△HB立原、松丸、岩崎△FW高山英、播磨、竹腰、木村、長岡、塚部
◇關西 △監督青木、△主將赤川
△GK西川、中村△FB安部、後藤、西田、吉江△HB小橋、赤川、加藤、清水△FW大谷、小畑、田島、二宮弟、西邑、堺井

一日の運動

◇蹴球(第52回インターポート戰)
神戸外人 3(2—0)1 橫濱外人



揭示板

◇…去る二十三日行はれた第十回關東實業團蹴球選手權大會決勝戰は第一生命と日立製作所の間に行はれ引分となつたため、再試合を四月上旬までに行はしめることに理事會で決定したなほ兩チームとも都合惡い場合は覇權を預る

S16.3.4



揭示板

◇…明大蹴球部の昭和十四年度主將として活躍した中島秀夫君は入營のため五日午後八時東京驛から出發する

S16.3.5



揭示板

◇…九日行はれる東西對抗OB蹴球試合關東軍メンバー中播磨君(慶出)が盲腸炎となり立原(早出)木村(文出)兩君が都合で出場できず、右に代り塚部(慶出)乙骨(慶出)福原(東商)の三君が出場することになつた

S16.3.5

S16-3-10

關東惜敗す

東西對抗OB蹴球

【大阪電話】第十一回東西OB對抗蹴球試合は九日午後二時から甲子園運動場で滿水（主）大橋、平松（線）三名審判の下に關西先發で行はれ關西のFWは開前の數回の結果關西は三點四引分西敗の成績となつた

【關西】
（學）（學）（大）（學）（大）（大）（大）
（關）（關）（神）（關）（早）（立）（早）
（村）（安）（橋）（川）（慶）（慶）（本）
（中）（阿）（後）（小）（赤）（田）（西）（二）（川）（大）
GK B B H F FW

【關東】
（學）（學）（大）（學）（大）（大）（大）
（關）（關）（神）（關）（早）（立）（早）
（村）（安）（橋）（川）（慶）（慶）（本）
（中）（阿）（後）（小）（赤）（田）（西）（二）（川）（大）
GK F B B H FW

12	GK	GK
5	K	K
0	K	K
17	G	C
7	F	F
4		

◇關西のFWは馬力が強かつたがバックスに無力なく、これに反し關東のバックスはよく頑張つたがFWのつつ込み弱かつたゝめ兩軍の力量は相似通つたものとなり從つてその得點差は思つたほど開かなかつた、關東はテームのまとまりにおいて數分まさつてゐたが、FWのキック力が弱かつた上に走力がたらず殘しが餘いため、關西バックスの頭に乘じ導す點かに一點しか奪

◇關西の勝因はFWの組入々々の強い馬力がものをいつたものである、關東バックスのゴール前における適切な處しに相當感ぎされてゐたやうであつたが、思ひ切つたシュートを敢行してゐたならばもう以上の得點を生かしたことと思はれた（三名）

關東倶樂部蹴球第二部決勝

關西倶樂部對關東倶樂部蹴球第三部決勝戰は九日午後二時半から豐大球場で本內（主）澁井、村田（線）三名審判、豐島先發で開始、力發伯仲で安戰を演じたが豐島倶に3—2で凱歌が揚つた

【豐島】
（山）（崎）（西）（豐）（根）（精）（堂）（方）（貴）（澤）（藏）
（豐）（豐）（島）（關）（關）（二）（西）（宮）（志）（金）（伊）
GK B B H F FW

【敵】
（慶）（平）（熊）
（比）（町）（係）（野）（田）（野）（山）
（伊）（大）（大）（生）（島）（西）（清）（增）（愛）（永）（淵）
CK K K CF G G

3	2	2
1	1	2
1	1	2
3	4	4

比敵

神戸三菱快勝す

東西實業團對抗蹴球

東西實業團對抗蹴球神戸三菱對第一生命の試合は十六日午後二時五十分から東大球場で、審判若槻、村松、齋藤三君の下に第一生命先蹴で開始したが、前半は兩軍得點なく好試合を展開したが、後半三菱よく遮斷し守備位置の悪い第一バック陣の間を突き、三點を擧げ快勝した

神戸三菱 3（0—0）0 第一生命

◇第一部
成城倶 3（3—1）2 東蹴

【成城】
（佐）（里）（日）（井）（豚）（口）（松）（根）（口）（上）（宇）
（八）（小）（黒）（牟）（加）（野）（吉）（宇）（山）（村）（佐）
GK B B H F FW

【東蹴】
（城）（野）（村）（岡）（村）（兒）（島）（村）
（成）（澤）（中）（岡）（柳）（長）（高）（野）（立）（田）（中）（外）
CK K K CF G G

1	6	12
3	5	18

◇第二部
三菱 3（2—1）2 FSB

關東倶樂部蹴球リーグ第一部最下位決定戰に第二部最下位決定

リーグ戰は十六日午後一時から東大球場で擧行

S16-3-17

S16-3-18

S16-3-19

S16-3-20

蹴球協會役員

日本蹴球協會では去る十六日の理事會で左の如く役員を決定した

豐ケ浦に遠征

對馬豐ケ浦海軍航空隊へ岡部、田中の兩氏を指導の任に當らせてゐたが、二十一日、指導を終了するので協會役員團チームが豐ケ浦航空隊に遠征模範試合を行ふ

順位決定戰に

關東倶樂部蹴球リーグ第二部順位決定戰のうちFSB對YKTの試合はFSBの棄權により結局三菱とYKTは第三位となりFSBは次シーズン第三部蹴球聯盟倶と入れかはることになつた

掲示板

◇…第三回東西實業團蹴球戰は三月十六日午後二時東大球場で關東第一生命と關西三菱倶樂部との間に行はれることとなつた

S16.3.14

◇…過般引分顯標預りとなつた第十回關東實業團蹴球選手權大會の決勝再試合は、四月六日午後二時から第一生命對日立製作所の間に東大球場で行はれることになつた

S16.3.15

◇…早大蹴球部先輩共同火災保險會社勤務鈴木重義君は東京支店長次席に榮轉

S16.3.16

◇…早大蹴球部昭和十四年度主將不破整君は、この程滿洲經由滿洲第五一四部隊關田隊に入營した

S16.3.18

◇…專大ア式蹴球部新役員 △監督 岡本義一 △主將 車仁德 △委員 横山、宮本

S16.3.26

S16-4-15

九月、全國で蹴球祭

大日本蹴球協會では十三日午後一時から岸体育記念館で本年度第一回評議員會を開催、十五年度事業報告の外十六年度事業計畫を次の通り決定したが、本年は協會創立二十周年に當るので蹴球祭を全國的に盛大に擧行するはずである、その他全國の役員、蹴球人に呼びかけて一八年十二円を醵金させ維持會の獨立をはかること、神宮大會競技會の完璧を期し當該委員會を設けること等を協議決定した

◇東西學生蹴球對抗（11月30日明治神宮競技場）◇全日本選手權（準決勝以後12月26日―28日明治神宮競技場）準決勝までは東京では行はず各地方に分散して行ふ◇第四回全國專門學校大會（1月1日―4日関西）◇関東、関西、朝鮮三地域對抗（1月4日6日8日甲子園）◇東西OB對抗（3月8日甲子園）◇全國中等學校選手權（8月下旬甲子園）◇全國高專大會（1月1日―6日東大）◇明治神宮大會および錬成合宿（10月29日―11月5日）◇日本代表選手候補者錬成合宿（第一回7月下旬―8月上旬、第二回3月下旬―4月上旬）◇蹴球祭（9月25日）

揭示板

◇…大日本蹴球協會ならびに関東蹴球協會事務所は三日岸体育會館に移轉した

S16・4・5

五日の運動

◇蹴球（銀行リーグ）

勸銀 4（3―1）0 日銀

S16・4・6

第一生命初優勝

関東實業團蹴球

第十回関東實業團蹴球選手權大會決勝第一生命對日立製作所の再試合は六日午後二時から東大球場で挙行前半一對一の接戰であつたが、後半十分第一生命蹴部ドリブル・シュートで、一点を加へ、二對一で第一生命の初優勝なつた

第一生命 2（1―1）1 日立製作所

【第一生命】
GK 内藤
FB 小林
FB 大野
HB 小川
HB 伊藤
FW 大橋
FW 林
CF 高橋
CK 中村
CK 大岡

【日立製作所】
GK 高野
FB 小川
FB 大野
HB 小林
HB 伊藤
FW 大橋
FW 林
CF 高橋
CK 中村
CK 大岡

4 4 12
4 5 10

六日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ）

朝日 2（1―1）1 日本光學

S16・4・7

勸銀優勝す

銀行蹴球リーグ

東京銀行蹴球リーグ戰最終日興銀對日銀の試合は十三日午前十時半より勸銀球場で挙行、3―0で興銀が勝ち、この結果今リーグ戰は勸銀が二勝撃破で優勝した

興銀 3（1―0）0 日銀

◇順位 ①勸銀（二勝撃破）②興銀（一勝一敗）③日銀（撃破二敗）

S16・4・14

揭示板



◇…早大蹴球部先輩工藤明君は名譽の戰傷歸還以來、東宝本社にあつたがこの程後樂園野球場營業部長に就任した

S16・4・16

實業團蹴球の加盟チーム

関東實業團蹴球聯盟では十六日午後六時から本社會議室で臨時總會を開き左のとほり決定、十七日発表した

△シーズンを四月末から十月までとする△チームの都合による延期は一回だけ認め、二回延期する場合は棄権と見なす△日立龜戸、電気倶楽、東京海上火災、横川電機、三菱倶（横浜ドック）の加盟を承認、更に中島、太田は全試合を東京で行ひ得る場合に加盟承認すること

右の結果加盟チームは三十六チームに達したので各部を從來の五チームから六チームとして一部から六部まで左のごとく決定した、なほスケジュールは近日決定する

◇第一部―第一生命、日本製管マツダ、日本光學、千代田生命朝日東京本社◇第二部―東京火災、興銀、東京ガス、日本銀行日本警民、三共◇第三部―明華、新潟鉄工所、筑波倶、東京計器日立製有、淺野セメント◇第四部―石川島造船、北辰電機、日立本社、勸銀、日本曹達、古河電工◇第五部―日清生命、中島飛行機、日本油脂、立川飛行機、日鋼、日本水産◇第六部―日立龜戸、電気倶楽、東京海上、横川電機、三菱倶、中島太田

S16・4・18

S16-4-24

戰時下獨の蹴球



一九四〇―四一年のドイツ蹴球王座をめぐつて、各州區の爭覇戰もやうやく終末に近づき、各チームとも最後の頑張りを利かせて得点稼ぎに大童であるが、昨年度全國の覇者シャルケ04は依然健在でその覇する第九區（ヴエストファーレン州）で只今まで無敗一引分この區での優勝はすでに決定したその他全國二十區中、昨年の優勝者で今年も全國爭覇戰に出場を確定したものは、第一區（東プロシア）のケーニヒスベルグVFB、第五區（ザクセン）のドレスデンSC、第六區のイエナ第一SV等がある

一九三七―三八年度の全國優勝者第八區（ニーダーザクセン）のハノーバー九六軍は、二二年來不振で毎回オスナブリュック軍に王座を讓つてゐたが今年は好調で久し振りにベルリンに勇姿を現はすだらうと期待される、昨年これまたアイムスヒュッテル軍（ハンブルグ）に第七區ノルドマルクの覇を奪はれたハンブルクHSV軍も今年は優勝と確定した

第十七區（オーストマルクII旧オースタリー）は例によつて混戰で、昨年の覇者ラピッドヴイーンが僅少の差でリードしてゐるものゝ、オーストリア、アドミラ・ヴツカー等の追撃急でいまだいづれとも決し難い

今年度より新たに大ドイツに入つて大リーグ戰に加つた第十四區A（エルザス）及び第十九區（ダンツイヒ及び西プロシア）はどのチームが優勝しても二次試合を突破して伯林まで出て來ることはまづ難かしからう、いづれにしても四月一杯で各區の覇者が決定、五月中には全國の覇者が決する

チーム九名一聯隊へ

英國蹴球界で有名なボルトン・ワンダラース軍の選手九名が召集され、奇しくも同じ砲兵聯隊に全部入隊、フットボール競技精神を發揮、英國東海岸の護りに戰んでゐる【寫眞は左よりゴスリン少尉、ハンソン砲手、シンクレヤー軍曹、ハウ軍曹、ドンプソン砲手、ロバーツ砲手、イツセル砲手、フオーレスト砲手、ハースト少佐】

蹴協全國主事會議

大日本蹴球協會全國主事會議は廿七日學士會館に開催、齋尾會長から學生および社會人の競技者に對する指導方針、指導員、審判員の養成、地方下部組織の確立、地方的競技會の整理統合等本年度の協會方針を說明しさらに地方協會の活發なる活動を要請した

S16・4・29

S16-5-1

關東六人制蹴球大會

三選手權に分け十日開幕

本社後援、關東蹴球協會主催の第五回關東六人制蹴球選手權大會は春のシーズン唯一の蹴球競技會として左記の如く五月十日を第一日とし六日間にわたり三選手權に分つて東大球場並に明治神宮競技場で擧行される、今年は全日本選手權大會が秋に延期された關係から大會全部が秋に集中されることになり從つて今回は各チームとも練熟な基礎鍛鍊に念念がなく、この際個人技の向上を目指す本大會の意義は益々深くそのよき訓練として參加チームも增加するものと見られる

◇競技種別 △第一部（大學選拔、倶樂部）△第二部（蹴球團）△第三部（中等學校）

◇試合方法 △競技者は必ず申込登錄せるもので同一人で二チームに出場することは出來ない

◇申込 △五月四日限り△場所は神田區駿河台四ノ六岸記念体育館內 關東蹴球協會△參加料一チームにつき第一、二部は五円、第三部は三円△參加資格―協會加盟團体に限り、一加盟團体の參加チームは制限せず

◇主將會議 五月六日本社會議室

◇大會期日 △第一日（5月10日）△第二日（11日）△第三日（17日）△第四日（18日）△第五日（24日以上東大）△第六日（25日明治神宮競技場）

關東大學蹴球リーグ戰日程

關東大學蹴球リーグ日程は左のごとく決定、九月二十三日の蹴球祭における慶大對立大戰を皮切りに十一月十六日の早慶戰を最後に幕を閉ぢるが球場はいづれも明治神宮競技場を使用することになつてゐる

△九月二十三日慶大對立大（2時30分）△二十七日文大對早大（未定）△二十八日商大對東大（3時）△十月四日立大對早大（2時30分）△十一日慶大對商大（2時30分）△十二日立大對東大（未定）△十八日文大對立大（未定）△十九日商大對早大（2時30分）△二十五日東大對慶大（2時）△二十六日文大對商大（未定）△十一月八日早大對東大（1時）△九日文大對慶大（未定）△同日立大對商大（未定）△十五日東大對文大（未定）△十六日早大對慶大（2時）

慰問蹴球メンバー

傷病兵慰問蹴球大會は來る四日午後二時半から戸山學校球場で行はれることになつた、紅軍は慶大、商大、立大の選拔聯合軍、白軍は早大、東大、文大、明大の選拔聯合軍である

（白）	GK	島田（早）	
	FB	田（東） 原片（早）	
	HB	（東） 馬（東） 有（早） 橫（慶） 三（慶）	
	FW	米（慶） 重（早） 谷（東） 田（早） 內（明） 永（女） 竹（慶） 松（慶）	
（紅）		大（慶） 家（慶） 橋（慶） 川（慶） 大（商） 石（慶） 木（商） 中（慶） 原（商） 本（慶） 島（商） 山（慶） 田（立） 鈴（商） 田（立） 山（慶） 高（商） 片（立） 松（慶） 今（慶）	

【補缺】紅＝田島（立）內山（慶）瀨戸（商）白＝川島（W）宮田（早）近藤（文）高部（文）小林（文）

S16・5・2

S16-5-4

醫大蹴球戰日程

醫大蹴球リーグ日程左のとほり
△五月四日千葉對慶醫△十一日慈恵對千葉（以上千葉）△同日日醫對慶醫（未定）△十八日日醫對千葉（新丸子）△同日慈恵對慶醫（同）△廿五日慈恵對日醫（未定）

S16・5・2

けふ締切り

六人制蹴球

関東蹴球協會主催本社後援第七回関東六人制蹴球大會は來る十日を第一日として開催するが參加申込は今四日を以て締切ることになつてゐる

對立大蹴球

早大對立大定期蹴球試合は三日午後二時半から東伏見早大球場で擧行一對零で早大勝つ

早大 1（1―0）0 立大

【早大】田岡 田尼 高村 井谷 納
【FB】大島 松井 宮川 花輪 米興 加
【HB】K 8 5 3
【FW】K K K
【CF】F F F
【大】田原 村田 中山 田邊 鴻巣 鳴
【立教】11 13

揭示板

◇…傷病兵慰問蹴球戰關東大學選拔試合は四日戸山學校競技場で擧行の豫定であつたが競技場の都合で中止

S16-5-7

六人制蹴球戰 組合せ決定

第五回六人制蹴球関東擧權大會は一〇日から一部（大學高專倶樂部）二十九チーム、二部（實業團）十四チーム、三部（中等學校）十五チーム計五十八チーム參加の下に擧行されるが、六日午後六時から本社會議室で主將會議を開き、抽籤の結果左のごとく組合せが決定した

◇第一部（大學高專倶樂部）

東 C 大
蹴 BA 大
大 大 BB 大
大 合 AA 大
大 工 AA 大
大 B AA 大
大 B BB 大
大 B BB 大
大 城 AA 大
大 C AA 大
大 B AA 大
大 B BB 大
大 W BB 大
大 体 BB 大
大 C 大

外東蹴文早蹴武明體法早東一慶早成東明農體拓東高W日

◇第二部（實業團）

第一日 立 A
立 部 B
立 銀 B
電 B
日 A
B 日
B 日
B C
A 撫
B 光
A 命
日 立

辰光 島生代島立生 立

日北日朝中第千中日第日日

◇第三部（中等學校）

青 武
學 三 部
倫 中 中
和 中 中
中 A
星 高 B
高 B
原 協 中
成 備
備 二 高

青明沼八幡東蹄獨八附青市豐早

なほ球場は十、十一日一高豐島場、十七、十八、二十四の三日間は青山師範場で行ひ二十五日の準決勝以後は明治神宮競技場で行ふことになつた（組合せ表中の白抜數字は試合日程）

海外體育短信



獨洪蹴球は獨に凱歌

獨逸對洪牙利の國際蹴球戰は四月七日ケルンで六万三千人の觀衆をあつめて擧行、戰前ドイツの新聞が今年度の世界第一位決定戰であると報じてゐただけに前半0―0の大接戰を演じたが後半二十五分獨軍はヤーネスがゴール前十一米からシュートに成功してからたて續けに得点を擧げ6―0の大差で獨逸軍の大勝となつた【カツトの寫眞は洪軍バックスの必死の防禦＝二人の防禦は一人よりも堅いといふので味方同士のヘツデング】

S16・5・3

四日の運動

◇蹴球（關西學生蹴球トーナメント）

昭和高商 2―1 関大
同専社高商 5―0 大商大
神高商 5―2 大高醫

S16・5・5

揭示板

◇…東大蹴球部先輩濱島宥雄君は三菱鑛業を辭し田邊五兵衛商店專務取締役に就任した

S16・5・7

參加五十八組

六人制蹴球

關東蹴球協會主催、本社後援の第五回關東六人制蹴球選手權大會參加申込は去る四日締切つたが第一部（大學、高專、クラブ）は大學十四、高專五、クラブ十、合計二十九チーム、第二部（實業團）は十五チーム、第三部（中學）十四チーム總計五十八チームの多數に上つてゐる、なほ六日午後六時から本社會議室で主將會議を開き抽籤によつて組合せを決定する

S16・5・6

S16-5-8

早慶・東の三巴戰

二部日立、三部豐師・青師が

六人制蹴球
対抗戦

関東六人制蹴球大會も既に五回を數へ五十數大學が秋に催された関係上、各大學とも春を戰績期としこの六人制大會が唯一の大會であり、そして又個人の戰績、技術の向上に神益するところ大なるものがあるからであらう

今年は特に一部（大學、高專、倶樂部）が昨年よりも九チームといふ増加ぶりで二十九チームに達し強況を極め第一回戰から激戰が豫想される、これは曾に行はれてゐた全日本選手八チームといふ多數參加の下に行はれる、

第一部　先づ慶大が久しぶりに顏を見せAB兩組を現役、OBをOと合体で出場、早大も現役のみで三チームを編成、OBはWMWで出場するといふハリ切り方だし、更に東大は第一陣にOBを加へてA組とし二、三年を主体としてB組を編成、新人をC組として出場、ビッグスリーともいふべき早、慶、東がかくの如くそれぞれの狙ひで勇躍出場することは大會を一段と意義づけるといつてよからう、更に明大もOBと共に三チームを送つてその一部返り咲きを狙つて、猛烈な戰績の片鱗を示し、慶大、一高の外に倶樂部では東蹴、豐島が二チーム出場慶蹴戰たるものがある

▽第一ゾーン　組合せを見ると慶大Aと文大が顏を合せ、高島、渡邊、星井、尾池、笠原、田中、石川、内山と第一線を揃めてゐる慶大に對し文大がどこまで戰ふか恐らく慶大Aが早大Bまたは豐蹴等を破つて準決勝に進出するであらう

▽第二ゾーン　では早大Aと東大Aが第二回戰で顏を合はすと見られFWに花村、爽、加納、バックに川島、米谷、三宅を配する早大A、FWに福田、頓木、岡崎等の第一線を加へた日立Aが一の最適條件と見られ、これに老巧な部、元氣者の山田（後）山中等を有する第一生命A、經驗を誇る日本蹴會がどこまで戰ひ得るか、恐らく現役同様の實力を持つ日立Aが相當の開きをもつて勝を收めるのではあるまいか

第三部（中等學校）は一部同樣形勢混沌として居り、恐らく青學中を破るものと豫想される明倫中もFWに細田、村上、黒田、青松、バックに綿貫、西田等で堅陣を敷き本大會を目指して猛烈な戰を行つて來た青師武組が早くも二回戰で顏を合せ、李重根を筆頭とする明倫の個人技と体力に對して青山の狙ふコンビネーションとスピードが如何なる戰を見せるか、穴がなく變化に富む青山にやや有利と見られるが青山も油斷はならぬ一戰だ

更に全部五年生で編成、全體を覆る浦和中と六人制に毎年特異な強味を見せる八中Aが第一回戰で顏を合せ、兩軍共に迫力はやや缺くが巧みなフットワークの戰に好試合が見られよう、かくて第一ゾーンからは以上四校の内から決勝に出場すると見られるが

先づ青師武組が最も有望である、第二ゾーンでは豐師と千葉師が第二回戰で戰ふことになり兩軍ともチーム戰績で最善を盡してゐるが、三浦、高橋、大西をFWに千葉、藤間をバックに有する豐師に千葉師がどこまで食ひ下るか、油斷のならぬ市二中と青師男組との試合も面白く戰とならう

しかし結局第二ゾーンでは豐師がもつとも強味があり、關は青師武組、豐師の間に爭はれるのごとくこの兩者の戰ひはその日の調子如何に依るといはれる程好敵手同士で勿論豫斷の許されない一戰だ【六蹴明】

六人制蹴球戰（一高）けふの組合せ（にて）

◇第一部一回戰―慶大B對早大C（2時30分）成城對東蹴A（3時）明大A對慶大A（3時30分）豐島A對拓大（4時）東大B對一高B（4時30分）WMW對日体（5時）

◇第一部一回戰殘り―外蹴對東蹴B（1時）慶大A對文大（1時30分）早大B對蹴工（2時30分）豐島B對慶大B（3時）法大對早大A（3時30分）東大A對一高A（4時）◇第二部一回戰―日蹴對北辰蹴（10時）日光B對朝日新聞（10時30分）中島A對第一生命B（11時）千代田對中島B（11時30分）日立C對第一生命A（0時）日蹴對日立B（0時30分）

十日の遊動

◇蹴球（関東蹴球リーグ）
㊐日本水産

S16-5-10

蹴東六人制蹴球（第二日）

本社後援第五回関東六人制蹴球選手權大會第二日は十日午後二時半から豐島一高球場で第二部第一回戰六試合を擧行、慶大B、東蹴B、豐島A、明大A、豐島A、東大BWMWがそれぞれ勝ち進んだ

慶大B 3〔2―0 1―0〕0 早大C
【C】林能本野原中【B】谷藤藤屋我田
【大】小小森荻折田【慶】中大大曾溜
【G】【B】【F】【G】【B】【F】

東蹴A 1〔1―0 0―0〕0 成城
【城】陸齊藤田原邊【A】草本波川根
【成】伊大花野渡【東】小宮柳小澤
【G】【B】【F】【G】【B】【F】

明大A 3〔2―0 1―0〕0 慶大A
【A】中楯坂内鍋【A】城田 村坂橋
【明】田米黒竹【慶】大瀧 李瀬大
【G】【B】【F】【G】【B】【F】

豐島A 2〔10―1 10―1〕2 拓大
【A】元榊熊齊藤【大】崎井出津水来
【豐】副關五松遠金【拓】富國山森清路
【G】【B】【F】【G】【B】【F】
（抽籤勝）

東大B 2〔1―0 1―0〕0 一高B
【B】本正崎木野智【B】瀬林尾岡樹原
【大】岡島岡相天【高】田一椎小中樹掛田
【G】【B】【F】【G】【B】【F】
（WMW抽籤勝）0〔0000―0000〕0 日体

【形】原野樹保川【体】川山林
【WMW】久康奥井
【浦立小工小市】日永松紅
【G】【B】【F】【G】【B】【F】

S16-5-11

S16・5・8

關東大學豫科蹴球日程

關東大學豫科蹴球リーグの日程は七日次のとほり決定した、即ち商大、明大、法大、慶大、專大をA組とし、慶大、早大、立大、拓大をB組とし、各組でリーグ戰を行つて兩組の勝者に依つて決戰を行ひ關者を決定することになつた（括弧内は球場）

△五月十一日商對專（商大）△十七日慶對商（商大）△廿五日商對法（法大）專對慶（法大）立對拓（早大）△卅一日慶對法（慶大）立對早（立大）△六月一日商對明（八幡山）慶對拓（八幡山）△七日慶對明（法大）立對慶（慶大）△八日法對專（法大）早對拓（早大）△十四日專對明（八幡山）早對慶（慶大）

S16-5-12

關東六人制蹴球（第二日）

本戰後援第五回關東六人制蹴球大會第二日は十一日午前十時から驛一場一高球場で第一部一回戰殘り七試合第二部一回戰六試合を擧行、まづ第二部では不戰勝の千代田生命Aとともに北辰電氣、朝日中島飛行機A、第一生命Aが勝殘り文日立助川Bは日本鋼管を5——0の大差で破り強味を發揮した第一部では慶大A、外語早大B、明大B、體專A、早大A、一高Aなど勝ち殘つたが一高Aの東大A攻略は特筆に値する

◇第二部（實業團）一回戰

北辰電氣 1（0——0）0 日本鋼管
朝日新聞 1（0——0）0 日本光學B
千代田生命 0（0——0）0 第一生命B
中島飛行機A 1（0——0）0 第一生命A
日立助川B 4（3——0）0 日立助川C

◇第一部（大學、高專、倶樂部）一回戰

慶大A 2（0——0）0 文大
外語 0（0——0）0 東京蹴球團
早大B 5（2——0）1 體專B
明大B 3（2——0）0 武藏工業
體專B 1（0——0）0 慶大B
早大A 4（3——0）0 法大
一高A 1（0——0）0 東大A

S16・5・12

久々で復活戰

三田稻門蹴球

數多數の大御所と雖が相提携して斯界發展のために盡さうとしはらく杜絶してゐた三田稻門戰を復活することになりその第一戰がいよ〳〵廿五日午後零時十五分から明治神宮競技場で擧行される、兩軍とも戰線に多數優秀メンバーを竝べてゐるが久しぶりの一戰だけに北海道、九州の遠隔の地から驅せ參するものもあり老練、新鋭とりまぜて左のごとくメンバーが決定、なほ雨天の際は豐島師範球場で

◇三田一△監督小池△GK島田【補】岸本、井上△FB綾部、岩崎【補】加藤△HB辻、松丸、岩波【補】高川、澤田△FW乙骨、綾部、二宮、增田、志岐【補】福村、右近

◇稻門一△監督鈴木△GK伊藤【補】村寺△FB鈴木、野田【補】上野△HB野村、宮部、立原【補】西川、小野、中村△FW夛田、高師、工藤、川本、西昌【補】大越、加茂、名取

S16・5・15

S16-5-18

六人制蹴球選手權

本戰後援第五回六人制蹴球關東選手權大會第三日は十七日午後二時より豐師球場で第二部（中等）錦一回戰を擧行

明倫中 0（0——0）0 八中B
（審判竹內、宮本、關根、青明成先攻）

體專 0（0——0）0 豐師
豐師 0（0——0）0 體專
（抽籤勝）

中學 1（1——0）0 明成
（審判宮本、細田、渡三吉、千葉師先攻）

八中A 1（1——0）0 東高等
（審判山口、四條、竹內三君、體專先攻）

豐師 0（0——0）0 市立二中
（審判竹內、宮本、關根君、明成先攻）

◇…豐A はキックオフ間後CFより一點を先取好調なスタートを切り、その後終始攻勢に立ちチャンスを逃へたが東高特必死の防禦に苦しかつた、小粒ながらよくまとまり、常にオープンへとキックを利かして試合を進めてゐたのが光つてゐた、東高等もかなりチャンスをもつてゐたが、技にも體力にも瞬間に一歩を讓つてゐた

◇…明成八中B戰は兩軍滅絶型く見戰に終始し、明成は前半の終り頃八中陣前の混戰にCF吉原ひつかけてリード、後半八中Bも得點機を逃へたがLW日原のシュートはポストに當つて空しかつた

◇…千葉のFWは思いフイールドに適したキックを利かして常に豐師を壓迫したが豐師はショートパスでもフオロー不足し、千葉は後半PKの惜しいチャンスを失し抽籤で殘つたが勝ちは順當のものである

S16・5・18

けふの組合せ

本社後援六人制蹴球

◇中等學校第一回戰 豐學對明倫中（1時30分）補助球場
府八中A（2時）豐星B對獨協中（3時）府八中B對國學院中（3時30分）豐師對千葉師（4時）豐師勇對市二中（4時30分）（以上豐師）

S16・5・17

第四日の組合せ

◇第一部（大學高專倶樂部）東大C對外語（10時）慶大A對早大B（10時30分）明大B對慶大B（11時）早大A對一高A（11時30分）慶大B對東蹴A（0時）明大A對豐島A（0時30分）東大B對WMW（1時）學大對慶大（1時30分）◇第二部（實業團）日立助川A對北辰電機（2時）朝日對中島飛行機A（2時30分）千代田生命對第一生命A（3時）日立助川B對日本光學（3時30分）以上豐師球場

延長戰に入るも決らず、抽籤にて朝日に凱歌あがる

S16-5-19

S16-5-19

慶大鉄力総崩れ　六人制蹴球

本社後援第五回六人制蹴球選手権大會第四日は十八日午前十時から青山球場で第一および第二部各二回戦を挙行

この日注目されるのは慶大勢が総崩れとなつた事であり第二部で日立助川Aが敗退した事である

◇第一部

東大C 2 1—0 0 外語
【1】
【0】

【原林原村 田】
【武水源医木 奥】
【外松小金郷 成】
GBF
GBF

早大B 2 1—0 0 慶大A
【1】
【0】

【家川中原島池】
【川田田西井 杉】
GBF
GBF

【早宮片岡中】
【明大B 森 機關 島 倶】
GBF
GBF

早大A 1 1—0 0 一高A
【1】
【0】

【田宅島村 納】
【島三川花 加】
GBF
GBF

【A 藤田城谷野 興】
【A 加藤本渡邊前 一】
GBF
GBF

明大A 2 1—0 0 雪島A
【1】
【0】

【A 中根藤内坂 大池】
【明 田米真竹黒】
GBF
GBF

【A 木戸風藤真岸 昇】
【A 並越五金志松 豊】
GBF
GBF

東大B 1 1—0 1 WMW
【1】
【0】

【本場正野木 W】
【大 田田】
【東岡大島島天柏】
GBF
GBF

【形田村部伊諸 WM 久】
【村荘中宮小工】
GBF
GBF

學大 0 0—0 0 慶大C
【0】
【0】

【A 本山本田 學】
【金菅宮鹿】
GBF
GBF

【C 林谷水輪村部 慶】
【小三浦三田服】
GBF
GBF

東蹴A 3 3—0 0 慶大B
【0】
【0】

【A 倉本佐川川根】
【東 宮宮岩小柳寺】
GBF
GBF

【B 田崎篠島我田 慶】
【前大大大曾濱】
GBF
GBF

◇第二部（蹴蹴國）

北支電機 0 0—0 0 日立A
【0】
【0】

【0 0 0 0 0 0 0 0 0】

中島飛行機 2 1—0 1 朝日新聞
【1】
【1】

第一生命 2 1—0 0 千代田生命
【1】
【0】

日立B 2 1—0 1 日本光學
【1】
【0】

【0 1 0 0 0 0 0 1 0】

十八日の運動

◇蹴球△（関東實業團リーグ）
③新潟鉄工 4—1 0 東京計器
③浅野セメント 1—1 日立航空
⑥東京海上 2—0 三菱横濱
⑥中島太田 10—0 横河電機
△豫科リーグ
農 大 4—1 商 大
△定期戦兼綜合選手権二次豫選
北 大 1—1 東北大
（北大抽籤勝）

S16-5-24

半島の誇り、蹴球界は低調の一途

野球

【京城電話】体育の野球化を図つた昨年度の朝鮮体育界新体制は、専門、中等各學校を始め運動界に多大の影響をあたへたがシーズンの開幕とともに一部の競技をのぞいては依然旧態に変らず活潑である

総督府學務局が前年度施行した体育の普及化を各學校では選手制度の否定と誤解して半島の方針と体育の將來にかなりの混乱を招かしめてゐたが、半島大陸の体育界も若干の變化はあるが、体育に対する根本的の變化をみたのみで訪れるシーズンの軌道に乗つてきた、しかし若干の變化ではあるが、体育運動はかなり強く當局の体育の普及化の特性となつた

野球　當局の方針で各學校野球部は部費を三百円程度に節減されたため後援會その他に恵まれない學校は廃止する外なく、專門學校では京城高商、京城醫專、城大豫科が歴史ある野球部を廃止するとともに、中等學校では前年度目覚しく頭角を現してきた城東中學、古豪京城師範が一時中止するとともに南鮮地方では京城中學も野球を中絶することになり、年々質的量的に低下して行く半島中等野球界は發展の一途を辿り、各種競技の著しい躍進に反比例して中等野球は低調を極めるとともに全國高等野球の花形である京城醫專舎で優勝した中東中學、普成中學校等が今年も断然たる強味をみせてゐる

專門學校は延禧、普成兩校が断然他を引離して王座を爭ふが、前年度は蹴球試合の結果普成の勝となつたけれども兩チームともに中等學校から多數の新入部員を加へてチームの強化を図つてゐる

四月下旬の都市對抗蹴球では平壌と咸興蹴球協會が決勝戦にのぞみ、FWに黄正祠、馬昌變、HBに金容鎭、閔丙大、李鎭煥、GKに金應龍等の三地對抗蹴球大會に出場した好選手の活躍好く二對一で前年の覇者咸興蹴球團を破つて平壌が優勝した、咸興平壌の兩チームの實力は全く伯仲してゐて今シーズンの蹴球界は延禧、普成の活躍とともに活況が豫想され、また技術的にも新式科學性を加へて從來の強引一点張りの蹴球に巧緻の技巧が加はり大いに期待されてゐる

揭示板



◇…東大蹴球部先鋒藥島開一君は入院加療中去る十二日戦病死した旨實家に通知があつた

S16.5.21

二十二日の運動

◇蹴球　大學豫科リーグ
農　大 12—0 法　大

S16.5.23

三田稲門蹴球は日吉で

復活第一回三田、稲門蹴球試合は廿五日明治神宮競技場で擧行の豫定であつたが、都合で同日午後二時から日吉蹴大球場で擧行に變更

S16.5.24

けふの組合せ

関東六人制蹴球

◇第三部準々決勝　實施（武）
對明治中（1時）稲田中對
暁星A（1時30分）暁星B
對開成中（2時）實施（武）
對千歳師（2時30分）

◇第一部準々決勝　東大C對早大B（3時）明大B對早大A（3時30分）慶蹴A對東大A（4時）東大B對明大A（4時30分）（於神山師範）

S16.5.24

S16-5-25

早、東勝進む

六人制蹴球

第五回関東六人制蹴球選手権大會第五日は二十四日午後一時から胃腸病院球場で第一部第三部準々決勝戰を擧行、まづ第三部では優勝候補同士の青師武組と明倫中の間に猛烈な激戰が展開されたが両軍とも得点なく遂に抽籤の結果青師武組が武運に惠まれ曉星中A、開成中、千葉師と共に準決勝戰に進み又第一部では早大ABともに快勝、明大A、東大Bと爭覇することゝなつた

◇第三部準々決勝

【第一部】早大B對早大A(11時)明大A對東大B(11時30分)

【第二部】北辰對中島A(10時)第一生命對日立B(10時30分)【第三部】青山師(武)對曉星中A(9時)開成中對千葉師(9時30分)

川崎神宮競技場

なほ各部決勝戰は午後二時半第三部より順次に行ふ

けふの組合せ

【第一部】早大B對早大A(11時)明大A對東大B(11時30分)

【第二部】北辰對中島A(10時)第一生命對日立B(10時30分)【第三部】青山師(武)對曉星中A(9時)開成中對千葉師(9時30分)

川崎神宮競技場

なほ各部決勝戰は午後二時半第三部より順次に行ふ

◇第三部準々決勝

【青山師(武)】0—0—0【明倫中】(抽籤勝)

(審判清水、福永、高橋三君)

【武】内田田上松【中】根岸田城根根【青山師】西村吉【明倫】李外河金福李

【曉星中A】1—0—0【浦和中】

(審判福永、高橋三君)

【曉星中A】本田井中地森【中】部口井下瀧藤【浦和】松牟石田島【曉】阿井岡松大伊【開成中】0—0—0【曉星中A】(抽籤勝)

(審判横山、高橋、村形三君)

【千葉師】1—0—0【開成中】

(審判村形、高橋、横山三君)

◇第一部準々決勝

【早大B】2—0—0【東大B】

(審判木村、山口、粉川三君)

【早大A】7—3—0【明大B】

(審判山口、木村、武道三君)

【東大B】3—0—0【明大A】

(審判富本、岩波、工藤三君)

◇第一部準決勝

【早大B】2—0—0【東大B】

(審判木村、山口、粉川三君)

【早大A】4—3—0【明大A】

(審判工藤、村形、西川三君)

◇蹴球(関東實業團リーグ)

⑤日本油脂 2—1 日本鑛業

S16.5.25

廿四日の運動

S16-5-26

精鋭相搏つ肉彈戰

六人制蹴球準決勝戰終る

本社後援第五回関東六人制蹴球選手權大會第五日は二十五日午前九時から明治神宮競技場で各部準決勝戰を擧行、まづ第三部では青師武組、曉星中A組に大勝すれば、千葉師も開成中の苦戰を卻けて決勝に進み、第二部では曉星飛行機A組對東大B組の末裔戰に北辰電機を破り、日立助川B組に快勝した第一生命A組と覇を爭ふことになつた第一部では早大はA、B兩組同士討ちとなつたが後半B組の追撃及ばずA組勝ち、明大A組對東大B組は決定力に優れる明大の制勝となつた

かくて午後から決勝戰を行ふ豫定であつたが降雨のため決勝戰は六月一日に延期することになつた、なほ會場は近く決定の上發表する、成績左のとほり

◇第三部準決勝

【青山師(武)】3—2—1【曉星中A】

【内田田田崎松】【部口井下瀧藤】山西黒太篠吉【曉星中A】阿井岡松大伊

【千葉師】1—0—0【開成中】

(審判秩、木村、四條三君青山先攻)

【曉星中A】本本山村【中】野木大【東大B】正野田田【明大A】岡大島島天柏【千葉師】金宮大江

(審判木村、四條、森三君千葉先攻)

◇第二部準決勝

【北辰電機】1—0—0【中島飛行機A】

【野岡上有田村】【木村早上方島】佐牟井新大下【中島飛行機A】守中大水宮大

(審判四條、富澤、阿部三君、中島先攻)

【第一生命A組】3—2—0【日立助川B組】

【第一生命A組】岡山福山塚山【日立助川B組】田島妙部中【立山芳小鎌内林】

(審判工藤、阿部、富澤三君、日立先攻)

優勝候補同士の一戰として期待されたが大人制蹴球を巧みにマスターしてゐる第一生命A組が危げなく制勝した、第一はOF塚部が中盤からキープしては左右兩翼に見事な球捌きを見せ兩翼を走らせては好機を作つてゐた、OL山中はまだしもOR山城に今一息の決定力を缺めたら更に數點を加へ得たであらう、日立の敗因はバックが攻部を徹底的に潰すでもなしといつて第一の兩翼をマークもせずとうちつかず防戰ぶりを示したところにある

◇第一部準決勝

【早大A組】2—0—1【大B組】

【田谷島村納興】【西川田谷田杉】島米川花加【大河早宮水片】

(審判横山、松牟、岡牟三君早大先攻)

【中島飛行機A】1—0—0【北辰電機】

【野岡上有田村】【木村早上方島】佐牟井新大下【中島飛行機A】守中大水宮大

(審判四條、富澤、阿部三君、中島先攻)

【第一生命A組】3—2—0【日立助川B組】

【第一生命A組】岡山福山塚山【日立助川B組】田島妙部中【立山芳小鎌内林】

(審判工藤、阿部、富澤三君、日立先攻)

【明大A組】3—2—0【東大B組】

【A池六】中原鍋内橋【B本場正荒野米】田田【大東岡大島島天柏】田栗眞竹米

(審判小長谷、川野、横山三君、明大先攻)

全部FWに經驗を持つメンバーで構成した早大A組はすばらしい得点力を有しOF翼が中盤から兩翼に廻いては加納、花村のタッチプレーに敵は突込みによつて得点を擧げて來たが、前半の半ばから加納負傷しここに得点力は半減、後半遂にB組に追撃されるに至つたが、辛くも一点に食ひとめて制勝した

明大A組の勝利はOF竹内の大活躍によるものであるといつても過言ではなからう、それ程東大B組バック陣は竹内一人をもて余してゐた、だが三点の内最初の二点はともに東大GKが防ぎ得た球であつた

S16-5-26

S16-5-26

稻門勝つ

對三田蹴球戰

三田稻門復活第一回蹴球戰は二十五日午後二時半から日吉慶大球場で宮本君主審三田先蹴で擧行、稻門に初の凱歌が擧つた

稻門	2	0	三田
	0	0	

【三田】
田越崎 ㊥ 加岩乙志松増島 4 4 3
津塚岩 (GFB HB FW) GK K K
形田野村原野部佐田島原 (GCF) 14 5 4
【稻門】

S16-5-26

東京中等校低學年蹴球組合

東京府中等學校低學年蹴球大會は卅一日を第一日とし四日間靑師球場で行はれるが組合せは左の如く決定した

◇第一回戰（A）開成中對府高（31日後2時）（B）國士舘中對府二中（31日後3時）（C）府八中對靑山師（31日後4時）（D）府一商對慶實（1日前9時×E）府九中對曉星中（1日前10時×◇第二回戰（F）府五中對豐高師（1日前11時）（G）成城第對A勝者（1日後0時30分）（H）B勝者對C勝者（1日後1時30分）（I）D勝者對E勝者（1日後2時30分）◇準決勝＝F勝者對G勝者（7日後2時30分）H勝者對I勝者（7日後3時30分）◇決勝（8日前10時）

S16.6.1

卅一日の運動

◇蹴球
成蹊 2—1 成城
（關東實業團リーグ）
⑤日本水産 2—0 日本鐵業
（關東大學豫科リーグ）
農大 6 2—0 0 法大
4—0
早高 0 0—0 0 立大豫
0—0
（東京府中等校低學年大會第一日）
府高等 3 0—1 1 開成中
3—0
府二中 1 100— 000 0 國士舘中
100—000
靑山師 3 2—0 0 府八中
1—0
（關東醫專聯盟リーグ）
東藥專 稻日 歯

S16-6-2

明大初出陣

六人制蹴球選手權

本社後援第五回關東六人制蹴球選手權大會最終日は一日午後二時から駒場一高球場で各部決勝三試合を擧行、まづ第三部では靑師武組を破つて明大A組對早大A組の試合は兩軍無得點のまゝ四回延長の大接戰となつた末、遂に勝運は明大に微笑まれて初制覇を遂げた

◇第三部
靑山師 武組 2 1 10000 0 千葉師
000000
（GB F）
丙田田山七松 非藤艾木鷲尾 武組
靑山師 山西黒大村吉 千葉師 宝幹小恒
（GB F）

◇第二部
第一正命A組 0 2—0 0 中島飛行機A
4—0
（GB F）
田島城部中 一岡 木島村方川上 中守大中窪原上
山崎山屋山

◇第一部
明大A組 1 0100000000 0 早大A組
0000000000
（GB F）
A田谷島村 納 A池 原中鶴内園 大島米川花 加明 累田眞行來
早高
（GB F）

第三部は先づ三分線部から田城山中と廻し山城ドリブルから山城で右隅に決めて先行、後半さらに四点を加へて大勝したが、第一の勝因は大きいパスと競への鋭い突進力に依るものであつた、靑にこの日は線部から巧みに兩翼へ廻く球を、山中、山城ともによく滑に持ちこんで決め見事なプレー振りを示してゐた、中島は終力として攻めても殆ど見るべきものがなかつた

靑山不調のため勝味が遲い一戰であつたといへよう、前半七分靑山吉松フリーシュートしながら外し健生を制すべき絶好のチヤンスを逸した、その後靑山押しながらも決まらず、千葉の滑輝もスピードなく靑山の速いカムバックによる3B制布陣の前に好機を摑み得ず失敗してゐた、延長二回目の前半1分西田から吉松に出た球をセンターリングすれば大田がイレクトで決め、勝敗を決したが靑山は特にCF村上一息の感があつた

明大初出陣の好メンバーは川島、大田、竹内、小川、山城、大貫、納、大池、原中、鶴内、園、米川、花村、加納、累田、眞行寺、木島、村方、上岡、中守、大中、窪原、上岡、山崎、山屋、山城ドリブルで進み、竹内の好センターリングに川島、大田がダッシュしたがこれが更に早大陣側にこぼれた球を眞納待ち込んで決めこゝに明大の制覇を決した、試合は明大の闘志に早大いさゝか出鼻を叩かれ遂に明大のペースに納込まれ待ち前のパスワークを誇れた、後半に入つてから早大やゝ生氣をとり戻したが花村、加納の闘爭が突込みにもタッチプレーにも鋭さも巧味も見せずさらに明大の好防にあつて再三好機を逸してゐた明大も竹内と新人眞納で持込み好機を摑んでゐたが最後に疲れて腰くだけの感があり決定的シュートを放ち得なかつた、延長に入つてからは明大に優勢の色濃く早大が攻撃を續けたが遂に明大の前に勝利を摑つてしまつた、明大の勝利はあくまで闘志によるもの早大は當の巧味を缺れてゐた（東京府中等校低學年）

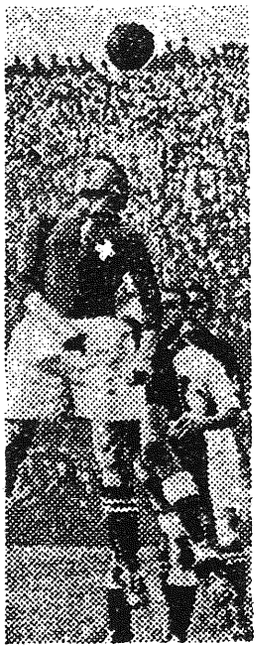
▲第一回戰
府一商 1—0 慶實普
曉星中 1—0 府九中
▲第二回戰
府五中 2—1 豐師
府高等 3—0 成城等
靑師 4—0 府二中
曉星中 2—0 府一商

S16.6.2

一日の運動

◇蹴球（關西學生大會決勝）
關學大 4—1 神高商
（關東醫專聯盟リーグ）
東醫 2—1 昭和醫
日醫大 3—0 大倉高商

海外體育界だより



獨蹴球軍瑞西に大勝

の大差でこれを破り歐洲で無敵の強さを誇つてゐる【寫眞は同蹴球戰中盤戰における瑞西選手の見事なヘツデイング】

さきにハンガリーを破つたドイツ蹴球チームは四月十八日スツツガルトでスイス軍と對戰し7—0

S16.5.27

S16-6-3

個人技の錬成に效果

六人制蹴球大會總評



關東六人制蹴球選手權大會は雨に祟られながらも第一部明大A組、第二部第一生命A組、第三部青山師武組の稱號を決定一日終了した【寫眞は第三部決勝戰】

大會を通じてもつとも深く感じたことは個人技の鍛成一個々の幅のあるプレーのみならずコンビネーションとかカンをもふくめた面白い意味の個人技の向上に六人制蹴球が多大の效果があるといふことである、勿論その必要を認めてこそこの大會が開かれてゐるのであるが從々その必要性を痛感した次第である、個々の動きにより以上のスピードと廣い視野を要求される從つてそれだけ個人の鍛錬に有效であるわけだが特に新人の場合にこれが顯著であつた、活躍の範圍の廣いことが新人連に自らのプレーに自信を與へたこともその一因とも見られるが大會中に進歩の跡著しきを見られるものが多數あつた

第一部 では今春明星商から明大に入つた眞鍋、早大の花村勝井、富田、第二部では第一生命の山中、山城の兩翼、第三部では青師武崎、千葉師中澤等が擧げられよう、また六人制蹴球は六人制としてのやり方がある、この巧拙如何が試合を左右した數多くの例が見られた

第一部では慶大Aが早大Bに東大Aが一高Aにそれぞれ一矍きれ、成城、拓大、東大Cがいづれも五人で戰つた東蹴A、豐島A、早大Bにそれぞれ敗れたことや第二部で優勝候補と自他共に許した日立Aが北辰電機のために敗退のやむなきに至つたのを見れば試合運行、得点經緯の研究、或は縱パス、クロスパスの使ひ方、さらに又CFから兩翼への球捌き等に至るまで六人制獨得の特味を十分弁へて置かねばならぬことがわかる、六人制蹴球のやり方を修得することは自ら、十一人制蹴球の、やり方、會得に神益することが大なるはいふまでもなからう

全般的 さて第一部から戰績を通觀すると に明大、早大、一高の活躍が印象に殘り倶樂部チームとしては東蹴Aがよく現役陣に伍して堂々の戰果を擧げた、これに反して慘憺たる成績に終つたのは慶大と東大であつた、一高のあれるばかりの闘志と中々よくまとまつた組織力とは東大に堂々の戰ひを挑みB組同士では東大の辛勝となつたがA組同士では遂に一高が押し切つて殊勳を樹て更に早大Aに對しても相譲らぬ戰況を示したことは特筆してよからう

東大は橋山主將の東大再建を目指す悲壯なる決意の下に精進してゐるにも拘らずいまだその緒につきかねてゐるといつた体で迫力を缺き、といつて巧味もなく、前途に一抹の不安を殘はすものがあつた、慶大も二宮を失ひ篠崎、渡邊の不出場でFW線に精彩なく得点力を缺いて敢ない敗退をした、かくて早大はA B兩組で准決勝に同士討ちとなり、一方明大Aは東大Bを破つて決勝に進んだ、戰前の豫想は早大Aに六分の利を認められたが、早大は加納の負傷まだ癒えず花村また前日の豫科リーグの疲れで動き鈍く、その上明大の闘志に押され氣味で後半よく立直つたが遂にきめ得ず、明大の逆轉に觀衆を讃つてしまつた

本大會 をもつて秋のリーグを展望するにはまだ時機尚早の感はあるが明大は昨秋二部轉落の汚名をそゝがんとする意氣に燃えてゐるを感じられ、早大は新人の躍進と組織力の向上を計つて制覇へ一歩々々近づきつゝあるを思はしめた、慶大はリーグ戰全力主義を採るやに聞くが未だ低調の域を脫せずの譏りを免かれない、東大ももつと奔放な迫力のあるチームへの錬成が必要であらう

第二部では日立Aが實業團では稀なメンバーを擁しながら北辰電機の死守に遭つて拙守に退き寄せ集めチームの觀を暴露したに反し第一生命Aはいづれに對しても大差をもつて卻けよ々々制覇してしまつた、これは纏まつてゐる上に實によく六人制蹴球のやり方を心得てゐてキープ力のある攻撃部が眞中で敵バックを釣り出しつゝ前進、機を見てはノーマークとなつた兩翼へ大きく出してこれを巧みに決めてゐた、FWをして試合を通して十四点を獲得せしめしかも敵にゴールを許さなかつた山田、福島兩バックの殊勳をも認めねばならぬ

第三部 は早くから六人制に多く鍛錬に精進して來た青山師武組が順當の制覇を遂げた、体力といひ技といひ全く粒揃ひの六人であつた、更に低學年で編成した勇組も又千葉師に對して堂々の戰ひぶりを示した、これ等を綜合すれば恐らく全國でも有數のチームたるはいふまでもないであらう

春から夏にかけて好成績を示しながら秋のシーズンに入ると兎角十分の成果を擧げ得ない憾があつた、今年こそ万全を期してもらひたいものだ、強敵豐師を一回戰に破いて快勝に進出した千葉師は終始善闘した、王禮文のキック力、中澤のキープ力等を中心にかなりの纏りを見せてゐたが今一息の迫力とスピードに缺けてゐた、之が得点力の弱い因であつたといへよう、明倫中は惜しくも第二回戰に青師武組のために蹴に敗れ去つたが侮るべからざる實力を有してゐた、特に李重根の個人技には見るべきものがあつた、然し連絡を缺いてチーム力の增強には與るところ少かつたことを惜しむ

その他 壁星中、鋼成中など小粒ながらよく闘つた、浦和中を破つた壁星中Aの闘志は賞讃してよい、これに對し浦和中は全く氣力なく技においては一日の長ありながら不甲斐ない一戰に自ら敗退を余儀なくしてしまつた、技と共に精神的訓練の重要性を反省しなければならぬ

第三部において最も遺憾であつたのは市二中、青學中、獨協中の棄權である、十七日は冷雨の日であつた、恐らくこのための棄權續出であらうが、雨が降つても擧行するにきまつてゐる蹴球競技において雨のため棄權するのは、非常時下の生徒としてその心得において不足すると共だしい、よろしく三省すべきである（大藤明）

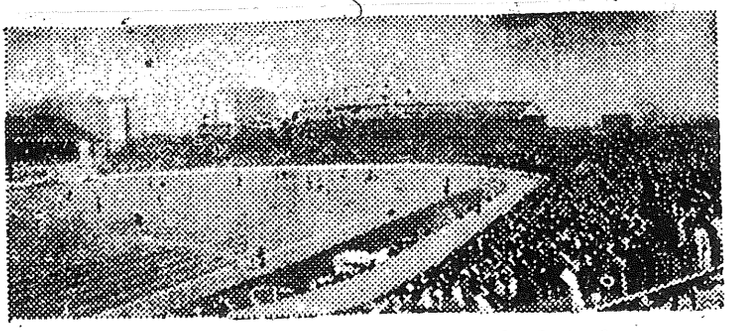
二日の運動

◇蹴球（関東大學豫科リーグ）

明大 1(1—1)1 商大

S16・6・3

S16-6-5



英陸軍對聯合軍蹴球試合實況

蹴球戰は大入滿員

敗色濃き英國の珍現象

海外体力界よりの報

ドイツ軍爆撃機の爆彈の雨が降りそそがうといふ四月二十九日、ロンドン西南スタムフオード・ブリッヂの大運動場で、英陸軍と聯合軍の蹴球試合が賑々しく行はれた

この日の英軍チームの陣容は、イギリス運動界では猛者揃ひの隨行選手ばかり、聯合軍チームはヨーロッパ戰線を退はれてイギリスに引きあげてゐる聯合各國軍ボーランド（二名）チエツコ（二名）ベルギー（二名）オランダ（二名）ノールウエイ（二名）の各選手で、觀衆は英軍、聯合軍の隨伴兵士も入れて一万七百九十四名、觀覽席には英陸相、マーゲツソン大尉を始めとし陸軍省首脳部、それに並んでオランダのベルンハード殿下、ベルギー國空軍武官、亡命聯合軍首脳も見え場内は立錐の余地なき盛況、國を賭けての戰爭、しかもバルカンで押され、敗退の色濃きイギリスにはふさはしくない觀衆を繰り展げた

試合は、聯合軍チームがフオアワード四名、防禦者六名の陣形で戰つたものゝはじめから勝目なく八對二で負けたが、イギリス、スポーツ記者として名のあるチヤールス・ブーチヤンはこの試合を評して次ぎの如く述べてゐる

このゲームは各時代を通じて最も特筆すべき出來事だつた、第一次大戰によつてイギリスは多數の優秀なる青年を失つたが、これが戰後イギリス男子の体格に及ぼした影響は非常なものである、併しながらその後体育の向上が叫ばれて現在は第一次大戰前に復歸することが出來たがそれにしても今次大戰で再び優秀青年は殆ど戰線に立つてゐる、殘された者は感心しない体格の所有者だが、これに次ぎの世代のわがイギリスの"健康"が負はされてゐるのだといふ事實は、愼重に考慮すべき問題である【英誌より】

七日の運動

◇蹴球（東京中等低學年準決勝）
暁星中 1―0 青山師
府五中 1―0 府高等

S16・6・8

八日の運動

◇蹴球（関東大學豫科リーグ）
②早 大 5―1 慶 大
對拓大戰を殘してゐるが拓大が除外された爲め早大B組優勝決定
③專 大 豫 8―1 法 大 豫
（東京中等低學年決勝）
暁星中 1―0 府五中
（関東學生醫藥リーグ）
明 藥 2―0 東 歯
東 醫 專 櫻 日 歯
（関東實業團リーグ）
③淺野セメント 5―0 明 藥
⑤櫻 星 倶 6―2 橋川鐵機

S16-6-9

◇…立大蹴球部先鋒木下製一君は○○日名譽の應召をした

S16・6・12

十二日の運動

◇蹴球（豫科リーグ）
慶 大 3―0 明 大

S16・6・13



◇…明大蹴球部先鋒須見昇氏はこの程應召、また過般入營した同部先鋒本堂守男氏は第二陸軍病院に入院中

S16-6-14

拓大豫科蹴球部を除名

関東大學豫科蹴球聯盟では去る六月一日慶大對拓大の試合中粗暴なプレーを續け後半の試合を中止の止むなきにいたらしめた拓大豫科選分に付協議中のところ十二日除名處分に決定した

S16-6-13

十四日の運動

◇蹴球（関東大學豫科リーグ）
慶 大 0―0（引分）立 大

S16・6・15

十五日の運動

◇蹴球
早 大 4―2 文 大
（醫歯藥リーグ）
東 歯 5―0 明 藥
（関東大學豫科リーグ）
明 大 3―2 專 大
慶 大 2―1 專 大
（関東實業團リーグ）
❶第一生命 5―1 日本光學
❸日立航有 10―0 東京計器
❺立川飛行 4―1 中島飛行

S16・6・16

関東蹴球協會で役員改選

関東蹴球協會では去る十六、七年度）を行つた結果、左の通り決定、二十七日初部議員會を早記念体育會館で開き、役員の改選を行ふ

野村、伊藤、竹腰、岡田、小野、小長谷、鈴木、柳田、乘富、手島、阿部、朝生、竹内、塚部、本田、洞水、工藤、高山、長坂、松木、竹田、金子、藤野、福澤保坂、岡田、宇野

関東大學豫科蹴球決勝

関東大學豫科蹴球リーグA B組の勝者早大對慶大の決勝戰は二十一日午後二時から元住吉蹴大運動場で行はれる

早東蹴球戰

早大對東大蹴球試合は二十二日午後二時から本郷東大球場で一、二軍二試合を行ふ

S16・6・20

S16-6-22

WMW蹴球倶 WMW蹴球倶楽部では今夏 楽部朝鮮遠征

朝鮮遠征を行うことになつた、工藤喜作以下川本、名取、村形、立原のOBに現役を加へた二十名で七月二十六、七日兩日京城で全延専、全慶成と戰ひさらに平壤で全平壤、咸興で咸興蹴球團との四試合を行う豫定、東京出発は廿四日

S16.6.21

早大快勝す

大學豫科蹴球リーグ

關東大學豫科蹴球リーグ優勝決定戰早大對慶大の試合は廿一日午後三時から元住吉慶大球場で審判豫部、杉、鴨坂三君慶大先蹴で擧行早大快勝す

早大 6(2—0)1 慶大
【大谷川岡田鴨本村井中納 13 4 大】
【早水早松宮小森花中綾田加 KB B FW KK CF GH F G 28 27 大】
【慶大金中澤李大佐柄大岩相】



◇…東京蹴球團對豐島サッカー倶樂部の蹴球定期戰は二十一日擧行の豫定であつたが、中止延期することとし明日は追つて協議の上決定する

S16.6.23

東大勝つ

對早大蹴球

東大對早大蹴球戰は二十二日午後二時から東大球場で擧行、一、二軍ともに東大勝つ

東大 6(5—0)2 早大
一軍 1—2
東大 5(3—0)1 早大
二軍 2—1

廿二日の運動

◇蹴球
青山師範 1(1—0)0 府立五中
(實業團リーグ)
❶千代田生命 10(3—0)1 東朝

S16.6.26

蹴球で獨、羅に勝つ

ドイツ對ルーマニアの國際蹴球試合は六月三日ブダペストで擧行、ドイツ・チーム好調に前半3—0とリードし、後半にも一點を加へタイム・アップ直前ルーマニア一點を返したが、結局4—1でドイツの勝利となつた



◇…商大蹴球部先輩米山大三君（三菱商事船舶部勤務）はこの程應召同じく元主將二階堂靜司、田島關重兩君は除隊した

S16.6.26

蹴球代表選 大日本蹴球協會では十六年から十七年度にわたる代表選手候補左記三十一名を二十五日發表した

【GK】倉田幸男（慶出）中垣内勝久（東高師出）小畑繁雄（神高商）×HB及FB 右近德太郎（慶出）加藤重夫（慶出）笠原猛（慶大）高島良輔（慶大）田中喜成（慶大）末岡榮孝（早出）木村榮一（東大）金容祖（普專出）森山一郎（慶專）藤村容一（慶專）關內大（普專出）福島誠（慶專）村雲博（普專出）小橋信吉（神高商出）水澤德也（神高商）×FW 二宮洋一（慶出）篠崎三郎（慶大）川本泰三（早出）高橋英辰（早出）長宗繁（早大）片山光夫（東商大）大谷四郎（東大）金成鉉（延專出）金村喜守（慶專）金光仁語（慶專）宮本鎭男（慶專）宇山引（關學）和汁春牛（東北大）

S16.6.26

關東蹴協 關東蹴球協會本年度理事六名が二十八日左の如く決定した

理事決る

小長谷晃鎭（主事）本多秀治（實業團、審判、記錄）竹內悌三（指導、審判）伊藤浦（大學高專）塚部儀三（庶務、地方連絡）鈴木朝英（中等、國民校）

S16.6.29

二十九日の運動

◇蹴球（關東實業團リーグ）
❹日 曹 3—2 古河電工
△（醫專リーグ）
東 歯 5—3 日 歯
【今季順位】❶東醫全勝❷明藥、東歯3勝2敗❹昭和醫專、東藥2勝3敗❻日歯1勝4敗

S16.6.30

S16-7-6

掲示板

◇…早大蹴球部先輩前オリンピック代表の立原元夫君は、島田早大教授の媒妁で氏家醇子嬢と結婚、新居を武蔵野町吉祥寺四二六に定めた

S16.7.5

掲示板

◇…日本蹴球代表選手の鍛錬合宿は來る十四日から二十二日まで芝増上寺の花嶽院で行はれ本郷東大で練習することとなつた

北日本高專【仙台電話】

蹴球參加校

東北大主催本社後援第十二回北日本高專蹴球大會は、十四日から四日間二高運動場で擧行參加校は北大豫科、弘高、岩手醫專、高岡高商、桐生高工等十三校

六日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ）

❶第一生命 8——0 朝日

❶マッダ 3——3 千代田生命

❶日本鋼管 4——1 日本光學

S16.7.7

十一日の運動

◇蹴球 三商大第一日（甲子園）

大阪 1——0 神戸

S16.7.12

三商大對抗競技

◇蹴球

神戸 10——1 東京

神戸 7——3 大阪

大阪 11——3 東京

S16.7.14

精進する競技界

夏季鍛錬の抱負を聽く

(3)

世界の變動はその波の力を強く体育競技界にも傳へてゐる、國家的な意識を缺いた体育競技はも早や存在を許さなくなつた、しかも現在を敢闘する青壯年の体力、次代を引き継ぐ少年層の体位の向上は精神鍛錬とともに一時もゆるがせにできない問題である、各競技團体はこの盛夏炎熱の鍛錬期を如何なる對策を樹立し、かつ行はんとしてゐるか

蹴球

大日本蹴球協會書記長 小野 卓爾氏

二、三日中に新たに理事會を開いて具体案を纒めることになつてゐるがわれ〳〵の目標とするところは鍛錬にあり國家にお役に立ち得る心身の鍛成であるからこの際益々もつてその方向に進まんとするものである、競技より鍛錬へ鍛錬第一主義へ直進するそれにはまづ東京において役員選手を集め深尾會長からこの際における覺悟とか進むべき道を敎示し、各府縣においても役員選手を集めこれを傳達する、それから各府縣別に指導者の講習を行ひ、これを中心に府縣別に鍛成の實を擧げたいもちろん、鍛錬の試驗會ともいふべき競技會も府縣別に出來るだけやるやうにしなければならぬと思つてゐる

S16.7.20

北日本高專蹴球大會

【仙台電話】北日本高等蹴球大會は十五日仙台市設定河原で擧行

◇準決勝

東北學院 0——0 山形高校（抽籤勝）

北大豫科 5——1 桐生高工

S16.7.16

廿日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ）

❺中島飛行機 1——1 日本水産

❺日本鋼業 1——0 立川飛行機

❻櫻星倶 5——3 中島太田

S16.7.21

廿七日の運動

◇蹴球 實業團リーグ

❻東京海上 5——2 横河電機

豐師 6——2 府五中

S16.7.28

三日の運動

◇蹴球（實業團リーグ）

❻櫻星倶 3——2 東京海上

❻横河電機 7——4 横濱ドック

S16.8.4

掲示板

◇…慶大サッカー部先輩深山龍夫君は進徳高女に敎鞭をとつてゐたが、このほど同校を辭し愛知縣豐川町豐川乃通二四に梅軍御用達深山商會を開業した

S16.8.7

府縣別て錬成

【大阪】關西學生蹴球排球聯盟では秋季のリーグ戰對抗試合の結果各加盟校を府縣別に區分しそれ〴〵府縣リーグ戰として錬成することとなつた

【蹴球聯盟】△兵庫縣（関學、神商大、神高商、神高工、甲南）△大阪府（関大、大商大、大外語、昭和高商、阪大、大高商）△京都府（京大、同大、同高商、京醫大）【排球聯盟】△兵庫縣（関學、神商大、神高商、神戸高工）△大阪府（大商大、昭和高商、大高）△京都府（京大、同高商）

S16.8.20

廿四日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ戰）

❶千代田生命 7——1 3——0 1日本光學

S16.8.25

掲示板

◇…ベルリン・オリンピック蹴球代表選手として活躍した金容植君は金東秀氏長女松子嬢と婚約整ひ十二日李載鎭氏の媒妁で京城府泰和基督敎社會館で結婚式を擧げる

S16.8.10

掲示板

◇…阜大蹴球部選手で昭和十五年度全日本代表、東亜大會代表として活躍した織内雄二君は四六の自宅で逝去された

◇…京大蹴球部先輩市橋敏男君は東京海軍技術研究所所員に轉任

◇…関東蹴球協會では九月五日から五日間、東大球場および体協會議室で中等學校蹴球講習練會を開催する、參加希望校は九月四、五年生で、參加希望者は中等學校の部は四、五年生、師範の部は三、四、五年生で、參加希望校は九月三日までに同協會宛申込みのこと

S16.8.29

S16-9-22

七日の運動

◇蹴球（関東實業團リーグ）
②東京瓦斯 2―0 東京火災
③航 技 9―0 東京計器
③石川島造船5―5日 曹
④北辰電機 4―0 古河電氣
⑥中島太田 5―2 東京海上
⑥陸 軍 倶 3―2横濱ドック
⑥横河電機 3―2 日立龜戸

S16.9.8

中等蹴球東京豫選

神宮大會中等蹴球東京豫選は二十一日青師球場で擧行、青師と五中が勝ち、二十三日の試合で代表を決定する

青山師 2(0―1)1 豐島師
五 中 1(1―0)0 九 中

掲示板

◇…東高蹴球部先輩消水重道教授は今度同校蹴球部長に就任した

二十一日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ四部）
成城第一 1―1 獨協中
△関東實業團リーグ
後野セメント 3―1 新潟鉄工

S16.9.22

十四日の運動

◇蹴球 實業團リーグ
③航 技 12―5 明 薬
④動 銀 14―0 日立本社

S16.9.15

早、文理と引分

慶は立に辛勝

関東大學リーグ

十六年度蹴球シーズンの開幕、恒例の蹴球祭は二十三日神宮競技場で挙行された、各選手代表は觀客席に集合の上明治神宮に參拜、十一時半より觀覽席下式典を擧行

早 大 2(1―1)2 文 大
【早大】
GK 鳥田昌林永
FB 大吉敏小松
HB 伊藤安彦
FW 大田川尚出島宅井芥谷
【文大】
GK 村田中畝田沼一真
FB 岩原福大出海多島吉今
HB 塚川綿山中原池高宮中
FW 大口大内田守屋後高大塚

	8	9	16
GK	K	K	K
FB	K	K	K
HB	C	F	G
FW	F	G	G

	3	4	20	2
GK	K	K	K	K
FB	C	F	G	P
HB	3	3	11	9
FW				

（勝 大）

◇…慶大は後半26分と27分に立て續けに得點を擧げて全員奮戰を續行すべきだつた、立大の蹴調といふよりは慶大の不調といふべき凡戰であつた（立 大）

◇蹴球
【東京府中等リーグ】
慶 普 0―0 國士館
開 成 中 3―2 錦 城 中
【實業團リーグ】
日 銀 3―1 興 銀

S16-9-21

中等蹴球東京代表

明治神宮大會中等蹴球東京代表決定戦は、二十三日明治神宮競技場で擧行、青山師が優勝した

青 師 4(1―0)0 五 中

◇蹴球（學生リーグ）
②明 大 11―1 工 大
③慶 大 3―1 日 大

S16.9.24

東・商引分け

大學蹴球

關東大學蹴球第一部東大對商大の試合は二十八日今後三時から明治神宮競技場で擧行、引分となつた

帝 大 0(0―0)0 東 大

◇…雨中ともスピードに缺け時に攻撃を中心とした東大FWの動きは何合を凡戰化してしまつた東大FWはキープ力の不足のみか徒らに球の後を追つて左右に走るのみで協同的なダッシュが影をひそめゴール前で激しく敵を制壓しつゝシュートすべき鋭さが無く數多のチャンスを逃してゐた點も商大の巧みに味のある球扱きを見たがOF片山が下り過ぎてゴール前で待機不足を來してはFK點をつかみ得ず40分右FKからゴール前混戰となり右にこぼれるを永倉しくも右に外すといふ唯一の得點機があつたに過ぎなかつた

◇…後半に入つてからは東大側々の力に優位を示して攻撃を續け商大も時々反撃を加へて試合はやゝ活氣を呈し分東大左からのセンターリングを補山がイレクトで右ポストに當て惜しくも入らなかつたなどの好球あつたが全しく、商大はLB松浦の目ざましい活躍がありこれに東大の攻撃が阻まれて遂に引分けた決定力を缺く東大が最後まで數多の機會を無爲にしたといふ一戰であつた

【東大】
GK 川田浦木藤倉屋山岡本
FB 大居太松鈴村柳永土片松山
HB 補
FW
【商大】
GK K K K
FB K B B
HB
FW
C F G

	2	9	20
GK	K	K	K
FB	C	F	G
HB	7	10	2
FW			

②拓 大 3(3―1)1 法 大
③國 大 5―3 上智大

中等蹴球 關東代表

明治神宮國民体育大會中等蹴球關東地區代表決定戦第一日は二十八日早朝十時から青師球場で擧行

東京府 6(2―1)1 茨城工
（青山師）（4―0）（茨城工）
山梨甲府 3(3―0)0 栃木（今市）
（山梨甲府）（0―0）（栃木今市）
千葉師範 6(3―0)2 栃木（今市）
（千葉師範）（3―0）（栃木今市）
（尚、栃木代表の棄權で神奈川代表（尚絅中）は不戰一勝となつた

二十八日の運動

◇蹴球 神宮實業團關東豫選【準決勝】
マツダ 4―2 日本鋼管
第一生命 3―1 千代田
櫻 倉 倶 樂 部 2―1 名 高 商
日立助川 7―1 航空技研
△東海學生大會決勝
商 松 高 工 2―1 名 高 商
△關東高專リーグ
①横 專 4―2 青 學
①高 商 9―0 高 千 穗
①一 高 2―2 東 高
②成 蹊 0―0 成 城
△關東實業團リーグ
③日立本社 3―0 日 曹

S16.9.29

神宮蹴球 關東豫選

神宮大會蹴球競技一般の部の關東豫選會は左の組合せで行はれる（會場は全部第一生命）

△九月二十八日 △一回戰（A）日本鋼管對マツダ（B）千代田生命對第一生命（C）立川飛行機對櫻倉（D）航技對助川日立 以上十時開始
△十月五日 △準決勝（C）の勝者對（D）の勝者（A）の勝者對（B）の勝者 決勝 以上九時開始

S16.9.28

S16-10-5

早慶共に辛勝

大學蹴球リーグ 第二日

関東學生蹴球リーグ第二日は四日午後一時から明治神宮外苑競技場において慶大對立大、早大對立大の二試合を挙行、慶大は立大に辛勝、早大は立大に勝つた

慶　次　2 [0—1] 1　立　大
　　[2—0]
【慶】GK 永川　FB 山中　FB 横谷　HB 我妻　HB 島田　FW 三枝　FW 曾根
【立】GK 大石　FB 大内　FB 竹内　HB 三枝　HB 岡本　FW 沼倉　FW 木村　FW 岡本　FW 片山　FW 松吉　FW 永井
得点者　慶　曾根　6分　19分
　　立　三枝　11分

◇慶大FWは關東大會から見ると見違へるほどの活氣ある動きを示し、特に前半は小細工を弄せず實に早く、しかも大きく前へ拂いて前衛に渡り、思ひ切つたシュートを放つて再三慶大のゴールを脅やかしてゐたが遂に二十五分慶大FB石川がストップした球を十屋隊込み、右隅に蹴れるを永倉前かに持ち込んでセンタリング・すれば十屋へヘッディング・シュートで一點を先取した慶大はバック陣の活躍でよく攻勢をつゞけ盛んに岸池に廻して左側から攻め込まんとしたがFWの突込み鋭く、ものに拔らず一點をリードされてからはゴール前に揚げて突込んだが慶大は巧みにタッチに逃れて遂に極まらず

◇後半に入るや慶大は持水の陣を布きFW陣總むに足らずとバックが待ち込んでは自らシュートする場面振りで二十七分頃く關いられ、右コーナー・キックとなり、曾根へヘッディングで慶め同点となる、かくて四十二分勝は慶大に歸し、右から出た球を岸池が一人で左に流れてノー・マークとなり左高シュートして慶大は二對一で勝つた、慶大の勝因はバック陣の活氣にあるものゝやうだ

慶　次　4 [2—1] 2　立　大
　　[1—1]
【慶】GK 岸池　FB 大内　FB 横谷　HB 我妻　HB 島田　FW 三枝　FW 曾根　FW 永井　FW 片山　FW 松吉　FW 永井
【立】GK 大石　FB 大内　FB 竹内　HB 三枝　HB 岡本　FW 沼倉　FW 木村　FW 岡本　FW 片山　FW 松吉　FW 永井
得点者　慶　曾根　6分　19分
　　立　三枝　11分

◇前半戰は慶大の壓倒的はず況だるうち、この間をついて立大慶んにゴール前にあげ5分どれが成功GK島田が飛び出した所へ守り頭で慶にさわつてきまり立大一點を先取したが22分早大中央で繰り返し攻撃に慶せば關非ドリブルシュートで攻めて同点、この間から早大やゝ調子を戻して攻撃をつゞけ終分加納から寝さらに加納と慶して加納そのままドリブルシュート一點リード

◇後半キックオフの球を立大守仁そのままドリブルシュートして左下隅にきめて再び同点となる、その後戰合は依然として低調をつゞけやうやく32分早大加納が右に慶した球を花村突つ込んで遂め辛勝となつたが立大の攻撃にあらず早大の攻撃といつてよい早大が得はれた二点はいづれも立上りの間をつかれたものでその缺点を暴露した（大藏明）

慶　次　5 [4—1] 2　慶　大
　　[1—1]
【慶】GK 岸池　FB 大内　FB 横谷　HB 我妻　HB 島田　FW 三枝　FW 曾根　FW 永井　FW 片山　FW 松吉　FW 永井
【慶】GK 大石　FB 大内　FB 竹内　HB 三枝　HB 岡本　FW 沼倉　FW 木村　FW 岡本　FW 片山　FW 松吉　FW 永井
得点者　慶　曾根　6分　19分
　　立　三枝　11分



↓好のKG大盛分八十半前＝合試球慶大盛對大慶　戰防るなみ巧

四日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）
府立高等　1—0　府立五中
府立九中　2—2　豊島師範
暁星中學　2—0　青學中等

S16.10.5

◇蹴球（京城蹴球）△朝鮮豫選決勝
殿　商　4 [2—2] 2　鮮　鉄
　　[2—0]
△實業團關東後選決勝
助川日立　2—1　第一生命
△關東地區中等校決勝
青　師　2 [2—0] 0　湘南中
　　[0—0]
【湘南】
日出原　堤　利西　星　勝
老　川村
川太梅千保河土小早出小
野（湘）
GK 内
FB 竹崎田田田上山楠松
HB 之　宮
FW 山大篠西栗細太村小高吉
【青師】
5 6 13
CK 2
FK 3
FG 5

神宮各種競技豫選

【蹴球】【京城蹴球】△朝鮮豫選決勝
殿　商　4 [2—2] 2　鮮　鉄
　　[2—0]
△實業團關東後選決勝
助川日立　2—1　第一生命
△關東地區中等校決勝
青　師　2 [2—0] 0　湘南中
　　[0—0]

五日の運動

◇蹴球　關東學生リーグ
②明　大　8 [4—1] 1　慈　大
　　[4—0]
②法　大　1 [1—0] 1　工　大
　　[0—1]
②大千葉醫　2 [2—1] 2　拓　大
　　[0—1]
③中　大　2—2　日醫大
③農　大　2—2　學　大
△高專リーグ
①東　高　4—2　東商船
②成　蹊　8—4　東外語
③明　樂　寮　4　高千穂
④横　學　5—0　昭和藥專
△東京中等リーグ
豊　師　1—0　府五中
暁　星　中　1—0　府二中
府八中　2—1　東高等
△關東實業團リーグ
④石川島　3—2　古河電機
⑥東京梅上　7—0　日立龜戸

S16.10.6

S16－10－11

昂る攻闘の熱意

若人の錬成いまぞ酣

二旬の後に明治神宮國民体育大會を控へ今十一日は東立蹴球明法ラグビー、明十二日は一戰對學生國土その他蹴球、排球のリーグ戰等々若人創成の秋はまさに酣といつた感しである

蹴球 立の攻撃力

關東大學蹴球リーグ戰は、いよいよ酣の關に入つて、今十一日は早慶に食ひさがつて蹴球を擁した立大と、商大に引分けた東大の一戰が行はれる、東立との一戰も勝敗を逆睹し得ないものがある

立大は既に二敗してはゐるが、早大との一戰に得点を先行し、また数回の逆襲機會を作りながら[illegible]を中心とするFW戰の攻撃力は強て睡く、全体的に見ても二試合によつて全員の壯の出來てゐるといふのも賴り難い力となつてゐられよう

一方東大は對商大戰のみでその實力を云爲するのは許されないが、FW線のキープ力の不足と、ゴール前における決定力の乏しさがどの程度に補はれたか、對商大との一戰のごとく蹴無味の球拾きならば、制朝点の獲得は覺束ない

ラグビー明の強押力

關東大學ラグビー明大對法大の試合は今十一日明大蹴技場で擧行されるが、法大は既に東大、早大と戰ひ、東大とは25－15、早大とは52－0の戰績を殘してゐるので對明大戰も相當の開きを豫想しなくてはならないであらう

明大は數れの顔觸れでチームを編成しても、目標は早大が法大に對して擧げた得点以上を獲得しなくては、といふ氣分で法大の防禦に全力を傾倒しようそこでもし法大FWが明大FWの圧倒的な押力に屈しかねて崩れだせば、試合時間を通して明大の攻撃はFW、バックの別なく、間斷なしに連續して行くであらう、FWの押力に難のあることは明らかであるが、法大FWとしてもつとも注意しなくてはならぬことは、蹴はずして明大FWの頭上を越に飛む氣分を少しもチーム内に殘してならないことである（加納克郎）

S16－10－12

東大、辛勝す

立大後半に潰ゆ

蹴球リーグ戰

關東學生蹴球リーグ東大對立大戰は十一日午後三時十五分から明治神宮外苑蹴技場で擧行

東大	2	0—0	0	立大					
大	H	村田中澤田澤沼		立	大	原	福大田海多斎岩今立		
	K				K				
	B				K				
	G				K				
	F				C				
	B				F				
	H				G				
大	田村	鶴山	馬地	中谷	島野				
東大	木	藤	有	新	郎	大	學	大	
	2	3	4	5	6	7	8	9	10

◇…東大は練習不足を如實に示してFWのコンビネーション悪く唯一人大谷蹴技の活躍で好機を生んでゐたが、FW線のゴール前のダッシュ全く無く物になす、一方立大の逆襲に際しては東大バック陣また大きな穴を作つて危機をはらんだなど、東大全く不調のスタートを切つた即ち19分立大逆襲からゴール前にこぼれた球を斎藤フリー・シュートしたが、ゴール・オーバーに失し、更に25分多田の好センターリングを又も斎藤逸して等ふべき一点をむざ〳〵と失つた、30分にしてやうやく東大一方的攻勢を續け天野のフリー・シュート35分には菊池の中央を割つてのドリブル・シュートなどあつたが、これまたきまらず、戰を後半戰に持ち込んだ

◇…後半立大疲勞の色濃く東大攻勢を續ける内14分遂に左コーナーキックを奪ひゴール前にコボレるを菊池きめ、更に18分たから大谷に廻はした球をヘッディングで右に落せば豊田これをきめて東大勝利を確保したが、試合その物は低調凡戰の一語でつきたいつでも勝てるといふ東大の氣構がそのまゝプレイに現はれて烈々たる眞剣勝負の氣圍氣を生まず無魂の敗けた一戰であつた、たゞ前半立大斎藤の逸した二つの好機を物にして先取得点を揚げてゐたら戰ひはまだしも緊張味を加へてゐたであらうと惜しまれる（天國明）



東立蹴球戰前半三分KG大立防き叩KG大立防き叩いた瞬間

ゴール前の攻防

十一日の運動

◇蹴球（高專リーグ）

明　槳　5——0　日　歯

◇蹴球

府立一中　9——0　成蹊等常

△實業團リーグ

②三　共　3——0　東京火災

②日　銀　3——2　東京瓦斯

④動　銀　9——1　日　曹

△關東高專リーグ

❶青　學　11——0　東高商船

❶浦　高　4——1　東　高

△關東大學リーグ

❸農　大　7　4——1　1　2　上智大

❸專　大　6　3——1　1　2　日醫大

十二日の運動

蹴球

工、明、慈勝つ

關東大學蹴球リーグ第二部三試合は十二日慈大球場で擧行

東工大　4　2——0　0　千葉大

明　大　2　1——0　0　栃　大

慈　大　2　1——0　0　法　大

S16・10・13

S16－10－15

文大の進撃が見物

蹴球リーグ戦中間観

関東大学蹴球リーグ戦は十五日から十九日にかけて今季日程の大半を終了するが近来稀に見る混戦だ、勿論もとの組に行はれる東文、早商、慶東の四試合の結果によりぼくれはじめるだらう、これまでの戦績を纏れば二勝一敗の慶大が上位を占め一勝一引分けの早大、東大がこれに次いである、文大はもう一押しの力に缺け商大は東大と引分けて慶大には先行しながら破られて止んだ、早東は十七日の顔合せが楽しみ、文大、早商、慶東の四試合の結果によりぼくれはじめるだらう、これまでの戦績を纏れば二勝一敗の慶大が上位を占め一勝一引分けの早大、東大がこれに次いである、文大はもう一押しの力に缺け商大は東大と引分けて慶大には先行しながら破られて止んだ、早東は十七日の顔合せが楽しみ、文大は近来にない内容のよかつた好チームで昨秋以来二十日を閲しこの間に培はれた力は東大に対し決勝点となつて示されよう、文大が破れを知つて試合を運ぶかが見もの、その底力を仮に測り得たならば勝敗は不問に付してもよいほどの興味となるのではないか、慶大、東大は共に敗れながら慶大にとつて都合よいのは東大が文大と力量伯仲か三日を開いてあるといふことではあるまいか

東大、文大に勝つ

豫期に反し両軍凡戦

ゲーリ

関東蹴球リーグ東大対文大戦は十五日午後三時半から東大運動場で挙行三対零で東大勝つ

東大 3（0―0）0 文大

【東大】
GK 池谷勇雄
B 黒川有策
B 大塚達夫
H 永島孝
F 井原正巳
FW 安藤近吉

【文大】
GK 山崎一雄
B 村瀬孝生
B 木原実
H 鴻巣磐
F 山口一郎
FW 小松原英太郎

◇一方文大FWもいたづらに前へ前へと球を運るだけで攻撃の隊形を整へることができず、攻撃共に一つも面白味は見られなかつた

前半33分東大は敵地から左に廻はした天野ダイレクトシュートしたがバーに当つて逸し42分文大も同様のフリー・シュートを失して0―0のまゝ後半に入つたが8分東大は敵地トリプルで攻き左に廻はして天野きめ、やうやくリード

◇…この頃から雨量早くも疲労の色濃く動きがますゝ鈍くなつたが、東大は28分30分と二点を加へ

◇戦は東大攻勢を待しながら文大・バック陣の特別の活躍があつたといふわけでもないにかゝはらずゴール前で鋭い動に缺けフリーシュートを行はんと焦つて見す見す好機を逸してゐた

S16－10－16

十七日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）
❶青山師 3―2 府高等
❷明 學 中 0―0 慶 普

（関東大學リーグ）
❷千葉醫大 0―0 慈 大

S16・10・19

早、東が快勝す

関東大學蹴球リーグ

立大対慶大、早大対商大、東大対慶大の三試合は十九日午前十一時から明治神宮外苑競技場で挙行、立大が文大に勝ち初の白星を獲得、早大、東大はともに快勝

東大 3（2―0）0 慶大

◇…この日東大は立上りからすでに溌剌たる動きを見せてゐたが十分早くも菊池から左に廻した球を大谷がダッシュ鋭く簡かにドリアルののち見事中央を衝いて一点先取した、この一線とそれに文大の様な唯一得点後防が慶大の弱点を明せずして突き結實したものといふべく菊池大谷を散開的に潤し得なかつた慶大バック陣の實は守備を主とする慶大だけに大きい

◇…一方慶大は攻めてはFWに老巧篠崎を起用したが昨年の鋭さを訴きその上CF島崎の位置が悪くFWのパスワークは東大バック陣に寸断されつくした、東大は兎に角一つの決め手を何處までも全力をあげて生かし得たところに勝因があつた（大観明）

【慶大】
GK 石川島造船
B 大石大内田平
H 篠崎島崎渡辺
F 吉河電氣
FW 上智 大

【東大】
GK 川崎山中鹿嶋我鳥澤池
B 黒川木村鈴木
H 岡本
F 井原
FW 安藤 大

2 6 0 0
K K K K
C F G G
3 2 1 0

◇蹴球
府立一中 4―1 府立七中
暁星中學 1―0 府立八中

△関東大學リーグ
日 醫 大 2―2 上智 大
❸慶 大 4―1 中 大

△實業團リーグ
❹石川島造船 5―1 日 立

❹動 銀 6―1 古河電氣
❸日立亀有 5―0 明治製菓

△関東高專リーグ
❷成 城 8―0 東外語

S16・10・20

十九日の運動

立 大 3（1―0）1 文 大
2―1

【立大】
GK 村田中嶺田
B 横山勝川
B 大田原
H 海老澤村
F 今立花
FW 60 20

【文大】
GK 滝井原嶺村
B 林永
H 鴻巣磐
F 小松原英太郎
FW 安藤近吉

K K K K
C F G G
7 2 16

慶 大 4（2―0）0 商 大
2―0

【慶大】
GK 川浦木木嶺下園山岡本
B 大原太松鈴村
H 折上片松山
F 井貫加
FW 0 2 6

【商大】
GK 早川岡中島尾村谷井
B 早稲松宮三花米
H 藤
F
FW

K K K K
C F G G
3 4 13

❷工 大 2（1―0）1 拓 大
1―1

❷明 大 4（1―0）0 千葉大
3―0
明大の優勝確定

S16-10-23

早・東全く実力伯仲

蹴球リーグ

関東蹴球リーグ戦は五試合、四年間にわたつて王座を誇つた旧大も遂に東大に敗れ、覇権は五年ぶりに早大か東大か、二十五日の早東戦で東大が勝てば栄冠は東大に輝き、早大勝てば最終日の早慶戦の結果如何まで持ち越される東大は商大に、早大は文大にそれぞれ第一戦において引分けの痛戦を演じ、今秋はどんぐりの背くらべかとの噂を残したが、両チームとも次第に各ラインを整備、鴻毛の早商、東慶戦には相当の得点力を見せ前者は4―0、後者は3―0と攻撃力の威力を示して来た

東大の敵陣突破力は菊池、大谷個人にある、菊池の進境は、大谷の持前の鋭い突込みに加へて来た頼引性と相俟つて、決定力の不早を叩いてゐた東大に一つの弾力な得点経路を形成するに至つた。一方早大FW線は加納のタッチプレー、新人花村、隈井の積極的奮闘に上る強靭たる動き、これに加へて興、米谷両インナーのキープ力が漸く本格的な連繋を見せて巧なゆさぶりを展開、敵バック陣を攪撹にいとまなからしむるだけの余裕を持し得るまでに達してきた、要するに攻防力もチームの纏りも両軍全く互角である（矢間明）

廿三日の運動

◇蹴球 高専リーグ
③東 商 5―2 明 慶

S16・10・24

S16-10-26

早、東遂に引分け

文、商に敗れ二部顛落か

大学蹴球

関東蹴球リーグ戦大詰文大、早大對東大の二試合は二十五日明治神宮外苑競技場で挙行、商大は文大に勝ち文大の二部顛落が確となつた、早東戦は戦の後遂に引分けとなつた

商 文 2 [1―0 / 1―0] 0 文 大

◇文大は先取得点を狙つて松永をLHに廻しLI島部、LI近藤とともに左ワイドに主力を注いだがこれがかへつて災、中央から右側が脆弱化し4分にして商大片山中央で拾つた球を松岡に廻せば松岡鮮なダッシュで中央を割りシュート、右ポストに當つてはね返るを土屋決めるといふ文大にとつては痛を失した一点を献じてしまつた、その後も筈として右側に穴をあけて松永をCHに戻したりやうやく安定したが時すでにおそく出足を挫かれてしまつた

◇一方商大はゴール前でFWがよく働いて出足を見せ、得点体形を作つたがシュートの拙劣と両ウイングのプレーキでみすみす多くの好機を逃してゐた、試合はその後間延とも関心なく閉一時をたどり、後半10分商大一点を加へて決定的としたがさく凡戦そのものであつた

大【川出 高木 本橋 下島 岡本
商【大居 太松 鈴村 折土 片松山
KB B FW 5 3 13
GF HB 6 6 23
【大 商】
大【田中 際林 永原 井部
文【大吉 依小 鈴 伊沢 納安 高
CFG 6 6 23

リーグ戦の記録	早東	立商	勝分負	点
廿五日	0…1	0…0	1 0 3	2
廿六日	0…0	0…0	0 1 3	1
廿七日	1×…0	0…×2	1 0 3	2
廿八日	1×…2	0…×2	1 1 2	3
廿九日	1×…2	2…×2	1 1 2	3
大学	3×…2	2…×2	2 0 1	4
東早慶商立文	2 1 2 2 2	2 2 1 2 2	3 2 0	6
勝分負	3 2 0	2 2 0		
点	6	6		

早 大 2 [2―0 / 0―2] 2 東 大

◇早大出足鋭く開早全く固くなつて球が足につかず早FW線のパスワークは小さく切れて敵陣に流れるといふ有様で、最初の約二十分間は東大の一方的攻勢となり時にGK島田のミスダッシュなどあつて早大は終始の危きにあつた、しかし二十五分頃からやうやく落着きを見せ間、加納のスムーズなパスワークを中心に右側からオープンへと變化のある球捌きを見せるうち二十七分右CKを得點すばらしいダッシュを見せ巧なダイレクトシュートで一点先取、早大リードしてからは一點に攻勢を強にして早大陣内的に攻め三十二分菊谷のフリーシュートがゴールオーバーするなどの好機あり、さらに猛攻を續けるうち三十二分加納へッディングでおへ廻した球を陣井辛うじてひつかければバアにあたりゴール下に詰びGK潤野ファンブルして入り3―0と開く

◇後半四分東大FKの球をGK島田前へ出てつかみキックすれば有馬拾つて直ちにシュート、GKの留守へきまつて2―1と迫り、かくて戦況は俄に活氣を呈し東大の執拗な攻撃を早大押し切るかと思はれたが、四十二分東大阿部から前に出たライナーを大谷押しきめて2―2の同点、四十三分早大はFKを得てこれを突つ込んできめたと見えたが加納のファウルとなり遂に引分けとなつた

◇早大は變化の多いFW線と堅のシュート力に望ひをリードしながら、後半に入つてGKの失と東大大谷に名を成さしめて遂に勝決定を後日に譲ることとなつた、東大は頼む大谷に最後の一瞬に活路を見出したが2―0から追撃に成功したことはたしかに東大の闘志と氣力の横溢をものがたるもので凡戦の多い秋に流石最勝を争ふ唯一の好戦といつてよからう（矢間明）

大【野田村瀬山馬池田谷島野
東【大濱原木奥橋有谷神大島矢
GK FB HB FW CF GK GK
大【田川岡田 納
早【島早松吉川二花木藤加
4 7 13

廿五日の運動

◇蹴球 関東高専リーグ、大倉高商2―1明治専院、大倉高商2―1成城高校、明治専院1―0戦勝―横浜専門

S16・10・26



早東蹴球戦 後半十五分東大ゴールに殺到する早大陣

S16-10-29

京大勝つ

【大阪電話】関西學生蹴球聯盟決定の第一戰京大對關學の試合は二十六日午後三時から甲子園運動場で京大の先蹴で開始、京大勝つ

京　大　3（0―0）2　關　學

二十六日の運動

◇野球　日醫大豫17―3慈大豫、府高4―2横高工、府高13―1浦高、八幡製鐵2―1門鐵

◇蹴球　關東學生リーグ②法大3―0千葉醫大、東工大2―0慈大③日醫大3―1國大△關東實業團リーグ　①日本光學3―0朝日②日鋼2―0三共△關東高專リーグ①東高2―2横專②成城7―0大倉高商、府高5―0成蹊、東外語8―1商大專

S16.10.27

慶・商に幾分の利

蹴球豫想

關東大學蹴球リーグ慶大對立大戰は二日、商大對立大戰は三日いづれも東大球場で行はれる

慶文　戰は文大の二部敗落如何をかけた一戰だけに文大は慶大に對して最後の突擊を試みるであらう、果して文大が慶大砲陣を粉碎し得るであらうか、島部一人の負傷で國府を失ひ精彩を缺いてしまつた文大である、中衛入れかへて出直さなければ、いくら前休化した慶大砲陣とはいへ破るとは出來まい

一方全く得點休形を成さなかつた慶大FWではあつたが、老巧後衛を加へてやうやく休を成して來た、松永一人の立大バック陣がこれをよく支へ切るかどうか

商立　戰は初顏合せだけに條は許されぬ、商大FWの出足がやゝ揃つて來たので今日二人の立大FWに較べるといさゝか興味が感ぜられる、バック陣においても商大が有利と見られ、將に立大のごとく小さいスワークにたよるチームに對しては猶將の防禦陣を心得てゐるだけに、順當に行けば商大の勝であらう【實盛明】

S16-11-1

第一回明治神宮國民体育大會

第一日

蹴球　青師・第一生命

◇一般一回戰

大鐵滿鐵（關東）3（1―0）0（吳工廠）

【吳】

子口　亞田田竹　峻内幾尾本
金山　亞田田竹　峻内幾尾本
GK　FB　HB　FW
井口　剛村延林　非明勝　峻昌
寺山　長河和小　松和山須中
10 6 11 1
CK GK FG PK
5 6 19 0

【大　連】

日本製鐵（朝鮮）5（0―0）0　台灣交通倶樂部

【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【台灣】良實田田内井陳田多村見
GK　FB　HB　FW
【台灣】石本竹新　添渡木吉
4 1 5
CK FK GK
0 5 15

【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【鮮信】金國正中大南安金高松金
GK　FB　HB　FW
4 1 5
CK FK GK
0 5 15

名古屋（岐阜）10（3―0）0　朝鮮（北海道）

【名古屋】
GK　FB　HB　FW
12 5 1
CK FK GK
0 3 30

【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
12 5 1
CK FK GK
0 3 30

日立製作所（茨城）2（1―0）1　大阪市役所（大阪）

【日立】上正浦幸川尊田峻代鐸正
【大阪】村原野　村野
GK　FB　HB　FW
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

作島崎林野川　田峻下橋内
立中岡小芳　林
日　鐵加松高大
GK　FB　HB　FW
役　市出原村野坂田木尾　峻鳥
取　大阪護長木田久八長　昇　哉北
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

蹴球　第一生命・青師

◇中等學校一回戰

普成（朝鮮）3（2―0）0　師範（北鮮）

【普成】村禪峻田谷谷元原湯川
【師範】柏平加藤坪木梅渡柳遊
GK　FB　HB　FW
2 12 15
CK FG GK

【修道中】
【修道中】原井木内上橋野谷村谷玉
【米仁中】堀村高秦谷錢中京
GK　FB　HB　FW
5 4 11 1
CK FK GK PK

高島佐野島大機佐斐鈴
【仙台二中】峻木木
3 6 19 0

修道中（廣島）3（1002―0002）2　仙台二中（宮城）

【修道中】原井木内上橋野谷村谷玉
【米仁中】堀村高秦谷錢中京
GK　FB　HB　FW
5 4 11 1
CK FK GK PK

【成蹊】本山井間山長
【普加】武岡宮松大新張高
GK　FB　HB　FW
8 2 12
CK FG GK

一日の運動

◇高專蹴球リーグ

②成城　6―0　商大專

成城四勝一引分で優勝

S16.11.2

第二日

蹴球　第一生命・青師

◇一般準決

日本製鐵（朝鮮）3（1―1）2　日立製作所（茨城）

【日　鐵】
【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【日　立】
【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
【日立】上正浦幸川尊田峻代鐸正
【日立】村原野　村野
GK　FB　HB　FW
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【鮮信】金國正中大南安金高松金
GK　FB　HB　FW
4 1 5
CK FK GK
0 5 15

【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
12 5 1
CK FK GK
0 3 30

作島崎林野川　田峻下橋内
立中岡小芳　林
日　鐵加松高大
GK　FB　HB　FW
役　市出原村野坂田木尾　峻鳥
取　大阪護長木田久八長　昇　哉北
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

蹴球　神宮・第一生命

◇一般準決

日本製鐵（朝鮮）3（1―1）2　日立製作所（茨城）

【日　鐵】
【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【日　立】
【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
【日立】上正浦幸川尊田峻代鐸正
【日立】村原野　村野
GK　FB　HB　FW
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【鮮信】金國正中大南安金高松金
GK　FB　HB　FW
4 1 5
CK FK GK
0 5 15

【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
12 5 1
CK FK GK
0 3 30

作島崎林野川　田峻下橋内
立中岡小芳　林
日　鐵加松高大
GK　FB　HB　FW
役　市出原村野坂田木尾　峻鳥
取　大阪護長木田久八長　昇　哉北
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

S16.11.2

日本蹴球優勝

蹴球　神宮・第一生命

◇一般決勝

日本製鐵（朝鮮）3（1―1）2　日立製作所（茨城）

【日　鐵】
【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【日　立】
【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
【日立】上正浦幸川尊田峻代鐸正
【日立】村原野　村野
GK　FB　HB　FW
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

【朝鮮】福本木平森山田本島本海
【鮮信】金國正中大南安金高松金
GK　FB　HB　FW
4 1 5
CK FK GK
0 5 15

【朝鮮】橋田田田修峻内田峻鐸
【朝鮮】高川木松南後中高加成
GK　FB　HB　FW
12 5 1
CK FK GK
0 3 30

作島崎林野川　田峻下橋内
立中岡小芳　林
日　鐵加松高大
GK　FB　HB　FW
役　市出原村野坂田木尾　峻鳥
取　大阪護長木田久八長　昇　哉北
11 4 8
CK FK GK
0 1 21

S16.11.3

慶、文に辛勝

大學蹴球戰

關東學生蹴球リーグ慶大對文大戰は二日午後三時から八幡山明大球場で擧行慶大辛勝、これで文大は二部に落ちた

【慶　大】
【慶大】原井木内上橋野谷村谷玉
【米仁中】堀村高秦谷錢中京
GK　FB　HB　FW
【慶大】島田樺林永望　峻村部
【大吉】飯小松　　中高
GK　FB　HB　FW
8 2 7
CK FG GK
5 5 10

【慶　大】
【慶大】原井木内上橋野谷村谷玉
【米仁中】堀村高秦谷錢中京
GK　FB　HB　FW
5 4 11 1
CK FK GK PK
5 6 19 0

【慶大】島田樺林永望　峻村部
【大吉】飯小松　　中高
GK　FB　HB　FW
8 2 7
CK FG GK
5 5 10

【文　大】
【文大】子口　亞田田竹　峻内幾尾本
【金山】亞田田竹　峻内幾尾本
GK　FB　HB　FW
【井口】剛村延林非明勝　峻昌
【寺山】長河和小松和山須中
10 6 11 1
CK GK FG PK
5 6 19 0

S16-11-2

S16-11-3

商、立引分け 大學蹴球リーグ戦

帝大 0—0—0 0 立大

【帝大】田村田中藤田(慶)佐々木(立)
【立大】増原(慶)本田(慶)多喜岩今立
GK B B
F B FW
H FW
【帝大】川田浦木木幡下原山岡本
【商】居太松鈴村福折土片松山
CK 5 5½
FK 3 1½
GK 16

◇蹴球 早生リーグ ②第大1-1商大 ③第大6-0法大 ①第大6-0法大 ①第大6-3中大

11/3 二日の運動

S16-11-4

蹴球

外苑競技場

◇中等決勝

神戸一中 2—0 2 普成中(朝鮮)

【神戸一中】東本山本山岸川井(慶)
【普成中】河山武岡宮秋大新(慶)長宮
GK B B 7
F B 1
H 6
F FW
【神戸一中】木津田谷川森一
【普成中】原木津田谷川森一
CK 3
FK 9
GK 23

開始と共に普成の一方的攻勢となつたが神戸は13分、23分と訪れた好機を巧みに生かしリードしたが後半普成は14分、23分に二点を返けた、短パスを用ひて巧みに攻め込む神戸FW陣の組織力は鮮やかなものであり、特殊な闘志に於て神戸を圧倒する勢にあつた(天晴明)

11/4

S16.11.4

京大、關西學生蹴球に優勝

【大阪電話】關西學生蹴球聯盟優勝決定最終戦京大對昭和高商の試合は三日昭高商校庭で雨中君主率の下に京大の先蹴で開始、つひに引分となり、結局京大は一勝一引分で優勝、二位は昭和高商、三位は關學の順となつた

京大 4 2—1 3 昭和高商

S16.11.7

早に六分の利

早慶蹴球豫想

關大四連勝の後をうけて早大對慶大の蹴球戦が、關東大學リーグ最終の一戦として八日明治神宮外苑競技場で擧行される

順當に行けば早大に有利なことはいふまでもない、しかし早大はOL加納とFB早川の負傷が傳へられ、いささか不安がある今秋の關大は全く得点力なく攻撃そのものと試合を行つて來てゐるが最後の粘りで兎に角試合をものにしてゐる

得点力に優る早大に六分の利があると見て置かう(天晴明)

S16-11-9



早慶蹴球 後半二分慶大ゴール前のヘツテング數、向つて右から笹貫、藤井、服部、大崎、長、永木、花村

S16.11.7

早慶に辛勝

五年振りの雪辱

大學蹴球

關東大學蹴球リーグ早大對慶大戦は八日午後一時から明治神宮外苑競技場で擧行、一對零で早大五年ぶりに勝利した、このため早大、またともに三勝二引分で同点となり蹴球決定戦を十六日午前十時から明治神宮外苑競技場で行ふことになつた

早大 1 1—0 0 慶大

【早大】川岡田島(慶)笹貫藤井(慶)服部
【慶大】早稲田三花米澤
GK B B 9
F B 3
H 14
F FW
【早大】家川堀原中木幡(成)福池(慶)
【慶大】大宮田永(慶)渡服部(慶)
CK 4
FK 5
GK 22

慶大の早大牙の攻勢がものをいつて兎に角やうやく一点をものにして辛勝したが早大の挑戦であつた、試合は前半慶大は型通りのB線陣に倒して右から攻めたが、早大バック陣固くものにならず、早大FWはOL加納の缺場でLI興とのコンビネーション缺き、從つてこゝから崩し出される滑らかなペースがすつかり乱され10分興のシュート20分米谷のヘッデイング25分杉のシュート等決定的好戦があつたが決め得ず、慶大は35分ゴールポストにあて惜しくも逸したチヤンスがあり、まづ互角といふところであつた、後半に入つてからにやうやく早大好調を取り戻し一方的攻勢を持し、17分左から廻した球を花村ひつかければ開けてゴール前に流れ、これが慶大OH田中の頭に當つてそのまゝゴールして空に勝敗点となつた

◇その後慶大は後衛をOFに廻し頑張に出ては防ぎに中央へと押して突込んだがもう一息のところで潰されてゐた、慶大の得点力不足はまづ措くとしても早大はOL加納一人の缺場で左サイドから攻められず變化ある球廻きが見られなかつたのみならず右から左に廻つて決め得べき絶好のチヤンスを逸してゐたのは惜しまれ、これが早大FW陣の低調さと試合内容を乏しいものとした(天晴明)

關東大學蹴球リーグ今季成績

	慶	立	商	早	東	勝	分	負	点
慶		0	1	0	0	1	1	4	3
立	0		0	0	1	1	3	4	3
商	0	0		0	0	0	4	4	2
早	1	1	1		0	3	2	0	8
東	1	1	1	1		3	2	0	8
帝	1	1	1	0	0	2	2	1	6

S16.11.10

九日の運動

◇蹴球(大學リーグ) ③第大3-2中大 ④實業團リーグ ①第一生命9-0日本製管、この結果第一生命一部に優勝へ府中等リーグ戦最終日 ①青山師5-0府九中、府高等1-1豊島師、この結果青師優勝

S16-11-12

攻防〝鎖鎌〟の早大

一突き狙ふ〝槍〟の東大

早東就球豫想

関東大學蹴球リーグの開幕は五年振りに導火から離れて早大か東大か、いよ〳〵開幕決定の試合が十六日午前十時から明治神宮外苑競技場で行はれる、今季再度の對戰である

この一戰は〝へれば一本槍防つか〟識よくこれを制すかといふところ、東大が活きる道はOL猪狩からOF大谷に廻してその鋭い決定力に俟つ

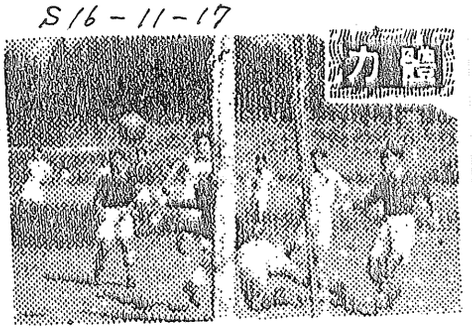
「一點」である、この點先が如何に守れるか、これは全員のゲームワークと精神力如何によらう

これに對し早大FW陣の興、來谷の両インナーのキープ力と花村、加納の両翼を活用なく走らせて行く多角的なパス・ワークから生み出す〝ポンポン〟なパスを有つ攻撃よりは、顎が飛んで來たかと思へば忽ち分銅が飛來する、その間全く滑らかな連繋で作れてゆく〳〵と對陣に迫つて行く鎖鎌に似たものがある

懸念された加納の出場も「可能」となり、早大は思ふ存分自己のペースを十分活かして手もとに狂ひなきを期すであらう、過般の一戰では早大よく敵の両に一點を加へながら必死に繰り出した東大の一突き――大谷の防ぎシュートにゴールを破られ、つひに共倒れとなつてゐる、槍と鎖を如何に防ぐか、バック陣がその防備をよりよく体得した方に勝利の栄冠は輝くであらう

戰は正に五分と五分、開催決定にふさはしい激戰が期待される（写眞）

S16-11-17



S16-11-18

近年まれな低調

早大、比較的に優る

早東蹴球

四年間にわたつて王座を時つた覇大が早、東に敗れ早大は五年ぶり、東大は十年ぶりに覇権を目指して戰ふことゝなつた、遂に勝敗決せず優勝はあづかりとなつた

早大は攻大と東大は昭大と引分けたが、共に後半両手を挙へ、缺点はあつたが、早東第一戰に今秋唯一の好試合を残した、その他は試合内容も、戰法も、個々のプレーもこゝ數年來今年ほど低調を感じたことはない、無地なスケジュール、卒業期の繰上げ等を割いてもなほ不満の點を殘せざるを得ない、まづ攻守ともにやゝ体を成してゐたのは

「早大」であらう、攻といふ

第一戰から前半決定の第二戰までの二旬に今少し變化のある攻め方を修得すべきであつた

東大の單調な攻法ではがつちりとゾーンデフェンスの網へを備へた3Bをは破り得べくもない對覇大戰に無得点、無得点戰にわずか一点しか物得出來なかつたのがこれを裏付してゐる

「早大」の敗因はまた何をかいはんやである、二度の好機が如何に大きかつたかをつく〳〵味はつたことであらう後半總攻を担用やFW陣を整備し馬力ある高陽に期待をかけたがこれ又得た過ぎて當に適宜の攻撃さを失してゐた、攻撃をインナースクールとしてリードオフマンとすべきであつた

「慶大」はまづ力一杯の戰であつた、守備には比較的強いがやはりとれるゲームにならなければ勝敗など問ひもよらぬ

「立大」が攻大を破り一部に止まつたことはまづ上出來ながら、FW陣が小粒丈を揃しすぎてゲレン味が多い

「攻大」は前期優勝に緩つた、高部たる一人の負傷ぐらゐのゲームワークで補ひ得る筈の關西戰と戰ふ關球特有のABCをもう少し醉醒する必要があらう、攻備的に見てもCH松永一人のゲームであつた

再び引分け

兩軍硬直・機を逸す

早東蹴球

關東大學蹴球リーグ開催決定の早大對東大の試合は十六日午前十時から明治神宮外苑競技場で擧行、遂に一對一の引分に終り、両軍とも第一位となつた『カツトの鷲調は早東蹴球戰』後半タイムアップ直前東大の攻撃を防ぐ早大GK】

早大 1 — 0 1 東大
0 — 1

◇早大は製が不調を囁ちながらも米谷これを補ひ28分ゴール前混戰から中央を駈つて出でそのままクリーンシュートを決めて先に得点、東大は後半リード、東大は大谷に球を集めたが早大バック陣のマーク固くものにならず後半に入つてから早大は三名負傷し、このため製の後退を余儀なくされたとに製を中心とする多角的パスワークの源泉を失ひ得意のゆさぶり戰法に拘束を感じてゐた、しかし東大とても左右両ウイングからOF大谷への單調な攻法に終始、22分興奮決めてやうやく同点に追ひついたに過ぎず、両軍ともにFW陣に拘のすくやうな技は見られなかつた

◇これは雨中のコンデイションが低下し、プレイが神経したことによるもので、これが早、東ともにゴール寸前に決定的チャンスを掴みながら再三凡庸に逸した因ともなつてゐた、早大は8分PKを決めながら加納のアタウルで逸したのは2―0と開くことゝろだけに惜しまれる、技術的にはともかくも両軍ともに緊合がかゝつて力の絹つた一戰であつた【写眞】

早大 1 — 0 1 東大
0 — 1

【GK】	5	11
【FB】	18	
【HB】	6	10
【FW】	12	

大澤(早)木興(慶)有製(慶)大興(天)
東 GK KK CK
大 FB FG FG
早 HB
慶 FW
立 FW
天 HB
早 FW
慶 FW
立 FW
天 FW
早 FW
慶 FW
立 FW
天 FW
早 FW
慶 FW
立 FW
天 FW

S16－11－23

推薦校で決戰

關東中等蹴球

關東八個中等蹴球界の王座を決定する本年後期、關東蹴球協會主催第九回關東對抗中等學校蹴球選手權大會は今年も恒例により年末十二月二十六、七、八の三日間宮山師範球場ならびに明治神宮外苑競技場で擧行される、今年は十一月十七日リヨンにおいて三万の觀衆を集めて擧行、地元フランスは前半3――2でリードしたが後半スイス軍の猛襲に潰え敗れたスイス 4（2――3）3 フランス

行の困難なのに鑑みこれを廢し各府縣の推薦によることとしその開催は東京三、千葉、埼玉、茨城、栃木、神奈川、山梨各二、群馬一計十六校でトーナメント式により組合せを決定する、第二回大會に前回中が制覇して以來久しく關東は東京にとどまったが、昨年はつひに神奈川の雄相南中が初制覇を遂げ、再び地方に持ち去られたが今年は果して奪還いづれに帰すか

S16－11－23

海・外・運・動・短・信

◇初の國際蹴球戰に佛軍敗る　フランスに戰火收つて初めての國際蹴球戰フランス對スイスの試合は十一月十七日リヨンにおいて三万の觀衆を集めて擧行、地元フランスは前半3――2でリードしたが後半スイス軍の猛襲に潰え敗れた

S16.12.1

十六チーム推薦

本社後援　關東中等蹴球選手權大會

本社後援の第九回關東對抗中等學校蹴球選手權大會は例年の通り例年の廿六日から三日間と廿八日から三日間と變更を外、各府縣の推薦校制限なし

關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は例年の通り例年の廿六日から三日間と廿八日から三日間と變更を外、各府縣の推薦校制限なし

東京府立一、神奈川、千葉、埼玉、山梨の各縣は三校宛、茨城、栃木、群馬の各縣は二校宛計十六校

とし球場は第一日宮山師範及び新丸子第一生命、第二日以後は明治神宮外苑競技場を使用することに決定した

なほ主催新聞は二十七日午後六時から本社講堂で行ふ

S16.12.7

七日の運動

◇蹴球（實業團リーグ）朝日2――1日本鋼管（倶樂部リーグ）❶東倶　巽稲　成城倶　❹比嚴倶4――2FSB

S16.12.8

關東中等蹴球選手權大會

本社後援

第九回關東中等學校蹴球選手權大會は廿八日から三日間明治神宮外苑競技場と新丸子第一生命球場で第一回戰六試合を行ひ廿九、三十の二日間明治神宮外苑競技場で第二回戰から決勝戰まで行ふ、第一回戰組合せは左のとほり

府九中對安房中（11時）茨城工對浦和中（1時30分）暁星中對湘南中（2時45分以上第一生命）埼玉中對府高等商科（11時）宇都宮中對青師（0時30分）龍崎中對千葉師（2時以上青師）暁星師、小田原中は不戰一勝

S16.12.28

強豪勝ち進む

關東中等蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第九回關東中等學校蹴球選手權大會は年末行事の主なるものとして二十八日その第一日の幕を開けた

埼玉	2（2――0）0	府高等	
青師	5（1――0）0	宇都宮	
千師	6（2――0）0	中	
府立中	4（2――0）0	安房中	
浦和	6（4――0）1	茨城工業	
湘南中	7（3――0）0	暁星中	

二十八日の運動

◇蹴球（實業團リーグ）日本光學2――2朝日◇野球（西宮球場）關大4――0神戸商大

S16.12.29

四強勝殘る

關東中等蹴球

本社後援第九回關東中等學校蹴球選手權大會第二日は二十九日午前十時半から明治神宮競技場で準々決勝四試合を擧行

埼玉中	3（3――0）2	小田原中	
青山師	4（2――0）0	千葉師	
豐島師	4（4――0）0	府立九中	
湘南中	4（3――1）2	浦和中	

S16.12.30

湘南中連覇

關東中學蹴球

本社後援第九回關東中等學校蹴球選手權大會第三日は三十日午前十時から明治神宮競技場で準決勝、決勝を擧行、決勝は埼玉中學を破つた青師と、湘南中を退けた湘南中との間に行はれ1――1のまゝ延長すること三回、決勝に相應しい白熱戰を演じた末、湘南中が第三回延長の後半裏の一點を擧げ遂に

湘南中學	2	青山師範

（10000001 / 00000010）

【湘】口田原勝川村平 8
　　川太浜千保河海小早田小野老 5
　　EBBEWKKK 15
　　GFHFCFG
【青】内隅木田田田村山上松宮 7
　　ノ　　5
【青山】一西黒細太吉小村吉 18

S16.12.31

昭和17年

三日の運動

◇蹴球（東日本高校準決勝）府立 3―0山形 一高4―0水戸

S17.1.4

五日の運動

◇蹴球（東日本高校決勝）一高1―0府立

S17.1.5

けふの運動

【蹴球】關東倶樂部リーグ最終日―東倶對青蹴、埼玉倶對アストラ、東蹴對豐島、網町對YKT（10時東大）△關東實業團選手權大會準決勝（1時30分後樂園）

S17.2.1

一日の運動

◇蹴球（關東實業團大會準決勝）第一生命 4―3日鋼 マツダ 11―0三共

S17.2.2

八日の運動

◇蹴球（實業團決勝）第一生命 4―3マツダ

S17.2.9

けふの運動

【蹴球】東西OB選抜銓衡試合（2時東大）

S17.3.8

八日の運動

◇蹴球（東西OB選抜銓衡）白組 4―0紅組

S17.3.9

十五日の運動

◇蹴球選抜軍 關東OB 7―3 WMW

S17.3.16

OB蹴球東西代表決る

東西OB対抗蹴球戰は來る廿二日甲子園において行はれるが、二回にわたる銓衡試合の結果東西代表は左の如く決定した

◇關東【GK】中垣内（文大）【FB】竹内（東大）鈴木（早大）宮本（青師）【HB】立原（早大）松丸（慶大）關野（早大）福島（日團）【FW】伊藤（埼師）加茂（早大）竹腰（東大）增田（慶大）渡辺（慶大）西本（慶大）◇關西【GK】萩原（兵庫一商）【FB・HB】安部（關學）後藤（關學）熊野（兵庫一商）赤川（京大）桑野（明星商）吉江（神商大）【FW】大谷（神商大）大倉（關大）小久保（早大）本松（早大）西島（早大）石近（慶大）

S17.3.17

東西OB蹴球引分け

【大阪電話】東西OB対抗蹴球戰は、二十一日午後二時から甲子園南運動場で東軍の先蹴に開始、兩軍善戰して後に引分けとなつた

東軍 1（0―0）1 西軍

S17.3.22

十九日の運動

◇蹴球
早大 4―2 文大
WMW 3―3 拓大

S17.4.20

廿五日の運動

◇蹴球
京大 3―0 神戸大

S17.4.26

廿九日の運動

◇蹴球
一高 8―2 横専
青学 2―1 成城
東高藝 15―0 東薬

S17.4.30

明、慶を破る

関東大學蹴球リーグ戰慶大對明大の試合は二日午後一時明治神宮競技場で擧行

明大 1(0―0)0 慶大

S17.5.3

三日の運動

◇蹴球（高專リーグ）
成 1―0 横専
東高 2―1 浦高
昭藝専 9―0 高千穂高商
横 4―0 東高工

S17.5.4

けふの運動

【蹴球】東高對成城（3時成城）成蹊對外語（3時外語）日銀對勸銀（4時勸銀）

S17.5.9

けふの運動

【蹴球】早立（2時東伏見）工大拓大、文大慶大（1時法大）上智國大、專大千醫大（1時日醫）一高神高（3時一高）横専對青學（3時青學）

S17.5.10

十日の運動

◇蹴球
早大 8(4―1)1 立大
一高 4(3―0)0 神高

S17.5.11

けふの運動

◇蹴球 法大對慈大（3時慶大）一高對成城（3時成城）東高對青學（3時青學）

S17.5.16

けふの運動

【蹴球】慶立、東商（1時一高）

S17.5.17

十七日の運動

◇蹴球（関東學生リーグ）
慶 大 3(3―0)1 2 立大
東 大 5(3―2)0 0 商大

S17.5.18

けふの運動

【蹴球】早大對明大、慶大對商大（1時明治神宮外苑）

S17.5.23

二十四日の運動

◇蹴球 法大 4―1 工大 文大 2―0 拓大

S17.5.25

早、慶快勝

関東大學蹴球リーグ戰早大對慶大の二試合は二十三日午後一時から明治神宮競技場で擧行、早慶が快勝した

早大 5(3―0)1 明大
【早】山崖宅中田坂村泉森 4
【明】池森永三田土黒野德 8
KBB 10
GFH
KBB
GFH
FW
KKK
CFG
【明】田山堀田岡熊村納井谷高 0
【早】島船内宮松小花加藤米藤 5
慶大 5(3―2)0 0 商大

S17.5.24

けふの運動

【蹴球】東明（3時日吉）工慶、拓慈（1時元住吉）

S17.5.31

三十一日の運動

◇蹴球（関東學生リーグ）
明大 4(2―1)1 2 東大
慈 大 2―0 拓大

S17.6.1

六日の運動

◇蹴球（學生リーグ）
立大 1(1―0)1 商大
慶大 1(1―0)1 東京

S17.6.7

けふの運動

【蹴球】文拓、法慶（1時東大）

S17.6.8

七日の運動

◇蹴球（関東大學リーグ）
②文 大 5―0 拓大
②法 大 3―1 慶大

S17.6.14

十三日の運動

◇蹴球（高專リーグ、二時明藝）
明學 3―3 東高工、武蹴高工 8―0 高千穂高商

けふの運動

【蹴球】立明、早慶（1時神宮）拓法、文工（1時東大）日醫大對上智（1時日醫大）商船對東醫（2時商大專）△中等校低學年大會最終日（10時青師）

S17.6.14

S17-6-22

十四日の運動

◇蹴球（大學リーグ）
立大 4（3―1 2―1）2 明大
早大 5（3―1 2―0）1 慶大

S17.6.15

東大優勝

蹴球リーグ戰

關東大學蹴球リーグ最終日、明商早東の試合は二十一日午後一時半から明治神宮競技場で擧行、明、東がそれぞれ勝ち、結局東大は三勝一敗一引分で優勝した

明大 4（3―1 1―0）1 商大

【商大】
K 川島 B 浦木 B 田橋 F 田屋 W 藤倉
K 居宮 B 水松 F 村太 W 高安 土瀬永
C 4
K 11
K 14
P 1
【明大】
K 長森 B 三田 F 上黒 W 森 F 員徳野 H 鍋泉村々
K 池 B 廣山 B 宅中 F 田坂 W
C 8
F 2
G 12
P 0

東大 1（0―0 1―0）0 早大

【東大】
藤賀村瀬 K 藤賀田野谷島上 1
近大木奥加須種天大奥三 K 10
K 11
K 0
【早大】
田山岡田宅飛村納井谷井 K 鎭番 2
島船松宮三小花加藤米藤 G 6
F 1
P 0

S17.6.22

二十一日の運動

◇蹴球（高專リーグ）
❶東 高 2―0 横 專
❷商大專 6―1 商船
❷府立高 7―1 東醫
❸日 体 5―1 大倉高商
❹武藏工 10―0 東 藥
△各部優勝校（一部）二高（三部）日体（四部）東工藝

S17.6.22

けふの運動

【蹴球】東大対関學（2時30分神宮）

S17.7.4

東大勝つ

東西対抗蹴球戰　大日本學徒体育振興會主催昭和十七年度東西代表校対抗蹴球試合東大対関學大戰は四日午後三時から明治神宮外苑競技場で擧行東大は終始壓倒し一方的成績をもつて大勝した、試合内容は近來にない實力伯仲なものであつた、成績左の如し

東大 8（7―1 1―0）1 關學大

【關學大】
K 井筐村村本泉橋座本山戸
K 中大岡野松小高日杉宝瀬
K 27
K 5
K 3
【東大】
K 藤賀村瀬藤賀田野谷島上
K 近大木奥加須種天大奥三
G 13
F 9
C 9

S17.7.5

三商大體育大會

昭和十七年度東京、大阪、神戸三商大綜合体育大會第一日は二十日午前十時より東京市外國立競技場その他で擧行

◇蹴球　東京 0―0 神戸

S17.7.21

六人制蹴球關東選手權日割

本社後援　第六回六人制蹴球關東選手權大會は夏季の心身鍛錬を目指して來る八月一日から九日まで六日間に亙り擧行される事になつた
第一部（大學、高專、倶樂部）第二部（実業團）は一、二、八九の四日間、第三部（中等學校）は一、二、三、四の四日間で關東蹴球協會加盟團体はその參加チーム數に制限されない事になつてゐる、申込は廿五日を限り主將會議は二十八日夜本社で開く事になつてゐる

二十三日の運動

◇蹴球（全國師範大會關東豫選）
第一回戰 青師 6―1 神師
准決勝 埼師 2―0 千師
豐師 4―2 青師

S17.7.24

二十四日の運動

【蹴球】（關東師範決勝）
豐師 5―1 埼師

S17.7.25

二十六日の運動

全國中等蹴球東京豫選第三日
▽二回戰
府高專 8―0 青學中
府立五中 3―1 府立九中

S17.7.27

全國高等學校體育大會

◇蹴球（一回戰）
四高 4―0 弘前
七高 2―0 都岡
府立高 5―1 二高
松山 1―0 成城

S17-7-26

高校體育大會第三日

◇蹴球 ▽第一回戰
浦高 4―3 松江
麗島 2―1 六高
北大豫科 4―0 山形
▽第二回戰
松本 3―0 富山
佐賀 8―0 武藏
五山 3―2 東京
高 1―0 一高

S17-7-27

高校體育大會第五日

◇蹴球 ▽第二回戰
松山 4―0 浦和
麗島 1―0 北大豫

S17.7.28

◇蹴球 ▽第三回戰
佐賀 2―1 山口
五高 1―0 四高
松山 3―1 府高

S17.7.29

高校体育大会

◇蹴球 准決勝戰
廣島 2（1001―0010）1 佐賀

S17.7.30

高校体育大会

◇蹴球 決勝
五高 1（1―0 1―0）0 鹿島

S17.7.31

S17-8-2

關東六人制蹴球第一日

本社後援第六回關東六人制蹴球選手權大會第一日は一日午前十時から青山師範球場で一部四試合、二部五試合、三部三試合を擧行、第一回戰成績左の如し

▽第一部一回戰　明大1―0比叡倶、WMW3―0拓大A、拓大B6―0武藏高工、駿台倶4―0東京高工

▽第二部　▽一回戰、日立5―2千代田B▽二回戰、第一生命A4―0淺野セメント、千代田A1―0第一生命B、日立3―0昭和鑛業、中島飛行機4―0東京瓦斯▽三回戰、青師仁1―0豐師範、八中A2―0府立一商、八中B2―1開成中B、豐師2―0東工附屬

全國中等校蹴球

▽關東豫選決勝
浦和中學　6―0　茨城工業

▽甲神靜豫選決勝リーグ
湘南中學　2―1　志太中學
志太中學　6―0　甲府商業
湘南中學　7―0　甲府商業

全國中等蹴球

▽東海豫選決勝
刈谷中學　13―0　大垣商業

關東六人制蹴球第二日

本社後援第六回關東六人制蹴球選手權大會第二日は二日午前十時から青山師範球場で一、二部准決勝と決勝三部二回戰四試合を擧行、成績左のごとし

▽第一部准決勝
WMW　1―0　明大
拓大(B)　2―1　駿台倶

▽決勝
WMW　4(2―0)0　拓大B

▽第二部准決勝
第一生命(A)　4(3―0)0　日立
千代田(A)　2(1―0)0　中島飛

△決勝
千代田(A)　2(1―0)1　第一生命(A)

▽第三部第二回戰
青山師(仁)　5(2―0)0　東高尋
開成中(A)　4(0―0)0　府八中(A)
青山師(智)　8(4―0)0　府八中(B)
豐島師(醒)　1(1―0)0　青山師(美)

S17.8.3

關東六人制蹴球豐師優勝

本社後援第六回關東六人制蹴球選手權大會最終日の三日は午前十時から青山師範球場で第三部准決勝決勝の三試合を擧行、豐島師範の龍組が優勝す

▽決勝
豐師龍　2(1―1)1　青師仁

S17.8.4

東亞大會

【新京電話】滿洲國建國十周年慶祝東亞競技大會第二日の九日は呼物の陸上、水上兩競技および自轉車も新に登場しラグビーを除く全競技の精鋭が出揃つて南嶺競技場を中心に各會場で白熱的競技を展開したが、一方日滿交驩武道大會も敵對抗試合に入つて龍攘虎搏の激鬪を繰り展げ劍道、柔道共に大勝した、この日の卓球日本對中國は大接戰の後日本軍の惜敗し排球又滿洲と接戰して敗れたがとなつたがその他の競技では野球が滿洲を再び破つて雪辱を遂つた

◇蹴球
日本　3(0―1)0　滿洲
【日本】中藤岡山本村田藤髮鍋
【滿洲】池田加松森岩金加髮眞
FB　K　8
FB　K　11
HB　K　10
FW　O
FW　F　15
FW　M　4
FW　G　27

S17.8.10

東亞大會第三日

◇蹴球
滿洲　3(1―0)1　中國
日本　12(5―0)0　蒙古

S17.8.11

東亞大會

◇蹴球
滿洲　10(5―0)1　蒙古

S17.8.12

中等蹴球組合決る

文部省ならびに學振共催全國男子中等、師範體育大會蹴球競技の組合は、十八日抽籤の結果左の通り決定した

◇中等の部　▽一回戰（23日9時30分西宮）（イ）東京五中―京都二中（ロ）浦和中―神戸一中（ハ）室蘭商―和歌山中（ニ）刈谷中―嘉穗中▽同二回戰（25日10時西宮）（ホ）イの勝者對ロの勝者（ヘ）ハの勝者對ニの勝者（ト）湘南中―高知商（チ）仙台一中―修道中▽同准決勝（26日13時、甲子園）ホの勝者對ヘの勝者、トの勝者對チの勝者△同決勝（27日14時30分甲子園）

◇師範の部　▽一回戰（24日、13時、西宮）（イ）京都一―豐島（ロ）札幌一―三重▽同准決勝（26日、10時、甲子園南）イの勝者對ロの勝者、富山一―山口▽決勝戰（27日13時甲子園）

S17.8.19

S17-8-24

銃後學徒の意氣高し

全國中等、師範、教員體育大會

【大阪電話】文部省、大日本學徒體育振興會主催「全國中等學校師範學校生徒ならびに全國國民學校青年學校教員体育大會」は廿三日朝から半十一種目にわたる多彩な競技の華を競原、甲子園、西宮、上野芝の四大會場で一齊に切つて落した、郷土母校の榮譽をその逞しい双肩に擔ふ六千六百の若き男の子等は第一日から熾烈を傾け日頃鍛錬の腕のほどを遺憾なく發揮した

蹴球 西宮

◇中等の部

▽第一回戰

東京府五中 12―0 京都二中
神戸一中 10―0 浦和中
和歌山中 8―2 室蘭商
刈谷中 5―0 嘉穂中

S17.8.25

蹴球 西宮

◇師範の部 第一回戰

豐 島 5―1 京 都
札 幌 1―1 三 重
（抽籤勝）

S17.8.26

蹴球 西宮

◇中等の部 準々決勝

神戸一中 6―0 東京府五中
刈谷中學 3―1 和歌山中
湘南中 5―1 高知商
修道中 2―1 仙台一中

S17.8.27

蹴球 甲子園

◇中等の部 ▽準決勝

神戸一中 7（2―0 5―0）0 刈谷中
修道中 3（0―0 3―0）0 湘南中

S17-8-28

豐島師（蹴球）勝つ

甲子園に熱戰を展開

【大阪電話】文部省、大日本學徒體育振興會主催「全國中等學校、師範學校、全國々民學校、青年學校体育大會」は二十七日第六日を迎へ、蹴球中等の決勝では神戸一中廣島修道中學に9―0の壓倒的大差を以て快勝し、師範では東京豐島師範が山口師範を擊破して共に堂々制覇を遂げた、籠球では新潟師範まづ島根師範を破つて制覇すれば、中等部でも長岡商業また隣縣の雄長野商業と自然的大激戰を演じ延長戰の末遂に制覇し籠球新潟の名を益々高めた、かくて殘る競技は野球たゞ一つとなつたがけふ二十八日は豐島商業対海草中學、平安中學対廣島商業の準決勝戰が行はれる

蹴球 甲子園

◇師範の部 ▽決勝

豐 島 3（3―0 0―0）0 山 口

【豐 島】
本田崎木葉間田西元本嵐
【山 口】
水西岡佐千藤月大越橋
（前 中 後門）
村田野田橋哦井藤本原村
磯稻阿森大嘘土近河沖野

1 6 6 1
1 3 1 5 0

（蹴 蹴 蹴 蹴 隅 自 門 番）

◇中等の部 ▽決勝

一中 9（5―0 4―0）0 修道中

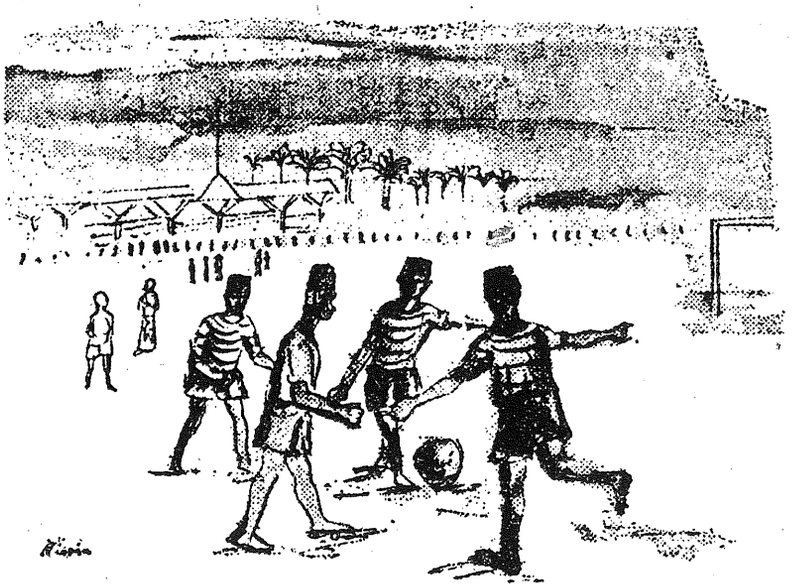
【神戸一中】
岡山木岩本賀田谷木森一
鶴深三本杉志鴨岩皆吉竹
（前 中 後門）
原木藤賴内谷村玉野中
米中加堀城中三見谷秦山

8 2 2
1 5 16

（蹴 蹴 蹴 隅 自 門）

【修道中】

S17-9-1



供子のボルネオ

文と絵 ❶ 川端實

夕方になつてやうやく日中の暑さから解放されて涼しい風が海岸から吹上げてくるころ、今日も酋舎の前の緑の草原でインドネシアの少年たちが蹴球をやつてゐます。

〝少年蹴球〟

赤黒のダンダラのユニホームを着て跣足で草原を駈けめぐり夕焼けの美しい空に球を蹴上げる。ボルネオの少年たちは愉快さうです。

六日の運動

◇国民実業團蹴球一部
マツダランド 5—1 日鉱

S17-9-7

けふの運動

【蹴球】関東実業團リーグ一部千代田対日立（4時30分日立）

S17.9.20

原住民初の體育大會

【バタビヤ特電十日発】今村軍司令官を総裁として去る五日よりバタビヤ市に開催された全ジヤワ体育大會は、初めて原住民等が開く〝我等の大會〟として連日各競技場とも超満員の盛況を見せて、九日夜無事終了した、主なる優勝者は左の如くである

【陸上競技百米】スバルコ11秒6【庭級男子單】タン・リアチヨウ【蹴球】ジヨクジヤ・チーム【籠球】バタビヤ・チーム【バドミントン】サユト

S17.9.11

けふの運動

【蹴球】神宮実業團関東優選最終日（10時日吉）

S17.10.4

四日の運動

◇蹴球（神宮実業團関東優選決勝）
茨城日立 3—2 第一生命

S17.10.5

第十三回 明治神宮國民錬成大會

蹴球

◇中等校準々決勝
青山師（東京） 4—1 長崎中（台湾）
刈谷中（愛知） 4—1 長崎師（長崎）
仙台二中 2—1 廣島一中
神戸二中 3—0 増村中（朝鮮）

S17.11.1

◇中等校 準決勝
青山師 3—0 刈谷中
仙台一中 2—0 神戸一中

◇一般 準決勝
本郷 7—0 兵庫
日立 2—1 大洲

S17.11.2

◇一般 決勝
平壌兵友（朝鮮） 2—1 日立
【立】内林 櫛澤田哲幸川野崎島
【日大】林 高横柴小石上宮田
【蹴前中後門蹴蹴蹴陸自門】
【陸】馬岳村村原康村落礁山川
【平】金金野西田平木金金松金
11 3 13 6 13 22

S17.11.3

◇中等校決勝
青山師（東京） 2—1 神戸一中（兵庫）
（前分のまゝ双方第一位）
【神戸】
一乗木谷田田本賀木野岡
【蹴前中後門蹴蹴蹴陸自門】
竹吉岩網和杉志三深鶴
野上村橋間川崎木田竹内
花村吉高佐吉篠三撃大山
4 4 11 0
4 8 10 0
【青師】

S17.11.4

勝抜法で關東學生蹴球大會

球部主催

學体振興

第一回關東學生蹴球選手權大會は來る十四日から二十八日まで左記日程により擧行される、從來大學、高專別に夫々リーグ戰を行つてゐたのであるが、今回初の試みとして關東の大學、高專十六校が勝抜法によつて雌雄を決することになつたのは注目される

▽第一回戰 慶大—東大、立大—慶大（以上14日13時30分日蹴大）
日蹴大—明專、拓大—青學、千葉醫—商大、上智大—東高（以上15日10時30分日蹴大）文大—早大、法大—明大（以上15日12時第一生命）
▽第二回戰（22日10時東大）
▽準決勝（23日13時青師）
▽決勝（28日14時神宮）

S17.11.11

けふの運動

【蹴球】慶大対東大、立大対慶大（13時日蹴大）

S17.11.14

◇蹴球（關東學生選手權大會第一日）
▽一回戰
東大 3—1 慶大
立大 7—1 慶大

けふの運動

【蹴球】關東學生選手權第二日第一回戰（10時半日蹴大、12時第一生命）

S17.11.15

◇蹴球（關東學生選手權第二日）
▽一回戰
日本學大 9—1 明專
早大 1—0 文理大
拓大 4—3 千葉醫大
明大 3—1 法大
上智大 3—2 東高

S17.11.16

けふの運動

【蹴球】關東學生選手權二回戰東大対立大、日蹴対拓大、商大対上智、早大対明大（10時東大）

S17.11.22

◇蹴球 關東學生選手權二回戰
東大 4—1 立大
拓大 （棄權） 日蹴大
商大 5—1 上智大
早大 2—1 明大

けふの運動

【蹴球】關東學生選手權第四日（13時東大）

S17.11.23

◇蹴球 關東學生選手權準決勝
東大 13 9—0 0 拓大
早大 7 2—0 1 商大

S17.11.24

冬季體育訓練

行事きまる

文部省では大日本學徒体育振興會ならびに各團体主催にかゝる今冬十二月一日以降明春三月末日までの、學徒各種体育訓練行事につき審査中決定を見たので二十四日発表したが主なるもの次の如し

◇蹴球 三地域対抗選抜戰（12月25日—29日神宮）關東中等府縣対抗選手權大會（12月25日26日神宮）

S17.11.25

けふの運動

【蹴球】關東學生選手權大會最終日、早大対東大（14時30分神宮）

S17.11.28

S17-11-29

早大優勝す

關東學生蹴球

學振主催、第一回關東學生蹴球選手權を決する早大対東大戰は二十八日午後二時四十分から神宮外苑競技場で擧行、熱戰の結果三対二で早大が優勝した

早大 3(3―0 0―2)2 東大

【東大】
上島(慶大)
中辺(慶大)
三輪(慶大)
伊藤(慶大)
須奥(慶大)
木大(慶大)
近藤(慶大)

【早大】
商領(慶大)
本納(慶大)
井杉(慶大)
藤原(慶大)
加藤(慶大)

前半
5 9 13 0
後半
0 0 3 1
得點
蹴球
蹴球
蹴球
得點
自門前

藤村
加中

◇開始から東大は早大を壓迫し試合は早大陣で進められた感があつたが、早大の執拗なる防戰功を奏して決らず前半中ごろ逆襲に機を掴んだ早大が左隅を割り一點を先取、その直後東大は中央からの好蹴を早ゴール右に飛ばせ、早陣後衛を割つてあつけないゴールを得て同点としたが、早大は左からの速攻を活かして二ゴールを加ふ

◇前半終りごろ東大は早門衛の失策から一點を得て肉薄、後半もしばしば好機あり再度早大ゴールポストに當る好シユートが放たれたが決らず、早大の逃げ込み成功した

S17・12・20

倶樂部蹴球の一元

關東倶樂部蹴球聯盟では、十九日代表委員會を開き、明年度試合方法は紅、白両組それ〳〵リーグ戰を行ひ、両組の勝者間で優勝決定戰を行ふこととし、期日は一月より五月までと限定した、なほ紅白の區分は左の通り

△紅組 曉星、東蹴、埼蹴、學習院、駿台、綱町、稻門△白組 成城、湘南、青山、向蹴會、法友、東倶

なほ大日本体育會蹴球部會關東支部の十二月下旬擧行豫定の關東府縣対抗中等學校蹴球大會は都合により一時延期と決定した

昭和18年版 朝日年鑑

東亞競技大會

滿洲建國十周年慶祝東亞競技大會は康德九年(昭和十七年)八月八日から十一日までの四日間新京南嶺競技場を中心とする各競技場で擧行、日滿華三ケ國および蒙古が參加し日本軍は排球、卓球、馬術の三種目以外の全種目に優勝した

【蹴球】日本6―1中華△日本3―0滿洲△滿洲3―1中華◇順位=①日本②滿洲③中華

昭和18年版 朝日年鑑

蹴球

東西學生聯盟優勝校試合

昭和十六年九月以降同十七年八月末まで

昭和十六年=中止
昭和十七年=17年7月4日明治神宮外苑
東京帝大 8(7―0、1―1)1 關西學院

關東大學蹴球聯盟試合

昭和十六年 9月―11月(神宮その他)
【第一部】
文理大 1分 1 1 1×0 4 1 東大
商大 1分 1 1 1×0 0 1 3 1 東大
慶大 1分 1 1 1×0 0 0 0 3 2 2 1 東大
立大 1分 1 1 1×0 0 0 0 3 3 0 2 2 1 東大
明大 1分 1 1 1×0 0 0 0 3 3 2 0 2 1 東大
早大 1分 1 1 1×0 0 0 0 3 3 2 2 0 2 1 東大
慶大 1分 1 0 1×0 0 0 0 3 3 2 2 2 0 2 1 東大
東大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 1 1 1 東大

昭和十七年 4月―6月(神宮その他)
【第一部】
商大 1 0 1 1分×1 3 1 東大
慶大 1 1 0 1分×1 3 1 東大
早大 1 1 0 1×0 分 2 1 3 1 東大
東大 1×0 0 1 0 0 3 2 2 1 1 東大
慶大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 0 2 1 東大
明大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 2 0 2 1 東大
立大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 2 2 0 2 1 東大
文理大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 2 2 2 0 2 1 東大
東大 1×0 0 1 0 0 3 3 2 2 2 2 2 2 0 2 1 東大

(勝數が同數の場合は勝敗分)
(優勝は預り)
(優勝戰)
(覇者)
(決定戰)
(勝數)
(勝敗分)
(神宮その他)

昭和19年版 朝日年鑑

蹴球

關東大學選手權

昭和十七年度=11月14日―28日 神宮
【準優勝】東大13―0拓大、早大7―1商大【優勝戰】早大3(3―2 0―0)2東大

關西學生選手權

昭和十七年度=11月15日―12月6日 西宮、甲子園
【準優勝】關學3―2京大、昭和高商5―2關大
【優勝戰】關學4(3―0 1―2)2昭和高商

昭和18年

けふの練成

【蹴球】関東クラブ対抗第一日綱町対駿台法友対向蹴、青蹴対湘南（9時30分青師）

S18・1・17

十七日の練成

……蹴　球……

◇関東倶楽部対抗

駿台 5―1 綱町蹴

駿比 5―2 向蹴

青蹴 4―2 湘南

S18・1・18

十四日の練成

……蹴　球……

関東倶楽部対抗（戸塚）

青蹴 7―0 比駿

豊島 5―0 稲門

台駿 3―1 暁星

S18・2・15

けふの練成

【蹴球】東大対文大（14時東大）

S18・4・29

二十九日の練成

……蹴　球……

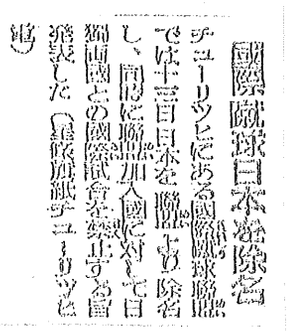
◇東大対京帝大対抗戦（東大）

東大 7 [3―1 / 4―0] 1 文大

S18・4・30

昭和19～20年

戦争の影響で記録はほとんど見当たらない



國際蹴球日本を除名

チューリッヒにある國際蹴球聯盟では十三日日本を聯盟より除名し、同時に聯盟加入國に対して日獨伊國との國際試合を禁止する旨通知した（最終頁紙チューリッヒ電）

S 20 - 11 - 16